大正十五年一月十五日發行（每月一回十五日發行）

臺灣時報

一月號

内容目録記入濟

大武山一〇六六五尺

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徴　林献堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　館明山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　妻木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彦助　日下操　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒巻鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　楢瀬軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村匡　木村久太郎　木村泰治　許延光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彦

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彦　大澤清高

常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀬拙夫　中田榮次郎　中田秀造　内田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

編輯係　秦滿　鷹取田一郎　泉芳德　尾崎保正　葉山石雲

栗山新造　眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年一月十三日印刷（毎月一回）
大正十五年一月十五日發行（十五日發行）

（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九九番

編輯兼發行人　臺北市新榮町一丁目十一番地　伊藤憐之助

印刷者　臺北市本町一丁目十九番地　中村誠道

印刷所　臺北市榮町一丁目二十七二十八番地　松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Japanese BP.
Library of
Congress
068098 1952

支店

各地

大稻埕　基隆　宜蘭　新竹　臺中

嘉義　臺南　高雄　屏東　花蓮港

內地其他（東京　廈門）

株式會社 臺灣商工銀行（臺北）

出張所

各地

萬華　南門　汐止　基隆草店尾

羅東　淡水　新莊　中壢　竹東

大溪　苗栗　斗六　鹽水　麻豆

北港　朴子　鳳山　東港　旗山

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十五年一月號 目次

I'19 B168 A6

口繪 □□□□□□□□□□□□□□□□
臺北州衛生警察展覽會第二會場休憩室に於ける伊澤總督と吉岡臺北州知事

臺灣産業の狀勢……片山三郎 一

林野整理事業の終結に就て……野呂寧 一〇

時報……一四

臺灣軍の大觀兵式▼臺灣醫學大會▼後藤長官上京▼臺北州警察展覽會▼臺南神社列格祭▼皇孫殿下御降誕▼御命名式▼中野編輯退社

□□□□寄書□□□□□

臺灣拓殖會社の設立を望む……野呂寧 一七

□□□□說苑□□□□□

北京の宮城に漾ふ民國の情緒……後藤朝太郎 二三

さくなだり……蕉鹿夢 三〇

理蕃政策として蕎麥を論ず……鷹取田一郎 三三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

D190
A19 KP2

調査研究

支那内亂不斷の根本原因に關する一考察……馬場鍈太郎 四三
新たに起れる支那の經濟抵抗運動……井出季和太 五六
佛領印度支那老撾の經濟的價値(上)……永嶺生譯 七六
英人の見たる護謨恐慌の眞相……前川生譯 八九

島情

島情……九二
臺灣金融景況……財務局金融課 九二
臺灣金融統計……同 上 九五
臺灣貿易統計……總督府稅關 一〇五
臺灣日誌▼人事消息▼任命▼寄贈書目……二
臺灣時報總目次(大正十四年自一月至十二月)
支那及南洋情報……總督官房調查課 一—五七
支那及南洋其他海外重要記事索引……同 上 一—一四

資本金五百萬圓

臺北市表町

株式會社 華南銀行

電話 長

一五一七番
一七九五番
一八一一番
一六二九番

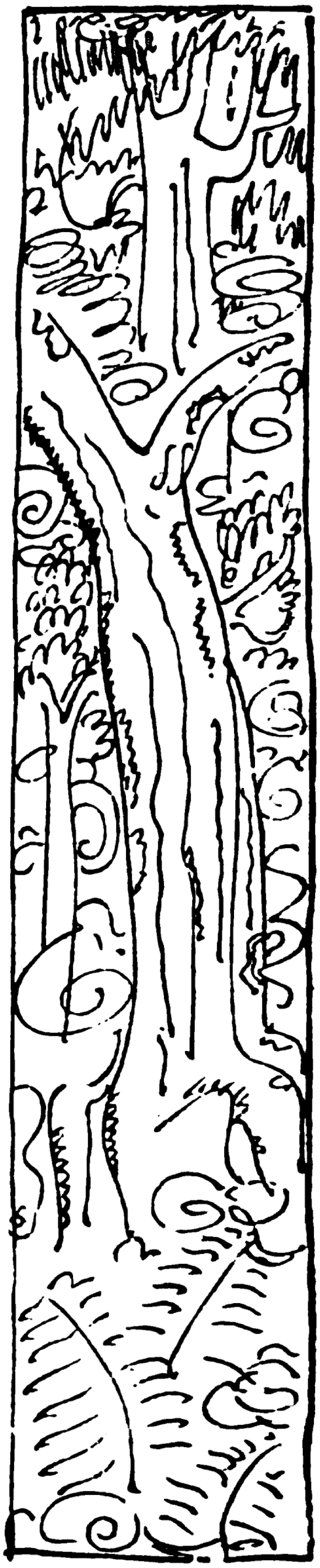
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

警察展覽會第二會場休憩室に於ける
伊澤總督(向て右)と吉岡臺北州知事(同左)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣產業の狀勢

——大正十四年十一月八日第九回全島實業大會に於て——

殖產局長　片山三郎

今般第九回全島實業大會を當臺南に於て開催せらるゝに當り、親しく本島實業界に於ける代表者各位に會見し、茲に聊か卑見を述ぶるの機會を與へられたることは、私の最幸榮とする所であります。

本日各種の重要議案に對し熱心なる御討議を拜聽し、各位が本島產業發展の爲に極めて熱心に畫策せらるゝことを承知し、產業當局の一人として大に喜び且意を強く致した次第であります。今回御決議の事項に付ては上司に報告すると共に、夫々愼重考究を致す積りであります。本島に於ける一般經濟界の狀勢を見ます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るに、大正九年の恐慌以來世界的の不況に伴ひ、本島に於ても亦商工業界は一般に不振の狀態に推移して來つたのであります。本年に於ても尙其餘勢を脫する能はざる狀態に在ることは、甚だ遺憾に感ずる次第であります。彼の大正九年の恐慌は、御承知の通り歐洲大戰の影響を受け、世界的に經濟界が異常の膨張を爲した其の反動として起つたものでありまして、各國共其の創痍は極めて深く且大なるものがあつたのであります。殊に我國に於ては、之に加へて未曾有の大震災に遭遇し、幾十億の富を一朝にして喪失したのでありますから、之が回復に相當の年所を要することは自然の數でありまして、一面より見れば景氣恢復の遲さは誠に已むを得ざる次第と存ずるのであります。然しながら今回一般の狀勢を見まするに、政府の行政財政の整理と相俟て、民間經濟界の整理が追々進捗して來ました結果、本邦經濟界も昨今漸く安定の域に達したるが如く觀察せらるゝのであります。殊に本島に於ては、數年來農作物の豐穰と其の價格の騰貴との爲、一般農村の富は著しく增加し、景氣回復の徵候は內地に比し一段濃厚なることを認め得る次第であります。申迄もなく今日の經濟界に於ては、重要商品は勿論、總てが世界的景況に支配せらるゝのでありますから、假令島內農村の景況が是以上好轉することありとも、是のみを以ては一般經濟界に及ぼす影響は左迄大なる期待を懸くることは出來ないと考ふるのであります。此際商工業家は尙自重自戒し、整理すべきものは之を整理し、緊縮すべきは之を緊縮し、飽く迄健實なる步調を以て其の經營に當られむことを望む次第であります。

本島の貿易の趨勢を見まするに、大正十三年中の輸移出入總額は三億八千六百餘萬圓であつて、前年に比し約七千八百萬圓の增加を示して居ります。之を十年前卽ち大正三年の一億一千百萬圓に比すれば、正に三倍以上の增率を示して居ります。本年に入りては更に增加の傾向を示し、去八月末迄に於て已に三億一千三百萬圓に達し、之を前年同期に比すれば四千七百萬圓の增加であります。是全く本島產業發達の表徵と見る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

べく、誠に慶賀すべきことゝ存じます。

今輸移出入の關係を對照するに、昨年の貿易に於て輸移出額は二億五千三百萬圓、輸移入額は一億三千三百萬圓でありまして、約一億二千萬圓の出超と云ふことになつて居ります。乍然更に之を海外貿易と內地移出入とに區別して觀察しますると、對內地移出入に於ては大なる移出超過を示して居りますが、海外貿易に於ては却て約四百萬圓の輸入超過となつて居るのであります。

本島としては本島特有の產業を興し、以て母國の缺乏を補ひ、內臺共榮の基礎を確立することは本島の使命であつて、內地との移出入關係は海外貿易と少しも輕重あるものではありませぬ。世間往々海外貿易を重んずるの餘り、內地移出入關係を輕視するものあれども、是は執るに足らざる誤見と考ふるのであります。乍去南支南洋を控へる本島として、海外貿易に於て輸入超過の狀態にあることは甚だ遺憾に感ずる次第で、本島として收成一段の考究を要することゝ信ずるのであります。次で工業界に付て見るに、大正十三年の工業額は二億三千六百萬圓に上り、大正八、九年の好況時代に比するも尙幾分の增加を示して居ります。然れども之は砂糖・茶等の所謂食糧工業の發達力其の主たる原因でありまして、機械工業・纖維工業乃至化學工業に至ては尙甚だ不振の狀態にあるものと見らるゝのであります。此等諸工業の振興に付ては、或は動力の問題或は勞力の問題其他輸送機關の問題等、四圍の事情に支配せらるゝこと勿論でありまして、一括して之を論ずることは固より出來ないのでありまするが、將來之等の問題の解決に伴ひ、本島工業家の活躍すべき餘地甚だ大なるものあることを信ずるのであります。此等の工業が發達せば、唯今申上げたる如き本島の輸入超過を防遏し得るのみならず、進んで海外貿易に於ても輸出超過の狀勢に導くことを得る次第でありまして、此點に付ては一に工業家諸君の御奮勵を期待する次第であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

是より本島の重要生產に付て大體の觀察を申上げたいと存じます。

米は本島に於ても農產の大宗たることは勿論でありまするが、近年內地に於ける食糧問題の關係に於て、本島產業上に一層重大なる意義を加ふるに至つたのであります。

一　米　產

本島に於ける米の產額は年々增進し、昨年は六百七萬石を產し從來の記錄を破りましたが、本年も幸に大なる災害なく、第一期米に於て三百十七萬石を產出し、目下の作柄より見れば第二期作も約同額の生產を見得る見込でありまして、結局昨年に比し三、四十萬石の增收を見るべき豫想であります。而して內地に對する移出高は、九月末日迄に於て既に百八十二萬石を算し、之も第二期米の豫想を加ふれば恐らく二百五十萬石內外に達するの見込であります。

此米產に付て特に一言すべきは、內地種米栽培の發達であります。最近に於ける內地種米栽培の成功は本島農產界に於ける一大事蹟でありまして、一昨年僅に三萬八千石の產額なりしもの、昨年は三十四萬石に上り、本年は更に一大飛躍を爲して第一期作のみにて既に八十七萬石の實收を示し、第二期作の豫想を合するときは恐く百萬石に達せむとするの狀勢を示して居ります。更に將來に於て一層其の產額の躍進を見るべきは明なる勢であります。是は誠に本島產業の爲、將又帝國食糧問題の解決に資する關係に於て誠に慶祝に堪へざる所であります。之が爲近時內地政府に於ても、食糧調節上大なる期待を本島の米產に措くに至つたのであります。

當局としては此狀勢に鑑み、農作方面に於ては優良原種の配給と耕種法の改善に力を注ぎ、取引關係に於ては米穀檢查の充實と保管及輸送の改善に努力致す積りであります。當業者に於ても、幸に當局の意の存す

る所に策應せられ、舊習に基く營業上の弊害は務て之を一新し、以て本島米產業の發達に貢献せられむことを望みます。

一　糖　業

本島の糖業に關しては、御承知の通大體に於て年々增產の一路を辿りつゝあるのでありまするが、十四年期は未曾有の豐產にて、殆んど八百萬擔に達せむとするの新記錄を作りました。然るに來期は更に本年の記錄を破り、恐く八百萬擔に對し若干の超過を示すべき豫想でありまして、斯業の爲慶すべき次第であります。

茲に糖業に關し最も喜ぶべきことは、近時農作方面の改良に伴ひ蔗莖の甲當收量が漸次增進しつゝある現象であります。卽ち從來一甲當收量四、五萬斤を標準として居りしもの、今日は全島平均七萬斤を超過するに至りましたのであります。乍去現在の程度にては到底糖業の確立を期することは出來ないのであります。將來臺灣糖業の發達に付ては、工業方面に於ける改善卽ち製造作業を一層集約的に改善するの必要は勿論でありまするが、農作方面に於て立體的增收を圖ることは蓋し斯業の基礎を確立する爲焦眉の急務であることを信ずるのであります。此點に付ては、當局としても從來種々なる方面より奬勵し來りたる次第でありまするが、當業者に於て特に今一段の努力を茲に傾注せられんことを希望する次第であります。

一　茶　業

茶は本島に於ける海外輸出品中の首位を占むるものであつて、數年來其の輸出額も漸次增進し、昨大正十三年は一千萬圓を超へ、本年も去八月迄の經過に於て既に七百萬圓を超過して居る狀況であります。本年の生產は春茶及夏茶が天候の關係上多少減收を餘儀なくせるも、結局昨年に比し多少の增加を示すことゝ豫想して居ります。當局としては、茶業に關しては從來生產方面の改善と共に、製造の改良並に販路の擴張に關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し相當努力し來つた積りであります。其の結果當業者の努力と相俟て、米國及南洋方面以外歐洲方面、滿洲方面等漸次販路の擴張を見んとするの機運にあるは誠に御同慶の至であります。然しながら、本業に付ては烏龍茶及包種茶共に夫々海外に於ける强力なる競爭者を有するのでありまして、將來一段の發展を期するには當業者に於て一層の研究と努力を要することゝ信じます。

一 果物

バナヽ　本島の特產たるバナヽは、近年非常なる速度を以て增產を爲しつゝあることは御承知の通りであります。本年の產額は昨冬南部地方の霜害と夏期暴風の被害がありました爲、前年に比し約一千四百萬斤を減じ二億七千萬斤內外の豫想であります。乍去南部地方に於ける蕉園の增加に伴ひ、全體に於て今後尙增產の趨勢にあるは明なる所であります。

バナヽに付ては、同業組合等の活動に依り生產竝に取引方面が漸次改善し來りたることは誠に喜ぶべき所であります。唯新販路の開拓は、斯業の爲焦眉の急務と認めらるゝのでありまして、當局に於ても出來得る限り援助する考なるも、此點に付き當業者に於て一段の奮勵を望む次第であります。

鳳梨　本島に於ける新興產業の一たる鳳梨は、近時益々發展の機運に向ひつゝあります。本年に於ける九月末迄の罐詰輸移出高は、數量に於て四十七萬打、價額に於て百八十萬圓に上り、昨年一箇年の輸移出高百三十五萬圓に對し著しき增進を示して居るのであります。

本業は數年に亘る試驗硏究の結果として、將來本島特產として十分の發達を遂ぐべき素質あることを認め、當局としては先第一着として本年度より高雄州下に鳳梨種苗養成所を設置し、優良種苗の配給を行ふことゝ致したのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

將來製造加工の方面に付ても、出來得る丈け努力したいと存じます。唯本品は、將來に於て主として海外輸出を目的とすべき性質のものであり、從て其の品種の改善と製品の改良統一は最必要とする所であります。

當業者に於ても此點に注意せられ、共同して進で各般の改良に努力あらんことを望むものであります。

柑橘　も亦比年發達し、現に本年の如き栽培面積の增加と氣候の順調なる關係にて、其の產額は二千五百萬斤を豫想せられて居ります。

從來柑橘及西瓜に付ては、本島に於ける移出檢査の外、內地に於て更に再檢査を行ひ來れるが爲、取引の敏活を缺ぎ其の間種々なる弊害を生じ斯業の發達を阻害すること甚しきものがあります。此點に付ては今後島內檢査の方法を充實すると共に、可成速に內地の再檢査の廢止を求むべく目下夫々計畫を進め努力しつゝある次第であります。此點に付ては、當業者に於ても生產及取引上十分の注意を拂ひ、檢査の結果をして遺憾なからしめむことを望む次第であります。

一　鑛業

本島の鑛業は其の產額一千三百餘萬圓に上り、其の海外輸出額七百三十萬圓を算し、本島輸出品中の重要なる地位にあるのであります。

就中石炭は現在本島鑛業中の大宗でありまして、其の產額一千百六十萬圓に上り、價格に於て總鑛產額の八割以上を占めて居ります。現在の輸出先は、主として對岸支那方面でありますが、近時南洋方面の輸出も稍好調を示して參りました。販路の開拓に付ては尙當業者の努力を要するものと存じます。

石油の產額は尙漸く年產二萬石內外であつて、其量甚だ少いのであります。然しながら、是は燃料問題解

決上重要なる意義を有するものでありまするから、當局としても將來一層の注意を拂ふ積りであります。特に鑛業に關し茲に一言附加したきことは、資源の尊重に關することであります。本島鑛業界の現狀に於ては、其採掘の計畫又は操業の方法不完備の爲、貴重なる埋藏量の一部を犧牲にし、永久に之を遺棄するの結果を生ずる虞あるものが少なからざることであります。

此點に關しては當局に於ても及ぶ丈けの注意を怠らざる考でありまするが、當業者に於て一層の考究を爲さむことを望む。

一　水産

本島水産業は近時當業者の努力に依り異常の發達を爲し、今や年産額一千五百萬圓を超過するの狀勢にあることは喜ばしき所であります。

本島は海岸線比較的短く、良好なる港灣に乏しきことは水産業として甚だ遺憾とする所でありまするが、漁場としては北に東に將南に、將來開發すべき好漁場が甚だ多いのであります。然るに、本島の漁業は十年一日の如く沿海既知の漁場にのみ跼蹐するの狀態であつて、未だ遠洋の漁利を開拓するの機運に達せないのは誠に遺憾とする所であります。

其他製造並に養殖の方面に於ても、改善增産を圖るの餘地甚だ多いと考へます。當局としても、水産の改良に關しては相當考慮しつゝある次第でありますが、當業者に於て一段の奮發を望む次第であります。

一　畜産

畜産業は逐年順當の發達を見つゝある次第であります。本島の風土・氣候の關係並に本島農民の慣習上、本業は將來大なる發展を爲すの餘地あることを認むるものであります。殊に養豚事業の改善は第一の急務と認

め、從來に於ても相當施設致して居りまするが、將來に於て一層力を茲に注ぎたいと考へて居ります。之が改良增殖の結果は、必然に豚肉加工々業の發達を期待し得ること、考ふる次第でありまして、此點に於て豫め商工業家の注意を喚起したいと思ふのであります。

一　林　產

本島の林野面積は二百五十萬甲步に達し、全島面積の約七割を占むる次第であつて、林產業の開發は將來本島產業上重要なる問題の一であります。然しながら、山林の經營は國土保安竝に治水上重大なる關係を有し、單に林產資源としてのみ見る能はざるものであります。從て確實なる施業計畫なくして伐採を行ふことは、所謂濫伐・濫採に陷り、其の結果は到底救ふべからざる損害を釀すに至るものであります。依て總督府に於ては、本年度より十五箇年計畫を以て森林計畫事業に著手し、以て本島林政の基本を確立せむことを期して居る次第であります。幸に本事業進行せば、林產業も自ら其の基準を得て適當に其發達を見るべきことゝ考ふるのであります。

以上甚だ粗略ながら、本島各產業の現狀に付て當局として觀察せる大體の狀勢を申上げ、併て聊か卑見を差加へたのであります。御承知の通り、本島は帝國中に於て熱帶・亞熱帶に亘る唯一の領域でありまして、又南支・南洋に對する特別の地位を占めて居るのであります。此氣候・風土及此地理的位置を充分に利用し、充分に開發し、臺灣自體の發達を圖ると同時に、母國の缺乏を補充し、一面には對南支南洋貿易の發展を圖ることは本島產業政策の基調であつて、同時に本島產業界の使命であると信ずるものであります。幸に各位の御奮勵に依り、本島の產業をして益々光輝ある發達を示すに至らしめむことを衷心より切に希望して已まざる次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

林野整理事業の終結に就きて

野呂寧

臺灣の林野整理事業は、土地調査及林野調査の二大事業に次ぎ、本島土地に關する權利關係を確定し、土地の境界面積を圖示し、明確なる地籍臺帳及地圖の完整を目的とせるものにて、土地調査及林野調査に於て査定せられたる所有權以外の諸種の緣故關係を調査して、其の緣故者に對して特別處分として該林野の特價拂下を行ひ、人民に確然たる所有權を附與して土地の上に安心して力作經營を專らにし、土地を愛護し、永久に國土を肥培して生產を增殖することを得せしむるを主としたものである。

本事業は、蕃地に於ては豫約開墾成功賣渡地と其の接續關係の一小部分に限りたるも、普通行政區域內は、既定の民有地以外は大山・深溪・森林・原野の大地域より河川・溝渠或は道路の附屬地の小區域に至る迄隈なく實查を加へて、先第一に官有林野の要存置・不要存置の區分調査を行ひ、其の要存置地に就ては、緣故關係あるもの假令ば保管林の如きも其の保管を解除して嚴に緣故を斷ちて國に保有存置し、不要存置地は保管林又は多年少くも林野調査の查定發表以前より引續き使用收益し居りて何等故障なきものは、其の使用收益者に特價拂下を行ふことにし、無緣故地は將來開墾造林の爲適法に處分すべく其の位置區域を明にしたのである。

區分調査即要存置・不要存置の區分は、全部の官有林野に對し實地踏查を行ひ一、國防其の他軍事上必要あ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るもの。二、保安林として存置の必要あるもの。三、保安林に指定するの必要あるもの。四、官行施業地並其の附屬地として必要あるもの。五、官行の營造物を保護するに必要あるもの。六、學術上特に存置の必要あるもの。七、地形・位地等の關係上民營に適せざるもの。八、前各號の外特に存置の必要あるものを要存置地として永久に國庫に保有し、其の保護又は繁殖を計ることにし、其の他は凡て之を不要存置地とし、而して其の位置區域は之を圖上に區分表示し、總督の決裁を經て關係地方廳に通達せられ、爾後土地處分上の準繩を定められた。

處分調査卽區分調査に依て要存置地になれる林野に就ては、其の保管林は之を解除し、又若し無斷開墾又は造林等の事實あるものは、之を禁止して取締方を地方廳に通達して嚴に緣故關係を廢絕し、唯だ其の使用收益の禁止が關係人民の生活を危ふし、其の生存上必要缺くべからざるものなるときは、國土保存上格別の支障なき限り、一時之を貸附して特種條件の下に使用收益を許可することゝし、不要存置地に就ては、保管林は保管者に其の他多年(少くも林野調査々定發表前より)使用收益の事實ありて別に競願者等の爭ひもなく、善意に占有の狀態にあるものは之を其の緣故者に拂下ぐることゝして、夫等の緣故關係地域拂下價格等を調查し、次で其の地域を實測して土地臺帳地圖に登錄の手續を行ひ、夫れ〳〵緣故者に拂下を爲し、無緣故地は之を保存して將來豫約開墾造林の拂下出願を待て詮議する等、適法の處分を漸次實行することにした。而して從前は是等の詮議に當り、常に土地緣故者の故障申出等ありて官廳も許可受人も迷惑せしこと少くなかつたが、今後は緣故關係者は夫れ〳〵拂下に依て解決し、拂下を希望せざるものは完全に之を回收して緣故關係を絕たれたのだから、最早何等の故障紛議も申出の餘地なきものとなつたのである。

本事業は大正四年度に始められ、今十四年度を以て終結せられ、各從事職員は一昨十二年及昨十三年の整

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理に依て大部分罷免せられ、大正十四年十二月其の殘員の轉任・罷免に依て全部完了したのである。余は本事業の始より其の衝に當り、昨年十二月其の實地作業完結を機とし、行政整理の恩典に浴して退官歸鄕し、爾後一年殘留者の精勵に依て豫定の通り內業を完結して、玆に終了を告げ、多大の好結果を奏したのは衷心欣喜に堪へないのである。

事業の好果は本島地籍を完整し、官民有の區分整然として各個人の權利關係は最精確に其の區域面積を表示せられ、官有林野に就ては要存置・不要存置の區分を明確にし、而してあらゆる緣故關係を斷絕して純然たる無垢の官有林野の區域を明にし、其の處理處分を容易ならしめたのは、日本全國他に比類なきものと誇るべきである。

土地調査も林野調査も、其の事業の重大にして且困難であつたことは一般の認むるところであるが、我林野整理事業は更に一層の困難事業であつた。余は何れの事業にも關與して其の經過にも詳しい者であるが、林野整理事業は他の二事業の人民の權利關係を調査するものと異なりて、全く人跡未踏の深山幽谷に迄も進で調査を行はねばならぬのと、比較的少額の經費で十一箇年の永き歲月を閱して其の間幾回の行政整理にも出會し、又經濟界の大危難に遭遇して金融逼塞に依る土地拂下代金の未納相次ぎ、豫算の收支相償はずして財務當局よりの警告屢々至り、事業の中止も度々問題となり、苦心も亦一通りでなかつた。土地測量の如き深山幽谷の荊棘裡に入りては方位をも辨する能はざる程で、之が從事員の疲勞・困憊想像も及ばぬものがある。又土地緣故關係の調査の如き、曩の所有權查定と異にして證據書類の據るべきなきは勿論で、其の正鵠を得、紛爭を免れることに配意するの密なる、夜も亦安眠し得られぬこと屢々であつた。しかも遂に不詳事も起さず、又斯の如き利權關係事業に動もすれば免れざる請託の如き不潔事の全く發生せざりしは、要する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に從事員の風紀嚴肅にして綱紀の肅正せられたる結果として特筆すべきものであると思ふ。實に本事業の爲に從事せる職員一時は三百餘名にも上りたるに、上下擧て協力一致・黽勉努力・一意誠心・至精至密の成績を擧げて能く豫定の功程を進めて完全なる終結を告ぐるに至り、余は今更ながら深き感慨に堪へない。實に同僚各位の終始不變の誠意此の光輝ある成功を得たるに衷心深く謝意を表する。唯恨むらくは、一歳諸君に先ちて退官し、諸君と共に今日最終の成功を得て共に共に凱歌を唱ふることを得なかつたのを遺憾とし、又諸君に依て余が昨冬圓滿なる退官を爲し得たのを重ねて厚く感謝するものである。

茲に全島各位に對し本事業の經過を報告し、併せて關係職員各位に其の成功に對する余の深甚なる謝意を表します。

――大正十四年十二月於東京――

時報

臺灣軍の大觀兵式

晩秋の空は麗らかに晴渡つた十日午前九時、臺灣全軍大演習の終末を飾る觀兵式は總督府廳舍前に於て擧行された。定刻日下統監は馬上豐かに副官・參謀・幕僚等を隨へ州廳前より三線道路を東門に右に曲り、總督官邸前に迄整列せる歩兵第一・第二聯隊、徒歩重砲隊、山砲兵を順次閱兵した。閱兵を終つて統監が總督府廳舍前に到れば、諸隊は篠原諸兵指揮官の號令一下、嚠喨たる喇叭の音と共に一齊行進を起し分列式に移つたが、武威堂々一絲不亂、軍旗竿頭の十六の御紋章は金光燦然として照り輝き、折柄の烈日に文字通りの劍光帽影、錦繡を見るが如く壯觀を極めて九時十五分式を終つた。

臺灣醫學大會

第二十回の臺灣醫學大會は十四日午後一時半より二日間臺灣醫學專門學校講堂に於て開かれた。當日の出席會員約二百名、開會第一號鐘と共に來賓伊澤總督、後藤總務長官その他官民多數臨場、會頭堀内次雄博士開會の辭を述べる。幹事小島鼎二氏より會務報告あり。次で全一年中に死亡せる會員の靈位に對し全員一同起立暫らく默禱して敬弔の意を表し、次に高木獎勵金の當選論文授賞者丸山芳登、宮原敦二氏は滿堂の拍手を浴びて賞を受け、堀内會頭の式辭演説があつて來賓の祝詞に移り、伊澤總督は登壇祝辭を朗讀す。續いて京都帝大を代表して烏潟博士、滿洲醫學會を代表して盛博士、民間側を代表して小宮元之助氏各祝詞を讀み式を終り、總督其他來賓中任意退場、次で特別講演に入つたのである。

伊澤總督祝辭

第二十回臺灣醫學大會を開催せらるゝに方り、茲に本官の諸君と相見ゆるは本官の欣幸とする處なり。惟ふに本會は多年一般の醫學特に熱帶醫學の研鑽に從ひ以て本島醫務行政の確立に資する所多く、殊にペスト・赤痢・寄生蟲の研究の如き其功顯著なるものあり。然りと雖も本會の使命は前途益々多端なり。庶幾は黽勉努力以て邦家一般の期待に副はんことを一言蕪辭を述べて本會の隆昌を祝す。

後藤長官上京

農業金融機關の新設、臺灣大學の計畫變更等重大政務打合せの用務を帶びた後藤總務長官は、十六日午前中總督官邸に於て打合せをなし午後二時三十分河野厲

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を隨へて上京の途に就かれた。

臺北州警察展覽會

「讀む展覽會」と銘打つた臺北州警察展覽會は二十一日から向ふ五日間遞信局跡、樺山小學校、細菌檢查所等を會場として開催された。各方面からの出品多く數千點に上り、目が廻りさうに陳列されてあつた。第一會場たる遞信局跡では初め保安館として交通に關する模型或は器具が所狹き迄に陳列されてあり、次に消防館では消防に關する器具模型等、防危館では刑事關係物件等があつた。此棟續きに高等館・警務館・度量衡室・娛樂館等があつて、各館共觀る可き材料豐富で倦くことがなかつた。此外兒童館等もあつて小兒等の喜びの的となつてゐた。

第二會場たる樺山小學校內雨天體操場には理蕃館と市の出品になる水道館及下水便所の清潔宣傳をした模型等を陳列してあつて異彩を放つた。

第三會場は細菌檢查所で此所には衞生に關するものが多く衞生普及には好參考品が澤山あつた。

要するに各會場を通じて讀むもの見るもの多く、當局が空前と稱したのも宜なるかなく頷せた。それかあらぬか連日觀覽者絕へず、日延をした樣な盛況であつた。

臺南神社列格祭

思ひ起す三十有二年前北白川宮能久親王殿下には本島治立の基を定め給ふや、御傷はしくも臺南の旅舍に於て神去りましたのである。宮のありし日の思出を偲ぶ八萬の臺南市民が永く鎭護の地たるべき宮居の列格を俟ちわびる事七年、今や市民の熱誠は天に通じ抃舞勇躍すべき喜の秋は至つた。十一月二十二日市內各戶は皆業を休んで國旗球燈を揭げ等しく奉祝の意を表したのである。勅使伊澤總督は黑の衣冠清々しく自動車に乘じ臺南神社に向はれ文武官民五百著席と共に修祓の式が行はれたのである。

皇孫殿下御降誕

「皇太子妃殿下本日午後八時十分御分娩內親王御降誕御母子共御健全に亙らせらる」との宮內省發表は天下赤子に喜びの感激を與へ、皇運益々不易なるを思はしめたのである。總督府廳舍高塔より響き流れる長鳴二聲は喜びの聲と聞へ、市民一同は歡喜其措く所を知らなかつたのである。

攝政殿下の御德望は久しく國民の仰ぎ懷く所であつた。殊に御年若の頃から、御父君陛下に代つて繁劇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる政務を御覽遊ばされ、僅かの時日があれば親しく地方を巡遊して宮中宴居の樂みを征途の勞苦に御代へなされた事は心ある者の常に感激して止まざる所であつたが、しかも未だその至情を表白するの機會が與へられなかつた。

今度の御慶事の都市と農村とを通じ久しい前から殆んど公の問題となり、老少男女の差別なく國内一致の希望と懸念とをこと〳〵く此の御報道に集注して居たことは、實に珍らしい社會の一現象であつて、日本人自身でなければ到底その微妙なる理法を理解することが出來ぬ。かくの如き純なる一致は、卽ち大なる力であつて國民は之に據つて尙生存に關する共同なる理想を抱き、平生若干の利害抵觸を踏越へて、更に强固なる結合に向つて進む事が出來るのである。願はくば、この日を平和の一紀念として萬民を子とし愛し給ふ大御心に基き民族相互の同情に一段の擴張を試みたいものである。

こゝに謹みて皇室の繁榮を祝し奉つると共に、小さき姬宮樣の淸く美しい御成長を祈り御母妃殿下の御感化によつて、永く女性の和氣を以て日本の社會を指導し給ふべき日の來らん事を期望する。

御命名式

十二月十二日宮内省告示にて「本月六日午前八時十分御誕生あらせられたる内親王御名を成子と命せられ照宮と稱せらる」との發表があつた。臺北市及其他各地では盛大なる祝賀會を開き此の佳き日を壽いだのである。

中野編輯退社

本誌編輯主任として、永年本誌の爲めに心醉せられし中野顧三郎氏は、都合に依り舊臘遽かに退社せらるゝ事となつた。同氏積年の功に對して玆に深甚なる謝意を表すると共に、此段不取敢讀者諸彥に謹告する次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣拓殖會社の設立を望む

野呂寧

臺灣總督府は臺灣拓殖會社の創立を計畫せられ、其成案を揭げて今や中央政府と接衝中で、其內容として新聞紙の報ずる所に依れば、臺灣の產業を振興增殖せしむる爲に產業資金の融通と、土地の開拓灌漑排水工事の施行等耕地改良を目的とするもので、政府は田畑等の有租地及他の國有林野を出資財產として千二百萬圓を負擔し、別に八百萬圓を民間株主より募集して總額二千萬圓の株式會社とし、之に拂込金額の十倍に相當する金額の債券發行を許し、之に依りて二億圓の融通資金を得らるゝもので、尙民間株主には八朱の利益を優先取得せしむるものである。

臺灣土地の全面積は三百七十萬甲で、內耕地は田三十七萬千餘甲、畑三十七萬三千餘甲、計七十四萬五千甲、養魚池二萬五千甲、建物敷地三萬五千甲、山林原野牧場等二百七十萬甲、道路河川二十萬甲にして、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國庫に屬するものは耕地田七千甲、畑一萬三千甲、計二萬甲、養魚池千八百甲、建物敷地千甲、山林原野牧場等二百五十八萬甲、道路河川二十萬甲、計二百八十萬甲を算し、山林原野牧場の內、官行施業地及學校林四十萬甲、開墾造林等の各種許可地二十三萬甲、計六十三萬甲は夫れ〴〵處分の定まれる土地で、餘の百九十五萬甲は未だ處分の定まらざる土地である。

以上の山林原野牧場中には河川整理區域、海岸地方の保安林解除地等の農耕適地及其他の可耕地を含み、現在及將來に涉り河川整理の完成又は保安林の成功に依り、或は開墾事業の實施の爲に田畑に開墾せらるべき見込地七萬餘甲と、蕃地中永久耕地と爲し得べきもの十萬甲を有し、別に西部海岸地方の干潟の干拓事業に依りて約一萬甲を得べく、合計十八萬餘甲の耕地を增加すべくして、臺灣の耕地は總計九十三萬甲に達すべく、又有用造林地及果樹栽培に適する林地は少くも百萬甲を得らるべしと信ずる。

田畑耕地の生命とも云ふべき灌漑工事は、支那時代より幾多の埤圳工事行はれて其利益を享くること多く、更に蒴仔埤圳・獅仔頭圳・后里圳の三大官營工事成り、又最近桃園大圳を完成し、嘉南大圳は工事中に屬し、水利事業の功果著しきものあり、又幾多排水工事も施行せられて土地の品位を高め、收穫を增加せしもの多きが、尙灌漑排水工事の施行を要するもの各地に多く、其成工に依て土地の生產を增殖するも多大なるべきは論を待たずして、臺灣總督府は夙に土地改良事業として普く全島の灌漑排水の調査を行ひ、其成案を得たのである。併しながら、之れが工事施行に要する經費は巨額にして、國庫も人民も其餘裕なきを如何せん。又開墾干拓の事業も其の容易なるものは大抵既に早く完成して、餘す所は比較的多額の經費を要する土地であつて、資金の融通に待つもの多く、又一般耕地も區劃整理小水路の施設或は土壤の改良に依て地位を向上せらるべきもの甚多く、殊に濁水溪・大甲溪・大安溪等の河川整理完成區域の如きは殆んど無斷開墾的の粗放の耕

作地として利用せられ居るも、之れに巨費を投じて灌漑水路を通じ排水路を施設すれば、肥沃なる水田を得らるべく、二林地方の保安林成功地の如きも同様排水路の施設に依り熟田となるべく、國家の富源を増すこと大なるは説明する迄もなく、要するに前記十八萬餘甲の新耕地を造成し又一般田畑の品位を向上し、良田美圃たらしむることは一つとして資金の供給を容易ならしむるより急なるはないのである。

造林事業は其成功收益に多數の歳月を要し、資金の固定を久しからしめ、併かも其利益の薄きものであるが、一方國家的見地よりして山地の造林は最喫緊の事業であつて、之に依て國土の保安を維持し、治水の功を收め、山地經營上最必要な事業に屬し、官行造林も亦行はれて其普及に努めつゝあるも其成績の著しくないのは主として資金の不足に由るものありとする。

農林產物の改良其の販賣等に就ても、順調なる資金の融通に依り益を受くるの大なるは云ふ迄もなく、之に依て奸商に乘せらるゝの損害を免れ、土地生產の確立を致し、產業の發展を促し、農林業家を窮乏より救ひて生氣潑溂たる產業立國の要素たらしむるものである。

說者或は曰く、農林業等土地に對する資金の供給は勸業銀行支店の在るあり、其の機關備はると。然り、勸業銀行は能く其資金の融通に應ずるも、其額多からずして其條件も亦甚だ嚴密にして、併かも資金の豐富ならざるものあり、到底現在臺灣の需用を充たすに足らない。或は又曰く、勸業銀行に特殊の保證と便宜とを與へて其資金を裕にし、貸出を簡易ならしむれば可なりと。然れども、勸業銀行は他に本來の使命あり、現狀以上に特に臺灣の爲に其の事業を擴張することは餘りに多くを望まるべくもない。又曰く、東洋拓殖會社あり、之れを誘ふ可ならんと。東洋拓殖會社は朝鮮・滿洲を目的として起れるものにして、既に其の重荷たるの感あり、此上臺灣の爲に忠實なる資本家たらしむるは望むべき限りでないと斷言する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の產業振作が單に農林業の爲に資金融通のみに止まらしめば、勸業銀行の利用、東洋拓殖會社の誘導も亦或は佳ならんも、余は夫れ以上に臺灣の土地開拓改良及造林の事業を實行すべき最有力なる機關を創設するの必要あるを信ずるのである。從來行はれたる開墾造林の如き小規模のものは、箇人又は小會社にても之を能くすべきも、大地域の開墾造林、殊に灌漑排水の施工に巨費を要し、目前直に收益を望まれざる開墾干拓事業は、最有力なる大資本の企業會社を要し、且比較的利益の薄く且多くの成功年數を要する此事業には、政府の援助を要するもの多く、灌漑排水工事を必要とする土地改良事業の如きも、亦同樣であつて、どうしても臺灣の爲に專らなるべき拓殖機關を要することは明白なる事實と信ずる。

此見地に依りて、余は夙に大拓殖會社の設立に依り濁水溪等の河川整理完成地域及二林原野の如き保安林成功地等の開墾を始めとして、普く全臺灣の開拓と耕地改良を希望したのであり、今回臺灣拓殖會社創立の議を聽き、臺灣の將來に一大光明を得たる思を爲し、速に其成立を見て未開地の完全なる開墾造林を成就し、更に普く灌漑排水の施設を全ふして土地の生產力を擴大し、臺灣產業の增殖を熱望するものである。

實に此種の事業は一種の利權の伴ふものゝ如く看做されて、利權屋殊に政商輩に乘ぜらるゝ虞あるもので、當事者の殊に警戒すると共に多數民衆の大に囑目する所のものである。まして臺灣の河川整理完成區域や、保安林成功地域等の如き國家及地方人民の勞資に依るもの多き結果を收むる場合は、特に愼密の注意を拂はねばならぬ。之れが爲には半官半民の合同會社に依り其一半を官が出資して相當の保護援助を與ふると共に、他の一半を無制限に普く人民に、且成るべく地方人民等に株主たるの機會を與へしめて廣く株式を公募し、不足を資本家に待つの手段に出づるを最適當とする。此意味に於ても臺灣拓殖會社の設立は最機宜に適し現下の臺灣に於ける最重要且有益の事業であることを確信し其成立を切望するものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

造林業や果樹栽培の増殖の事は暫く措き、只耕地の増加地力の増進が我國食糧問題に就て如何なる利益を與ふるかに就て少しく叙説して見よう。

臺灣現在の米產額は多く見て約六百萬石である。今余が計算せる耕地増加と耕地改良の結果は、四十五萬甲の完全なる水田を得て九百萬石の米を收穫せられ、しかも米種改良に依て其大部分が內地種米となるべきは明かであつて、臺灣の住民五百萬人に增加するとしても、尙少くも三百餘萬石を內地に移出し得て母國の食糧問題に貢献する少からぬを見るであらう。而して地方四十八萬甲の畑をも亦著しく其品位を向上して、甘蔗・茶・甘藷等の生產を增加して農產物の增收を來し、砂糖・製茶等の加工品の增加も著しかるべきは勿論である。

尙土地開拓の進步は農林業者の增加を要し、內地人移植の必要を誘導し、母國過剩の人口を移植して臺灣に有力なる母國農民を增加して同地の要素を堅くするの國家的大利益を導くことゝなるは、殊に慶すべきことである。

人或は會社の成立に就て危む者がある。實に資本金二千萬圓の會社の設立は容易ではない。しかし臺灣總督府は官租地及林野等にて千二百萬圓を出資し、民間募集は八百萬圓である。しかも此八百萬圓に對しては八分の利益を保證し、政府出資の千二百萬圓には民間出資に對する配當の餘分ある場合の外、利益の配當をなさないのである。官租地現在の年收は八十餘萬圓である、若し之れを民間會社の收益財產とせば、九十萬圓以上を得るは容易であり、之れのみにても民間出資の一割以上に相當する。況んや他に融通資金の利鞘は直に利益を產み、開墾造林の成功は順次其收益を增し、又成墾地の賣拂處分等に依る利益の少からざるは云ふ迄もなければ、會社の確實性を帶ぶるは些の疑を容れぬものである。

經濟界の沈淪疲弊せる現在に於て、新會社の成立を危ぶむ者もある。併し夫れは確實性の乏しき事業に對するもので、今でも有力なる資産家は資金の豐富に苦み投資の途なきに困まり居る狀況であるは明かな事實であつて、此種の有利確實なる會社の株主となり、又は債劵の應募者たらんと希望する資本家は決して少きを憂ふるの要はない。況んや經濟界は既に極度の悲境に陷り、今や囘復の曙光を認められ、一陽來復の新春と共に、一段の活氣の到來すべきは一般經濟家の齊しく唱ふる所であるに於ておや。又我臺灣にては、一種事業資本家の間には先年の大恐慌に甚しき打擊を蒙りて其囘復容易でなく、今でも困窮を脫する能はざる狀態にある者少くないが、一般殊に多數農民の間には農產物の增收と價格の高値とに依り、收益多大であつて懷具合大によく、銀行に信用組合に其他多くの現金を貯ふる狀態にあるのは近頃銀行預金の異常の增加に見ても明なる事實であり、而して彼等は此現金に依りて土地攫得に熱中しつゝあるのである。故に一旦此會社創立の發表あらば、爭て株式募集に應ずべきは疑を容れない、否喜で其株主たらんことを熱望するであらう。

斯く觀じ來て、臺灣拓殖會社が臺灣の產業をより以上に開發增殖して其天然の地利を充分に發揮せしめ、土地の利用を全からしめて純美なる樂土臺灣の眞價を發揚し、尙且優良なる母國人の多數を招徠して在來島人との融和同化に資し、堅實忠愛なる我日本南土の基礎を鞏固ならしめて當局の善政を賛助し、其使命を全ふすべく速に其成立を切望するの熱情は、門外漢として僅に其內容を新聞紙の發表に聽きて欣喜禁ずる能はず、我二十五年間の壯年時代を捧げたる親愛なる樂土臺灣の爲に所感を公開して大方の批判を仰ぐのである。

——大正十四年十二月十二日記——

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北京の宮城に漾ふ民國の情緒

後藤朝太郎

一　滿洲朝廷沒後の宮城哀趣

北京には今や民衆の風が最もきつく吹きすさんでゐる。春の蒙古風の砂煙は、北京城内と云はず、城外と云はず、一樣に吹き荒らし廻はるのである。始めての行人どもは此れ計りは全くどぎもを拔かれる位である。しかしこれは宮殿であらうと、賤が伏屋であらうと、萬里同風であつて、王公貴族にも道行く乞食にも同樣に吹き當たる。茶館飲食店であらうと、煤炭屋であらうと、同じやうに砂を投げつけられたやうに各戸の窓の隙間、どこからでも這入つて來る。市民は平等に之が爲めに困らせられるのである。ところが民衆の風はさうでない。北京民衆の蒙古風は思想の砂を投げ散らす。相手はいつも城内貴族の上流の社會にある。清朝

末路の廢帝宣統皇帝は、あへなくも此の民衆の荒風に狙はれて住み慣れた金殿玉樓の宮室から追ひ出されて了つた。新しい思想の風はどん〳〵と滿朝廷清室にきつく當たり、一時は廢帝も日本にまで亡命蒙塵せられんとしてゐた所が、天津に踏止まらる丶ことになり、今以つて天津租界に、見るも御氣の毒な侘び住ひに前朝榮華の昔を偲ばせてゐらる丶とは同情に堪へぬことである。

前清朝の榮えに榮えてゐた時分には嚴として民衆の拜觀などは全く許されてゐなかつた、その紫禁城ペイハイ北海の庭が、民國になると特別の許可さへあるものには許されるやうになり、それが最近には一般公衆の爲めに開かれ、售票處で票を求むるものには誰れでも入れさせると云ふやうになつた。その特に許可されて這入つたものは、その境内で色々と門錢や酒手をとられるから、結局高いものに付いてゐたのであつた。それが時代の推移か僅かの入場料で以つて北海内部どこにもねだられると云ふ所はなくなつた。これは確かに民衆の力のお蔭で、この空氣を作つたものと云へる。

北京の城内は一帶に水の景色に乏しく、その楊柳の雅趣はあつても、水を伴はない。その點が北京の景色の缺點とも云へるのである。されば南池子とか東華門北河沿邊りのやうに、僅か計りの溝の水があつても、大層貴く感せられる。若しそれ北海の如き大湖の水を禁裏に見るに至つては、實にこれが海の如き感を與へるは尤もな譯であると云へる。北京は天壇の景色もよいが、水の全くない爲め景趣を添へない。中央公園も水は全く少ない。所が獨り北海に至つては實によい。今日支那民衆を一定の入場料で制限しつ丶も之を縱覽せしむることになつたのは、大層よろしいことである、北海の風光山水は、その白塔の下、長廊の樓上遠帆閣邊りから海を隔て丶五龍亭の楊間に隱見せる趣を眺むるもよろしく、又景山が右方の空に高く聳えて仰ぎ見られ、下に蓮池の影淡く穩かに靜かに眺めらる丶ところも柔かく、實に何とも云へぬよい景色である。確

かに此の風光により、之を眺むるものは自らその心を緩和し得るものと考へる。時代の人々の叫びで、之をよくも開かしめたのは返す〴〵もよい事である。

北海に次いで、今やまた前清朝の宮中宣統廢帝の居室に充てられてゐた幾多の宮殿が大抵公開されるやうになつた。今迄は雲深く鎖ざゝれて、民衆には絶對に禁裏として祕せられ、黄甍玉樓金殿銀閣、全く龍宮の如き所であつた。すべての民衆の心のうちには、必ずしもこれら滿洲朝廷の美術的建築の優麗華美が、悉く人民の税を絞取つて作つたものだと云ふ風に考へてゐたものではあるまい。過激の言を吐くものは特にさも尤もらしく宣傳文にひどい事を言つてゐる。けれども、一般のものはそれ程にきつく考へてゐたとは思へない。しかし乍ら、大勢の空氣は次第に濃厚となり、北京大學教授李石曾一派の力がその急先鋒に活き、遂に三百年來住み慣れてゐられた滿族の雲郷清室からして、廢帝をば追出して了ふと云ふ一幕が演ぜられるに至つた。するとあと間もなく、その禁裡は民衆の爲めに公開せられ、高貴の調度寶物一切は、宮殿居室のあつた處すべてそのまゝの位置で吾人民衆の縦覧に供されると云ふ段取りに立ち至つた。古く清朝の時めいて居た時代から最近沒落の間ぎはまで、歐米各國の王室宮庭から獻納して來た寶石入りの寶塔型置時計は、その數だけでも幾十基あるか判らぬ位である。均窯鐵沙定窯から、染付の大花瓶類が銀象嵌の紫檀の桌上に飾られたるゆたかな感じは、その平素の生活のいかに華やかであつたかを思はしめるものである。その他その宮中の大客廳小客廳よりその竝びの控えの間、奥の書齋、手習ひの間から宮中女官だちの不斷の房室、化粧室、居間、その錦に、金襴緞子を用ひ來たれる小布團卓掛けのきらびやかさ、又その大膳所の司厨のあたりの規模、これら禁裏生活の面目を髣髴せしめる所の場面に、演戲臺樓閣の五彩、游亭涼亭の雕刻、大理石の華表、歩道、勾欄の輪廓がその緑陰に遮ぎられてところ〴〵に眺めらるゝあたりから、昔その宮中女官どもの、皇帝の玉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歩を運ばれるに供奉して散歩などせられ居たる景趣などありありと考へ出されるやうである。

二　九重の大奥に祕藏せられたる重寶の行衞

大奥深きところ九重の大理石宮殿のうしろに、又乾清宮の大殿がある。硯の方で珍重する安徽歙州の豆斑石の大板を數百千枚と堂前に鋪きつめてあるなど、之をむざ〳〵靴で踏まれるだけでも物惜しく勿體ない感じがするのである。北京は紫禁城內、太和殿、保和殿始め、清室各宮殿、各門樓閣のすべてを蔽ふ黃甍をば、長安大街北京館店のルーフ・ガーデンから大觀し展望を肆にすることが出來る。蓋し紫禁城の全體を蔽ふ黃色の屋根の榮華の氣分は、恐らく支那四百餘州の偉觀中での偉觀である。もし之を飛行機上より見るときは、一層その排置の樣子なども判然と見られて、綠蔭と黃屋との入り亂れたる色の樣子の美しさに幻惑される事と思ふ。今實地にその禁裏の各宮殿樓閣を親しく逐一觀て廻つて見るに、思ひしにまさる閃びやかさである。殊にその寶物の豐かなる點から云つても大變なものである、世には紫禁城午門內の武英殿、文華殿とその奥にある寶庫の三者を以つて清室時代の至寶と呼ぶものがあるが、この宣統帝宮室內の寶物を見るに至つては一層更にその奥底の知れぬものがある。幾度か燒失し盜出されたるものも可なり澤山あるも、尙大變な寶物である。

宣統廢帝の先きに天津落となりて以來、その宮室の寶物は擧げて悉く清室寶物善後委員會の手で整理調査せられて居る事は事實なるも、幾多の名品重寶は瑠璃廠その他の坊間の古玩店に售品として陳列されてゐるものがある。すり代へて寶物を持出すとか、色々道路の巷說は耳にするが、果していかゞ。又これらの寶物が今日法律的に滿人の私有財產たり得べきか、民國そのもの丶國有たるべきものか、總統府、執政府のもの

なるか、その邊につきても八釜しい議論があるやうである。宮中の五爪の龍を描きたる薄手の乾隆茶盌とか、又五爪の双龍の珠を爭ふ圖案を描出せる景泰藍即ち七寶の花瓶香爐の如き、隨分坊間で見るのである。どう見ても宮中の品である。親王家の寶物の流れか、それとも宮中からの下賜品でゞもあつたか、曰く云ひがたしである。支那と云ふ國は、よほど八釜しくしておいてさへ、持出す段になると何の事はない。大々的に持出すことさへある。軍閥が軍器を武器に勝手なことをしようとすれば何でも出來る。表の裏に又裏の道があるらしい。一般民衆の研究資料として陳列せられてこそ、始めて美味のあるものを、他の目的の爲めに散亂せらるゝことは返す〴〵も惜しいことである。

　淸室の拜觀の許されるのは每週土曜と日曜とに限られてゐたのが、最近に又水曜もよろしいと云ふことになつた。その觀る範圍が廣く、宮室の規模は餘り大きくはないが、しかしその數が多くて半日觀て廻つても疲れて了ふ。熱心になればなるほど疲勞の感じかたがひどい。見るものが餘りに多く、數百點や數千點ですまぬ。五回にも十回にも分けて見なくてはならぬ。一、二回ではアウトラインしか見られぬことゝ思ふ。

　しかし淸室もよく遊びに行つて仔細に隅々を見ると、相當に今日では毀れてゐる宮殿もある。廊下の廂房、壁は落ち、雨は漏り、軒の塗料は剝げて了つて隨分ひどくなつて居る所もある。見れば見るほど草蓬々で、そしてやがては狐狸の巢になりはせぬかと思はれるところもある。

　淸朝も末期になつてからは、餘り營繕の方もさうその隅々まではやれなかつたのではないかと思はれる所がある。實際その淸室の地域範圍はひろく、日光の陽明門のやうなところが幾つもあつて、それを繰返してゐると思はゞ大體髣髴されるのである。しかしその廢帝の居室などは餘りに狹いところであつて、その平生は籠の中の鳥のやうな氣持ちがしてゐたであらう。淸室の全體を一まとめにしても、總體籠の中に入れられ

たやうなものである。宣統帝自身は、何もその地位が嬉しいとも誇りとも思つてゐなかつたであらう。天子よりも人民自身の方がどれ位自由で氣樂で、またどこへでも出て行かれる。之を榮華の權化の如くに見るのは、滅多に金殿玉樓を見たことのない民衆の想像であるに過ぎぬとも云ひ得るであらう。人間の氣持と云ふものは、いつもその中にゐるものはそれ程にうれしく感ずるものでない。免疫になつてゐる人の金殿生活は、平民の弊屋生活と主觀的に云へば同じやうなものである。

三　高所大所より觀たる支那王公の生活

自分共はときたま北海に遊び、遠帆閣の蕃館茶館で食事をとり、下に畫舫を眺めて北海景山を前に箸をとる。實にその情趣景趣はよく感ぜられる。又時には小舟をやとひ、對岸、五龍亭茶社に遊び九龍寺を訪ね、湖畔楊柳の下のベンチに凭りて湖上高く景山の秀麗の詩韻を味ひ、又湖水に景山の倒影をうつせる趣に恍惚として見とれる。四百餘州の天子として籠の内に呻吟するよりも、隨時、支那に遊び北京に入り、舊友と語り、北海の詩詞に觸れ、胡弓の音を賞し、清室の昔を偲んだりして呑氣にやつてゐる。そして支那全體を、趣味的に自分は我が游歷の大きな庭だと心得ておく。時にはその庭の一隅に土匪や戰亂の始まることもある。構はない。どこ迄もそのうちで北京は我が庭のうちの秀麗なる部分であると見る。そしてその中でも、特に北海と清室は古の滿人の殘した屈竟の庭園樓閣であるから、之を我が物として大きく清く文學的に見ておく。支那を見るには此の流儀の見方をしてゐるのが一等罪がなくて、そして趣味が出る。つまり支那全體は我が大庭であると見る。古人は「天地吾廬」と云つてゐるが、自分は支那は我が書齋の延長である。書齋の大庭である、とかう見たいのである。そこには滿人貴族の興亡もあつた、お氣の毒な宣統廢帝もゐられる。親王貝

勒の子孫で一層お氣の毒なのもゐる。その昔榮華の夢をむさぼつてゐた連中の屋敷うち、建築美、古美術の類は今日民衆の前に公開されてゐるから、それはいつでも吾人の自由に目睹し得るものとなつてゐる。何等心配なくして之を研究材料にすることが出來るのである。

支那の民衆的氣分は今に始まつた譯ではないが、此の考を支那觀のプリンシプルとすることは根本的に必要なことである。支那はいつの時代にも民衆百姓（セイ）を對象の一つとして見なくてはならぬ。帝王でも何でも民衆百姓と沒交渉になつた時には追出され、引づり落とされる。今や支那の大庭園には北方から非常な力で以つて一層その民衆の意志が實現されて來るやうに成つた。個人の庭園でも、公開開放の機運の盛になつて來たのと同じやうに、支那北京あたりでも同じやうな大勢の力に支配せらるゝやうになつて來た。滿人貴族その人にはお氣の毒である、しかし時勢の上からはこぼしても仕方がない。沒法子である。北京大學に新しい空氣が這入つて激烈なる議論も闘はされてゐるが、要するに、これも北方の思想をかりて支那在來の民衆思想、偕樂の氣分を擴大再現しつゝあるに過ぎぬ、と見る可きである。

世人は支那の赤化に就いて、その言葉の音の響に對して恐るゝこと夥しく、むしろ滑稽なるものがある。しかし支那の人士は輕々に他國思想にかぶれて自らを危くするやうな智慧の淺い民族ではない。赤化を看板にしてその長所を取入れ、自分達の歡樂幸福の生活を進めて行かんが爲め今一層民衆的の色彩を濃厚にして行くことであらうと思ふのである。高所大所より觀たる支那王公の生活、金殿玉樓の夢も、詮じつめると民衆に理解のないものは累卵の危きと一般であつて、いつ何時覆されたり引摺り落とされるか判らない。この邊の事をよく考へるならば、こゝに北京宮城禁裡に漾ふ民國の民衆的情緒の眞相を味ふことが出來るのである。（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

さくなだり

――故伊能嘉矩氏遺稿――

蕉鹿夢

日本人が最古信念の顯はれなる祝詞の中に、『山々の口より、サクナダリに下し賜ふ』といひ、又『サクナダリに、おちたぎつ』といへる語がある。國語にて、ナ行音(N)とラ行音(R)とが相通であるから、サクナは卽ちサクラであつて、櫻の純種たる山櫻の密聚せし花瓣が、風のまに〱、雲霞の如く飛び散る絶對壯観を形容したのであり、ツマリ其散際のあざやかさは、由來生命に未練の執着を持たぬ我が國民性の標榜と認められ得る。近江に散久難度の神と申す古祠はあるが、蓋しサクナダリの神の轉約で、件の飛び散る櫻花の精を、神格化したものかも知れぬ。そして蜻蛉日記に、サクラダニなる祓の名所を、サクナダニに作つてあるなども、旁證の一つである。

神代紀に傳へらるゝ尊重すべき神話に據るに、天孫ニニギの命の、日向の高千穗の峰に降臨ましゝ後、或る日海濱に遊幸あらせられ、偶ま行き過ひたまへる國津神オホヤマツミの娘に向つて、結

婚を求められた。其時父のオホヤマツミは、姉のイハナガ姫と、妹のコノハナサクヤ姫とを奉られたるところ、ニニギの命は、巖の如き堅牢不變を代表する姉神を斥けられて、花の如き盛衰無常を代表する妹神を娶られたので、姉神が慙恨の詛(のろひ)に因りて、世人短命の縁となつたといふ事を載せてあるが、抑も此神話の歸結には、外來思想を加味せし撰者の手に、古意を曲解されたる痕迹を免かれず、要するに、神話自身の内容は、彼のサクナダリの眞想を具體化せんとするに外なかつたのは、言ふまでもないであらう。

さて之に因みて、ゆくりなく想ひ聯ねらるゝは、謠曲櫻川の趣味ある結構で、其筋は、昔、櫻子といへる幼兒、母の貧しきを救はんがため、人商人(ひとあきうど)に身を賣り、東國に下りしかば、母は悲みの餘り、狂亂して後を慕ひ、遙々尋ね來りて、常陸の櫻川に再び邂逅するといふ悲喜劇の一齣で、コノハナサクヤ姫を初め、櫻子・櫻川・櫻馬場・櫻魚など、有らゆる櫻に關する名を列ね、散りかふ櫻花の下を背景として、全篇花に始まり花に終る、狂女物中の一傑作と稱せられるが、詮するに、例のサクナダリてふ古語を骨子として、潤色せられたる創意かと見なされる。

彼の人口に膾炙する本居翁の敷島の大和心の名歌の如きは、之に比ぶれば、何となく澆季纖巧の情調蔽ふべからざるものあるやうだ。是れも近き徳川期の成語であるが、『花は櫻木、人は武士』と謂はれたる我が武士道鼓吹のモットォに至りては、遺憾なく古代信念の把捉を就し得し點に、一日の長がある。

――臺灣時報の紙上四月八日臺北州草山附近大屯山麓に櫻樹三千本を植ゑ付けられしといへる記事を閲して――

理蕃政策として蕃麥を論ず

臺灣總督府囑託　鷹取田一郎

第六章　蕃麥奬勵法を論ず

第一節　山岳農業

臺灣の生蕃を敎化し、蕃界を開發するには、果して如何なる方策を取るべきかは、自から一箇の問題たるべし。生蕃人の斷じて敎化す可からざる種族に非らざることは、各種の事例已に之れを證して餘りあり。努めて之れを撫育し、之れを誘導するに於ては、遂には順良なる國民たらんこと固より必然なる也。然れども彼等は今尙ほ原始時代より遠からざる生硬なる人類なるを以つて、容易に駕御する能はざるのみならず、往々にして反抗の氣勢を示せり。今生蕃の心理情態を考ふるに、彼等が他の民族に向つて慓悍なる行爲を敢てする所以のものは、要するに生存問題にして、先天的に人類殺害を特性とするものには非らざるべし。若し夫れ彼等の生活を安全ならしめ、進んで其の生活を向上せしめ、且つ之れを保障することを以つて、彼等を安堵せしむるを得るに於ては、何を好んで危害を他人に加ふることを爲さんや。窮鼠は却つて猫を食ふ。是れ卽ち生活の安全を保障せざれば也。

彼等が猶ほ臺灣の全島に盤踞せる時代にあつては、彼等は多く漁獵を以つて其の活計を求むる生業と爲し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たるもの丶如し。支那人種の平地を蠶食して、漸次彼等を山中に壓迫するに及んで、始めて現今の如く山岳に棲息するの已む能はざるに至り、生活は益々困難と爲り、氣質は益々獰猛と爲り。遂に現今の形勢を作りたるに外ならざるべし。彼等は祖先傳來狩獵を以つて男子の天職なりと信ずるを以つて、山岳中に退嬰するを以つて敢て之れを意とする無しと雖も、既に多少の穀食を覺へたる後に至つては、是非とも耕作地を必要とせざる可からず。崔嵬峨々たる萬山重疊の間に於て、之れを求むるは極めて難事たるを以つて、人種競爭上その壓迫者に對して怨恨を含むは當然なりとす。是れを以つて生蕃を統治し、之を敎化するには、彼等に農業上の智識を與ふるを以つて極めて必要と爲す也。彼等の生活狀態は現に半獵半農主義たる也。此の主義たるが故に彼等が高價を拂ふて贏ち得たる銃砲は、實に生活上の利器として片時も手放す能はざる所のものなる也。近時理蕃政策上唯一の方策として、彼等の兇器を押收したるは、固より時に取つての良策たりしに相違無きも、既に生活上の利器たる鐵砲を押收したる以上は、少なくとも之れに代はるべき生活上の利益を與へざる可からず。臺灣の安寧の爲めに、生蕃をして其の銃器を犧牲に供せしめたる權力者は、復た隨ふて彼等に生活上の保障を與ふるの義務なかる可からず。是に於て乎、蕃界農業を攻究するは臺灣の急務なりと信ず。半獵半農主義の蕃人をして全く農業主義の生活を爲さしむるは、實に銃器を押收したる政廳の任務ならざる可からず。

蕃界の農業を發達せしむるは、極めて困難なるべし。廣漠たる平野に於ける普通農業に在つても、之れを改良し、之れを發達せしむるは極めて困難なる事業たる也。況んや臺灣の蕃界の如きは、海拔四五千尺乃至七八千尺以上に及び、地面は頗ぶる急峻なる勾配を有する地勢なるを以つて、決して普通の農業を以つて之れを律する能はざる所、必らずや此の蕃界に適當なる特種農業の方法を考案せざる可からず。普通農業に關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しては既に多數の學者ありて之れが研究を怠らずと雖も、蕃界に於ける農業は將來果して之れを如何にすべきやと云へる問題を捕へて、之れが方法を議せんとするに當つては、現時の該博なる農學者と雖も、恐らく茫然として其の答ふる所を知らざるべし。是に至つて余は假に名づけて「山岳農業」と謂ふ可き特種の農業を研究するの急務なるを信ぜんとす。果樹栽培。藥草栽培。芭蕉・椶櫚・龍舌蘭・サイザル・等の如き工業原料たる植物の栽培。食用菌類の繁殖。百合・薯蕷の如き宿根植物の栽培。黍・粟・陸稻・豆・玉蜀黍等の栽培。其他森林植物の苗木養成等の如き、極めて山岳地帶の作業に適當すべき耕作物を擇んで、之れが利害得失を研究し、或は養雞・養豚・牛・羊等の牧畜・養蠶・養蜂等の副業に就きて其の適否を調査し、特種の山岳農業を盛んに研究して、彼等蕃人の生業を振興せしめ、彼等の生活を向上せしめ、以て能く其の生活の安全を保障するに足るべき具體的の成案を取つて、之れを彼等に授くるは、現時の最大急務たらざる可からず。若し夫れ銃器を押收したる臺灣の政廳にして、速かに此擧に出でずんば、單に人道上見るに忍びざる所たるのみならず、梗化なる蕃人は愈々益々梗化ならんとする也。

山岳農業を研究するの急務なること前述の如し。然れども是れ余に於ては別問題なり。何んとなれば、此等の事業に關しては既に自から之れに着眼せる斯道專門の學者あるべし。余の如き門外漢の敢て容喙すべき所には非らざる也。唯だ余は蕎麥に關して幾多の經驗と意見とを有するが爲めに、前述の如き必要を有する山岳農業の一端として、蕎麥の耕作を取つて之れを蕃人に奬勵するの適當なるを說かんとするのみ。蕎麥の耕作が山岳農業に適當なることは、已に第二章に詳論したる所、此に重ねて說明するの必要あらざるべし。人若し余の主張に一顧を與ふるの價値ありとせば、請ふ虛心坦懷を以つて余が此に陳んとする蕎麥史論の結論を三省せよ。余は蕎麥耕作の奬勵を三期に區別して、その方法を論じ、以つて之れが實行を促さんとはする也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二節　第一期の蕎麥奬勵法

余は蕎麥に對して多大の希望を有する者なりと雖も、余が理想の總てを擧げて、之れを事實の上に顯さんとするは、到底容易の事業に非らざる也。故に余は第一期の蕎麥奬勵法を取つて、先づ之れを臺灣の蕃界に施行せんことを熱望す。夫れ彼の蕃人を限らず、凡そ世上の農民なるものは極めて保守主義なり。何事に於ても舊慣を墨守して深く之れを固持し、毫も新たなる事業に移つるを好まざるは、殆んど農民の通性たる也。況んや彼の蕃人は蒙昧なる頭腦を有せるが上に、常に異種族に對する猜疑心を有するを以つて、容易に新事業に著手せざるは必然也。之れに對して蕎麥の耕作を奬勵し、彼等をして蕎麥耕作の趣味を悟らしめ、且つ蕎麥耕作に適當なる土地を確認せしめ、蕎麥耕作の利益を自覺せしめ、蕃界に於ける蕎麥の生産額をして、彼等の食料以外に増進せしめ、多少にても年々歳々蕎麥を取つて蕃地以外に搬出するに至る迄、之れを奬勵するを最初の政策と爲さんとす。是れ余の所謂蕎麥奬勵の第一期事業なり。

先づ臺灣總督府は其の歳出豫算に於て、年々約五萬圓を以つて、勸業費中の蕎麥奬勵費に充てしむべし。此の金額は蕎麥耕作奬勵金、種子購入費、諸器具購入費、技師及技手其他職員の俸給及び手當・旅費・通信運搬費等に支辨するものとす。

既に此の方針の確定せられたる以上は、蕎麥耕作に關して相當の知識を有する技師及技手其他の役員をして、其の業務を擔當せしめ、先づ蕎麥の種子を購入して著手の準備を爲さしむべし。斯くて準備の整頓したる時は、蕃務官吏と照合して、蕃界の形勢を視察し、蕃人中苟も確實に我が政府に好意を表するの行爲あるものに限つて、蕎麥の種子を授與し、且つ之れに對して慇懃に耕作法及食用法を教授して、其の栽培を指示すべし。斯の如く種子を頒與したる後、相當の時季を計つて技師及び技手を巡回せしめ、實地に就きて、蕎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

麥栽培の方法を教授せしむべし。更に其の耕作を完ふして、多少にても收穫を上げたるものあらんには、卽ち其の蕃人に對して挽臼と篩とを給與して、之れに食用法を教授することを怠たらざるべし。

著手の順序は先づ斯の如しと雖も、蕎麥の耕作に適當なる土地を確認するに至るは容易ならざるべし。何となれば、元來蕎麥は他の穀物に比し極めて簡易なる耕種法なりと雖も、蕃人をして蕎麥の性狀を知悉せしむること、既に容易ならざるのみならず。蕎麥の耕作に適當なる土地に逢著するは又た容易に非らざる也。獨逸のオーデン、ワルド、我國の信濃地方、朝鮮の江原道等に比して臺灣の蕃界も亦た其の蕎麥に適するを知るは勿論なりと雖も、畢竟概括論にして果して蕃界に於て、如何なる土地に適當なるべきかは、到底幾多の試驗を經たる後に非らざれば、之れを確認する能はざる所たる也。故に最初は深く此點を考慮することなく、單に蕃人の投誠心をのみ標準として、可成多數の種子を授與し、可成その播種地の面積を廣大ならしめんことを努め、蕎麥の成育狀態を仔細に觀察して以つて、その適應すべき土地を認定せざる可からず。

之れを舊き歷史に考ふるに、元正天皇の養老六年七月に、天下の國司に敕を下し、百性に勸課して蕎麥を栽培せしめ給ひ。更に又た仁明天皇の承和六年七月には、畿內の國司をして蕎麥の耕作を勸誘せしめ給ひ。同承和九年七月には太政官符を以つて蕎麥の播種を勸課せしめられ、國司、介以上一人をして專ら其事に當らしめ、勤めて巡檢を加ふべしと發令せられたり。當時の實況は到底之れを窺ひ知る能はざるも、當時未だ蕎麥の適地を確認するに至らず、努めて諸國をして之れを播種せしめ給ひ、多年の經驗に由つて遂には、信濃・上野・下野・江州伊吹山等の適地を確認するに至りたるものにして、最初は其の適否を論ずるに遑なく、普く諸國をして播種せしめ給ひたるもの丶如し。蕃界に於ける蕎麥栽培も亦た此の方針を取らざる可からず。

假令一目にして其の適地ならざるを知ると雖も、苟も善良なる蕃人ならんには、多量の種子を交付して、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その播種を爲さしめ、幾度となく地を變へ、時を異にして之れを耕種せしめ、蕎麥の適地と完全なる耕作法とを覺知せざれば止まざらんとするの決心を以つて、之れを奬勵するを必要と爲す也。斯の如きは、卽ち蕃人と相提携して以つて山岳農業を研究する所以にして、蕎麥の生產額は必らずしも豐富ならずと雖も、蕃人を薰化する方面に於て、旣に多大の進境を見る可きのみならず、山岳農業に關する智識も亦た之れに由つて開發せられざる可からざる也。

彼の高崎藩士大石久敬の原著に對して、信濃の人東條琴臺の增訂を加へたる「地方凡例錄」に說明せるが如く、蕎麥の耕種は切替畠の方法に由らざる可からざること、已に第二章に說明したる所の如し。今蕃人の疎雜なる農業を見るに、山林を焚きて其跡に耕作地を求むるの風習あるは、旣に切替畠の方法を會得するの素地たらざる可からず。林學士賀田直治氏の「臺灣中央山脈橫斷記」大正三年九月印行を見るに其の第三十二頁「蕃人の赤楊造林」と題する項中に「蕃人の耕作地は多く傾斜面にして數年耕作の後に至り、地力耗盡して收獲を望む能はざるに至れば、常に赤楊を栽培して休閑せしむ。更に七八年赤楊の生長を待ち、之れを燃料又は用材として伐採し、然る後再び開墾地に變ず。蓋し赤楊の根瘤には「バクテリヤ」を有し、土地の膏腴力を恢復するに特效あるなり」云々。是れ埔里社の奥に當れる合歡山附近の蕃人に就きて見たる所なれば、他の蕃社に於て果して斯の如き習慣あるや否を知らずと雖旣是一種の切替畠なり。故に此等の耕種法を習熟せしむるは、敢て難事に非らざる可し。且つ蕎麥の切替畠は、赤楊の如く七八年を要するものに非らず。隔年に之れを行ふものなるを以つて、蕃人が蕎麥の耕種法を會得するも亦た敢て困難ならざる可し。斯く已に蕎麥の耕作に誘ふ可き素因は全く備はれるを以つて、蕃界に於て此の事業の成功せんことは、余が深く信じて疑はざる所、若夫れ其の管轄內の蕎麥の生產額を比較し最高額を得たる地方の蕃務官吏に對して、相當の賞金を授與するの方法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を定め、之れを競爭せしむるの政策を講ずるに於ては、蕎麥奬勵の第一期に於ける目的は數年を出でずして、之れを達するを得んこと、實に秦鏡を照らして醜美を視るよりも炳然たり。復た何の疑ふ所か之れ有らむ。

第三節　第二期の蕎麥奬勵法

蕎麥の播種耕作を以て山岳農業研究の急先鋒と爲し、以つて蕃界を開發し、以つて蕃人を薫化し、臺灣全面積の約二分の一以上を占有する太初鴻荒の別世界をして、全く人文發達の皇土たらしめんとするは余の理想也。第一期の蕎麥奬勵時代に於て、此の目的に向つて猛進せば、必らずや蕃界に於ける蕎麥の產額をして、蕃人の需用以上に增進せしむるの時あるべし。是れ果して五年の後なりや、十年の後なりやは固より豫じめ期す可からずと雖も、蕃界農業開發の爲めに、蕃人の生活を安全ならしめ、半獵半農の主義を放れて、全く農業主義の生活情態を完成し、その恩澤に膏潤するの結果として、蕃人の老弱男女相擧つて聖代を謳歌するに至りたる時代は、直ちに是れ蕃界の蕎麥が爭ふて臺灣の市場に運搬さるゝの時代ならざる可からず。是に於て乎、第二期の蕎麥奬勵法を講究せざる可からざる也。

若夫れ蕎麥の產出額にして漸次擴大せらるゝに至れば、如何にして之れを消費せしむるかを考慮するの必要あるべし。蕃界に在つて之れを耕作するに當つては、固より蕃人をして蕎麥の食用法を了知せしめ、彼等の食料に充當せしむるは勿論にして、第一期の蕎麥奬勵時代に於て、已に之れを努力せざる可からず、然れども蕃人の食物に適當なる蕎麥燒餠・蕎麥掻・蕎麥煉・蕎麥粥等の如き簡易なる食用法を取らしむるのみにして、完全なる蕎麥麪の製方は容易に彼等に望む能はざるべし。故に蕎麥奬勵の第二期に於ては、製麪法を改良して、普く國民の補助食物に蕎麥を使用せしめ、蕎麥の消費額を增進せしむるの政策を講せざる可からず。是れ卽ち間接に蕃界の蕎麥耕作を保護するの方法にして、復た國民の食料問題を調節するの道程に上る第一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歩たる也。蕎麥麪の改良を以つて、之れを國民に普及せしめんとするは、實に第二期の蕎麥奬勵法なりとす。

蕎麥麪は又た熱帶地に於ける適當なる補助食物たる也。現今臺灣に於ける蕎麥屋の營業戶數を知らず、隨つて內地より臺灣に輸入する蕎麥の數量を知らずと雖も、實際に目撃せらるゝ所の景況を以つてすれば、蕎麥屋は漸次發達しつゝあるものゝ如し。是れ食用法の簡便にして且つ高價ならざるものたるを以つて、漸く其の需用を增すに因るものたるべしと雖も、亦た其味の平淡にして且つ微寒なるもの、自然に暑熱中の身體に愜合する所あるに由らずんばあらず。蕎麥は其性寒なる者也とは唐の孟詵が已に其の食經に喝破せる所、余が前に第五章に詳述したる蕎麥麪の改良に依つて、完全なる理想的の蕎麥麪を製出するに於ては、熱帶地に適當なる最も佳味なる補助食物を得て、其の需用額は非常に增進し、隨つて蕃界に產出せらるべき蕎麥は、其の販路を擴大することを得べし。是れ臺灣統治者の當に努力せざる可からざる所ならずんば有らず。

第一期の蕎麥奬勵時代に於て蕃界の蕎麥耕作法を傳道し了りたりとせば、其の生產物の價格を保障し、蕎麥耕作の利益を悟らしめ、彼等をして勞働の價値、農業の利益、蕎麥の彼等が富を作る所以の產業たるを了解せしめ、進んで皇恩の雨露に浴する幸福は、全く此に存するを知らしむるは、實に第二期の蕎麥奬勵法奈何に由る也。豈に夫れその方法に關して覃思研精せざる可からざらんや。是に於てか余は蕎麥の專賣に想到せざるを得ず。

凡そ世の專賣法なるものは、理想上善良なる政治の目的に非らざるべしと雖も、苟も國家が國民の習性を矯正するの必要を認めたる時、又は國民の習性を養成するの必要を認めたる時、乃至或る物品の價格を調節して其の衡平を保たしむるの必要を認めたる時に限り、政府をして敢て之れを斷行せしむる政策にして、必らずしも國庫の歲入を增加せんとする權宜上の政策のみに非らざる也。臺灣に在つて阿片を專賣と爲せるは、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之れを漸禁して國民の保健に資せんと欲する所以なるべし。朝鮮に在つて曾て人參を關權したるは、其の耕作の紊亂を防ぎ、其の聲價を維持するの目的に出でたるなるべし。後漢の桑弘羊が始めて專賣法を考案し、酒・鹽鐵等を關權して府庫の充實を謀りたるは、支那史上の一波瀾にして、その之れに反對する幾多の論客は、滔々として辨難攻擊を試みたりと雖も、その酒を專賣と爲すは、國民の保健又は習性を矯正せんとするの意思なりしなるべく、更に鹽鐵を官保したるは、之れを均輸するの方法を講じたるものにして、當時反對者の論じたるが如く、必らずしも人民を苦しめ、國家の歲入にのみ、之れを誅求せんと爲したるには非らざるべし。第二期の蕃麥奬勵法時代に於て、之れを臺灣に於ける專賣品と爲し、內地より輸入する蕃麥も、蕃界より搬出する蕃麥も倶に之れを專賣局に於て買收し、更に蕃麥麫營業者に對しては理想的の製麫機を貸與して、其の原料を賣下ぐることゝなすべし。是れ蕃麥麫を改良して完全なる補助食物を國民に與ふる所以、國民の食料問題に向つて其の調節を與ふる最初の階梯ならざる可からざる也。

余は蕃麥の專賣が食鹽・樟腦・阿片・煙草の如き利益を生じて、國庫の歲入を增加せしむべしとは固より信せず。然れども此の方法を以つて蕃界の產業を發達せしめ、蕃人をして全く皇化に均霑せしめ得ると同時に、蕃麥の供給が、國民の生活費を調節するの端緒を開らくに於ては、幾何か蕃麥の專賣法に對して、國庫の補給を要することありと爲すも、亦た必らず厭ふべきには非らざる也。若夫れ之れに反して、多少の利益を國庫歲入に加ふるを得るに至らば、又以て奇妙ならずとせんや。

第二期の蕃麥奬勵法は之れを專賣と爲すに在り。是れ余が讀者に向つて深く猛省を願ふ所、吾人豈に單り奇辨を好むものならんや。蓋し自から信ずる所厚ければ也。

第四節　第三期の蕃麥奬勵法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

余は前述の如くに蕎麥の耕種を奬勵し、第二期の時代に於て、蕃界に於ける產額の已に豐富なるべきを見越して、爰に第三期の蕎麥奬勵法を說かんとす。

已に專賣局に於て蕎麥の取扱を熟練したる後は、蕎麥製粉所を臺灣と東京との二箇所に設置すべし。臺灣の製粉所に於ては、臺灣に供給する丈の蕎麥粉を製造し、東京に於ける製粉所に於ては、蕎麥麪營業者に向つて供給するを主要目的と爲し、進んで國民の家庭に於て、蕎麥粉を使用せしむるの習慣を養成せしむることに向つて努力すべし。是れ余が最後の目的にして蕎麥奬勵の事業は、此に始めて大成せしめざる可からざるなり。

蕎麥粉製造所に關する余の理想は、已に第五章に詳敍したる所の如し。此の蕎麥粉製造所にして、果して余の理想の如く設置せらるゝに至れば、臺灣は固より謂ふ迄も無く、東京の蕎麥麪は全く改良せられて、其の需用は益々增加せらるべし。江戶時代に於ける蕎麥の沿革の已に第四章に詳述したる如くなる以上は、改良進步は固より人の喜ぶ所、江戶時代の風俗を因襲し來つて、今尙ほ盛んに行はれつゝある蕎麥の需用は、更に現代に於ける國民の食料問題に制せられて、その補助食物を蕎麥に仰がんとするの傾向は、忽ちにして天下を風靡するに至るなるべし。果して此に至らば、蕎麥に對する余の理想は、此に全く遂行せられたるものにして、臺灣に於ける山岳農業の發達と、蕃人の薰化とは、不知不識の間に全く成功し終れるに至るべし。

余は曾て朝鮮に在て、蕎麥の製粉作業を見たるに、暑期に於ては、毫も蕎麥の乾燥に苦しむこと無しと雖も、冬期に至つては、實に之れが爲めに苦心するもの丶如し。然れども朝鮮の家屋は温突と稱して床下全部を竈と爲し、薪を焚きて室内を暖むるの構造なるが故に、蕎麥を温突の上に散布して、一種の人工乾燥法を用ゆるを常とせり。例の挽拔蕎麥を作るには、最も蕎麥の乾燥を要するものなるを以つて、朝鮮人の意を用ゆる

こと實に斯の如きものある也。然るに臺灣に在つては、日光熱を以つて之れを乾燥せしむること、又た頗ぶる容易なるを以つて、之れを挽拔くには、天然の便益あるべし。殊に臺灣に於ては、水田灌漑の爲めに埤圳を設くるの必要上、水力電氣を發生せしむるの利便あり。既に北部、南部及中部の發電所は設置せられて、將來尙ほ盛んに電力を供給するの設備は成れる也。各種の工業を考案して電力の應用を工夫するは、卽ち是れ臺灣に於ける官民の將に相倶に努力せざる可からざる所なるべし。蒟蒻粉の製造も亦た此の電力を利用するの便宜あるを以つて、低廉にして善良なる製品を產出せしめんこと敢て難事に非らず。東京に於ける製粉所に至つては、單に臺灣產の蒟蒻を用ゆるのみならず、內地に存在する長野・茨城・栃木・靜岡等諸縣の生產品を原料と爲すを得可きを以つて、更に善良なる製品を販出するは、期して俟つべきものある也。斯の如き事情なるを以つて、第三期の奬勵法も亦た有望たり。決して其の成功を疑ふ可きに非らず。要は蒟蒻に對して各種の完全なる智識を有する人物を得て、摯實に之れを經營せしむるの急を想ふのみ。蒟蒻の研究豈に夫れ忽諸に附すべけんや。

第五節　結　論

山岳農業の研究は直に以つて生蕃に對する根本的薫化策也。我國の信濃地方、朝鮮の江原道方面、獨逸のオーデン・ワルド等に於ける農業に其の模範を求めて、更に我が臺灣の蕃界に適應すべき耕作物を尋ぬれば、恐く此の蒟蒻を措きて、他に其の多くを望む能はざるべし。故に臺灣の統治者にして蒟蒻奬勵の眞意義を解釋し、山岳農業の大綱は、實に此に存する者なることを大悟徹底さるゝに於ては、余の願は自から足れり。その他の枝葉に至つては、斯道の學者及び技術家の批判を俟つて、或は余の主張を讓る所あるべし。要は蒟蒻を以つて生蕃を誘導し、以て天地の化育に贊せんとするのみ。豈又た余の千言萬語を費さんや。讀者請ふ輕々に看過すること無からんことを。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那內亂不斷の根本原因に關する一考察

上海東亞同文書院敎授　馬場鍬太郎

緒言

一九一一年の所謂辛亥革命以來、早くも十三—四年を經過したが、支那の政局は全く寧日なく殊に昨年來の混亂は益々甚だしく、今や又奉天派對反奉天派の戰亂酣であつて、實に紛亂其極に達して居る。此の現象は現時世界の各國が歐洲戰亂中の敎訓に依り國民の結束、原料品の自給自足を痛感せる結果による產業の開發に關し日夜努力奮鬪して居る狀勢と對比する時は、寧ろ啞然たらざるを得ないのである。

斯くも支那が紛亂の狀態に在る原因果して何處に在りやを考ふるに、固より幾多の原因が相錯綜し居るは云ふまでもないことで、之れを簡單に說き去るは至難である。又吾人は支那現下の政局に關し昨年來の江浙

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰爭とか、奉直戰爭とか、或は又今次の奉國兩軍の爭鬪とか云ふことに對し、其直接の動機を探索し樣とするものでもない。然し昨今の如く擾亂相踵ぐは隣邦日本にとり甚だ迷惑でもあり、又其擾亂も今後尙は永續するものと考へらるゝが故に、何故に支那の擾亂が已まぬかと云ふことに就き、其根本原因とも考へらるゝ二―三の事を述べたいと思ふ。蓋し吾人の考ふる所では、支那不斷の擾亂たるや其國情から見て必らずや大きな素因があるに相違ない。又其素因も支那四千年來の歷史から見て內亂の相絕へざる傳統的な根本原因の必在を確信するものである。

民國以後支那擾亂不斷の素因

民國創設以後に於ける支那不斷の擾亂は、其個々の政爭・鬪爭に對しては夫々直接の動機が存在して居たことは勿論であるが、然し其紛亂の素因は「中央集權と地方分權とを主張する者の思想上の確執に起因す」と思ふ。而して中央集權派中には武力統一を主張する者もあれば、又和平統一を高唱する者もあり、地方分權派に於ても亦所謂聯省自治を唱導せる者と、各省自治を讃美する者とがあつて、此等が互に相錯綜して思想上の確執をしたのである。加ふるに他方に於ては又軍閥、政治家の黨派的確執があつて、政權の爭奪、實力の保持等の爲め擅に抗爭を事とし、更に國土の廣大、習俗の差異、山川交通の阻隔は一層其紛亂を助長せしめたのである。但し以上は唯だ最近十數年間に於ける支那紛亂の素因に過ぎぬのであつて、更に進んで支那四箇年來の歷朝國政の實狀、或は南北國情の相違點等を考ふる時は、支那今日の擾亂は左程怪しむに足らざることを知悉し得ると思ふのである。

支那南北國情の相違

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の地勢を概觀すると、北には黃河の大流あり、中部には揚子江の長流ありて東西に支那大陸を橫斷し、南部支那では西江の流があつて各其流域の情勢を異にして居る。殊に黃・揚の二大河は、支那大陸を自ら二大別して南北の大平野を形成し、支那民族は人類の生活に最も好適せる此の二大沃野に群居して夫々支那文明の中樞を成し、各相獨立せる特質を造つた譯で、氣候及地勢上の相違は其文明の特質程度に於ても、又產業の狀態に於ても夫々異なる趣きを呈して居るのである。

元來北方の文明は孔・孟儒學の一派を爲す文明であつて、其敎義は一般に謹嚴・剛毅、其倫理道德の根抵は世界に比なく、所謂東洋道德の基礎を固めたので、政治・道德の學が大に勃興した。然るに南方文明は所謂老・莊派の文明で、北方の文明が常に人生の現在に於て努むる所ありしを輕視し、專ら過去・未來に其想像を逞しくし、率ゐては宇宙の大原理を研究すると云ふ樣な方面に沒頭したのである。此の南北兩派の人文に顯はれた相違は、卽ち民族の相違であつて、之れを戰鬪史上から見ても、北方の人物は管仲とか樂毅とか云ふ樣な沈毅溢面の荒武者を想像せしむるが、南方の人物は項羽の如き華かなる武者が肥馬に跨り白箭の筋を負ひ、黑弓を橫へたる花形役者を聯想せしむるのである。蓋し氣候其他地理的の關係が人性に對し顯著なる影響を與ふるは論ずる迄もないが、此の南北氣候の差異は、北支那住民と南支那住民とに對し物理上竝に精神上著しき差異を與へて其學派の相違をも來たした譯で、此等人文の相違は今日の情勢を以て見ても明かな事實である。卽ち北支那の氣候は嚴寒酷暑、且つ土地は南方に比して瘦せ所謂氣寒土苦の地である。從つて北支那の住民は自然に對し幾多酷烈なる爭鬪を必要とし、自ら强健なる體質と忍耐・剛健の氣質を養成し、進取・勇猛の風を成すに至つたが、中南部支那は揚子江流域の如き氣候温暖で、南方の如きは半熱帶的である。加ふるに土地は豐饒で其生活條件は北支那に比し極めて輕易であるが爲め、其住民は稍もすれば柔弱に流るゝの風を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

致したのは已むを得ないのである。即ち暖國物資の豊かなるに飽食し、所謂「足るを知る者は富めり」と謂ふ老子の言を實行したのであつて、此の足るを知るは結局進取の氣を損じ、奮闘・努力の勇を缺ぐのである。故に南方の住民は理解力にも優り、才幹にも富んでは居るが、徒らに改革を好んで刺戟され易く其堅實味が甚だ薄いのである。彼の廣東人が漸進的の美點を缺如して居ると云ふのは此の點を指すのであるが、然し革新を好むの結果は急進的であつて、領袖的人物に乏しくないことは今日支那政界の人物を見ても明かである。

要之北支那の住民は保守的ではあるが、秩序的であつて堅實味もあり、任務の實行に關しても男性的である。然るに南支那の住民は華かではあるが、何んとなく堅實味が少ない樣に考へられる。尤も南支那の住民と稱しても楊子江流域に屬する所謂中部支那と、珠江流域の住民とは之れ又大分差異があつて、楊子江流域は文化も進み一般に民主的平和の民が多いのである。再言せば黃河・楊子江及珠江三大河の流域は地勢上自ら支那を三大別するものであるが、各皆其特性を具へて居るのであつて、此の尨大なる支那國家の統一、國勢の發展を促進するには是非共此等の特徵を相調和するの必要を感ずるけれども、支那四千年來の歷史は其困難なるを物語つて居る。

曩にも述べた通り、北支那住民の進取の氣性と、南支那住民の柔弱さとは、支那四千年來の戰闘史上に於ても最も明瞭に其實例を示して居るのであつて、所謂北强南弱とか、或は又南方之富、是北方之資也とか、又は楚材晉用とか云ふ樣な春秋以來三千年來の警句を作るに至つたのである。蓋し支那の强力者は總て北方に起つたのであつて、夏・殷・周三代の如きも黃河流域に國を建て、漸次其餘力を楊子江流域に下して之れを併呑したのである。尤も春秋戰國の時には吳・越・楚等は南方に國を建てたが、永く北方に對抗することも出來ず、陝西に起つた秦の爲めに併呑された。其後の漢にしても又元・明・清等にしても、悉く北方の代表であつて、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日支那の統一問題を論ずる人の中で、强力なる北方民族が出現する迄は支那は決して統一されない、又現在强力なる北方民族ありやと云ふに、蒙古民族にしても、滿洲族にしても、今では最早昔日の勇がない、回族にしても世人の信ずるが如き强力なる者ではない、唯だ此間に於て、吾人の注目すべきは西比利亞民族ではなからうかと論ずる人のあるのは、此の北强南弱論から出たものである。

氣候の變化は、又產業方面に於ても幾多の差異を來たすのであるが、東洋人の常食とする米穀に就て見ても、北支那では米產がない。住民は專ら粟・高粱等を常食とするが、南方は米を以て主要の農產物とし、殊に江蘇・浙江とか、湖南とかは最も豐富で江浙稔天下不餓など、稱せらるゝのである。此の他棉花にしても又生絲にしても物資頗る豐富で、工業の進步が著しく優つて居るのは天惠の然らしむる所である。而して北强南弱の結果は、南方の富は常に北方の資となつたので、北方民族が黃河流域に國を建つる時は必らず南下して南方を征服し、豐富無限の物資を取りて北方に供給せしめ、更に財政も亦南方の富力に倚り豐かなるを得たのである。又楚材晉用と稱する警句も亦、南方の富を北方の資とした意味の句を爲すもので、楚は春秋の當時現今の湖南・江西に跨れる雄邦であつて、大江の中流に都を奠め、洞庭の大湖を控へ財貨の富、人材の多きこと天下に冠たるものがあつた。然かも「養ふ所は用ふるの士に非ず、用ふる所は養ふ所に非ず」で、當時黃河の中流、今の山西省を中心として直隸・河南の一部に國せる晉は、盛んに楚國の人材物資を利用し、遂に楚材晉用の警句を作つたのである。

猶ほ這に注意すべきは、支那歷朝の國都は、所謂天下統一の時代に於ても常に北方に在つたことである。尤も、明は國初南京に都したが、直ちに北方に遷移して北京に奠め、其他の大國も皆北方に都したのであつて、周は長安に都を奠め、秦・漢相繼ゐで之れに據り、後漢は長安を棄てゝ東方洛陽に居り、西晉之れに亞ぎ、隋・

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

唐・宋の間又悉く長安或は洛陽を根據とした。而して其間或は東晉と稱し、吳と呼び、或は南朝の宋・齊・梁・陳と云ふが如きは南京及其附近に都を奠めたが、此等は直ちに天下統一の力を失ふたのであつて、爾來元が蒙古に起り南方を威壓して天下を統一するや、再び國都を北方北京に遷し、明も亦前述の通りで、淸之れに代り、民國に及んだのである。而して其國都初め長安に在り、後洛陽及開封(宋は一時玆に都を奠む)に移り、更に北京に奠めたのは專ら交通の利便に從つたのであつて、更に又交通の發達するに及んで、進んで物資の豐富なる南京に國都を奠め得なかつたには深き原因がある。卽ち支那の統一は常に北方の蠻民族が唯だ武力のみにより中原を征服し、支那固有を採りて全盛時代を現出したもので、康熙・乾隆の黃金文明と雖も尙且然りである。從つて此等未開の北方民族が自己よりも俊秀なる文明を有する地域內に入る時は、直ちに之れに從ひ、自己固有の言語・風俗等も忽にして棄てねばならぬ事態に立ち至るは理の當然であつて、支那歷代の國都が多く北方に奠められ、進んで南方に設くることの出來なかつた一原因である。

斯くて支那南北の國情は其文明、住民の性質、產業の狀態等著しき差異のありしことは、恰かも黃・楊二大平野を形成した地勢上の關係に隨從したのであつて、今後此の大國が眞に統一さるゝには、此等二大分野の特徵を相調和することの出來ない限りは容易に實現せらるべきものではないと思はれるのである。

支那革命の眞想

以上は支那南北國情の相異なれることを槪說したのであるが、更に支那は統一國家ではないと謂はれて居る。尤も歷史上では所謂天下を統一したと稱する王朝は相當にあるが、詳細に其實體を硏むる時は眞の統一ではない。卽ち郡縣制度を採用したと謂ふては實は封建制度と異なるなく、寧ろ群雄割據の情勢を示し、決

して中央集權が完全に行はれた譯ではないのであつて、支那歷朝興亡の跡は此間の消息を示して瞭然たるものがある。此の所謂支那を統一せりと稱する王朝は、古來幾度か變改せられ、有史以來四千年三代の帝業から今に至る迄、代を換ふること二十三の革命を經過したのである。然るに支那の革命は西洋の所謂 Revolution に非ずとは世人の常に口にする所で、事實又何等の革新だも齎らさず、僅かに中央政府即ち朝廷の更迭であつて政體の變更ではない。統治者の代者はあるが法制の革新はないのである。之れに關しボールン氏（F. S. A. Bourne）が嘗て英國帝室亞細亞協會（Royal Asiatic Society）の雜誌上で、支那の政治は人に依るの政府であつて法に依るの政府ではないと説いて居るが、蓋し至言である。元來支那に於ける政權の基礎は擬制的族長主義に在り、換言せば血族團體に胚胎せる純族長制度は唐虞三代以降早くも其趣を一變して事實上の族長主義を棄て、思想上の族長主義を採用したので、「君者民之父母也」との思想に依りて君主の關係を定めたのである。此は支那の如き土地が廣大で、民族も亦相錯綜せる國に在りては、血統上の關係のみにより人民を威服せんとする純族長制度は決して永續するものではない、若し族長が一度德望を失した場合には、事態を收拾することは容易ではないのである。故に血族關係の有無に拘はらず、人民を愛撫する者を以て族長とし君主と爲すに至つたのである。然るに支那の社會組織を見るに、古往古來固く族長制度を守りて血統を重んじ、尊否を區別して居る。即ち國家制度の基礎と社會組織の基礎とは相分離し、所謂擬制的族長主義を以て國家の基礎を定めたのである。而して此の擬制的族長主義は、更に其裏面に於て君主の權力に一大制限を加ふるもので、所謂「君者民之父母也」と云ふ主義の背後には「立君爲民也」との原則が嚴存して居る。即ち君主は族長として無限の權力を擁するが、それと同時に、家族たる人民を愛撫するの義務がある。從つて君主の權力は自己の威福を作るが爲めではなく、人民の幸福を計らんが爲めに外ならぬので、古來聖賢の説いた政治上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の教義は凡て其意を含んで居るのである。斯くて、天子は天意を受けて之れを行ふの義務を有する者の謂で、天意と云ふは、人民の有形無形上の幸福を圖ると云ふ事に在る。從つて、若し天子にして國利民福を顧みざるが如きは、君主の資格を失ふ譯で、所謂「四海困窮、天祿永終」に至るのである。但し歷史上の事實に就き察するに、此の制限は殆んど恪守せられた事なく、人民は常に其福利を迫害せらるゝことが多いので、此場合甚だしきに至れば革命に依りて救濟の途を講ずるのである。

斯の如くにして支那は上下四千載、革命相踵ぐも、其革命は之れを歐羅巴諸國の革命と對比せば非常の相違があつて、幾多の治亂興廢があつて其政體は古今一轍、法制も亦古代の遺典を墨守して妄りに增減しないのである。

猶ほ支那歷代革命の原由は、前述の如き政治上の教義に基くものであるが、更に之を考ふる時は、支那の革命は革新と云ふよりも寧ろ支那民族の保守的精神に出づるものと思はれる。即ち古聖先王の遺訓は常久不易の典範であつて、政治上の罪惡は其遺訓に違背するより大なるはないのである。而して革命は、此の罪惡に對する一種の制裁たるに過ぎないので、革命者は革新者に非ず、寧ろ守舊者で、其政體と法制とは何等の關係なくして行はるゝのである。一九一一年の革命は遂に清室を倒し、所謂五族共和を標榜して中華民國を建設したので、確に在來の革命とは趣きを異にせるの觀あるも、之れ固より表面上の事であつて、其實體を研むる時は固より革新ではなく、寧ろ退步である。此は世人の常に口にする所で、吾人が更めて贅言を費やす迄もないのである。若し又、民國以後支那が前清代に比し進步した點がありとせば、其は革命の爲めではなく、時勢の進步に刺戟された結果に過ぎぬのである。又國內擾亂相踵ぎ寧日なきの現狀も、軍閥・政治家の自衞の爲め互に口實を設けて用兵・政爭の具として居ることは、要するに歷代興亡の跡を其儘踏襲してゐるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつて、支那擾亂の止まざる又故なきにあらずである。

支那行政組織の特徴 ——分權國家——

近世國家の行政は、官治と自治との二大系統に分れ、官治行政を以て一切の權力を中央に集中し、自治行政に依りて地方分權を加味し、二者相調和せしめて國利民福の增進を期するのである。從つて地方自治の行政には分權組織を認め、官治行政に於ては之れを認めざるを常とするが、支那では官治行政上に於ても分權制度を採用し、古來行政の統一を缺如したるは支那制度の通有性であつて、支那が統一國家でないと謂はるゝのも此の點に發して居るのである。尤も中央政府が直接州郡を統轄することは古來よりの通則ではあるが、秦・漢以來唐・宋に至るの間に於ても國政の統一ありと稱するのは僅かに名義上のみで、純眞なる集權國家を組織するには至らなかつたので、其郡縣制度と稱するものも、今日吾人の考ふるが如き秩序整然たるものではなく、實は封建制度と何等擇ぶ所がないので、此間秕政の結果は群雄割據・地方偏重の弊が甚だしく、中央地方の關係は常に特殊の狀態に在つた。卽ち上代中央政府は其直轄地を有せしのみで之れを王畿と名づけ、其他の土地は悉く侯伯に與へ、中央政府は此等の侯伯より每年貢物を献納せしむるに過ぎない、夏・殷・周三代の封建制度の如きは、卽ち之れであつて、諸侯は其領土を世襲し子孫相繼ゐで君臨したのである。故に中央政府の威力が衰へた場合、諸侯が勢を加ふるは必然の結果で、彼等は國力振興の爲め互に攻伐を事とするのである。斯くて春秋・戰國凡そ三百年、中央政府は全く其統一能力を失つたことは支那現時の狀態其儘である。而して其後秦は七國の雄として他の六國を併呑し、郡縣制度を採用したが、幾何たらずして漢に亡ぼされ、漢は郡縣・封建兩制度を併用し、十國(十道)の諸侯領地を置くと共に、其他の地方は中央派遣の官吏をして治

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めしめ、爾後宋・元・明を經て淸に至る間も凡て郡縣制を採つた。卽ち地方の幾多の州・縣に分ち、數州・數縣を合せて府とし、數府を合して、道とし、更に道を合せて一省を形成した（時代によりては省を道と稱せしことあり）。而して各省長官は勿論中央政府に於て之れが任免權を有したが、彼等は一省の軍政・財政其他一切の權限を附與せられ、自由に其管轄內の政治を行つたが故に頗る權勢を把持し、殊に中央政府の威力失墜せる際には常に實力ある者が長官となり、中央政府は寧ろ其後から之を承認するの態であつたことは、支那現時の各省長官たる督軍とか督理とか或は總司令とか稱する者が一省の督軍を追ひて其後を襲ひ、或は部下の師團長等が機に臨みて私兵を動かし、長官たる督軍を追ひ退けて自ら一省を支配し、北京政府は其實力把持者の任命を承認するのと全く同一である。而して淸朝の制度は、元朝に始まり、更に古來の大勢に隨ひて極端なる地方分權を馴致したのである。蓋し支那の如き版圖の廣大なる國に在りては、眞正なる集權國家を組織することは交通不便の時代に於て困難なるは自然の勢であつて、元が北地より來りて支那を統治するに及んでは、地方官憲の權力を增大し殆んど獨立の行政を行はしめたので、此は寧ろ實情に相適せるものと謂ふべきである。其後明は元朝の後を襲ひ、國初中央集權の實を擧げんと欲し大に努力する所があつたが、中葉以後督撫を設けてからは地方官の權勢漸く重く、淸朝に至つては督撫制度を確定して元朝の舊制に復し、益々分權國家の制を固くしたのである。而して此の督撫の制と謂ふのは唐代藩鎭の制と酷似して居るので、唐は國初各要地に都督府を置き、後節度使と改め、多くは邊疆に在りて外族侵入の防禦に當つたが、其後數州・數縣の兵馬・財政・民政の權を握つてからは、殆んど諸侯の勢力と同樣になり、之を藩鎭と稱したのである。殊に玄宗の安祿山の亂起り、之が平定に功ありし武將を節度使に任じて內地各處に配置してからは、地方は幾多の藩鎭に分れて各其政權を掌握し、極端なる地方分權制度を形成して中央政府は全く孤立の狀態に陷つたので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。蓋し此の節度使は、初めは中央政府から任命派遣したものではあるが、其後獨立の形體を成してからは全く中央の命も肯かず、互に纂奪を事として其勢力を爭ひ、中央政府は其實力把持者に節度使の官を授け、中には其職を世襲する者などあつて、遂にに一獨立國家の觀を呈したのである。即ち梁の太祖朱全忠は節度使の最大なるものであつたが、唐を亡ぼして梁と稱した。然し當時尙は藩鎭の各地に獨立したものは少なくなかつたので、中にも淮南節度使は江蘇・安徽の北部に在つて吳王と稱し、西川節度使は四川に於て蜀王と號し、鎭海節度使は浙江で吳越王とたり、此他福建では威武節度使と云ふのが居て閩王と稱するし、廣東・廣西には西海節度使が南漢王を名乘り、更に湖南に於ける安武節度使の楚王、直隸に於ける盧龍節度使の燕王とか、又は山西に於て晉王と稱した李克用、陝西に在りて岐王と號した李茂貞等は悉く現時に於ける督軍割據の情勢と異なる所がないので、爾來宋・元・明・清を經て今に至るの間も、亦其興亡悉く同一轍を踏んで居るのである。從つて歷代國家長久の平和策は此等藩鎭の權力を奪ふにありと論せられたのであつて、此は現時の支那が廢督裁兵を實行せば、天下自ら治安を保持し得べしと爲すものと同一である。即ち淸代各省の督撫は皇帝に直隸し、定例に從ひて辦理し得ざる事項は之れが裁可を請ふべき規定であつたが、勿論形式のみに止まり、一省行政の全權は唐代の藩鎭と同樣全く督撫の掌握する所で、群雄割據の狀勢を持續し、唯だ此等の地方長官が官吏であつた點が封建諸侯と異つた所である。

斯くて中央政府は其名義上に於ては全國の軍隊を統轄し、全國財政の管理權を有すと稱せられたが、其實軍隊を動かさんとしても地方長官が其命を肯かなければ又如何ともすることが出來ない。財政關係も又同樣で、中央政府は財政の全權を地方長官に委ね、地方の歲出入に對しては全く關知する所なく、唯だ中央の財政維持の爲めに地方の賦稅徵收を目的とするのみである。從つて中央は唯だ京畿の府たるに止まり、中央財政の收

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支を行はんが爲め地方各州縣に對して每年貢納すべき一定額を規定し、地方の財賦を貢献せしむるのみである。蓋し古代封建時代に於て、中央政府は地方政府をして每年穀物或は金錢を納めしめて之を貢或は賦と稱したが、此の貢賦の制は必らずしも封建時代のみに限らず、現時に於ても其形體を存するのであつて、地方長官は唯だ中央政府に對し每年貢賦の義務を負ふので、之れを起運銀と稱し、其他の財政は即ち留支銀なるもので、全く獨立して地方の財政を行ふのである。故に中央政府の威嚴も備はり、地方にも變災の生せざる間は、地方は一定額の所謂起運銀を送款するから、中央の財政自ら豐かになるので、其歲入、歲出に比し餘剩ある時は、或は宮殿の美を極め或は百官高祿の奢を誇り、時に又無聊に苦しめる軍兵を濫用して邊疆に勇を稱せしめ、全盛を謳歌して地方郡縣の治政を顧慮しないのである。猶ほ又、歷朝の所謂全盛時代と稱するものも、史上に傳ふる所少なくはないが、此等は創業以來永くも二—三代で終るものが多い。蓋し何れの王朝も、其國初に當つては近親者を以て地方長官に任ずるが故に、中央。地方の關係も密接であり、地方より送款する貢賦も確實である。加ふるに政府の組織も簡易であるから、中央の財政は餘剩を生ずる譯で、遂には土木を起し或は貢賦を輕減して王道とか仁政とか稱するのである。故に歷史家などが所謂全盛時代と稱して其政治を讃美するのも、凡て此の類で、其法制の完備を賞する者も、徒らに法文の美に捉はれて其實體を究めざるものである。殊には其全盛と稱するものも、實は局部的全盛であつて唐の長安、宋の開封、元以後の北京等主として國都に局在し支那全國に普及した譯ではない。然かも其局部的全盛も又多くは永續し得ないのであつて、建國年を重ぬると共に中央の組織は複雜と成り、官吏の數は濫增され、軍兵も亦增大して餉祿膨大するが爲め、地方の送款は稍もすれば不足勝となるの結果、中央政府は頻りに貢賦の送款を督促加徵し、新稅源を發見して新徵を命ずるに至る。然るに地方とても亦、年々經費の膨脹するのは中央と同樣で、勢ひ中央への送款を減せなけれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ばならぬ。然かも中央の勢威は年と共に衰微するので、政道は弛廢し、地方は其命を聽かず、更に私利慾望を得んが爲め自衛の途に出づるから、中央・地方の抗爭を避くるを得ず、遂に王室は孤立して革命が起り、滅亡を招くのであつて、漢以來今に至る二千年、歴朝興亡の徑路は古今一轍で、革命は常に中央・地方の財政關係から起るのである 此間の消息は民國以來の北京政府首腦者の關係を見ても又同樣であつて、支那擾亂不斷の傳統的原因を爲すので、之れが救濟は交通の發達、財政の整理と共に分權國家の弊を更めねば純眞なる集權國家の實に導き得ないのである。

以上は支那内亂不斷の根本原因に就き略説したのであつて、説く所何等の秩序もなく唯だ思つた儘を書き流したのであるが、然し南北國情の相違は之れが調和を圖り得ない限りは、支那は何日までも不統一國家たるの嘲りを免れ得ない。又支那革命の傳統的性質から見て、所謂革命なるものは眞に支那を革新に導くものではないので、之れを以て新興支那の統一氣運を齎らすことは百年河清を待つの類である。而して軍閥の跋扈、政黨者流の黨派的自衛的な確執は、支那をして紛亂其極に達せしむる最大の原因であつて、交通も不便、財政も不如意で、廢督裁兵の實行も至難なる現状に於ては、唐以後藩鎭簒奪の相已まざりしと同じく、支那現時の擾亂も亦永續するものであることを述べて此の稿を終る。

‖大正一四・一二・五‖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新たに起れる支那の經濟抵抗運動

臺灣總督府稅關事務官　井出季和太

其の旗色の斬新なる「經濟抵抗運動」は、排貨を初め諸般經濟的利益を確保せんとする新運動にして、如何に民國人が最近經濟的に目覺めたかを實證するに足るものである。由來排貨の如きは明かに國際道義に反するものなるも、彼が之を行ふ以上は我も之に處するの策を講ぜざるべからず。英と日とは之によりて貿易上の不利を蒙らんとするものは殊に此の新運動の内容を研究するの要あり。是れ此の一篇を江湖に紹介し附言せんとする所以である。＝筆者＝

目次

一、排貨運動の起原――二、排日貨運動の經過――三、排外運動の進展――四、排貨の計畫――五、排貨と對支精神

一　排貨運動の起原

支那の排外運動は最近に始つたものではない。既に一九〇〇年（明治三十三年）團匪事件の如きものは其の顯著の一例であるが、經濟事實を伴ふ排貨は一九〇五年米國の支那移民暴虐事件を素因となし、南中支一帶に勃發したボイコットを先鞭とし、其後一九〇八年（明治四十一年）の辰丸事件を擧ぐべきである。辰丸事件と云ふのは、神戸辰馬商會汽船の辰丸が澳門鐵砲商の註文に係る銃器彈藥を搭載し同年二月五日同島沖に碇泊中、支那砲艦が軍器密輸入の嫌疑を以て之を捕獲し、日本國旗を引上げた上貨物を掠奪し、廣東附近に抑留

したので、日本政府は之に對し嚴重に抗議し最後の通牒迄發した結果、暫く同年三月十五日卽ち船舶抑留後四十日を經て解決し、辰丸の放還は固より、支那官憲をして損害を賠償せしめ、且つ當該官吏を處分せしめ軍艦に謝砲を發せしめたのである。之が爲に當時支那にては、辰丸は革命黨の爲に私かに武器を供給したと云ふ風評を傳播し、日本に對する對敵行爲の一として廣東・香港地方に日貨排斥運動が勃興し、南支一帶に波及し八箇月に亘つたのである。

二　排日貨運動の經過

爾來排貨運動は、最近迄部局的又は臨時には日本以外の外國に對して行はれたることなきに非れども、一般的に年中行事の如くには專ら日本に對して行はれたもので、其第二回の排日貨運動は、翌一九〇九年（明治四十二年）安奉線改築問題に關する日本の自由行動宣言及滿洲に於ける日淸協約の結果に對する反抗策として支那留學生等利權恢收熱の沸騰に伴つて勃發した排日貨運動で、滿洲一帶に傳播したが、其間僅かに三箇月で終熄を告げた。

第三回は一九一五年（大正四年）歐洲戰爭中、日支間に締結せられた所謂二十一箇條問題に對する排日貨運動で、同年五月から發生し、全支那に氣勢を高め、六箇月に亘り十月に迨んで漸く鎭靜を見たのである。

第四回は一九一九年（大正八年）の山東問題に關して激發したる排日貨運動で、同年五月から十二月迄繼續し、全國に及んだ上に南洋方面に迄影響したのである。而して尙同年十一月の福州事件に依つて餘燼は翌一九二〇年四月頃迄推及した。爾來五四又は五七國恥記念日として排貨運動が年々多少なりとも其機會毎に繰返されたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五回は一九二二年末青島還付に次で翌一九二三年(大正十二年)三、四月頃から又旅大回收問題を絶叫して運動を開始し、五、六月頃には激烈に主として北中支一帶に勃興したが、同年九月一日日本京濱地方大震災の爲に頓に其運動を中止すること丶なつたが、約五箇月に亘つたのである。

前記五回の排日貨運動は何れも政治上・社會上に原因を存して居つたものが多いが、年と共に經驗を重ね、其方法も微に入り細に亘りて組織的に發達し來つた。其間、時の政治家・軍人等政略の具に供せられ、不良學生又は無賴惡徒が加擔し、米國宣敎師・敎員其他外人の煽動があつたのであるが、第五回の排貨運動の際には紡績工場等事業不振の結果、競爭的見地から排日氣分を濃厚にし、始めて經濟斷交の聲を聽くに至つたと同時に、臨城事件から外國人排日運動に對する煽動が頓に減退したことは注意すべき現象であつた。

三　排外運動の進展

一方數年前より支那に勃發した勞働問題に伴ふ罷業は、排外的氣勢に煽動せられ、決して閉息しないで昨年二月以來上海・青島に於て頻々として邦人紡績工場に發生し、一時政府の取締に依つて鎮靜したが、遂に五月三十日には曩に內外棉罷業當時の宣傳に依り工部局に拘禁せられて居た學生の奪還運動から工部局警官と衝突して慘禍を演じ、上海五三事件として前記二十一箇條問題から來る五、四又は五七運動の上に排外記念日を增加したのである。上海事件に依り從來蘊蓄して居た排外熱が一時に沸騰して暴動と化し、學生青年の慷慨的示威運動となり、商人の罷市となり、弛いては集會結社出版罷工權の自由を始めとし、會審衙門の回收、領事裁判權の取消、租界擴張の反對、外人納稅會議の否定、支那人の工部局行政委員參加要求等利權恢收反帝國主義的排外運動が、主として英國を目標とし、兼ねて日本を包容すること丶なり、他方廣東の排英

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰は最も具體化し、香港は今や秋風落日の悲衰を感じて居る。而して不對等條約撤廢運動と相伴ひ、關税會議開催に際し自主權の高調があり、學生・商會等の關税會議反對示威運動があり、海關制度の革新外支人間吏員差別待遇裁撤の主張等、開港以來支那未曾有の國民的覺醒であつて、殊に英國の東亞商業史上劃時的大變化である。

蓋し支那の現情は、統一的國家が無く、兵力に於ても亦經濟力に於ても、外國の勢力に對抗することは到底不可能であるが故に、今日迄の經驗に徴し、支那人一般は排貨を唯一の武器と自覺して居るのである。條約國の見地からせば、排貨の如きは國際交通の道義に違背し、國際團體としての資格が無いものであると看做すも、支那側から打算せば自衞手段であると云ふのである。

四　排貨の計畫

排貨は如何に之を計畫するかと云はゞ、經濟斷交を貫徹すること即ち經濟抵抗運動を組織的永續的に實行すると云ふのである。其代表的の主張には國立北京大學教職員滬案(上海事件)後援會選定の「實行對英日經濟抵抗計畫書」なるものがある。

同書に依れば能く支那人排貨の目的內容を知ることが出來ると同時に、自ら之に關し對策上參考となるべきが故に、今之を譯載すれば下の如きものがある。

第一　經濟抵抗の目的

上海事件發生に繼ぐに漢口・廣東事件を以てし、其變たるや瞬刻に起るも、伏因は一朝一夕に非ず、支那人は上海事件を力爭し、最後の勝利を求め、假令能く賠償陳謝等最少限度の條件に到達し得べしと雖ども、上

海事件發生の伏因を除かざれば、隨時隨處に同樣の慘劇を發生すべく、常に帝國主義者宰割の下に在りて終に能く其生存の安全を保つ能はず、故に吾人は此伏因如何を究めざるべからず。彼の帝國主義の代表たる英人は支那人を虐殺すること再三にして、數人より數百人に至り、猶ほ其惡已まざるは、彼が支那に於て其特別勢力あるに依る。例へば領事裁判權・租借地・租界・協定關稅等の如き皆支那に在る經濟勢力に根據して發生す。彼は武力を以て協定關稅を強迫し以て其貨物の消費に便し、租界を設置し以て其商人の居住に便し、領事裁判權を設け以て其商人の通商に便し、租借地を設け以て其武力保護の根據地となす。是に於てか支那の領土主權・司法・立法は皆其侵害を被り、國家の財政・經濟社會は皆其束縛を受けて漸次半植民地の境に陷る。故に吾人自拔を求めんとせば、根本より英國在支の經濟勢力を除斥せざれば不可能事なり。日本は甲午戰より後、吾が國と特殊關係あるを忘れ、處々英人の步武を傚ひ、以て吾が國を侵凌し、儼然東方の英國を以て自ら任ず。吾が國受くる所の痛苦は之に因って益々甚し。故に帝國主義者の吾が國を侵略するは英國を以て首惡となし、日本は之に亞ぐ。上海事件中、日本紡績の風潮は單なる普通勞資兩階級の爭執問題に非ず、實に國際侵略の意義を挾有す。支那年來紡績業の不振は日英兩國在支同業の壓迫を受くること明白なり。故に上海事件に關し、吾人の主張は固より英國に向って單獨に交涉するも、日本の經濟侵略に對しては一層之を閑却すべからず。或は支那工業の不振は暫時も英貨の缺額を彌縫するに足らず、從て日貨を以て英貨に易へ、日資を以て英資に易へ、而して日本の勢力は英の勢力に易はるに至れば、則ち是れ狼を拒み又虎を進む、其危險更に甚しきものあり。故に吾人は經濟抵抗を以て應さに之を英日兩國に對し併弛せんとなす。然れども英日兩國よりの輸入貨物は總輸入高の六割以上を占め、若し一般に禁絶せば、人民の生活固より痛苦を受け、商人の生計最も困難に屬す。其力勝ゆる能はずして或は中途にして挫折し、有名無實に歸するを以て、却って英國に集

中し、容易に實行し得べき方法を採るに若かず。故に一體抵抗の中に於て仍は先後緩急の別を寓すべし。其差別如何となす。曰はく、英國に對しては應さに普遍的經濟抵抗をなし、以て英人在支の經濟勢力を剷除し、其作惡の根源を斷絶し、英人をして痛苦に勝へず、其人類の同情心を回復せしむべく、日本に對しては應さに部局的經濟抵抗をなし、專ら日本在支紡績業を排するを主となし、以て本國同業を振興し、而して基本工業の獨立を維持すべし。此吾人英日に對する抵抗の目的なりとす。

第二　經濟抵抗の範圍

部局抵抗は力を用ゆること易く、普遍抵抗は營む所甚だ廣く、關係する所亦太だ雜多なるが故に、應さに抵抗の範圍を確定すべし。凡そ上述目的を達せんとする者は、皆應さに執行の列に在るべく、蓋し其排貨は英國在支の商務(日貨は暫時綿織品に限る)を剷除し、罷工は英人在支の經濟事業を根本的に消滅(日本は暫時紡績工場に限る)せしめ、金融機關の抵制は英日在支金融界財政界占むる所の特殊地位(後に詳述する所の)を打倒するに存し、惟々是等目的に悖らず、或は本國人の利益に關係する所のものは、左記の如く抵抗の範圍内に在らず。

(一)支那より英國に對する輸出品　支那より毎年英國に對し輸出する貨物は、約海關銀一億四千餘萬兩にして、總輸出高の一割八分三厘を占む。若し之を停止せば勢必ず内國經濟の恐慌を惹起するも、此種輸出品は多くは原料に屬するが故に、若し支那をして英貨を抵制し、自ら多量の原料を需要し、以て製造に供せしむれば、則ち原料自ら溢出の理なく、又或は英國は支那の抵制を受け、工業不振となれば、則ち此種原料をば彼亦消納せざるに至り、從つて原料の輸出は自然に減退す。故に是れ自然に之を放任して、必ずしも人力

を加へて阻遏するを要せざるものとす。

(二)支那公私各機關雇用の英人にして特別技能ある者とし、各大工場技師に至る迄、皆營業の發達安危に大關係あり、支那各礦山及鐵道技師・汽船々長・機關長等を始め而して其の權限俸給皆一定し、須らく嚴重に之を監督し、野心を逞ふせしむる所なからしめ、支那は暫時之が技能を利用し、一面には極力本國の人才を養成し、或は獨・墺國等の人才を物色し以て之に代替すべし。

(三)支那工業の必需品たる英國機械基本(母)工業品及圖書・新聞・雜誌等　英國は工業の先進國たり、其機械工業にして他國の能く比擬すべき所に非るものは就中紡織機械及輸類工業品を主となす。支那は一面に排貨を實行するも、一面には必ず自ら工業品の製造を謀るに當りて必需の機械等基本工業品甚だ多かるべきを以て、之を他國に求むべきを除くの外に、其英國製品に非れば不可なるものは、仍ほ購用すべく、惟應さに檢査機關の許可を得るを要す。圖書・新聞・雜誌等は智識界の必要品たり、費す所少くして益を獲る多きを以て、亦抵抗の限りに非ず。

第三　排貨の條件

英貨を排斥するは、英國在支の商務を絕滅するに在り。凡そ一切の英國製造に係る消費品及英國の船舶、在支英國工場の製造品、日本製造の綿織品及在支日本紡績工場の製造品等は、皆認めて之を仇貨(以下仇貨と總稱す)とし、一律に排斥す。然れども英日在支商務の大、關係の深、勢力の强、一旦悉く擧げて之を擯せば、其事至艱且鉅なるが故に、種々の條件を具備するに非れば不可なり。

(一)來源の禁絕　洋貨(外國品)の輸入は廣東・上海が大多數を占め、天津・大連・牛莊・膠州・漢口等は之に次

ぐ。凡そ珠江流域の洋貨は皆粤(廣東)海關より輸入し、長江流域は皆上海關より輸入す。陝西・甘肅・河南等の諸省は漢口より輸入し、天津の直隷・山西に於ける、膠州の山東に於ける、大連・牛莊の東三省に於ける皆然り。是等商港は外商設立の洋行多く、洋貨を取引し、土貨(內國品)の買入をなす。支那商人は先施・永安等の大公司を除くの外は、直接外國に向つて常時貨物の販賣購入に從事するもの少く、半は各洋行の卸賣(批發)に係り、內地に販運し賣買するもの多し。故に各大商港に就て仇貨を取引する中外洋行商店を調査し、其支那人の經營に係るものは應さに勸告して仇貨の購入を停止し、其外商の經營に係るものは其商號・商標等を國人に宣示し、支那商人をして交易することなからしめ、若し從はざる者あれば、强制的の制裁を加ふることゝす。斯くの如き方法を採らば、仇貨は內地に流入せざることに至るべし。

(二)販路の禁遏　仇貨の來源を斷絕するは、最も緊要の事に屬するも、蓋し大商港は多く外人の勢力範圍に在り、檢査の及び難きものあるの外に、各商人又英日人と往來するに慣れ、未だ必しも眞に能く斷絕を遂げ得ずして、一を挂け萬を漏し易く、徒らに非愛國の譏を貽すに終るの虞あり。故に內地市場の各洋貨店に就いて切實檢査を執行し、禁絕を計り、仇貨にして村落地方に仕向け能はざるものは都市に退集し、都市に仕向け能はざるものは通商大港に退集し、通商大港に仕向け能はざるものは輸入港に退集して遂に滯貨となる。而して輸入商にして其損失に堪ゆること能はざる者は、必ず方法を講じて之を原產地に積戾すに至るが如く、斯く長圍合攻せば來源自ら絕え、譬へば治水に似て塞源斷流し其效を收むべきこと一なりとす。

(三)既買仇貨の處置　上海事件は五月三十日(十四年)に發生し、次日上海は即ち全體罷工罷市をなしたるを以て、五月三十日以降を卽ち英日經濟絕交の時期となす。然れども同日以前に既に購入の仇貨にして其未だ代價の受授を了せざるものは、則ち各商人をして卸賣せる洋行に向つて方法を講じて還付せしめ、若し其

の還付不能のもの、又は既に代金仕拂濟に係るものは、上屋倉庫に庫入せると、店舖の倉庫に藏置せるとを問はず、均しく國人所有の貨物と看做し、使消を禁止し、之を焚燬せば英日に於ては毫も損失なきも、徒た支那商人をして重大の損失を受けしむ。且つ支那商契約の際には、多くは錢莊の莊票を以て之に引當つ。若し商人其貨物を賣却すること能はざるときは、莊票の引換不可能となり、錢莊は倒産の虞ありて、勢必ず金融界重大の恐慌を惹起するに至り、却つて英日人の乘ずる所となる。故に五月三十日以前に購入し且つ既に代金仕拂濟の仇貨は、執行機關に於て之を檢査し、貨單(證)棧單(倉庫證券)及舖倉藏貨に對し規定し、一種の特別印紙を貼附し、各其販賣を許可し、或は公賣市場を組織し、共同販賣をなし、務めて支那商人をして損害を蒙らざらしめ、然る後鋭意從事すべし。惟々無印紙のもの或は僞造せる印紙を使用したる貨物は、執行機關に依り公然銷燬するものを除くの外、販賣者に對しては別に重罰を科す。又此等特製印紙は其貨物の價格に對し五分を徵し、之を職工の救濟及工業振興の費用に充當すること丶すべし。而して其豫算は現在仇貨約六千萬兩とし、其印紙收入は卽三百萬兩を得べく、殊に職工に益ありて、商人亦大痛苦を受くることなし。

(四)仇貨代用品及仇貨取扱商代替職業　英貨は每年の輸入商約二億萬兩餘あり、輸入總額の三割以上を占め、且多くは精製品に係り、國人の生活・習慣と既に密接の關係あり、若し相當の代用品なくば、國人生活上必ず不便を來す。殊に取扱商人の利益を一割とせば、卽ち二千萬兩に達し、之に依つて生活する者は啻に數十萬人のみならず、若し代替の職業を他に求めずんば、則ち社會上必ず極大の損失あり、此皆未雨に綢繆すべきものなり。玆に其辦法を列擧すれば左記の如し。

(甲)代用品に關するもの

(イ)國貨を以て仇貨に代ふ。永利公司の鹼を以て英國輸入の曹達に代へ、愛國布を以て英國輸入の市布

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に代へ、南洋兄弟煙草公司の製品及福建煙絲を以て英米煙公司の煙草に代へ、絲製品を以て毛織品に代ゆるが如し。

(ロ)他國貨を以て仇貨に代ふ　支那工業の製造し能はざる物品、例へば機械化學用品等の如きは、即ち他國貨を以て仇貨に代ふべし。獨逸品を最も適當となす。蓋し獨逸品は精良にして英貨に讓らず、且つ獨逸は支那と關税對等國たり、我國は獨逸品に課するに自由關税を以てし、獨逸品が增加せば則はち支那關税自主權亦之に從つて增進す。但し目前獨逸品の輸入を奬勵する見地に於て、獨逸品に對し仍ほ現行税率を適用し、將來獨逸品が完全に英貨に代替するを俟ち、再び酌量增加し、又現在獨逸品は多くは香港より輾轉輸入し、英貨と識別し得ず。乃ち應さに我國及獨國の工商業者は、大規模の直接輸入機關を組織し、手を他國商人に假らずんば、庶くは英貨と相淆せざるべし。

(乙)代替職業に關するもの

(イ)從來仇貨を經營する商人は、改めて國貨或は他國貨を取扱ふべし。

(ロ)其商業資本を以て、改めて工業資本となし、仇貨代用製造に從事すべし。

(ハ)改めて輸出商或は原料の供給者となるべし。

第四　英日產業機關服務者の罷工

支那海關は、財政上の收入財源たる以外に社會產業に對しては固より毫も意義の言ふべきものなし。而るに英日兩國は猶未だ便ならずとなし、更に從つて關税の障碍を逃脫し、直接支那內地の產業を侵略壓迫す。其最も彰明昭著なるものは、例へば開灤・福公司・本溪湖諸炭礦が我國の炭業を壓迫し、上海・漢口・青島各地の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英日紡績工場が支那紡績業を壓迫し、太古・怡和・日清等汽船會社が支那航業を壓迫するが如く、是れ彼は其國家の勢力、雄厚の資本、優良の機械、精巧の技藝、豐富の經驗を挾有し、以て支那草創幼稚の產業と角す、支那產業寧んぞ能く倖に免れんや。而して支那國內の衣・食・住三者亦た唯々彼の國の資本に是れ賴る。其危險たるや又仇貨の充斥に過ぐ。故に應さに罷工手段を以て之を推倒撲滅すべし。吾人は分別して英日貨を排斥するの用意に基き、英國在支の一切機關に對しては一律に罷工し、日本に對しては暫らく紡績工場に限るべし。然る所以のものは、日本在支經濟勢力は紡績業を以て最大となし、支那同業の大敵なり。故に凡そ英國公司・銀行・商店・工場・商船・埠頭・官衙・私宅服務の買辦・雇員・店員・職工・苦力・使僕及日本紡績工場の職工等、一律に退出すべく、其救濟方法左記の如し。

一、買辦階級は數に於て少きも、皆な財產多く、他に商業を營むことを得、救濟を要せず。

一、雇員・店員等の輩は、皆專門の智識訓練あり、應さに支那の公司・銀行・商店に於て雇用すべし。

一、海員は數に於て萬人に及ばざれど、堅强の組織力と愛國心とあり、其罷工の影響亦最も大にして、支那の汽船會社が法を設けて之を雇用し、尙收容し能はざるものは他國の商船に轉入すべし。

一、職工は紡績工を最多となし、鑛夫及運輸工夫等之を次ぐ。現在の支那紡績工場に在りては、英日工場の壓迫を蒙り、停止又は減工するもの甚だ多く、英日紡績工場にして、若し作業開始する能はざるが如き場合あらば、支那工場は自然擴張の餘地あり、而して英日紡績工場の罷業職工は、收容の地なきを患へざるに至る。鑛山勞働者亦同じ。運輸工夫は特別の技能なきに依り、農業に轉じ、或は他地方に遷り、使僕は支那旅館又は私宅に於て各自之を雇用すべし。

以上は其將來に就て言ふ。目前に至りては全國上下より臨時鉅款を募集し、以て接濟を資く。一面公地執行

機關より、各地の情形に就き、失業收容所を組織し、並に各支那公私の公司・銀行・商店・工場等の經理人を會同し、各項の職業紹介所を組織し、失業者の姓名・職業・技能等を逐一登記し、以後支那公司機關等人員を雇用するときには、應さに紹介所に登記しある失業者を優先に選定すべし。違反者には重罰を科するものとす。

第五　英日銀行の抵制

支那銀行は林立すれど、實際は皆外國銀行の鼻息を仰いで生存をなす。故に支那の金融界は久しく其獨立性を喪失したり。在支外國銀行中英國の滙豐銀行（香上銀行）、日本の朝鮮銀行を以て其勢力最大となす（日本の海外銀行としては正金を巨擘となすも、其中心は支那に在らずして倫敦に在り、朝鮮銀行が東三省を以て其發行紙幣鈔票の集散處となすが如きものに非ず）。朝鮮銀行は南滿鐵道の特殊勢力を利用し、東三省に於て金票を濫發し、一億元以上に至り、現金を吸收し、穀貨を操縱し、東北の大患たり。然れども其重要の營業は全く紙幣の發行に在り、其紙幣を拒絕すれば則ち立ろに其勢力を失墜す。英國の滙豐銀行に至りては、其勢力の偉大なる又遙かに朝鮮・正金等銀行の比に非ず、關稅・鹽稅收入は其保管に在り、內外債又其經營に係る。獨り支那金融の中樞たるのみならず、且つ支那財政の死命を制す。故に支那財政・金融の自主計は又嚴重に抵制せざれば不可なり。滙豐の優點を考察するに、其資本の雄厚に在らずして、其地位の優越に存す。

今其優越と認むべきものを掲げば左記の如し。

（一）預金（存款）の豐裕　一九二四年滙豐銀行の營業報告に依れば、當座預金約英金四千萬磅、定期預金約一千八百萬磅、合計約銀五億元以上に達し、之を支那一切の銀行の預金總額に比するも尚多し。且預金利子は當座は二厘乃至四厘、定期は三厘乃至六厘に過ぎず、之を支那各銀行の動もすれば一分內外に在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るものに較すれば其負擔は極めて輕微なり。彼は極大の資力を挾み、極輕の利息を負ひ、以て市場に運用す。然れども其預金中當座の多くは外人在支國際貿易公司の取扱に係り、就中英商を以て主となす。吾人若し滙豐銀行發行する所の小切手(支票)を收受せざれば、外商は必ず滙豐に預金することを願はずして、當座預金は自然に減退し、定期預金は多く支那人の取扱ふ所となる(滙豐銀行は香港に設立し其中心は香港・上海・孟買三處に在り。外人の多くは定期預金を好まず、英蘭銀行の雄大と雖ども、其額數百萬磅に過ぎず、故に決して人が滙豐に顧る所なく、卽ち滙豐の定期は支那人の所有となること明なり)。若し一旦拂出し又は期限に至り預入せざれば、滙豐の勢力は必然減殺すべきなり。

(二)爲替(滙兌)の利益　滙豐銀行の最大營業は、爲替賣買(滙水)、荷爲替(押滙)、手形割引(貼現)となす。滙豐は每年支那の外債八千萬元以上を取扱ひ、其手數料及爲替相場に依る利益は無量たり。英支間貿易年額は二億元以上に達し、荷爲替及手形の割引より得る利益は最も優厚たり。吾人若し能く完全に英貨を排斥せば、英支間の貿易は因つて斷絕し、卽ち滙豐は其荷爲替及手形割引の目的を喪失し、利益を減少するに至る。蓋し所謂荷爲替・手形割引等の利益は固より貨物の出入に根據して發生するものなればなり。

(三)關鹽稅の保管　支那關稅は外債の抵當たるが故に、全部滙豐銀行に存す。外債の利拂は期限一定せざるに因り、關稅の保管高時々一千萬元以上に在り、鹽稅亦善後借款に抵付するが故に、英・獨・日・佛・露・各國銀行に分布保管し(現在獨華銀行は此權利を剝奪せらる)、滙豐は四分の一を占む。每月鹽稅剩餘金(鹽餘)を支拂ふを以て、時々其保管高は一百萬元に達す。是れ亦滙豐當座預金膨脹の原因たり、而して關稅は必ず滙豐に保管するも、條約上の規定に依らず、只習慣に依つて然るのみ。今能く完全に英貨を排斥せば、則ち英人負擔する所の關稅は必ず減退し、自ら總稅務司の位置も關稅の負擔最多の他國人に附與

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

することゝなり、關稅亦改めて他國銀行に保管すれば、則ち滙豐は必ず其在支金融財政上の勢力を失墜す。故に排貨一擧し直接なれば則ち英國の在支商務に影響し、間接なれば則ち滙豐の營業に影響す。

(四)紙幣發行　滙豐銀行の發行に係る紙幣は約四千餘萬元にて、準備亦甚だ充足し、群衆の取付に遭ふも其營業苦痛を感せず、然れども之に因つて其信用に影響する所あり、其他債權者を刺激するが故に、兌換の擧又甚だ重要なり。

以上の辦法は、竝に之を喳打麥加利有利等の英國銀行及朝鮮・臺灣・正金等日本の銀行に施すべし。

第六　經濟抵抗の執行機關

以上述ぶる所の各種方略は、强有力の機關あり、切實之を執行せざれば則ち亦終に空言に終りて補なし。此種執行機關は人民團體より共同に之を組織し、商會・工會・農會・敎育會・學生會・銀行公會・律師(辯護士)公會を始めとし、各種大小法定特殊團體均しく之に加入し、商業最重要の地を擇選し、總機關を設け、內地各港都邑等に分機關を置き、相互聯絡、響應して以て指臂の效を收む。其職權大略下の如し。

一、仇貨の種類・名稱・商標及其製造工場を調査し、商人・市民に布告し、購入使用することなからしむ。
一、仇貨取引の洋行・商店及製造工場の名稱を調査し、商人・市民に布告し、交易することなからしむ。
一、英日兩國銀行・貯蓄會・保險會社等の名稱を調査し、商人・市民に布告し、往來することなからしむ。
一、國貨の種類・名稱・商標・產地・數量等種々條件を調査し、以て仇貨の代用品となし、竝に國貨を提倡するの方法を研究す。
一、他國貨物の種類・名稱・商標・產地等條件を調査し、以て仇貨の代用品とし、竝に獨逸に對し直接通商

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方法を研究す。

一、洋貨商人の現存仇貨及仇貨棧單(倉庫證券)、棧貨(庫入貨物)には特製の印紙を貼用し、其賣買を許可す。但し印紙料(捐)を徴收す。

一、隨時各洋貨商人を檢査し、若し無印紙の仇貨等を賣買するものあるときは其貨物を消燬し、竝に之を處罰す。

一、國貨商場を組織し、各種の國貨を陳列し販賣す。蓋し其商號の國貨に屬するや、仇貨に屬するや、識別すること容易ならざるものあるが故に、必ず通商の大港に於て大規模の國貨商場を組織し、國貨の工場より資本を集めて之を創辦し、各其出品を輸し、竝に各地の土産品を採辦し、其中に陳列賣買し、若し試辦の效を見ば、再び之を各省の城鎭・都邑に推及し、購買者をして誤購することなからしむ。上海の國貨商場は八十餘團體より資金を集め創辦し、既に其業務を開始せり。

一、仇貨陳列場を設定し、國人をして辨識に便ならしむ。

一、失業者收容所・職業紹介所を組織し、竝に救濟資金を募集す。

以上述ぶる所は祇其梗概に止る。之が詳細辦法に至りては、各地方より斟酌損益し、時に依つて宜しきを制すべし。然れども之を嚴に失し、又は之を懈に失せざるべし。

第七　全國上下の協力

經濟抵抗實行の初に當りては、消費者は其平日の習慣に反するを以て、不便を感じ、商人は最も其物質上の利益を犧牲にし、其他種々不愉快の事均しく避免すべきものなし。然れども吾人は須らく、經濟抵抗は實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に吾人英日の强暴に抵抗する唯一手段たり、亦吾人生存を競求する唯一の活路たるを知るべし。吾人自活を求めざれば已む。自活を求めずとせば則ち全國上下均しく當さに萬難を排し、萬苦を忍び、以て之に赴くべし。剋程功を計り、以て成るに底る。且つ此種の困苦は固と一時の現象に屬す。之を久ふすれば自然に安適す。若し阻礙に遭逢し、卽ち自ら餒して盡せば、啻に虎頭蛇尾の誚を貽すのみならず、抑も且つ英日をして我人心の盡く死せるを笑はしめ、而して益々其凶焰を長せしむ。政府は國際地位の關係上、未だ明白に之を贊助せずと雖ども、能く國內產業を提倡し、失業勞働者を救濟せば、則ち固より其職責の在る所なるが故に、政府も應さに左記列擧の處置に應ずべし。

(一)華僑及內國資本家の投資を勸誘し、以て內國產業及航業を振興す。

(二)英日に抵抗し、創製の國貨に對しては、酌量して其稅捐及交通運賃を免ずべし（永利公司之鹼品の如し）。

(三)基金法を採用し、內國產業及航業の振興を圖るべし。

(四)各國に向つて交涉し、關鹽稅の保管權を恢收し、內國金融をして活潑ならしめ、市場利率を減少し、商工業を發達し易からしむ。

(五)勞働者保護法（保工條例）を改訂し、以て勞働者の過度勞働及失業を免れしむ。

(六)支出して罷工勞働者を救濟し、竝に失業者の就職上及交通上の種々便利を圖るべし。

(七)物價の暴騰を防止し、竝に商人の不當利得を禁止す（凡そ商人の抵抗に依つて利を得るものは、綢緞業・煙草業・交通業等の如きは亦應さに自ら自動的に出でゝ失業を救濟し竝に國貨を提倡すべし）。

(八)洋貨商の營業稅を制定し、以て保護關稅に代ゆ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

(九)鹽稅の附加稅一角を徵し、以て勞働者の救濟に供へ、若し能く之を全國に推行せば集めて成數あり、即ち之を以て又工業を興辦す。

(十)興業獎劵或は興業公債を發行し、獎劵は三百萬枚を限となし、期限を定め賣下げ、之に依つて勞働者を振濟し、公債は三千萬元を度となし、即ち鹽稅の附加稅收入を以て擔保とし、之を以て工業を興辦す。

此外各銀行・公司・工場・航業・紡績業等の大工業亦亟かに擴張改良の方法を講じ、失業勞働者の收容を圖り、內國產業を發達し、以て英日在支の經濟勢力に代はるべし。

以上の計畫案に依れば其目的をば一般的に英國に對し、部局的には日本に對し抵抗し、英日に代ゆるに獨逸を以てしたのは頗る注目に値價すべく、而して其手段は消極的に排貨を講ずるの外に、積極的に國貨維持の方法を講じ、保護貿易の精神を發露して居るのは、從來の排貨運動に異り經濟上重大の意義を存し就中印紙稅及鹽稅の附加稅を課し、勞働者の救濟費其他に支辨することにし、又洋貨商に對し營業稅を設け保護關稅に抵代することを推擧して居るのは經濟抵抗の意義を標榜した所以である。

其他北京大學教授の馬寅初の如きも、排貨を以て關稅改革に代ゆるものとし、換言すれば排貨を以て關稅戰爭の具に供するのであるから、支那人は排貨運動を眞面目に解釋して、吾人が想像するよりも一層重要視して居るのである。彼の馬寅初の昨年七月の上海總商會月報四週紀念「提倡國貨號」に「以抵制英日貨代保護稅」の表題を以て揭載したもの丶中に於て「對レ外則爲二外國原料之供給者一、對レ內則爲二外國製品之消費者一、於二不知不覺之中一、自二陷於殖民地之地位一、不二僅一國之殖民地一、乃列强之殖民地也、其經濟上之地位、遠在二印度、埃及之下一、豈不レ可レ悲、爲二今之計一、惟有下排二斥英日之貨一以爲中收二回關稅一之替代上、蓋保護關稅之目的在レ培二養實業一、使二之基礎鞏固一、不レ致下受二他國之攻擊一而動搖上、排二斥外貨一之用意、直接予二敵人一以二痛苦一、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間接予二國貨一、以二銷路一、且使二之日益勃興一、足レ供二本國全部之需要一、是其目的與二保護關稅一相同也、列強旣不下肯以二主權一還上レ我、我惟有下另闢二途徑一、以求レ達中其目的地上耳、」と論じて居るのは、關稅改正問題上から見ても又注意すべき事項の一である。

五　排貨と對支精神

現在支那の排貨運動は、前記計畫の如くに未だ常時に一般的且つ組織的に實施せられて居ないが、廣東に於ては香港の經濟抵抗に關して頗る極端に排英的活動を持續して居り、殊に昨秋以來、對香港貿易を杜塞し、英國船に對する貨物の運搬積卸を禁止し、英國籍以外の諸國船を以て代ゆるに至り、現に廣東仕出貨物をば日本船に積込み、臺灣を經由して歐米に輸出するものがあり、又香港藏置貨物の一部をば臺灣に輸入し、廣東に輸出する仲繼貿易の發生を見たが如く、恐らくは今年の對支貿易に一變化を現出することは疑がない。但し今後同一狀態が何時迄永續すべきものなるやは逆睹し難いものがある。自ら今後長期間に亙り必しも英國に不利で日本に利益あるやも亦斷言することは出來ぬ。或は日本は第二の英國として排貨の標的に供せられないとも限らない。而して支那各地の排日貨運動は、近き將來に於ては間隔的には必ず勃發すべきものであり、卽はち漸次に前記計畫の如くに、英日に對しては一般的又は部局的經濟抵抗の現出を見ることがあると思ふ。而して從來行はれた數回の排日貨運動に依つて被つた我が商業貿易上の損害は、相當程度に達したが、今後一層組織的排外運動の發展に伴ひては其受くる所の被害は莫大なるものあるべきである故に、之が對策を講じなくてはならぬ。

排日貨の防止方法に關しては、排貨運動を專ら盲動視して壓迫手段に依らんとするものがあり、又該運動

を愛國的國民の熱情に出るものとし、一切の帝國主義的資本主義經濟政策を打破し、不平等條約・治外法權の撤廢又は租借地・居留地其他利權を返還し、改めて白紙の新交際をなさんとする樣な主張があるが、何れも支那の國情竝國民の眞相を窮めぬ極端の議論である。又は其運動を慢性的に發生する年中行事と看做し、無抵抗に放任し或は事大小となく腫れ物に觸る樣に消極的隱忍の態度に出でんとするものあるが、是は無策であつて却つて支那人に輕蔑せられ機會に乘せらるゝの虞がある。吾人は須らく進んで支那の爲に指導的地位に立ち、善意の方策を立て日支親善の實を擧ぐることに全力を盡さなくてはならぬ。其方法たるや一、二事項を以て盡すべきものでない。國家の政策は固より、私人團體等の働きに至る迄、即ち政治上・經濟上・社會上・教育上・宗教上・各般に亙るべきものである。就中重要なるものは、大正十三年二月の本誌に於て論じた樣のものであると信ずる。但し現に對支文化事業の例に見るが如くに、施設制度自體ばかりでは豫期の目的を達することは出來ぬ。必ずや支那に對し支那人に向つて、一貫した親善精神が伏在しなければならぬ。英國の如きは其の資本主義・帝國主義的勢力に對する支那人近來の反動的國民運動の爲に、英國の東亞の經濟的基礎にも動搖を來さんとして居る兆候があるも、開港以來八十年に亙り支那沿岸隨處に准帝國を建設して、海運經濟界の覇權を掌握して居つたことゝ云ふものは、只軍事的壓迫ではない。實際支那の爲に献身的に働き、支那の文明的事業を育成した大恩人を出して居た爲である。就中各支那に半世紀間居住して支那の爲に人柱をなした一對の偉人は、總稅務司の故ロバート・ハート及公使のジョン・ジョルダンである。茲に一言兩者を掲げて本文の結論とする。ハートに對する或る崇敬者は、「ハートは其感情に於て、其國愛心に於て支那人よりもより多く支那人である」と云ふて居るのは、最も能くハートを評したものである。ジョルダンに就ては、昨年九月十八日英國倫敦ホテル・ビクトリヤに於て、支那關稅特別會議出席英國代表送別午餐會に於

て試みられた英國外相オースチン・チェンバーリンの演說中に「我英國及支那が或る大人物然も其の人は先日此協會(支那協會)會合の席上で忽然逝くなられた人に對して負つて居る精神上の借財に就き、一言言及しないと云ふことは到底私には不可能であり、諸君も多分斯く感じられて居ると思ひます」と冒頭に置き、ジョルダンの功業を賛し「此はその支那に關する經驗及智識と、支那國民に對する同情を我政府に參考に供し、氏の生涯の勞苦の賜を我等に頒ち與へんと努められたのであります。氏は實に偉大なる官吏の典型と云ふべき靜かに働き自分の名譽を顧みず、只自國の名譽及自己の派遣せられて居る國民に對し甚大の同情を抱懷して居た人であります。私はジョルダン卿を指して、その故國たる英國を除いては支那を最も愛した大英國人であると申ます云々」と述べて居るのは、溢美でないと信ずるのである。(完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那 老撾の經濟的價値（上）

永 嶺 生 譯

本文は印度支那行政部長 Malpeuch 氏が、Laos Economique 中より摘錄したるものにして、老撾產業に關しては權威ある資料と思惟せらる。＝譯者＝

序 言

今老撾に於ける產物中、商品若くは工業品たり得るものを摘出するとせんが、その數餘りに夥多にして、一々之が枚擧に遑なしとも言得べく、然も之等の大部分のものは未だに世に知られずに在る。併し乍ら、この數年來、殊に河內に開催する展覽會に於て、此地に於ける多くの重要產物に就て、可成り正確なる資料を手に入れることが出來た。之等資料は、之の他の開發は將來の努力に待たなければならないことを要求してゐる。

以下本文中に列記せる產物は、何れも現在に於ては、著々その進步の實を擧げつゝあるものなるが、本文を草したる目的は、之等產物をして商品若くは工業品たることを得せしめんとするの調查資料たらしめんが爲めである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して、この序言中に、現在老撾に於ける商、工業の實際に就て、その有りの儘を紹介することも又頗る興味深いものがあるであらう。

先づ、老撾に於ける工業としてその未だ一般に知られてゐないものを擧ぐれば、絹絲を除く他のすべての家内工業に就ては、殆んど見るべきものがないと言ふも過言ではない。尙此地に創設される可能性のない、つまらない工業は之を控除する考へであるが、此地に於ては第一に各種工業原料產物豐富にして然もその價格は頗る興味深いものがある。即ち非常に廉價なるもの多く、且又一方に於て、此地は老撾女の勞力の供給が十分且容易なる處である。玆に女の勞力といふも、決して是侮るべからざるものである。殊に筋肉勞働を必要としない仕事に於てそうであるが、此地は、女の勞力を十分に需要し得る處である。

次に老撾に於ける商業としては、一般と稍その趣を異にし、特殊のものがある。輸入に於て之を見るに、その全部否殆んど全部のものが何れも外國製品と言ふて差支えない、即英國・日本・和蘭製のものを主とするが、近き將來には再び獨逸製品がその第一位を占むるに至るであらうと豫期されてゐる。

於是乎、某々佛人等はヴィアンティアーヌ（Vientiane）に商館を設立し、この現狀の緩和に努めつゝある。その努力は實に賞讃に價するものであるが、先づこの現狀を緩和することは甚だ難事なりと見るべきである。

眞實この現狀を解決するの方法は、西貢より佛蘭西商品を輸入するのにあるが、如何せん、佛商品は、その價格頗る高價にして、西貢に於て高率の從價輸入稅を課せられてゐる外國商品とメーコン河上に於て相爭ふことすら不可能とする程の高價を示してゐる。然るに一方この外國製品は盤谷に於て最低率關稅の適用を受けてゐる。故に貨物の運送上より我と暹羅とを對比するに、地理上は我に有利の樣に思はれるが、事實は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さにあらず、かの大河運輸會社に於ても果して定期航路の永續性あるや否や、頗る覺束ない話である。又一方に於て、支那商人は此國に對しては、單に輸入のみを行ふ關係から、我に與らず、常に輸出貨物の集散せる暹羅のコラット(Korat)へ向け積出を行ふ方が便宜であるといふ立場にある。

然も新條約の結果、暹羅は、我隣邦諸國に自由關稅制度を採用せるを以て、自らこの問題に於ては思半に過ぎるものがあるであらう。

今日徒らに輸入稅率を高めることは我に不利なることは自明の理である。この不利益は又西貢に於ける佛商品の無稅通過に對しても、當然の返報なりと言得られるのである。

又、メーコン河上の稅關設置等は、實に愚者の夢想に過ぎない。

次に輸出狀態は如何といふに、これは永らく、メーコン沿岸の支那人商の手中に在りて、盤谷在住の外國人商館の手に依るものよりも遙かに多い現狀である。彼等はコラットの支那商を仲立として貨物の信用取引を行つてゐる。

前述せる通り、佛蘭西商人も老撾に商館を設置し、商業を營んでゐるが、別段不滿を感じてゐる樣にも見えないが、今彼等は不幸にもこの貨物運送問題に就て、非常なる困難に直面してゐる。

輸出貨物は農・林・鑛產及畜產の全部に亙つてゐるが、その中前者に屬するものは、スティック・ラック(Stick laque)、樹脂、ローレル(Laurier)、籾小量(南部地方產)、錫(Pak-Hin-Boun 鑛山產)等にして、後者に屬するものとしては、獸皮及各種の獸骨角類である。

之等產物のすべては、何れも輸送し易きものなるを以て輸出上に於ては何等困難を感ずる事なきも、その量に於ては未だ多量とは言へない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他産物の大部分のものは、これが輸送上に適當なる手段を講じたるならば、何れも立派に輸出品たり得るものである。森林には良質の木材無盡藏にして又農産物に於ては、産額增加の見込み十分である。既に老撾に於て一般に用ひられてゐる煙草の如きは、工業家の注目する所にして、牧畜も亦將來頗る有望である。水牛・牛・雞・羊等の飼養は、等しく、將來之が繁榮を豫期されてゐる。

最後に一つ、現代に最も相應するものがある。それは、最も興味あり且つ單に老撾一國のみならず、我印度支那に於ける事業として最も有望視すべきものであるが、それは織物纖維材料である。

この織物材料は、棉花供給不足の恐慌來の爲めこれが解決は頗る難事とされ、現今これは世界的問題となり、世界のあらゆる工場は何れもこの原料不足難を感じてゐる。從つて、これが價格は各國生産者を惹きつけるに十分なる値段に到達し居るを以て、生産者は何れも之が栽培に沒頭し居るの現狀である。

然るに老撾に於ては、何等特別の設備なくして、この利益ある織物材料の莫大なる生産を擧げ得ることが出來るのである。

而して之等織物材料中、二三のものは英領印度にも存し、將來商業上重要なるものとして注目されてゐるが、彼地に於ける生産量は多分小量のものであらうと思惟される。加之彼地に於けるものには掩ふべからざる缺點存するも、我老撾に於ては、容易に且莫大なる產額を擧げ得ることが出來ると共に土地開拓の可能性も十分存してゐる。

此處には開發を待つ富源がある。現時これを等閑に附し置くことは重大なる誤りなりと言はなければならない。

實際、クロタレイル（Crotaraire 蝴蝶形科の豆科植物）ヒビスカス・カナビナス（l'hibiscus Canabinnus 木芙蓉屬）蕁麻（Jute）其他纖維は我老撾に於て容易に且多量に生産されるものなるが、之等纖維を我佛蘭西各工

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

場に供給することの重要なることは今更贅言するの必要はあるまい。

英領印度一九一九年に於ける各種纖維の總輸出額は三千五百萬留比に達し、印度支那へも年々荷造り用袋及亞麻布、二千五百萬法を輸入してゐる。同樣に支那及日本に輸入する高も頗る莫大なるものであるが、如上の次第を考ふる時、益々余はこの地を開發し、以てその利益を收受するの必要を痛感するのである。

メーコン河流域地方は特に之等纖維の栽培に好適の地である。又事實その大部分に亙り家內的栽培行はれてゐるが、今若し彼等老撾人をして、僅少なる勞働によつて然も相當なる賃銀の得られることを知らしむるならば、彼等は喜んで我栽培事業に來り、その勞働に從事するに至るであらう。

昔から老撾人は、一般に怠惰者なりと言はれてゐる。確かに彼等の呑氣さ加減は徹底したものであるが、又彼等をして眞に怠惰者なりとするのも當つてゐるとは言へない。

蓋し、此地の天然產物に對する彼等の態度は、之に反して確實なる獨創力を示してゐる。之に就ては、老撾在住の佛蘭西商館のものが證明してゐる。又老撾人も人間である以上、他種族同樣に進化することは明かである。加之、一方に於て、若し老撾人の勞力不十分なるときは安南人の此地に進入すべき筈であるが、安南との國境方面に位置するサヷァナケ(Savannakhet)州下の比較的物資の供給豐かならざる不毛の地方に於てすら安南人の進入せるを見ない、此地の土人は何れもメーコン河航路に通じ、その沿岸に於て愉快に生活してゐる。

只問題は貨物輸送問題である。商業上此地に活躍せんとするに際し、これが唯一の障碍を爲してゐる。事實これは此地の死活問題なるを以て、如何なる事あるも、早速之が解決方法を講ずるの必要がある。

又一方、老撾商業發展策としては、十分なる河川利用を希望するものである。復、此地に於ける鐵道敷設も、比較的近き將來に於て之が實現を希望して止まない。

要するに、老撾は印度支那に於ける織物材料の大供給者たり得る國であるが、目下之は單なる抱負に過ぎないのである。

一　食料産物

米● 老撾人は米を主たる食糧とすれども、その米は唯 Khauniau（安南語にて Nep）といふ一種の糯米に限られてゐる。

老撾人は各自單獨に米田を耕作す。耕作狀況は規則正しく、彼等は專心これに從事してゐる。事實この米作に就て彼等は一年の殆んど四箇月をこれに費し、その間他の仕事は何等やらうとはしない。而して老撾人のこの米作に費す努力比較的僅少なるに不拘、一般米田の收穫率は、印度支那の他の諸國のそれに比し、決して劣つてはゐない。一エクタール當りの收穫高は平均一、五〇〇瓩乃至一、八〇〇瓩を通例とする。

老撾人は一般に、平地米(Riz de plaine)と共に高地米(Riz de montagne)の耕作をも行ふ。北部老撾及安南山脈に近き地方の平地に於ては始終洪水に見舞はれ、米田として耕作するには不十分なるを以て、作民は森林を伐採して、そこに彼等生活の資料たるレイ(Ray)種米を植付ける。このレイ米も又彼等の間に於て盛んに植付けられてゐるものであるが、彼等老撾人はこれが非常に滋養に富めるものと考へてゐる。

老撾に於て栽培される稻は先づ之を二つに分けることが出來る。即ち早稻及季稻である。上記二者の中間季に收穫を見る稻穗はこれを中間季米(Riz de demi saison)とも言ふべきであらう。

要之、之等米の收穫は、九月以後次の收穫期迄殆んど何等の障害なくして行はれる。レイ米は九月に始まり、早稻は十一月に終る。中間季米は十月に終り、季稻は十一月から十二月にかけて終るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに老撾に於ては之等收穫を見る多量の米は何れも彼等の消費に當てられてゐる。交通機關の缺如せる事は、こゝに於ても越え得ざる障碍を爲し、爲めに老撾人は彼等日用消費に充足するの程度に於て米田の耕作を爲してゐる。若し何等かの交通機關あるならば、之等米の産額の著しく增加せることは明かなることである。

毎年平均籾價は、一ピクル當り、八十セントより一ピアストルの間に於て區々であるが、異常なる豐作を見たる年に於ては四十セント臺となることも稀しくはない。今の處老撾に於ける米は、何等輸出上の對象となることはない。只安南部のバクセ(Paksé)地方に於てその生產される米の幾分が、西貢へアルコール製造原料として送られてゐるに過ぎないが、若し河川運輸會社が、始終米を積取つて之が輸送に從事するならば、この米の輸出額も著しき增加を見るであらうことは明かである。

玉蜀黍　老撾に於て栽培される玉蜀黍(特に平地米田の少なき地方に多く栽培さる)は、山地方面に在住するものに採つては重要なる食料である。或住民は、子供に收穫したる山地米を與へ、彼等大人達はこの茄玉蜀黍のみを食料としてゐるものがある。栽培されてゐる種類は多種多様であるが、その中最も早生のものは、八月の終り若しくはそれよりも早く收穫を見る。

玉蜀黍は、主としてレイ米の收穫後、雑草を刈り、之を燒き拂ひその跡にこれを栽培するのが普通である。玉蜀黍栽培の可能性は、頗る範圍が大きいものであるが、土人は唯彼等自身の要求を充たす程度の栽培に甘んじてゐる。

村落から村落への一寸した二三交通機關はあるが、玉蜀黍に於ても矢張り、商業上の對象としては未だ心目を惹くに足らぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二　野菜類

他の印度支那諸國を通じて栽培されてゐるすべての野菜類は、老撾に於ても同樣に殆んどその全部のものが栽培されてゐるが、その栽培も矢張り彼等自身の要求を充す程度に止るを以て、その生産高は自ら制限されてゐる。

又近時佛蘭西野菜も老撾に侵入し來り、これが栽培されあるを見る。その發育狀態は頗る良好である。北部地方、殊にトゥラナン（Tranninh）に於ては**朝鮮薊**（Artichaut）が元氣に成育してゐる。又モゥ（Meos）には歐洲種の變種らしい**馬鈴薯**が栽培されてゐるが、未だこれは大したものではない。

荳類（Haricots）　土人は各種の荳を栽培してゐるが、その主なるものはムンゴー荳（Haricot Mungo-Phaséolus Radiotus）（Mak Tua）である。

蠶豆（La fève）　近來トゥラナン州に於て之が栽培を見る、成育狀態は良好の樣である。

馬鈴薯（La patate）　老撾人は、この馬鈴薯の栽培はやつてゐないが、非常に之を珍重する。この馬鈴薯栽培は、安南人之を行ふ故、多くの中央市場より供給されてゐる。

大豆（Soja）は、トゥラナン州より小量の産出を見る。トラナン州は大豆の成育に好適の地らしく、その成育狀態は實に生々たるものがある。

マニホット（Manioc 大戟科植物にして之より澱粉を採る）は、全老撾を通じて生産されるが、これが栽培は、安南人が唯彼等日用に供する程度に於て栽培してゐるに過ぎない。

其他、老撾人は林野中より各種の球根を求め之を食用に供す。其の中でも Koi の球根等は最も多く採集さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る丶所にして、食料不足を告ぐる年等に於ては、彼等は無中になつて之を探し求めるのである。

三　藥味

唐辛子(Piment)(Mak pit)は土人の食料植物としては、先づ第一に指を屈せなければならない。從つてその栽培される量に於ても頗る多い。土人はこれの實の赤くなり始める頃摘み取り、之を太陽に曝露せしめて乾燥する。次に土人はこれを永く保存せしめんが爲めに、煙にて少しいぶすのである。

商品としての唐辛子は、未だ極めて範圍狹く、地方的のものに過ぎない。その價格は、一ピクル當り、十、十二、二十ピアストル等の間に於て區々である。

生姜(Gingenbre)(Mak king)も殆んど到る處に栽培されてゐるが、土人各自の日用品として使用さる丶量は僅かである。彼等の用途はこれを藥味として又藥劑として使用するに在る。(後說香料の部參照)

高良薑(Galanga-petit)(Kha)も老撾の至る處に成育し居るも、その量は少い。併し、土人は自家用に供する程度に於て之れが栽培してゐる。藥味・香料又或場合には藥用とする。(後說香料の部參照)

キュルキューマ(Curcuma 薑黃屬、印度産番紅花(サフラン))(Khi Min)これは前者と同じ種屬であるが、非常に多く栽培されてゐる。老撾人はこれを種々料理の藥味として使用する。又藥劑としても之を使用す。若い女子供はこのサフランより採つた染料(?)を身體に塗つて化粧するのが常である。

珈琲(Café)老撾は珈琲産地としては好適の地だとは言切ることが出來ない樣である。旱魃が永らく續くことゝ、開花期に於ける大暴風は、同樣にこの珈琲には有害である。

パクセ(Pakse)に於て、植民地移住民たる佛人リカウ氏(M. Ricau)は、幾エクタールかの廣き土地に、珈琲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アラビカ(Arabica)、ロブスタ(Robusta)及リベリア(Libéria)の三種を栽培したるが、この三種共に乾期に於て乾燥打續ける爲めと、十二月及一月間の大風に依つてその發育を妨げられた事實がある。

尙リカウ氏は、東京の珈琲栽培者、ボウレル氏(Borel)の作つたExcelsa新種に由つて再び試驗せんと計畫してゐる。と共に彼は耕作地へ灌漑を爲さんとする計畫を樹て居るが、若しこれが立派に成就する曉には、その產額は多分增加することゝ思はれるが、この施設は何處にでも矢鱈に之を爲すことが出來ない。何故ならば、その土地の狀況により著しく生產費の增加する苦痛があるからである。

又右の外、老撾の珈琲は、商品としも確かに運送費に剩費多きことは免れない事實であると共に、東京產のものと勢ひ競爭の止むなきに至るべきは免れ得ない事であらう。随つて、要之老撾に於ける大規模の珈琲栽培は、有望であるとは言へない樣である。

四 油性植物・樹脂其他

唐胡麻(Ricin)　この植物は未だ老撾に於ては栽培されてゐないがメーコンの河岸一帶には、これの天然性のものが成育してゐる所より見て、これが栽培は、交通機關の發達と相俟つて、必ず發達の見込み十分なるものであると言得られる。

胡麻(Sesame)は栽培されてゐるが、量に於ては僅少である。併し乍らその成績は頗る良好である。

老撾人の造る菓子にて、米で造る種類中には、この胡麻油を使用するものが多い。又この油を原料として藥劑をも造る。

落花生(Arachides)　老撾に於ける落花生栽培は未だ發達の域に達してゐない。トゥラナン州下に僅少の栽

額あるに過ぎぬ。

椰子樹(Cocotier)　全老撾を通じ、椰子の栽培は一般に行はれ、各村落に於ける椰子栽培は實に盛んなものである。

土人はコプラより彼等日用の油を造る。殊に頭髮用油として製造さるゝ量が多い。

油棕櫚樹(Parmier à huile)(Kok kho)　この植物は北部安南の山地の一部及中部老撾の東部一帶の山地と平地の境に成育してゐる。住民は之より食用油を造る。

マロニエ(Marronnier)(Esculus, Mai ko)　本植物も老撾一帶に汎く成育し、何れも高さ三米突より四米突に達してゐる。從つてこの種子の收穫量は莫大なものであるが、老撾人はこれより燈火用油を造つてゐる。又これを藥用とする量も頗る多い。

イルヴァンジー(Irvingie 苦木料屬)(Mai Khabok 或は Mai Bok)　この植物は美しい木である。これも老撾の到る處に在り、食用として重要なる油を採る。

ロットレラ(Rottolera 大戟料巴豆族)(Kok Pohon)　これは多年性の植物にして是又老撾の到る處に野生してゐる、老撾人はこれを以て織物を造つてゐる、價格は相當のものであるが油は採らない。

ポンガミー(Pongamie 豆料、ハネノミカヅラ族)(Khua Somkoi)　この植物は葛の樣に成長するものであるが是復この地に頗る多い。土人はこの實より油を造らずに、この葉を煎じて僂痲質斯の藥、又皮膚病の藥としてゐる。

Mai nhang(ディプテロカルペ—Diptérocarpe—の一種)　この木は高さ四十米突に達する非常に高い木で、又幹は眞直な好い木である。是又全老撾を通じて繁茂し、土人はこれより搾取したる油に樹脂を混じて小船

の船筎を塡める材料としたり、水汲籠或は同様目的を有する諸道具に之を使用してゐる。

又之にて彼等は松火、截切器の柄、鋤の一部(鋤の土中に在つて土を掘返し、畦を造る部分)を造り、又裝身具其他の細工材料として使用してゐる。

油の搾取方法は頗る原始的のもので、木幹の下部に大なる切込みを造り、そこに一つの空洞の所を設け、そこで火を燃やすのである。斯くする時は、火熱により木の内部に在る油は滲み出し、下へと降つて來るのを下には竹の筒を用意し之を收受するのである。然して若し火熱が木を崩壞せしめなかつたならば、尚引續き、その木より數年間油を搾取することが出來るのである。唯その場合は火を焚く空洞を擴げる必要がある。

この油の價格は十二基瓦一〇セント乃至一二セント位である。

尙他に名の分明しないディプテロカルペ種の木が森林中に繁茂してゐるが、その中、Mai Khoum, Mai Sat, Mai Ta Bong 其他の樹は、何れも住民の日用品製造上必要のものである。

樹脂(Resines)　樹脂は森林中の到る處の木より採れる。トゥラナン及カムモン(Cammon)州下に於ては、松脂の生產多量であるが、この地方は何れも未だ開發されてゐない。

樹脂が輸出品として交易されるに至つたのは極く最近の事であるから商品としての價格は極く低廉である。土人より之を購ふ時は、普通樹脂が一基瓦僅か一セントから二セントである。然れ共、ワニス製造原料たる良質のものは、可成り高値を呼ぶに至りたるが未だ五セント乃至六セントの域を出でない現狀である。

樹脂としては、Map Pong, Mai Khen, Mai Hang 其他等の各樹より採取されるものを重要視してゐる。

尙、トゥラナン州及その他老撾の各地方に於て、根元は土中に埋つてゐる朽木より慘出して出來た、化石せる樹脂を發見することがあるが、これは特に珍重がられてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

藤黄等の護謨樹脂(Gomme Gutte) これもトゥラナン州下に産す。ゴム樹脂の採れるArtocarpusは此地方に繁茂してゐるが、今の處、この産物は何等事業の目的物とはならない樣である。

彈性護謨(Cauthouc) 老撾は可成り永らくの間、リアーヌ(Liane)護謨を輸出してゐる。交趾支那に於けるヘビア(Hevia)種の栽培は比較的生産費多くかゝり、結局は不可能となる許りであるに反し、此地の護謨は良質且、價格に於ても適當のものである。

ラテックスの採取されるリアーヌ種は、此地に頗る多く、殊にリユアウ・プラバン(Luang-Frabang)、トゥナン、ヴィアンティアーヌ州下に於ては最も多く見受けられる。

五　染料

染料原料産物も此地には頗る多い。昔時、老撾人は植物性染料のみを用ひてゐたがこれは非常に美麗且非常に持ちがよいものである。處が近來此地に化學染料が一般に這入り込んで來た結果、藍の如き植物も現今は僅かしか栽培されてゐない。何故如斯なつたかといふに、在來のものは之れを染料とするにはその製造上に非常な面倒が伴ふからである。土人が彼等の使用するに足るだけのものを、簡單に造らんとする時に於てすら頗る面倒である。

從來輸入される染料の大部は獨逸製のもので、戰前よりこの地に輸入されてゐた。今日は英國よりも多數輸入されるが、佛蘭西製品は如何といふに、染色用ザボンとして市場に在るを瞥見するも、評判に於て英國製品に劣る事遙かである。

又最近此地方に獨逸製品が、メーコン河を通じて侵入して來るとの話であるが、これは眞實らしい。我々は之に注意する必要がある。さもなくば彼等は再び彼等の顧客を容易に奪還するに至るであらう。(未完)

(L'eveil Economique de l'Indochine)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英人の見たる護謨恐慌の眞相

前川生譯

スチヴンソン案實施の效果として近時粗製護謨價の高騰に對し最近 "The Investors' Chronicle and Money Market Review (London)" 誌は冒頭題目の下に米國製造業者の立場を忌憚なく批評し居れり。今其一部分を紹介すれば次の如し。

米國人は本問題に關し殆んど常識を失へるが如き感あり。棉花・小麥に對する投機――兩者は護謨よりも英國にとりて必要なる――は紐育、ニウ・オルリアンス又はシカゴに於て最も代表的なるものにして、米國製造業者は通例歐洲諸國の需要に應じ其商品貨物を賣らず、或は最高相場を得る爲め歐洲の窮狀を顧慮せざるなり。されど一國(買手國)が他の一國(賣手國)に依て要求せらるゝ商貨の高價に對し(是の如きは前者即ち買手國に於ける企業家の投資を不便ならしめる)抗議を唱ふるが如き事柄にして若し外交上の慣例となる時に於ては國際關係上の將來に新なる危險を招くことゝなるべし。

數百萬の資本を投資し居れる馬來及錫蘭地方護謨栽培業は英帝國の重要資產の一にして對英爲替上最も重要なるものなり。四年前護謨市場はストックの過剩竝に需要額以上に增產せる爲め非常なる打擊を蒙れり。即ち價格は生產費以下に低落し米國製造業者は聯合によりて價格の引下げ運動を行へり。英國生產者は華盛頓駐在英國大使に何等助力を請はず自ら救濟せんと努力せしが、相次いで護謨園は倒產し經營困難なる農園は放棄せられんとする危險狀態に陷れり。米國護謨消費者は此機に乘じ强制賣買の下に農園を所持せんとす

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るが如きことありとは思惟せられず。加ふるに此の計劃は自衛的スチヴンソン案の實施によりて阻止され、危機を持越せる英人所有護謨園は之れが爲め生産制限をなすに至れり。本案は錫蘭及馬來地方のみならず、進取的に加入せる他の英・蘭兩國植民地の英國生産業者をも包含し、加入生産者は制限期間中和蘭生産者（制限に加入せざる）によりて利せらるべきを深く熟知せり。

スチヴンソン案に反對せる米國製造業者

世界護謨の七割五分を要し最大消費國の位置を占むる米國製造業者は最近迄、生産制限に加入せざる和蘭植民地の護謨増産を恃み、和蘭の護謨生産を援助する爲め多年月に亙る長期契約を結びたり。而も亦米國製造業者は苦力が其所有小園の産出にかゝる土産護謨の清淨用機械――斯くて從來の最上製品に比肩する製品を得べき――を案出せり。而して彼等同業者は一方生産者に相當の利潤を確保し乍ら、他方世界の需要に對し供給を調節し依て以て護謨價の動搖を防止せんとするスチヴンソン案に關しては殆んど傍觀視せるか或は全然取合ざりき。

スチヴンソン案の根據は草案の際、定められたる標準護謨産額の一定割合を一定期間輸出許可せしむる點にありて、此割合は前期間に於ける護謨の平均相場に依て決定せらる。最初其割合は標準産額の六割にて護謨價一志以上に昇る場合更に五分を許可輸出し、尚ほ更に一志六片以上となれば一割を増加し得るも、之れに反し價格低下したる際には、制限率は益々制限せらるゝ。過去三年間同案實施の下に護謨價は不當なる騰貴をなさゞりき。一九二二―二四年――一時護謨は一封度六$\frac{3}{8}$片以下にて賣買せられしことあり――護謨價甚だしく下落せしかば其割合増加せず、反て昨年八月一日（第三期）六割より五割五分、十一月一日（第四期）には五割に減じたり。本年二月（即ち護謨價漸騰を豫想されたる）に於ても尚ほ消費者側の無思慮なるスペキユレーションの爲め護謨價は下落せるも其割合は事實五分の増加を來せり。

スチヴンソン案を撤去せしめんとして米國側のなせる手段方法を説明せん爲めアメリカ護謨協會の論ずる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所を茲に紹介せん。同協會に依て發表されたる制限實施後米國の輸入護謨數量を半期別に列記すれば卽ち次の如し。

	上半期	下半期
一九二三年	一九〇、〇三九噸	一〇九、八一九噸
一九二四年	一五四、八一六同	一五九、二四二同
一九二五年	一八一、七八七同	—

現在護謨の不足せるは一九二三年下半期に於て輸入量の著減せると、一九二四年護謨價低落の際ストックを增加せんとして蒙れる米國製造業者の失敗に歸せらるゝや明なり。同業者は價格を低下せしめんが爲め姑息なる方法をとれる結果、斯くてスチヴンソン案の下に實施せらるべき護謨の輸出可能率は大に妨げられたり。同協會は最近國務卿ケロッグ氏に對するステートメントに於て現在米國には原料護謨のストック皆無なる旨を發表し居れり。

過去二箇年間米國製造業者が普通量のストックを所有しスチヴンソン案の目的とせる護謨價を一志六片內外に幾分安定し居る時は、今日英人所有園の護謨產額は勞働者の數に應じて夫々標準產額以上に達し居ること頗る明にして、斯の如くして護謨價低落の期間は米國製造業者の策略によりて延引し、其上護謨園勞働者は減少し、延いて新規勞働者の募集に長時日を要するに至れるは甚だ以て遺憾とする所なり。若し現在標準產額迄の生產行はるゝとするも護謨產額は勞力難の爲め如實に增加すること能はざるべし。

護謨ストックの減少は一方消費量の增大せるに由る。之れ數箇月來護謨價を騰貴せしめたる淵由をなすものなり。吾人は人工的に價格を騰貴せしむるが如き生產制限に左袒するものに非ざれども長期間護謨は頗る安價に賣買せられ、米國製造業者は護謨生產者を無視して利益を博したるを信ず。少くとも同國製造業者は其誤算及奸策に對して罰金を支拂はざる可らずと雖も、之れに對して不平を唱ふる權利更に無く、ましてや外交上の手段を弄する如きことあるに於ては此上も無きことゝ云はざる可らず。(The Annalist. Oct. 23, 1925.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣の金融景況

=自七月至九月=

財務局金融課

一　金融の繁閑竝に其の原因

本島金融界は前期來農村の好況により銀行信用組合等の預貯金増加し、著敷金融逼迫の狀態を脱したりしが、當期に入りて米況の活躍目覺ましく財界一般に好影響を與へ銀行預金の如き一億圓を突破したるのみならず、諸貸出金の整理進捗し金融界漸く遊資を擁するに至れり。然れども事業界は尙沈滯し未だ勃興の氣運を示さず、資金需要は米・茶及製糖資金等の季節的需要に過ぎず、銀行側亦尙整理期にあるを以て依然緊縮方針を持續し金融緩漫裡に經過したり。

臺灣銀行は期央に於ける總會に於て減資整理の決議を為せり。卽ち資本金六千萬圓を四千五百萬圓に減少し缺損補塡準備金千五百十七萬圓、特別積立金百七十七萬圓を崩し結局二千八百六十萬餘圓の滯貨銷却をなすことゝせり。

臺灣銀行券發行高は依然膨脹の狀態にして、期初に於ける發行高四千七百四十七萬六千餘圓（制限外發行高千四十五萬餘圓）なりしが、期央に於て五千三百萬圓臺に上り八月二十一日の發行高は最高記錄にして五千四百五十二萬餘圓を示せり。爾後稍收縮狀態にして期末には四千九百三十三萬餘圓（制限外發行高八百二十三萬六千餘圓）なり。

銀行預金は七月末九千七百六十四萬餘圓、八月末一億七百三十二萬餘圓、九月末一億七百六十萬餘圓にして漸增狀態なり。前年同期に比すれば七月末に於て千八十三萬餘圓、八月末に於て千五百八十一萬六千餘圓、九月末に於て千六百四十九萬五千餘圓を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何れも增加したり。

貸出金は七月末二億九千三百五十七萬餘圓、八月末二億七千九百二十七萬五千餘圓、九月末二億六千九百四十二萬六千餘圓にして漸減狀態なり。前年同期に比較すれば七月末に於て四百三十五萬六千餘圓を增加せるが、八月末に於ては五百六十六萬六千餘圓、九月末に於ては千四百六萬七千餘圓を何れも減少したり。之れ主として各銀行に於ける滯貸銷却の結果なり。

手形交換高は七月中四萬六千餘枚二千百十三萬八千餘圓、八月中四萬三千餘枚二千二百五十八萬餘圓、九月中四萬五千餘枚二千七十八萬餘圓、當期合計十三萬四千九百餘枚六千四百五十萬餘圓にして前年同期に比すれば四百四十七枚九百五十九萬九千餘圓を增加せり。

Ａ　一般の商勢

米は期初內地市場に於て東北地方の旱魃、朝鮮九州の風水害其他の原因により好氣配を示し、島內市場亦之れが影響を受け且一期米出廻旺盛期なりし爲め移出激增市場大に活氣を見せたるが、期央以後は內地作柄良好、外米輸入免稅延長、政府拂下米等の爲軟調を呈し島內亦外米移入の壓迫を受け不振を呈せり。當期搬出高二億八千八十五萬餘斤三千九百三十九萬餘圓にして前年同期に比し一億二百五十四萬餘斤二千九十二萬五千餘圓の增加なり。

砂糖は期初外糖軟調なりしも內地市場に於ては舊盆を控へ荷動增進し島內亦夏期需要期に入り在荷漸減を見んとする狀態にて糖價昂進せしが、期央に入りては市場軟調を呈し糖價幾分反落氣味にて期末に至るも反撥せず當期搬出高千五百九十三萬九千餘斤二百三十五萬餘圓にして前年同期に比し九百四十九萬餘斤百七十一萬九千餘圓を減少したり。

烏龍茶は期初來夏茶の出廻順調品質良好の爲市價上騰したりしが期央に至り品質低下したるに產地相場依然高値なるため鈍狀を呈せり。期末に至り秋茶出廻を見たるも產地相場と市價と折合はざる爲市況沈靜なり。當期搬出高五百六十四萬三千餘斤三百七十七萬餘圓にして、前年同期に比し二十三萬三千餘斤五十五萬一千餘圓を增加せり。包種茶は南洋地方の需要旺盛に市況活氣を呈せり。當期搬出高二百四十七萬餘斤百九十五萬二千餘圓にして前年同期に比し七十一萬六千餘斤五十七萬四千餘圓を增加せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他石炭は期央以後製糖工場の大口商談及支那各地罷業下火等により市況好調市價稍高値を呼べり。當期搬出高十七萬五千九百餘噸百八十萬五千餘圓にして前年同期に比し一萬九百餘噸十九萬八千餘圓を減少せり。樟腦は内外共に需要順調なり。當期搬出高五十五萬二千七百餘斤九十六萬八千餘圓にして前年同期に比すれば十一萬四千五百餘斤二十三萬九千九百餘圓の減少なり。芭蕉實は自由移出問題及産地に於ける仲買人對生産者間紛擾一段落により且天候順調にて出廻旺盛なりしも、内地生果物出廻期なる爲市況稍沈滯氣味なり。當期搬出高五千五萬八千餘斤二百二十六萬五千餘圓にして前年同期に比し六百八十五萬九千餘斤九十二萬二千餘圓を減少せり。

當期に於ける貿易狀態は移出四千九百八十六萬餘圓、移入三千三百十三萬四千餘圓合計八千二百九十九萬五千餘圓、差引出超千六百七十二萬六千餘圓なり。前年同期に比すれば移出に於て千六百四十九萬五千餘圓、移入に於て千三百九十五萬三千餘圓を増加せり。移出にありては米、移入にありては外米・綿及綿織物の増加による。

輸出は千三百四萬四千餘圓、輸入九百一萬餘圓合計二千二百五萬七千餘圓差引出超四百三萬餘圓なり。前年同期に比すれば輸出に於て二百三十九萬五千餘圓輸入にありては二百四十九萬七千餘圓を増加せり。

B 株式市場に於ける資金需要

株式界は財界の好轉に稍活氣を呈せる如きも、島内雜株未だ頽勢を脱するに至らず取引尠く資金需要沈靜なり。

C 以上の諸事に對する各銀行の資金供給狀況

米・砂糖・茶・樟腦・石炭等に對する各銀行放資額を見るに七月中三千九百六十七萬餘圓八月中三千七百四十八萬餘圓九月中三千二百五十一萬餘圓合計一億九百六十六萬九千餘圓にして、前年同期に比すれば三千百七十一萬餘圓の増加なり。各品に對する放資額を見るに米に對しては七月中二千五百三十萬餘圓、八月中二千四百二萬餘圓九月中千百八十萬餘圓合計六千百十二萬餘圓にして前年同期に比し千八十六萬餘圓の増加なり。

砂糖に對して七月中九百七十萬八千餘圓、八月中八百四十萬餘圓九月中千四百六十三萬五千餘圓合計三千二百七十四萬九千餘圓にして、前年同期に比し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九百七十萬餘圓の増加なり。茶に對しては總計六百十四萬七千餘圓にして前年同期に比し八十七萬餘圓を増加せり。樟腦に對しては總計二百九萬餘圓にして前年同期に比し四十八萬餘圓の増加なり。石炭に對しては六百六萬餘圓前年同期に比し十萬九千九百餘圓の減少なり。

二　將來の見込

敍上の如く農産物の景況良好にして農村の經濟的恢復著敷一般商況亦稍活氣を呈し、事業界の如きも勃興の氣運に向へるもの丶如きも金融業者は尚整理期にあるを以て緊縮方針を持し金融緩漫の裡に經過せり。此狀勢は目先製糖資金、二期米資金、取引決濟資金等の需要あるを以て年末接近に伴ひ其程度を減少するに至るべきも本島財界の大勢既に好轉せるを以て當分此狀勢を續くるものと觀測さる。

三　金　利

金利は前期に於て各銀行一齊に利下を行ひたる以來大體變化なし。前年同期にすれば、貸出利率一齊に一、二厘方の低下にあり(平均金利別表の如し)。

四　銀行預金・貸出金及金銀在高・重要物産放資高・臺灣銀行券發行高・手形交換高・内外貿易高・臺北物價指數・銀行金利(別表之通)。

臺灣金融統計（大正十四年九月）

財務局金融課

□種類別島内各銀行預金殘高

種類	大正十四年九月末
公金預金	五、一七六、三二四円

種類	大正十四年九月末
當座預金	三、五七二、五〇八円

□種類別島内各銀行貸出金殘高

種類	大正十四年九月末
證書貸付	六七、六九六、七三三円

種類	大正十四年九月末
手形貸付	四八、一七六、九三四円

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別當座預金	四一、六九一、九五五	預金手形	二、六四〇、二八六
通知預金	二、〇〇三、三九八	日本銀行預金	三、四五三、六一五
定期預金	三〇、九六五、一三六	貯蓄預金	四、四九九、六一六
別段預金	四、五〇一、八一九	合計	一〇七、六〇三、五六七

□地方別島內各銀行預金殘高

州廳別	大正十四年九月末	州廳別	大正十四年九月末
臺北	五三、六二三、三四〇円	高雄	六、〇二八、二〇六円
新竹	六、三五二、五六〇	臺東	三九七、六七一
臺中	二二、五〇九、二六二	花蓮港	一、〇二八、二二三
臺南	一七、六六四、三一六	計	一〇七、六〇三、五六七

當座貸越	二、九五三、八四〇	買入外國爲替	二、四八八、四〇一
割引手形	九八、七〇三、一九一	日本勸業銀行貸付	四一、八三五、四五四
荷付爲替手形	四、六六五、八九四	貯蓄銀行貸付	一、八五一、三六二
利付爲替手形	一、〇五六、二二六	合計	二六九、四二六、九二五

□地方別島內各銀行貸出金殘金

州廳別	大正十四年九月末	州廳別	大正十四年九月末
臺北	一七六、八八三、九八四円	高雄	一三、一二九、四五五円
新竹	一九、六三三、四九六	臺東	二、四八一、三三一
臺中	二六、九一三、四〇九	花蓮港	一、〇三一、一六一
臺南	二九、三九四、一一九	計	二六九、四二六、九二五

□銀行別重要物產放資殘高

銀行名	大正十四年九月末 千分比	大正十四年九月末 金額	前月末 千分比	前月末 金額	前年同月末	前月ト比較增減(△)
臺灣銀行	七四〇	四三、六三一、二三三円	六六二	四三、九〇一、一八五円	四八、四九二、一八五円	△二六九、九五二円
商工銀行	六五	三、八四三、四〇五	九三	六、一六九、〇七二	四、六六七、一二七	△二、三二五、六六七
華南銀行	一二七	七、四八三、〇〇三	一五一	九、九七三、八九五	六、一八三、五五〇	△二、四九〇、八九二
彰化銀行	二九	一、七三九、八二八	四八	三、一六六、一一六	二、三六五、六四五	△一、四二六、二八八
三十四銀行	三九	二、二九二、四三七	四六	三、〇七一、八一四	二、八〇七、九〇三	△七七九、三七七
合計	一、〇〇〇	五八、九六九、九〇五	一、〇〇〇	六六、二八二、〇八二	六四、五一六、四一〇	△七、二一二、一七七

□重要物產別銀行放資殘高

品名	大正十四年九月末 千分比	大正十四年九月末 金額	前月末 千分比	前月末 金額	前年同月末	前月ト比較増減（△）
米	301	17,732,813円	337	22,329,366円	19,021,330円	△4,596,553円
砂糖	537	31,067,161	483	32,067,320	32,396,288	△1,000,159
茶	47	2,761,099	42	2,788,459	3,324,619	△27,360
樟腦	21	1,231,491	25	1,637,858	1,332,276	△406,367
金塊	6	363,293	6	402,623	446,253	△39,330
酒精	6	374,979	6	380,093	532,714	△5,114
石炭	92	5,428,070	101	6,676,593	7,693,568	△1,248,523
合計	1,000	58,969,905	1,000	66,282,082	64,521,410	△7,312,177

□銀行別重要物産放資總額及累計

銀行名	大正十四年九月中	前月中	前年同月中	大正十四年九月迄累計	前年九月迄累計
臺灣銀行	16,150,031円	16,091,246円	14,670,775円	182,828,724円	175,403,264円
商工銀行	5,881,683	3,306,826	1,337,247	31,176,916	15,267,524
華南銀行	5,365,343	2,515,335	5,855,069	58,555,433	50,723,033
彰化銀行	3,019,725	1,883,360	1,699,075	22,392,433	11,663,090
三十四銀行	2,105,149	3,686,306	2,552,336	23,483,265	19,431,871
合計	32,521,931	27,483,073	26,114,502	318,436,771	273,487,891

□重要物産別銀行放資總額及累計

品名	大正十四年九月中	前月中	前年同月中	大正十四年九月迄累計	前年九月迄累計
米	11,800,290円	24,021,236円	11,086,880円	126,742,423円	94,914,678円

砂糖	一四,六〇五,四二二	八,四〇四,九五九	一〇,一四四,九三六	一四〇,〇五八,八七一	二三〇,六九六,二二〇
茶	二,〇五七,三八九	二,三三四,九〇八	一,五〇三,一四九	一一,六〇三,〇二九	一三,五六八,二〇六
樟腦	八〇六,七七三	四三六,一六三	七七九,四九四	五,四一八,一四五	四,五九六,四一一
金塊	二三八,七三〇	二七九,三六四	一〇九,七五九	二,三〇四,八九六	三,〇二一,一六五
酒精	二六七,〇二九	四三二,三八一	三九八,七九一	二,五〇六,一三一	二,八八二,三三九
石炭	二,七五七,三二〇	一,六九三,九六二	二,〇九一,四九三	一九,八〇三,二七六	三,八〇八,八三三
合計	三二,五一二,九三三	三七,四八三,〇七三	二六,一二四,五〇三	三〇八,四三六,七七一	二七三,四八七,八九一

□市街地信用組合事業一覽表（大正十四年九月末日現在）

（其　一）

種別 州廳別	組合數	組合員數	出資口數	資產 未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ケ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	五	五,三三一	四六,四三四	一〇八,三四二	四,八二七,二八三	一二三,四四三	六六一,四八六	一,八七二,〇一〇	六,〇四三	二六,一九四	—	五八,一五四	七,七六一,九五九
新竹	一	六三五	六,九六五	八,八九七	五八二,八九五	一四,一四三	九七	四七八,六四〇	一,〇九一	—	二〇,九二一	八,五〇三	一,一二六,〇六一
臺中	二	一,一二四	五,四一九	二,二六二	六五二,二〇六	一七,七四二	一,一七二	四三三,三三五	五,〇八四	—	一七,三〇四	三,五〇四	一,一三一,六二二
臺南	五	二,五〇三	一四,〇四九	一〇八,九七三	一,六八八,六八四	四九,〇四八	九〇,三五三	六一六,八二九	一五,八六五	一三九,四九一	四一,三七五	一〇,六三一	二,七六一,二五三
高雄	一	二三七	一,一六六	五八〇	二八七,八七四	三二,六七八	三三五	二八,四〇〇	—	—	一〇,五一三	二二三	三六〇,四八四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九七	四,六五〇	—	二七七,六二六	九九八	—	二九,八四四	四〇六	一二二,三六三	—	一,四六〇	三四二,六九八
合計	一九	一〇,〇二七	七八,六八三	二三九,〇七五	八,三二六,五七〇	二三七,〇五四	七五四,二二四	三,四五九,〇五〇	二八,四九〇	二八八,〇四八	九〇,一一三	八二,四六七	一三,四七五,〇七八
前月末合計	一九	九,九九一	七八,五一〇	二四〇,五九六	八,一七四,一五三	二三六,四三〇	七五三,〇七七	三,六八九,三一三	二六,二〇八	三三一,〇四六	九〇,一一三	七二,九二八	一三,五九三,八六〇
△ハ減	—	三六	一七三	△一,五二一	一五二,四一七	六二四	一,一四七	△二三〇,二六三	二,二八二	△四二,九九七	—	九,五三八	△一一八,七八一

（其　二）

種別 州廳別	負債									
	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一,五七一,三一〇円	五,一八八,三三一円	四九〇,〇二六円	二〇一,七三三円	一〇,二〇六円	三五,八一三円	四,九三一円	五,三七五円	二五四,三四一円	七,七六一,九五九円
新竹	一七四,一二五	七五三,七四七	九六,四九九	三八,八五一	二三七	一,六九一	三,六四八	二三〇	四五,〇四九	一,二二六,〇六一
臺中	二七〇,九五〇	六四五,〇八一	九四,九〇五	五三,二四七	三,六一〇	—	一三,七八七	—	五一,〇三九	一,一三二,六三三
臺南	七〇二,四五〇	一,六〇二,〇八六	二二八,二三〇	三三,二三八	二,八七四	二五,一五九	三,六五七	三〇,二四九	一〇四,三〇七	二,七六一,二五三
高雄	五八,三〇〇	二三六,二一九	四七,二五〇	二三三	—	一六,〇〇〇	—	—	二,四九〇	三六〇,四八四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九三,〇〇〇	一六一,八〇八	三五,三三〇	一五,九一三	—	二〇,〇〇〇	二,〇四五	—	一四,七一一	三四二,六九八
合計	二,八七〇,一三五	八,五八九,一六五	九九二,一三三	三四三,二〇六	一六,九一八	九八,六六三	五七,〇七〇	三五,八四四	四七一,九四〇	一三,四七五,〇七八
前月末合計	二,八六四,六八五	八,七五四,三三八	九九一,一四〇	三四三,四三六	一七,九四〇	一三五,八七六	五一,五〇一	三六,六二四	三九八,三一七	一三,五九三,八六〇
△ハ減	五,四五〇	△ 一六五,一七三	九九三	△ 二二九	△ 一,〇二二	△ 三七,二一三	五,五六八	△ 七七九	七三,六二三	△ 一一八,七八〇

（其　三）

種別 州廳別	貯金內譯					貸付金利率		貯金利率		借入金利率		手形割引步合	
	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	加入豫約者貯金	計	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
臺北	一,六九五,九七九円	二,〇九七,九〇〇円	一,三九四,三四二円	—円	五,一八八,三三一円	錢厘 四五	錢厘 二〇	錢厘 二八	錢厘 八	錢厘 三五	錢厘 一八	錢厘 四一	錢厘 三九
新竹	三三七,一九〇	二八八,一六六	一三〇,三九〇	—	七五三,七四七	三五	三五	二一	一八	二六	二六	—	—
臺中	一六二,八二一	四一五,五七一	六六,六八九	—	六四五,〇八一	三七	三〇	二三	一〇	—	—	—	—
臺南	七五〇,三四六	七〇〇,一〇二	一五一,六三七	—	一,六〇二,〇八六	四〇	二八	二五	九	二六	二六	二八	二四
高雄	一二〇,四四九	七四,二七四	四一,四九五	—	二三六,二一九	四八	三八	二五	二〇	三五	二六	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花蓮港	九一、三八三	三六、八六三	四三、五六一	—	一六一、八〇八	三七	三五	三三	一八	二六	二四	三七	三七
合計	三、一五八、一六一	三、六〇二、八七七	一、八二八、一三一	—	八、五八九、一六五	五〇	二〇	二八	八	三五	一八	四一	三四
前月末合計	三、一八〇、〇九九	三、六二四、三八七	一、八四九、八五一	—	八、七五四、三三八	五〇	二〇	二八	八	三五	一八	四一	三四
△ハ減	△ 二一、九三八	△ 二一、五〇九	△ 二一、七二一	—	△ 一六五、一七三	—	—	—	—	—	—	—	—

備考　合計欄ニ記載セル利率ハ其最高最低ヲ示ス

□島内各銀行内外爲替取組高表（大正十四年九月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支（△）超過 島內	收支（△）超過 內地	收支（△）超過 外國
送金爲替	六、八〇二	三二、八〇二、四四一	四、八二一	一七、六〇四、七〇〇	三五	五八、三五一	六、一八二	三一、四〇〇、六九八	一、四四五	一一、一〇三、八六五	五四一	一、〇五六、六六三	一、四〇〇、六五三	六、四〇一、八〇七	△ 四九七、五一二
割引手形	四、一六四	三、六四四、七三五	一、七七七	一、五六六、二三五	—	—	三、〇二四	二、八八八、八〇〇	四〇	六八九、四〇〇	—	—	一五、九三五	八七六、八三五	—
荷付爲替手形	一、〇〇一	一、三五九、六〇一	一、八六五	三、三二三、九八八	三三	二八〇、四三五	九九九	一、五二〇、五六六	一、一二五	八、〇九八、五四三	一七	一四〇、三六五	△ 一六〇、九六五	△ 四、七七四、五五五	一四〇、〇七〇
買入外國爲替	—	—	—	—	三六	二九一、六六九	—	—	—	—	七三	三六七、七七五	—	—	△ 七六、一〇六
利付爲替手形	—	—	—	—	一	四、三〇〇	—	—	—	—	三一	四六八、九九一	—	—	△ 四六四、六九一
代金取立	一〇、八九五	四、〇六七、六四四	八、五五五	三三、四二五、九八一	一九	八四、四三二	一〇、四四四	三、六〇三、四八九	九〇〇	五二一、八二五	二六	三三、〇四八	四六四、一五五	三二、九〇四、一五六	五一、三八四
計	四四、八〇一	四〇、三三五、二八一	一六、七七六	五五、八三〇、八八三	四一三	一、一六八、〇六七	四五、五一九	三八、三五四、三二三	三、三五六	二〇、四五二、四八〇	六八七	二、四三八、六六七	一、八〇九、七三八	三五、三七八、四〇三	△ 一、二六〇、六〇〇
前月	四四、五九二	四六、二〇八、三八七	一四、三四五	三三、三七三、六〇五	五一四	一、一八八、五〇一	四四、〇四四	四七、五三六、八八七	三、八二四	三九、三四〇、〇〇五	三四七	二、〇八七、六〇五	△ 一、三二八、五〇〇	△ 五、九六五、四〇〇	△ 八九九、一〇四
前年同月	三九、九九六	三〇、八三二、八六五	一三、九七一	一七、一七九、四四五	六一二	一、四九六、七二四	三九、三九八	二九、九四五、三九六	四、六四五	一七、二四八、七七二	六五八	一、八二八、九四〇	八八七、二一九	△ 六九、三二七	△ 三三二、二一六
本年本月迄累計	三八七、〇六七	三四二、九四〇、〇〇五	一四四、一〇八	二〇〇、四五六、五五五	六、五五五	一六、三五六、三五八	三五一、九五一	三三一、四七一、三六一	三二、五三二	二一六、三五五、八八四	六、七二六	一四、六九一、九七五	九、四三三、七二四	△ 一六、一〇九、四四〇	一、六六四、三六五
前年本月迄累計	三三五、一四三	二四九、七〇八、五九六	一三五、六〇八	一四五、三三一、九七三	六、二九六	一四、七六六、六三一	三三九、八八一	二四二、四六〇、八八三	四〇、六九六	一六九、〇〇一、三五五	五、七四五	一三、六六九、三三四	七、二四七、七〇四	△ 二三、六六九、四三二	一、〇九七、三九七

□手形交換高表（大正十四年十月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五,四七五枚	二,一三六,四八三円	六〇九,三五一円	三九〇円
臺北	三,五九〇	二,八三八,二〇八	四三八,五六四	五四八
臺中	二,〇八三	二,一七四,九四八	九九一,六七五	一,〇四四
臺南	三,一一五	二,八三九,一六六	八一四,五六二	二三四
高雄	二,八七三枚	九七〇,六九九円	四二二,五六六円	三三七円
計	四四,一四六	一九,九五九,五〇五	七,一五六,七一八	四五二
前月	四五,五二七	二〇,七八二,〇一四	八,三一九,三三四	四五六
前年同月	四四,七五三	一六,七八九,六二〇	四,九四九,〇五六	三七五

□通貨在高（單位圓）（大正十四年九月末）

區分	正貨 金貨	補助貨 銀貨	補助貨 白銅貨	補助貨 青銅貨	補助貨 計	銀行券 臺灣銀行券	銀行券 日本銀行券	銀行券 計	合計
本月末	七七,六三〇	二,五〇三,〇二二	五錢 一,〇〇八,〇二五 十錢 二,一三〇,〇〇〇	七二五,四六一	六,三六六,五〇七	四九,三三三,九二三	四三〇,七七八	四九,七六四,七〇〇	五六,二〇八,八三七
前月末	七七,六三〇	二,五〇三,〇二二	五錢 一,〇〇八,〇二五 十錢 二,一三〇,〇〇〇	七二五,四六一	六,三六六,五〇七	五三,七〇三,二五六	三〇一,二三一	五四,〇〇四,四八七	六〇,四四八,六二四
前年同月末	七七,六三〇	二,三六四,〇二二	五錢 九三五,五二五 十錢 一,七一〇,〇〇〇	八〇四,三二二	五,七一三,八七七	四〇,五二四,三九九	三四六,七五七	四〇,八七一,一五六	四六,六六二,六四三

（備考）一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク

一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行外各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

□臺灣銀行券發行高及準備高（單位圓）（大正十四年九月末）

區分	發行高	正貨準備 金貨及金地金	正貨準備 銀地金	保證準備 諸公債	保證準備 商業手形
本月末	四九,三三三,九二三円	一四,九六六,六四六円	六,一七〇,六九四円	—	二八,二三六,五八二円
前月末	五三,七〇三,二五六	一四,九六六,六四六	五,五八五,三九九	—	三三,一九一,二一一
前年同月末	四〇,五二四,三九九	二,二七三,四六四	五,六三六,六七九	—	二三,六一四,二五六

□臺北物價指數表（甲）（大正十四年十月末）

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米	(一)二六四、五三	三〇八、一三	三〇二、三三	綿布	一八三、一三	一八三、一三	一九五、一八
玄米	(一)二二三、一五	二八一、四三	二〇七、〇二	洋紙	二〇八、六九	二〇八、六九	二二一、三〇
清酒	三二一、四三	三二一、四三	三四二、八六	日本紙	二三三、三三	二三三、三三	二三七、七八
麥酒	一六四、〇〇	一六四、〇〇	一六四、〇〇	杉板	三四二、一三	三四二、一三	三一三、三三
紅酒	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三	杉材	二六三、八七	二六三、八七	二五八、〇六
澤庵漬	(一)一八五、一八	二五九、二五	二六四、九〇	洋鐵	一八四、二一	一八四、二一	一七一、〇五
小麥粉	(一)一七九、二四	一七九、六二	一八三、〇二	鉛	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	一八一、二五
砂糖	(一)一四〇、九六	一四九、九八	一七六、七五	銅	一三八、七七	一三八、七七	一三八、七八
鰹節	二八〇、五四	二八〇、五四	二五四、五五	煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
味噌	一六三、〇七	一六三、〇七	一六一、五四	日本瓦	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇	一三六、〇〇
醬油	一七〇、四五	一七〇、四五	三〇〇、〇〇	板硝子	一五六、二五	一五六、二五	一六三、五〇
鴨卵	(十)二六一、四三	二三一、四三	二四〇、〇〇	セメント	一七六、四七	一七六、四七	一五八、八二
火油	一七六、九二	一七六、九二	一五八、九七	燐寸	二二七、一六	二二七、一六	二一八、七六
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一	石油	一六八、一八	一六八、一八	一八一、八二
煙草	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	石炭	一三〇、〇〇	一三〇、〇〇	一四二、五〇
烏龍茶	(一)七七、七九	八五、一九	七四、〇〇	木炭	二四六、六六	二四六、六六	二四〇、〇〇
包種茶	一三七、九三	一三七、九三	一三七、九三	薪	二三八、五七	二三八、五七	二一四、二九
白木綿	(一)二一八、二五	二三二、三三	二三二、三三	平均	(一)二〇〇、一五	二〇三、四〇	二〇二、四一

備考 本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ（十）印ハ騰貴（一）印ハ低落

平均指數五箇年對照表

各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

月次	十四年	十三年	十二年	十一年	十年
一月	二〇三、三三	一九一、八一	一九一、六四	二〇二、六一	二二五、五四
二月	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五	二一一、四三
三月	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇六	一九九、四一	二〇一、二五
四月	二〇〇、三三	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五	一九八、五〇
五月	一九九、〇一	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三	一八九、八三
六月	一九九、三六	一九二、七五	一九五、〇七	二〇一、九二	一九一、〇三
七月	一九九、八四	一九一、六一	一九二、八六	二〇二、八九	一九二、四六
八月	二八一、七八	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四	一九二、六六
九月	二〇三、四〇	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三	一九七、四〇
十月	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一	二〇〇、七八
十一月	―	二〇五、〇一	一九二、三八	一九七、三九	二〇一、一〇
十二年	―	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇	二〇〇、四一
基礎年月	十四年九月	十三年十月	十二年十月	十一年十月	十年十月
本月平均	九八、四〇	九六、八八	一〇五、一五	一〇一、八〇	九九、六八

□市街地信用組合一覽表 （大正十四年十月末日現在）

種別／州廳別	組合數	組合員數	出資口數	資產：未拂込出資金	資產：貸付金	資產：土地建物什器	資產：有價證券	資產：預ヶ金	資產：假拂金	資產：手形割引	資產：其他	資產：現金	資產：計
臺北	九	五、三三九	四六、四六八	一〇六、八〇七円	四、八七四、二六四円	一〇五、六八一円	六八〇、〇七三円	一、八〇七、八九一円	六、一四二円	一四四、三〇三円	―円	六五、七六六円	七、八一〇、九七一円
新竹	一	六三六	六、九六〇	九、〇一七	五六〇、九五三	一四、一六三	九七	五四九、一三七	一、四三三	―	三〇、〇八一	四、六六〇	一、一六〇、四一二
臺中	二	一、一三五	五、四一九	二、二六四	六五九、七八七	一七、七四二	一、一七二	四三七、七二五	五、〇八四	―	一七、三〇四	二、六八八	一、一四三、七六九
臺南	五	二、四八八	一四、〇三四	一〇四、四三九	一、七〇一、六七二	四九、七八二	九〇、五一八	五四八、九六四	一七、七二九	一八七、一六二	四一、三七五	一〇、一七一	二、七五一、八一五
高雄	一	二五九	一、一六八	四七五	二九四、二九六	三二、六七八	二二五	三〇、八三七	―	―	一〇、五一三	三七四	三六九、三九九
臺東	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
花蓮港	一	一九七	四、六五〇	―	二七八、九三三	九九八	―	四八、五七九	四〇六	二五、七〇四	―	―	三五四、六二二
合計	一九	一〇、〇四四	七八、六九九	二三三、〇四四	八、三六九、九〇七	二二一、〇四五	七七二、九六六	三、四四三、一三四	三〇、七八四	三五七、一七一	八九、二七五	八三、六六一	一三、五九〇、九九〇
前月末合計	一九	一〇、〇三七	七八、六八三	二三九、〇七五	八、三一六、五七〇	二二七、〇五四	七五四、二一四	三、四五九、〇五〇	二八、四九〇	二八八、〇四八	九〇、一〇五	八二、四六七	一三、四七五、〇七八
増（△ハ減）	―	七	一六	△六、〇三一	五三、三三七	△六、〇〇九	一八、七五一	△一五、九一五	二、二九四	六九、一二三	△八三〇	一、一九三	一一五、九一二

負債

州廳別＼種別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一,二七〇,六六〇円	五,一九七,八三五円	五一四,三三二円	一七六,六六九円	九,六二〇円	三五,八二三円	四,四二六円	五,四四九円	二九六,一七三円	七,八二〇,九七一円
新竹	一七四,〇〇〇	七九五,四九八	九七,四一四	三八,八五一	二二七	—	四,四二九	三四九	四九,六四一	一,一六〇,四一三
臺中	二七〇,九五〇	六五三,二八〇	九四,九一〇	五三,二四七	三,三二六	—	一四,二二三	—	五三,九四一	一,一四三,七六九
臺南	七〇一,二〇〇	一,五七八,三四〇	三八,三四八	三三,〇五三	二,八二四	二五,一二〇	三三,八七七	三〇,一三〇	二八,九二〇	二,七五一,八一五
高雄	三六,四〇〇	二四三,五〇五	四七,二五〇	二二三	—	一六,〇〇〇	—	—	四,〇三〇	三六九,三九九
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九三,〇〇〇	一七一,二七四	三五,三三〇	一五,九一三	—	二〇,〇〇〇	二,七二六	—	一六,四八六	三五四,六三二
合計	二,八六八,二一〇	八,六三九,七三五	一,〇一七,四七六	三一七,九五九	一五,八八八	九六,九三三	五九,六七三	三五,九二九	五三九,一八四	一三,五九〇,九九〇
前月末合計	二,八七〇,一三五	八,五八九,一六五	九九二,一三三	三四三,二〇六	一六,九一八	九八,六六三	五七,〇七〇	三五,八四四	四七一,九四〇	一三,四七五,〇七八
△ハ減	△ 一,九二五	五〇,五七〇	二五,三四三	△ 二五,二四七	△ 一,〇三〇	△ 一,七三〇	二,六〇三	八五	六七,二四三	一一五,九一二

州廳別＼種別	貯金內譯 組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	加入豫約者貯金	計	貸付金利率 最高	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 最低
臺北	一,六〇〇,二七一円	二,一二八,〇八七円	一,四六九,四七六円	—円	五,一九七,八三五円	錢厘 四五	錢厘 二〇	錢厘 一六	錢厘 八	錢厘 三五	錢厘 一八	錢厘 四一	錢厘 三三
新竹	三四九,四五〇	三一五,五九四	一三〇,四五三	—	七九五,四九八	三五	三五	一二	六	二六	二六	—	—
臺中	一六一,三〇三	四二八,三〇七	六三,六六九	—	六五三,二八〇	三九	三〇	一三	一〇	—	—	—	—
臺南	七二三,六六六	七一〇,三〇三	一四四,三七〇	—	一,五七八,三四〇	五〇	二八	二五	一二	—	—	二六	三四
高雄	一三六,〇四八	七三,一三一	四四,三二五	—	二四三,五〇五	四八	三八	二五	二〇	三五	二六	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一〇二,三二四	二〇,七七五	四八,一七四	—	一七一,二七四	二七	三五	一三	一八	二六	二六	二七	二七
合計	三,〇五二,〇六四	三,六六六,二〇〇	一,九二一,四七〇	—	八,六三九,七三五	五〇	二〇	一六	八	三五	一八	四一	三三
前月末合計	三,一五八,一六一	三,六〇三,八八七	一,八二八,一二六	—	八,五八九,一六五	五〇	二〇	一六	八	三五	一八	四一	三四

△ハ減　△一〇六、〇九六　七三、三三三　八三、三二四　—　五〇、五七〇　—　—　—　—　—　—　—　△　—

備考　合計欄ニ記載セル利率ハ其最高最低ヲ示ス

臺灣貿易統計（大正十四年十一月）

臺灣總督府稅關

□貿易額

外國貿易	十四年十一月	十三年十一月	十四年累計	十三年累計	增減(●)
輸出	五、四六六、〇八七円	四、四五七、四五九円	四三、一二七、六八四円	三九、一四八、三一四円	三、九七九、三七〇円
輸入	七、九六六、六九四	五、八〇三、六九三	四七、一一三、五四一	三九、四一〇、二六八	七、七〇三、二七三
計	一三、四三二、七八一	一〇、二六一、一五二	九〇、二四一、二二五	七八、五五八、五八二	一一、六八二、六四三
輸出(入)超過	(入)二、五〇〇、六〇七	(入)一、三四六、二三四	(入)三、九八五、八五七	(入)二六一、九五四	—

內地貿易	十四年十一月	十三年十一月	十四年累計	十三年累計	增減(●)
移出	五、二八二、四五一円	一一、二四七、四七六円	一九六、一四一、一五一円	一八六、〇一五、一一五円	一〇、一二六、〇三六円
移入	一四、〇七一、〇七八	九、〇六〇、五〇一	一一八、二七七、〇六八	七六、六一一、六六〇	四一、六六五、四〇八
計	一九、三五三、五二九	二〇、三〇七、九七七	三一四、四一八、二一九	二六二、六二六、七七五	五一、七九一、四四四
移出(入)超過	(入)八、七八八、六二七	(入)二、一八六、九七五	七七、八六四、〇八三	一〇九、四〇三、四五五	—

□輸出品

	十一月		十四年累計		十三年累計		增減(●)	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
石炭　噸	七〇、二〇七	七九六、五九四円	六二八、三八九	六、六六八、八四〇円	五九〇、一二〇	六、四四八、六二五円	三八、二六九	二二〇、二一五円
砂糖　斤	三、三六四、五二〇	四九一、二七一	三七六、五三二、二八一	五、三五五、八八一	三七〇、二六八、〇六五	五、三六七、二一一	六、二六四、二一六	●一一、三三〇
包種茶　同	七八三、八八二	六五四、五一七	七、一九九、四三三	五、七一〇、七六五	六、三五四、七一六	四、九二二、四六一	八四四、七一七	七八八、三〇四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

烏龍茶	同	六二九、三二九	四一四、九八七	七、九九四、六六七	五、二一四、七五七	八、四三二、一二七	四、八一八、四四六	●四三七、四六〇	三九六、三一一
鹹魚及乾魚	同	一、九七六、四九五	三三九、四三三	一〇、三四九、九三三	一、七五七、一六六	一一、六四二、一〇〇	二、六四二、一九五	●一、二九二、一六八	●八八五、〇二九
樟腦	同	一七八、〇〇二	三二二、五九三	一、九七九、五二一	三、四七四、二三〇	一、三六〇、〇二六	二、三八六、六七〇	六一九、四九五	一、〇八七、五六〇
酒精	升	二七一、三〇〇	九〇、九二六	六、〇三〇、一九〇	一、八七七、二八三	五、四二三、七五〇	一、五七一、六四四	六〇六、四四〇	三〇五、六三九
錫	斤	一、二八六、六五二	三八六、五〇二	五、三〇三、三三八	一、七〇八、七四三	五、〇三五、八六六	一、五五七、九六九	二六七、四七二	一五〇、七七四
綿織物	碼	二、二六四、八一八	七三八、五八六	一〇、四四三、一一〇	三、〇四七、七二九	四、六〇八、四六一	一、三四四、〇九六	五、八三四、六四九	一、七〇三、六三三
セメント	斤	一〇、七六二、一九七	三二三、六五六	五〇、一六七、四三〇	一、〇五八、八七五	三三、三九五、一六八	七二一、四二七	一六、七七二、二六二	三三七、四四八
苧麻	同	一〇三、一八一	四三、〇一九	一、二〇七、一〇一	四七一、三三〇	一、〇八二、二四九	四四五、〇四一	一二四、八五二	二六、二八九
紙	同	七四〇、三七一	七四、九五四	六、一六六、〇三八	四九九、八一〇	四、六四六、九一六	三九四、六九三	一、五一九、一二二	一〇五、一一七
食鹽	同	二、六〇〇、〇〇〇	一八、三〇〇	二四、四二三、二六三	二三六、一四〇	三三、七六九、八三八	三四九、五九四	●九、三四六、五七五	●一一三、四五四
貝柱	同	三一、八九〇	四三、一六〇	二六三、九九八	三三五、九二二	一九九、三三六	二五五、一二六	六四、六六二	八〇、七九六
硝子器	箇	八九五、五四七	二一、三〇〇	一〇、六六一、〇八一	二八一、三九〇	九、四一二、五一九	二四九、六八〇	一、二四八、五六二	三一、七一〇
其他諸品		—	八二、一五八	—	五、四二七、八二三	—	五、六七三、四三三	—	●二四五、六一〇
計		—	五、四六六、〇八七	—	四三、一二七、六八四	—	三九、一四八、三一四	—	三、九七九、三七〇

ロ　輸入品

品名	単位	十一月 數量	十一月 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	十三年累計 數量	十三年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
			円		円		円		円
大豆油糟	斤	三七、七九四、四七四	二、一二三、五一三	二〇六、五九五、一九六	一一、八四〇、三七七	一九二、〇三一、八五六	九、八八二、五二一	一四、五六三、三四〇	一、九五七、八五六
砂糖	同	五、三七五、〇九六	六七三、七四八	三一、二四三、一八〇	四、〇四〇、一四八	二五、四九六、九六六	三、一八七、六四九	五、七四六、二一四	八五二、四九九
大豆	同	四、三九四、〇三三	三五〇、八九八	三六、三四三、〇七〇	二、九七六、〇一一	三六、〇五六、五九八	二、五七一、七九六	二八六、四七二	四〇四、二一五
木材		—	一八二、七四四	—	一、五〇〇、三三五	—	二、一五七、六七八	—	●六五七、三四三
硫酸アンモニウム	斤	一〇、五一六、九五八	一、一一三、七六〇	四〇、五四七、〇四八	四、三八五、四三七	一四、三二七、三五三	一、四五二、五七一	二六、二一九、六九五	二、九三二、八六六
ガンニー袋	箇	五九〇、〇〇〇	四二六、五〇二	三、二五〇、〇〇〇	二、三八七、三三二	一、九五八、八一八	一、〇九五、三二五	一、二九一、一八二	一、二九二、〇〇七
包席	枚	一、〇七五、七〇〇	二六一、五六二	四、九五八、七一六	一、一二八、八六〇	六、六七八、二五四	一、四四四、三九四	●一、七一九、五三八	●三一五、五三四

人參	斤	—	—	一〇,四七二,六六六	九八八,〇七六	二一,八七三,三三三	一,四四六,七八六	●一一,四〇〇,六六七	●四五八,七一〇
石油	瓦	二三五,六二九	六三,五八六	一,七四八,三二九	一,一四〇,七九三	二,六四一,八〇六	一,二七四,三七一	●八九三,四七七	●一三三,五七八
阿片	斤	四一,七四〇	一,〇七六,六六七	一〇四,四三二	二,五四六,九〇七	五四,三一二	一,三六八,六二八	五〇,一二〇	一,一七八,二七九
葉煙草	同	一〇八,七二四	五六,二〇一	一,三一九,九一四	七三六,七七三	一,六四六,六四三	九四八,七七一	●三二六,七二九	●二一一,九九八
黄麻	同	四六八,二六二	一二六,九八六	二,七一五,一三五	五六二,九二三	三,二四九,二三三	五六〇,六二八	●五三四,〇九八	二,二九五
毛織物	方碼	三九,九二三	八〇三,三一〇	三七一,九四〇	五八八,三六七	四五三,六三一	六五九,一三一	●八一,六九一	●七〇,七六四
米(籾共)	斤	三,四七五,八六五	一,二七四,〇九六	一七,七〇一,四六〇	一,四七二,五一三	三,一八一,一三五	二七八,一九一	一四,五二〇,三二五	一,一九四,三二二
綿織物	方碼	九,二八一	三,三七三	三三九,二九三	二八四,四四三	七四六,四四九	五二一,九一九	●四〇七,一五六	●二三七,四七六
鹹魚	斤	二,〇一六	四七六	五,二七九,六八〇	四八三,七三一	三,五九四,〇九九	三二八,四七一	一,六八五,五八一	一五五,二六〇
遣拜紙	同	二〇四,九九一	六七,四九一	一,二二六,八三五	三九〇,三〇三	一,四三〇,九三七	四四七,五八五	●二〇四,一〇二	●五七,二八二
陶磁器		—	三四,七〇八	—	二七〇,三二六	—	四〇三,六五五	—	●一三三,三二九
苧麻布	方碼	一四八,四九六	二六,〇三一	一,五五八,一一七	四二七,一三七	一,一三一,三三七	三六八,三四〇	三三六,七四〇	五八,七九七
唐紙	斤	一四九,四〇一	二一,一〇一	二,二五四,五八八	二六〇,六八四	三,〇七七,一一三	三一五,三八七	●八二二,五二五	●五四,七〇三
燐礦石	同	—	—	五四一,九〇〇	八,六四〇	二八,二八六,七九八	三四五,六三七	●二七,七四四,八九八	●三三六,九九七
コンデンスドミルク	打	—	—	六四,六九五	三二七,〇八七	六〇,八二七	三〇五,七九七	三,八六八	二一,二九〇
繰綿	斤	一五〇,五一二	九八,〇五三	五六四,九〇五	三八六,九九八	二六三,一一一	一九六,〇〇九	三〇一,七九四	一九〇,九八九
鐵道機關車及部分品		—	三三,七四八	—	七七,四六〇	—	二三三,三六三	—	●一五五,九〇三
石炭	噸	一,九九四	二六,〇九九	一一,四五〇	一四九,八九四	一三,二〇〇	一四九,八〇〇	●七五〇	九四
機械用油	斤	九九,五五六	一六,六八三	五九六,三四三	九六,七二五	一,一六九,二二五	一七九,一八八	●五七二,八八二	●八二,四六三
苧麻綿布	方碼	—	—	二九五,二九一	一四二,四六四	三八一,〇六六	一六七,六〇四	●八五,七七五	●二五,一四〇
輕油	瓦	二四,三二八	三一,三五七	七九,二七八	一〇三,九〇七	一五一,〇八九	一六三,八〇二	●七一,八一一	●五九,八九五
豆素麵	斤	二二,九六三	八,四一二	四〇五,四二七	一五五,六五八	三九二,三七〇	一二七,一二七	一三,〇五七	二八,五三一
パラフインワックス	同	一三三,二〇三	三八,八四九	六六六,七八四	一九八,〇七三	四二六,九七三	九六,九七五	二三九,八一一	一〇一,〇九八
其他諸品		—	七五七,七四二	—	七,〇四五,三六九	—	六,七三一,二〇〇	—	三一四,一六九
計		—	七,九六六,六九四	—	四七,一一三,五四一	—	三九,四一〇,二六八	—	七,七〇三,二七三

□移出品

品名	單位	十一月 數量	十一月 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	十三年累計 數量	十三年累計 價額(円)	增減(•) 數量	增減(•) 價額(円)
砂糖	斤	七,一六七,八五〇	一,〇〇三,六一〇	六六八,〇一七,五三一	九八,九九八,三四二	六三九,五五九,八九〇	一〇八,四〇五,〇八六	二八,四五七,六四一	•九,四〇六,七四四
米(籾共)	同	一四,四八七,三四八	一,七九〇,〇八六	四六七,五九一,九四八	六二,三三五,八五八	三四七,一七〇,九三五	三七,八〇一,〇三七	一二〇,四二一,〇一三	二四,五三四,八二一
芭蕉實	同	一〇,〇三六,九五〇	四五一,〇一九	一四一,九五一,四一〇	八,八三七,六九五	一七五,九七三,三四七	一一,五〇三,七三六	•三四,〇二一,九三七	•二,六六六,〇四一
樟腦	同	—	—	五二六,九三七	九一五,〇九二	一,九六六,二九七	三,六六六,四二二	•一,四三九,三六〇	•二,七五一,三三〇
酒精	升	六九九,二四〇	三八一,一六四	六,七九一,六六〇	三,六三〇,〇四二	六,八五九,一九〇	二,七四五,一八八	•六七,五三〇	八八四,八五四
樟腦油	斤	三五〇,六五六	二三五,八一三	四,七〇七,五六一	二,二四七,九〇九	四,二五五,一五六	一,九〇四,四七〇	四五二,四〇五	三四三,四三九
木材		—	一九三,五三二	—	二,二七二,七八三	—	一,八八四,〇九三	—	三八八,六九〇
石炭	噸	一五,九九六	一五二,四九九	一七四,〇二〇	一,七四九,〇五七	一六九,七七八	一,七六八,〇四六	四,二四二	•一八,九八九
セメント	斤	三,〇六四,二三五	六七,〇一九	八,六三五,二六一	一八八,三六八	八三,九九八,六七八	一,九三九,八一五	•七五,三六三,四一七	•一,七五一,四四七
鰹節	同	六九,三七三	九五,一六一	一,一〇〇,〇一〇	一,二四四,六六〇	一,四〇二,五五九	一,八八二,〇〇五	•三〇二,五四九	•六三七,三四五
食鹽	同	五,一七七,六二〇	五〇,三六八	一三五,七七九,一二四	一,一二〇,四五七	一九七,四七七,九四三	一,五三六,五八八	•六一,六九八,八一九	•四一六,一三一
切乾藷	同	八五一,七七〇	三四,九八八	四八,七八八,九八〇	一,九〇八,六〇六	三九,二五六,五七五	一,二八〇,七四二	九,五三二,四〇五	六二七,八六四
鳳梨罐詰	打	八,二二八	二八,八〇八	四九五,〇八三	一,八九一,一三七	三七八,七二九	一,二四〇,四一五	一一六,三五四	六五〇,七二二
模造パナマ帽子	個	七〇六,八〇〇	二三五,六〇〇	三,五六二,四四〇	一,一九七,二二四	一,五二一,六二〇	七六一,〇三〇	二,〇四〇,八二〇	四三六,一九四
麻織物	碼	二〇五,八三〇	四九,七四五	二,五二二,二九二	五五四,〇四二	二,七五八,六二八	六五六,一〇九	•二三六,三三六	•一〇二,〇六七
其他諸品		—	五四四,一三〇	—	七,〇五九,八七九	—	七,〇四一,五一三	—	一八,三六六
計		—	五,二八二,四五一	—	一九六,一四一,一五一	—	一八六,〇一五,一二五	—	一〇,一二六,〇二六

□移入品

品名	十一月 數量	十一月 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	十三年累計 數量	十三年累計 價額(円)	增減(•) 數量	增減(•) 價額(円)
絹及絹織物	—	二,一〇一,三七一	—	一四,〇四八,五〇〇	—	七,一四三,八九二	—	六,九〇四,六〇八

肥料	斤	二二、六五一、四二九	五六八、七九〇	一〇三、九六〇、六〇四	六、一五四、八七九	九七、六九〇、六三一	五、九八五、五〇四	六、二六九、九七五	一七一、五七五
鹹乾魚	同	六、三三〇、八〇九	八四六、一五三	三四、九〇五、二〇二	三五、四三七、〇五五	四六、五六二、一〇七	五、七九五、三一八	●一一、六八六、九〇五	●三三八、二六五
鐵	同	五、一五二、三三三	五七一、九一八	四四、〇〇八、一一〇	五、五四八、一五七	三一、六六二、二八五	四、一九九、一三一	三三、三四五、八二五	一、三四九、〇二六
小麥粉	斤	二、九七七、〇八七	三八三、八三五	二六、六四六、六七九	三、四六九、二一〇	一九、八七九、八四六	二、一三九、五六九	六、七七六、八三三	一、五三九、六四一
米	石	二、九二六	一〇七、二五六	六四八、七八七	一、六七一、〇四一	八二、五二九	二、三八六、二六四	五六六、二五八	一、四四八、四七七
紙		一	三八七、五七一	一	三、一二九、〇三三	一	二、一八二、八三一	一	九六六、一九一
清酒	打	五五、四一五	五一三、一一一	一七八、七一五	一、六八六、五一一	一五七、八六六	一、五三五、八四四	二〇、八四九	一五〇、六六七
鉛	斤	一、九〇二、三三〇	六三一、〇三四	六、五八七、三五〇	二、三八三、〇九三	五、六二三、二三八	一、七七三、九三二	九六四、一一三	八一〇、一六三
紙卷煙草	千箇	八二〇、〇六〇	一六九、四〇二	七三六、一六〇	一、三六一、四〇三	六九七、四一八	一、四六〇、六九四	三八、七四二	一〇〇、七〇八
ガンニー袋及黄麻袋	箇	八〇三、七五〇	五二九、一四四	四、二二五、八四〇	二、五三九、六五五	三、七三八、〇一七	一、二一四、三三三	四八五、八二三	一、三三五、四三三
麥酒	打	六、五六八	三一一、五三〇	三六五、八六〇	一、八三七、五八五	三一八、一七五	一、五三五、七六一	六七、五八五	三二一、八二四
鐵製品		一	二五四、一六八	一	二、〇九六、五三五	一	一、三五七・四五二	一	七三九、〇八三
燐寸	哥	一八七、〇三四	一三七、七四八	一、七九八、二七一	一、四〇八、八一六	一、六一五、二五〇	一、三三九、四九八	一八三、〇二二	一七九、三一八
絲類		一	三〇四、五二〇	一	一、八九一、八三三	一	一、〇二一、三八八	一	八八〇、四六五
砂糖	斤	三一八、二〇三	一七六、二一八	二、四四三、二七五	六三三、九二九	三、五九〇、六九〇	九八四、八六六	●一、一四七、四一五	●三六一、九五七
罐詰食物		一	一四六、七〇七	一	一、二九〇、五〇六	一	八五八、三八四	一	四三二、一三三
メリヤス肌衣		一	三八三、五四四	一	一、三五〇、一〇九	一	六六九、七七九	一	六八〇、三三〇
自轉車同部分品及附屬品		一	一六三、六五六	一	一、〇九四、七四四	一	七四〇、七七七	一	三三三、九六七
燈油	石	二、六五五	一九八、四八二	一一、三二一	七四六、七一七	一〇、一四三	六六八、〇〇九	一、〇七九	七八、七〇八
石鹸		一	五四、五六四	一	六九九、〇〇〇	一	六九三、八三三	一	五一、一七八
鐵道建設用材料	斤	一、九四八、六二四	一四八、六八〇	一〇、四三二、七五二	八八五、一三一	八、一六三、八一四	七一〇、五三三	二、二五七、九三八	一七四、五五九
毛織物		一	二〇三、二八一	一	八八九、九三四	一	五六九、一五七	一	三〇〇、一七七
機械用油		一	一〇五、六七八	一	六三六、五八四	一	六二三、七三八	一	三一、八四六
セメント	斤	四、三八一、八四八	九三、四三八	二五、五三四、四二九	五五〇、七九二	二六、一八八、〇三六	五六六、六五二	●六五三、六〇七	●三五、八六〇
陶磁器		一	九五、〇八〇	一	六三一、六三〇	一	五八八、六二六	一	三三、九九四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

菓子類	—	一一一,三七〇	—	七四七,五七三	—	五一五,一六九	—	二三二,四〇四
木材	—	三六一,八七三	—	一,九四五,八九六	—	五五三,七八三	—	一,三九二,一一四
乾鰹斤	六七,五七〇	四五,八九三	一,一三五,五九五	六八四,五一五	九二一,三二八	五六三,一一三	二四二,三六七	三二一,四〇三
石油瓦	二三三,七六〇	一二三,七八五	一,六八二,三六〇	一,〇四六,五五六	九一〇,六五〇	五一〇,五六九	七七一,七一〇	五三五,九八七
其他諸品	—	四,二六一,三〇〇	—	三四,三一一,一五八	—	二五,九五五,三六七	—	八,三五五,七九一
計	—	一四,〇七一,〇七八	—	一八,二七七,〇六八	—	七六,六一一,六六〇	—	四一,六六五,四〇八

□港別貿易額

港名	輸出	輸入	計	十四年累計	十三年累計	増減(●)	移出	移入	計	十四年累計	十三年累計	増減(●)
基隆	三三,三七九,三八〇円	二六,六六〇,〇五二円	六〇,〇三九,四三二円	四〇,五二一,九六八円	三四,五四一,[illegible]円	五,九八〇,七七七円	二三,三〇九,九八二円	九,九七八,二三一円	三三,二八八,二一三円	二七,四七〇,一五三円	二九,四六八,二三七円	四,六六八,九九五円
臺北	一,一三一,九九六	一七七,八三九	一,三〇九,八三五	一三,六七三,一七三	一二,四三七,五〇八	一,二三五,六六五	—	—	—	—	—	—
淡水	八七,二四一	二三九,〇六〇	三二六,三〇一	三,三六五,五一九	三,六九五,九八一	●三三〇,四六二	—	—	—	一三,三九〇	四,〇〇〇	九,三九〇
安平	三四,三五六	一五三,一九七	一八七,五五三	一,七五五,五八〇	一,五九七,一三七	一五八,四四三	八,三二七	一,四七三,一二九	一,四八一,四五六	一一,六八三,五二九	七,六八五,六三〇	三,九九七,八九九
高雄	八五九,三六四	四,五五六,六三五	五,四一五,九九九	二九,六五三,九二三	二四,七二九,四八四	四,九二四,四三九	一,九三四,七四三	二,六六三,九八四	四,五九八,七二七	二七,〇〇三,八〇四	二二,三二一,八六九	四,六八一,九三五
其他諸港	八五,〇六五	七七,七一一	一六二,七七六	一,九五一,〇六〇	二,二八七,三三一	●三三六,二七一	三九,〇〇〇	三七,七五一	七六,七五一	一,四三一,四四九	一,五〇九,一四九	●七七,七〇〇
計	三五,五七七,四〇二	三一,八六四,四九四	六七,四四一,八九六	九〇,二四一,二三五	七八,五五八,五八二	一一,六八二,六五三	二五,二九二,〇五二	一四,一五三,〇九五	三九,四四五,一四七	六四,四八二,三二九	六〇,六六六,七七五	五,一七一,四五四

臺灣日誌

十一月

▼十日

□南北對抗大演習の終末を飾る大觀兵式總督府廳舍前にて午前九時より擧行さる

▼十二日

□貴族院議員視察團來臺

▼十四日

□臺灣醫學大會本日より二日間醫專講堂にて開催さる

□第一聯隊第十八回軍旗祭同隊營庭に於て行はる

▼十五日

□大屯山上に七星郡北投庄民の建立せし皇太子殿下行啓記念碑の除幕式吉岡臺北州知事等參列の上盛大に行はる

□臺北師範運動會

▼十六日

□全島公醫協議會を臺北醫院に開く

□後藤總務長官農業金融機關の新設等重大政務打合せの爲め上京

▼二十一日

□今日より二十三日迄全島小公學校長講習會醫專講堂にて開かる

□臺北第一聯隊除隊式同隊營庭に於て

□本日より五日間舊遞信局跡其他を利用して臺北州主催の下に警察展覽會開催

▼二十二日

□臺南神社臨時奉幣大祭伊澤總督勅使として參列の下に執行さる

□體育協會主催第一回專門學校庭球爭覇戰新公園にて擧行さる

▼二十三日

□第一聯隊除隊兵本日出發歸還す

▼二十四日

□臺中第三大隊除隊式同隊營庭にて行はる

□臺南州計畫新高調査隊一行本日出發

▼二十六日

□臺北市臨時協議會樺山小學校講堂にて開催さる

▼二十五日

□全島驛長會議鐵道ホテルに於て

▼二十八日

□大阪市小學校長本島視察團來臺

十二月

▼六日

□天下赤子の齊しく望みし皇孫殿下御降誕の報あり

□警務局主催精神修養講習會警官練習所にて發會式を擧ぐ

▼七日

□吾國嚆矢の試たる學校調査臺北市內各學校につき本日より執行さる

▼九日

□臺北商工會第二十三回定期總會本日午後三時より鐵道ホテルにて開かる

□全島農會幹事會議總督府にて行はる

▼十二日

□皇孫殿下御命名式　本月六日御降誕の內親王御名を成子と命ぜられ照宮と稱せらる

▼十四日

□新竹州協議會

□基隆公益社評議員會

人事消息

自十一月十一日
至十二月十五日

▼山宮代議士　十三日內地へ歸還

▼志保田鉎吉氏（臺北師範學校長）　十二日內地より歸臺

▼松岡富雄氏（臺灣新聞社長、本誌評議員）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二日歸臺
▼若槻道隆氏（督府視學官）十八日著任
▼一戸二郎氏（督府事務官、本誌評議員）十九日上京
▼盛・鳥瀉兩博士　十九日內地へ歸還
▼荒井泰治氏　十九日上京、
▼安井哲子女史（東京女大校長）二十一日內地へ
▼中田榮次郎氏（督府金融課長、本誌編纂委員）二十三日內地へ出張
▼田中貞次郎氏（九州帝大教授）二十五日來臺
▼槇　哲氏（鹽水港製糖社長）二十八日來臺
▼大越大藏氏（電力會社理事、本誌評議員）一日內地へ
▼色部米作氏（督府技師）十三日南洋へ出張
▼磯　永吉氏（研究所技師）同

任　命

自十一月十六日
至十二月二十七日

▼十一月十六日
總務長官　後藤文夫
上京ヲ命ス

内務局長　木下　信
總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス
▼十一月十二日
府技師　松岡冬樹
支那福州へ出張ヲ命ス
▼十一月十七日
交通局技師　海野斐雄
歐米各國へ出張ヲ命ス
▼十一月十八日
（各通）秘書官　一戸二郎
交通局技師　海野斐雄
上京ヲ命ス
府技師　安川　榮
殖産局附屬植物檢査所基隆分所主任ヲ命ス
▼十一月二十日
中央研究所技師　澁谷紀三郎
東京・京都・岩手・福岡ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス
公立高等女學校長　近藤康三
東京・大阪・兵庫・佐賀・鹿兒島ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス
▼十一月二十日
專賣局書記　立花　壽
任專賣局副參事
公立高等女學校教諭　黒田つな
任公立高等女學校教諭、補臺北第三高等女學校教諭
▼十一月二十一日
府技師　小笠原金亮
歸任ノ途次東京・大阪・神奈川ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス
（各通）專賣局副參事　立花　壽
公立高等女學校教諭　黒田つな
依願免本官
府事務官　中田榮次郎
上京ヲ命ス
▼十一月二十日
岩間　秀
臺中州協議會員ヲ命ス
▼十一月二十五日
府技師　片平重次
依願免本官
▼十一月二十三日
府事務官　中田榮次郎
財務局主計課長代理ヲ免ス、株式會社臺灣銀行監理官代理ヲ免ス
府事務官　長野龜男
株式會社臺灣銀行監理官阿部滂不在中代理ヲ命ス
▼十一月二十五日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

敎員檢定委員會常任委員ヲ命ス　視學官　若槻道隆

▼十一月二十六日

府技師　大木壽人

依願免本官

▼十一月二十八日

高等商等學校敎授　切田太郎

東京・大阪兩府下へ出張ヲ命ス

▼十一月二十三日

公立高等女學校敎諭　新美省音

基隆高等女學校長近藤康三不在中代理ヲ命ス

▼十二月一日

妻木栗造
松本晃吉
久宗董
（各通）
紫彬淮
陳定國

臺北州協議會員ヲ命ス

▼十二月二日

醫院醫官　古市虎熊

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

筒井清良

臺南州協議會員ヲ命ス

▼十二月四日

臺中醫院勤務ヲ命ス　醫院醫官　島由長作

任醫院醫長、臺北醫院勤務ヲ命ス　酒井潔

（各通）　州屬　末吉實

任地方理事官、臺北州勤務ヲ命ス　州屬　飛島井忍

府技手　市村萬吉

任府技師、警務局衛生課勤務ヲ命ス

地方技師　豐田俊五郎

臺南州勤務ヲ命ス

▼十二月五日

醫學專門學校敎授　杜聰明

在外研究員ヲ命ス、二箇年間亞米利加合衆國・加奈陀・英國・獨國・佛國及伊國ノ六箇國へ在留スヘシ

任地方理事官　府屬　松元德次郎

任地方理事官　同　年森利夫

任地方理事官

地方技師　豐田俊五郎
府技師　柴田廣之助
（各通）
地方理事官　末吉實
同　飛島井忍
府技師　市村萬吉

依願免本官　產業技師　豐田俊五郎

願ニ依リ本職ヲ免ス　酒井潔

臺北州勤務ヲ命ス　地方理事官　松元德次郎

同　年森利夫

臺北州勤務ヲ命ス

▼十二月五日

木村匡

願ニ依リ臺北州協議會員ヲ免ス　武藤針五郎

臺北州協議會員ヲ命ス

▼十二月七日

（各通）
州屬　中村四郎助
州警部　光田滿喜太

任地方理事官、臺北州勤務ヲ命ス

地方理事官　松元德次郎
同　年森利夫
（各通）

依願免本官

▼十二月八日

（各通）
地方理事官　中村四郎助
同　光田滿喜太

依願免本官

▼十二月九日

師範學校敎諭　大欣餞

任公立高等女學校教諭、補臺北第三高等女學校教諭
地方理事官　櫻井　馨
（各通）同　濱崎敬孝

▼十二月十日

臺北州勤務ヲ命ス
地方理事官　櫻井　馨
（各通）同　濱崎敬孝

依願免本官
中央研究所技師　石田昌人

英領香港・海峽植民地及蘭領東印度ヘ出張ヲ命ス
府技師　色部米作

▼十二月十一日

南支那・香港・佛領印度支那・暹羅・海峽植民地・馬來聯邦・蘭領東印度諸島・ボルネオ島及比律賓ヘ出張ヲ命ス
府技師　磯　永吉

南支那・英領香港・佛領印度支那・暹羅・馬來聯邦・英領印度及爪哇ヘ出張ヲ命ス
州港務官　藤井楠次

▼十二月十五日

兼任交通局技師
地方技師　森田松三郎

依願免本官

▼十二月十六日

專賣局技師　中山宮次郎

依願免本官

▼十二月十七日

醫學專門學校教授　杜　聰明

京都市ヘ出張ヲ命ス

▼十二月十九日

公立中學校教諭　美間正道
同　本多敎雄

支那厦門・汕頭及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▼十二月二十二日

地方技師　羽鳥重郎

東京・群馬ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス
檢事　永井敬一郎

任法院判官、補高等法院覆審部判官兼地方法院判官
府技手　松浦作治郎

任兼中央研究所技師
府　屬　塚本常盤

任地方理事官、豐原郡守ヲ命ス
同　河野博通

任地方理事官、七星郡守ヲ命ス
交通局書記　酒井　堰

任地方理事官、基隆郡守ヲ命ス
同　劉　茂雲

任地方理事官、高雄州勤務ヲ命ス
地方理事官　村田三郎、

南投郡守ヲ命ス
同　高橋秀人

臺北州勤務ヲ命ス
同　松田　茂

新莊郡守ヲ命ス
同　石川定俊

臺北市助役ヲ命ス
同　田代彥二

新竹州勤務ヲ命ス
同　首藤　章

桃園郡守ヲ命ス
同　山口尙之

曾文郡守ヲ命ス
同　八丁春太郎

宜蘭郡守ヲ命ス

▼十二月二十三日

公立實業學校教諭　坂元盛吉

任公立實業學校教諭、補臺北工業學校教諭
府技手　伊藤太右衛門

任府技師、殖產局山林課勤務ヲ命ス

▼十二月二十五日

（各通）
總務長官　後藤文夫
財務局長　阿部　滂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文[illegible]委員會ニ付

臺灣總督府專賣局參事　田房秀之助

依願免本官

典獄　松井辰千代

大正十四年五月二十六日臺中刑務所舊女監工場改築工事ニ就役中ノ受刑者張添丁ヲ縊死スルニ至ラシメタルハ當該刑務所長トシテ監督不行屆ノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

▼十二月二十六日

典獄　本多理三郎

大正十四年三月三日臺南刑務所ニ拘置中ノ殺人傷害被告人葉蓄ヲ居房ニ於テ縊死スルニ至ラシメタルハ當該刑務所長トシテ監督不行屆ノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

寄贈書目

書名		發行所
臺灣日々新報	每號	其社
臺灣新聞	同	其社
臺南新報	同	其社
臺灣經世新報	同	其社
萬朝報	同	其社
九州日々新聞	同	其社
國報	同	其社
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
工業評論	同	其社
臺法月報	同	同發行所
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其會
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅關
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
臺灣民報	同	其社
臺灣鐵道	同	其會
臺灣農事報	同	臺灣農友會
向陽會報	同	向陽會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其會
臺灣警察協會雜誌	同	其會
南洋協會雜誌	同	其會
海事新報	同	帝國海事協會
週報(上海貿易)	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協社
地方	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	總督府調査課
臺灣パック	同	臺灣パック社
統計學雜誌	同	統計學會
遞信協會雜誌	同	遞信協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
臺灣貿易月表	同	總督府稅關
茶業界	同	靜岡縣茶業組合聯合會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
專賣通信	同	專賣局
臺灣之茶業	同	臺灣茶商公會
讀書會雜誌	同	滿鐵讀書會
警察彙報	同	朝鮮警察協會
社會研究	同	滿洲社會事業研究會
臺灣山林會報	同	臺灣山林會
南支南洋經濟	同	同研究會
稅	同	國民租稅協會
臺灣之產業組合	同	臺灣產業組合協會
臺灣遞信協會雜誌		臺灣遞信協會
社會政策時報		財團法人協調會
臺灣詩薈		同發行所
朝鮮地方行政	同	帝國地方行政學會朝鮮本部
月報	同	大阪商業會議所
海外重要記事	同	總督府調査課
化學工藝	同	化學工藝社
關領印度時報	同	南洋協會爪哇支部
新高新報	同	其社
朝鮮及滿洲	同	其社
中央佛教	同	其社
語苑		臺灣語通信研究會
人と人	同	協調會
海運月報	同	其社
海外時報	同	外務省情報部
發明	同	帝國發明協會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊廣告

臺灣總督府編纂

臺灣現勢要覽

十四年版

定價金五十錢
（送料共）

本書は曩に　東宮殿下行啓に際し献上の爲め臺灣總督府に於て編輯し當時御嘉納の光榮を得たるもの、**ポケツト**型百七十頁の小册子にして內容は左記の如く一讀本島の事情と其地位とを瞭然たらしむ

位置、面積、山嶽、河川、土地の利用、氣温、雨量、人口、本籍別內地人、在外臺灣人、在留外國人、臺灣語を話す內地人、國語を解する本島人、婚姻、離婚、出生、死亡、出生率、死亡率、人口の增加、蕃人、行政區劃州及廳の面積、州廳の人口、主要都市、農業戶數、耕地面積、水利、農產、畜產、林產、鑛產、水產、工產、糖業、貿易、對手國別外國貿易、支那香港及南洋貿易、重要品別外國貿易、重要品內地貿易、港別貿易、財政、專賣、銀行、物價、教育、衞生機關、水道、**ペスト**と**マラリア**、阿片吸食特許者、鐵道、郵便、電信、電話、警察官署及職員、最近十一年間の進步等諸項目に亘り外に臺灣及內地府縣竝各植民地に於ける出生率及死亡率累年比較描畫圖等

右當所に於て翻刻發賣の認可を得今回印刷製本出來せり、御希望の向は至急前金御申込ありたし

大正十五年一月

臺灣總督府內
臺灣時報發行所
振替口座臺灣二〇七〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報總目次

自一月號至六月號

□卷頭言

題目	月	頁
第三十回新春	一	一
偉大なる殉職の精神	二	一
宣傳の機會	三	一
南方通商の新機運	四	一
御慶典を祝し奉る	五	一
劃期的なる始政三十年	六	一

□訓示

題目	月	頁
伊澤總督の行政整理に關する訓示	二	六
伊澤總督の教育に關する聲明書	三	五
木下內務局長の測候所長會議に於ける訓示	四	四
木下長官代理の第二回地方改良講習會に於ける訓示	四	六
伊澤總督の地方長官會議に於ける訓示	六	六
後藤總務長官の地方長官會議に於ける訓示	六	一〇
後藤總務長官の警察會議に於ける訓示	六	一二

□時報

題目	月	頁
時報	一	二
同	二	二
時報	三	二
同	四	二
同	五	二
同	六	二

□論說

題目	著者	月	頁
東西教育の異同	辜鴻銘	一	一五
汎太平洋食糧會議に列して	大島金太郎	一	二三
世界の製茶貿易上より觀たる臺灣茶の地位	津久井誠一郎	一	三七
米國人氣質の布哇糖業	石田研	一	六二
太平洋に於ける日本と支那	辜鴻銘	一	七〇
新領土總督の地位	松岡正男	一	七二
自由港問題に對する世界的觀察	野波靜雄	一	七七
農村を顧みよ	東鄉實	一	九七
俚諺に顯はるゝ牛の教訓	燕鹿夢	一	一〇六
異國趣味と母國の文化	正木直彥	二	八
南洋に於ける邦人の企業	小谷淡雲	二	一八
牛に牽かれての物語	燕鹿夢	二	三二
昨年の臺灣貿易	伊藤狠吉	三	六
汕頭博愛醫院の開設に就て	內田五郎	三	一八
自由港問題に對する世界的觀察	野波靜雄	三	一一六

最近の歐洲見聞記	小林準一	三	一三四
熱帶學校園の話	福原與之助	三	一四一
日本對佛領印度支那の通商關係を顧みて		四	八
最近の歐洲見聞記	小林準一	四	一五一
不地震地に就て	伊能嘉矩	四	一四一
熱帶學校園の話	福原與之助	四	一五七
日本と佛領印度支那との親善	メルラン、マルシャン	五	四
佛領印度支那事情	中瀨拙夫	五	七
支那財政の眞相	木村增太郎	五	二九
最近歐洲見聞記	小林準一	五	一四二
熱帶學校園の話	福原與之助	五	一四八
南方發展の要訣	後藤朝太郎	六	五四
支那財政の共管問題と之が改造に就て	木村增太郎	六	五八
臺灣に於ける地質調査事業と地質調査所設置の急務	市川雄一	六	七〇
理蕃政策として蕃參を論ず	鷹取田一郎	六	八二
日本と佛領印度支那	月朶生譯	六	九九

□調査研究

上海の關稅制度	井出季和太	一	一〇九
臺灣バナヽの產額と其の貿易	殖產局商工課	一	一五五
臺灣の鳳梨罐詰工業	殖產局商工課	一	一六一
新竹州下清代の社會事業	新竹州地方課	一	一七五
上海の關稅制度	井出季和太	二	三四
臺灣に於ける庶民金融の狀況	財務局金融課	二	七七
臺灣の鳳梨罐詰工業	殖產局商工課	二	一一四
刮目すべき比律賓の糖業	越村生	二	一三一
上海の關稅制度	井出季和太	三	二一
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	三	六七
臺灣に於ける保險業	商工課	三	七七
最近汕頭の商況	同	三	八八
蘭領東印度の灌漑事業と復活的農業	越村生	三	九〇
佛領印度支那の有望なる產業	T K	三	一一〇
上海の關稅制度	井出季和太	四	四二
臺灣四千年史	尾崎秀眞	四	七六
臺灣に於ける官公有園宮の概要	財務局	四	八八
本島の金融狀況	財務局金融課	四	九九
支那鑛產の分布狀態と其の發展策	小林一馬譯	四	一〇九
支那の生卵と同製品	片寄生譯	四	一三二
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	五	五一
金融彙報	財務局金融課	五	六五
厦門の海產物貿易及其の實行	殖產局商工課	五	七〇
急激に發展せる比島の製造工業	越村生譯	五	七九
支那の棉產狀況	片寄生譯	五	一〇四
領臺以來の臺灣貿易大觀	井出季和太	六	一〇三
驚異に値する臺灣糖業の發展	長曾我部直親	六	一三八
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	六	二〇一
臺灣產米に就て	安藤泰夫	六	二一二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣とマラリヤ　森倉民治　六　一三〇

□特　欄

新興國チェッコ・スロバック共和國　小林準一　一　一九一
臺灣の林政に就て　青木繁　二　一四三
過去の地震情調　燕鹿夢　二　一五〇
地質學上より觀たる臺灣の生命　市川雄一　三　一二五
秋の新竹公園　三　一三三
帝王神話主義　臺取田一郎　四　一一八
火の用心　燕鹿夢　四　一四〇
帝王神話主義　臺取田一郎　五　一一一
新高の山高四十尺を減ぜん　野呂寧　五　一二八
急要なる臺灣油田の地質調査　市川雄一　五　一三一
日本の好い所。日本人の偉い所　森武美　五　一三四
對外折衝の一曲折を物語る帝國領臺史の裏面　伊能嘉矩　六　一二六
領臺當時の思ひ出　竹下康之　六　一三三
ラッター氏の「臺灣を素通りして」　越村生譯　六　一四五
征蕃軍惡疫に惱まさる＝水野遵氏征蕃私記の一節　六　二五一
歐洲婦人と衣服　小林準一　六　二五五

□詞　苑

詞苑　一　二一〇
同　二　一六六
詞苑　三　一五六
同　四　二〇一
同　五　一五六
同　六　二八〇

□島　情

島情　一　二〇〇
同　二　一五三
同　三　一四八
同　四　一七〇
同　五　一五九
同　六　二六〇

□日誌・人事・任命其他

臺灣日誌・人事・任命其他　一　二一三
同　二　一六九
同　三　一五九
同　四　二〇三
同　五　一七八
同　六　二八二

□南支南洋其他海外重要記事

南支南洋其他海外重要記事　一　奥
同　二　同
同　三　同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支南洋其他海外重要記事　四　奥
同　五　同
同　六　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報總目次

自七月號至十二月號

□卷頭言

題目	月	頁
大なる教訓	七	一
熱の洗禮	八	一
最大の努力	九	一
本來の良風を守れ	一〇	一
行政整理後の一年	一一 一二	一

□訓示

伊澤總督訓示——秩父宮殿下を奉送して	七	六
後藤總務長官の刑務官會議に於ける訓示	八	六
坂本警務局長の理蕃會議に於ける訓示	八	一一
後藤總務長官の國勢調査打合會に於ける訓示	九	四
後藤總務長官の勤倹奬勵に關する通達	一〇	六
後藤總務長官の税務會議に於ける訓示	一一 一二	六
後藤總務長官の民事調停官會議に於ける訓示	一一 一二	一〇
後藤總務長官の一二等郵便局長會議に於ける訓示	一一 一二	一三
生野交通總長の一二等郵便局長會議に於ける訓示	一一 一二	一七
生野交通總長の三等郵便局長會議に於ける訓示	一一 一二	二四

□時報

時報	七	二
同	八	二
同	九	二
同	一〇	二
同	一一 一二	二

□論說

日本文化と國語問題	赤阪清七	七	三五
山海經に見えたる臺灣	燕鹿夢	七	五二
理蕃政策として蕃参を論ず	鷹取田一郎	七	六六
佛領印度支那に就て	中瀬拙夫	八	一三
布哇の鳳梨に就て	岡崎仁平	八	二三
上海事件の觀察	木村増太郎	八	三三
三たび臺灣の林政に就て	青木繁	八	四一
理蕃政策として蕃参を論ず	鷹取田一郎	八	五二
行詰れる財界の現狀打開策如何	井上準之助	九	六
我國民の海外發展と支那南洋	木村増太郎	九	二三
理蕃政策として蕃参を論ず	鷹取田一郎	九	五三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東洋西洋の長短所	幣原坦	一〇	九
中南米諸國の衛生狀況	羽鳥重郎	一〇	二三
支那の關税會議と増税批判	木村増太郎	一〇	四一
理蕃政策として蕃參を論ず	鷹取田一郎	一〇	七九
理蕃政策として蕃參を論ず	鷹取田一郎	一一	三四

□調査研究

巴里博で評判の臺灣喫茶店	森武美	七	五五
上海の關税制度―釐金税	井出季和太	七	八五
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	七	一〇三
支那の小麥製粉工場	小林一馬譯	七	一一五
支那の豚毛と羊毛	片寄生譯	七	一三四
迅速に佛蘭西語に變つたエルサス人	森武美	八	四五
諸羅縣志の番俗圖	蕉鹿夢	八	四九
支那の婦女勞働者	片寄生	八	八六
上海の關税制度―釐金	井出季和太	八	八八
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	八	一三〇
大正十四年の國勢調査に就て	出澤勝郎	九	四〇
上代の日臺交通を證據立つるトキワクノカゲノコノミ	蕉鹿夢	九	四〇
西班牙の闘牛戯を観る	森武美	九	四七
上海の關税制度	井出季和太	九	八〇
新高山の眞高一三、〇三五尺と確定す	野呂寧	九	一〇二
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	九	一〇四
支那重要貿易品解説	鮫島清	九	一一八
馬來系族と相撲の源流	宮原敦	一〇	六二
滞歐雜感―衣食住問題と日本の醫學	森武美	一〇	七五
臺灣四千年史の研究	尾崎秀眞	一〇	九四
支那重要貿易品解説	鮫島清	一〇	一一〇
極東に於ける果實市場	月乘生	一〇	一二八
西嶽山先生とコレラ	鷹取生	一〇	一四五
臺灣の人口増加率	出澤勝郎	一一	三〇
上海の關税制度(完結)	井出季和太	一一	五三
支那重要貿易品解説	鮫島清	一一	九二
臺灣貿易統計		一一	一二三
臺灣金融統計		一一	一二八

□特欄

秩父宮殿下の臺灣御成		七	八
臺灣始政三十年記念展覽會		七	一一七
世界三大茶の宣傳廣告文		八	三二
若い男女の盛んに踊り廻る巴里の國際日	森武美	九	三八
臺灣史學の權威伊能嘉矩君の追悼會		一一	五〇

□島情

島情		七	一四五

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人情	八	一四四
同	九	一四三
同	一〇	一四六
同	一一一二	一一四

□詞　苑

詞苑	七	一五九
同	八	一六六
同	九	一六四
同	一〇	一六四

□日誌・人事・任命其他

臺灣日誌・人事・任命其他	七	一六一
同	八	一六九
同	九	一六八
同	一〇	一六六
同	一一一二	一三六

□南支南洋其他海外重要記事

南支南洋其他海外重要記事	七	奥
同	八	同
同	九	同
同	一〇	同
同	一一一二	同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問屋業
販賣業
代理業

三井物產株式會社

臺北
臺南
支店

出張所
出張員

福州
基隆
高雄
臺中
廈門

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調査課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

鹽金に關する臨時執政令……一
支那各省最近人口の實數……一
奉・國兩軍の妥協と張大帥下の內訌……二
閩南時局に關する近情……八
厦門排英風潮の近情……九
厦門短信……一〇
粵軍江西に入るの內情……一一
蔣軍三路入閩の勢あり……一一
罷工解決機運其後の模樣……一三
廣東自衞團の變遷史……一三
廣西兵禍未だ熄まず……一八
世界の產糖近況と吾國(支那)の需供情態……一九

比律賓

比島對日貿易に關する考察……二三
比島の石綿……二六

佛領印度支那

新任印度支那總督の施政方針……二八
印度支那の棉花……三〇

馬來半島

英領馬來本年十月護謨輸出高……三五
本邦人護謨園益々賣らる……三六
馬來半島護謨生產制限による護謨輸出入額と三箇年間の成績……三七
世界に於ける護謨生產額と消費量……三八
護謨の生產及其の豫想……四一

蘭領東印度

一九二五年爪哇糖產額及二六年植付面積豫想……四九
蘭領東印度の護謨……五一
爪哇に於ける漁業と魚の商價値開拓……五二

其他

リベリヤに於ける亞米利加の護謨栽培狀況……五三
日本綿花工業に對する孟買機業組合長の對策……五五

一九一〇―二四年比島砂糖生產表……五六
一九一〇―二四年比島各種砂糖輸出表……五七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□釐金に關する臨時執政令

十一月二十六日附臨時執政令に云く、「釐金の名目は清季に創り、只臨時籌餉の爲に設けられたるにて、諸を古代關市の徴に衡すれば、義に於て本と未だ合せざるあり。且つ各處通過の貨物に就き、節々に抽收すれば、工商業の發展に於ける影響甚だ鉅なり。近年以來政府は深く其の弊を知りて屢々裁撤の議あり。顧ふに各省區軍政の要需は玆に賴りて挹注するを以て、舊慣に因仍し未だ剗除を與へざりき。然るに長く此を遷延せしむるは殊に商民を體恤し財政を整飭するの意に非ず。されば財政部をして財政善後委員會に會同し、各省區釐金及釐金に類似せる通過稅捐を一律に妥籌して裁撤し、並に裁釐籌備の前及實行裁撤し竣りし後、各省區の原と釐金に恃みし支款は如何に確實に抵補するかは詳に辦法及進行期限を擬定し呈候核奪せしめよ。此を令す」と。

□支那各省最近人口の實數

支那の人口は統計なければ詳細を語る能はざりしが、近頃人口に關する專門書を作成するものあり、特に各省の當局に向ひ戸口表を徴したるに、已に囘答を蒐集したるを以て、玆に表列すること左の如し。

一、	直隷	三〇、一七二、〇九二
二、	河南	三〇、八三一、九〇九
三、	山西	一一、一一四、九五一
四、	陝西	九、四六五、五五八
五、	甘肅	五、九二七、九九八
六、	新疆	二、五一九、五七九
七、	奉天	一三、八二四、七七九
八、	吉黒	九、二五八、六五五
九、	江蘇	二八、二三五、八六四
一〇、	浙江	二二、〇四三、三〇〇
一一、	安徽	一九、八三二、六六五
一二、	福建	一三、一五七、七九一
一三、	山東	三〇、八〇三、二四五
一四、	四川	四九、七八二、八一〇
一五、	湖北	二七、一六七、二四四
一六、	江西	二四、四六六、八〇〇
一七、	湖南	二八、四四三、二七九
一八、	廣東	三七、一六七、七〇一
一九、	廣西	一二、二五八、三三五
二〇、	雲南	九、八三九、一八〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二一、貴州　二三六、四〇〇　合計　四六五、三〇一、一三五

上記計數を除きて外、更に蒙古西藏あるも調査する由もなければ姑く之を缺くのみ。(十四年十一月二十四日―廣州民國民報)

□奉國兩軍の妥協と張大帥下の内訌

奉馮兩軍代表の聯合　十一月十六日午後三時國民軍側鹿鍾麟は第二軍の史之照と奉軍の郭瀛洲を迎へて北京警衛司令部に到り、相談の上國奉兩軍聯合事務所を組織せるが、此れ十五日の夜兩軍代表張樹聲・王乃模と張學良・李景林・郭瀛洲等とが直隷督軍公署にて調印せる和平條約によれるものにて、其の條約内容の大要は(一)京畿は國民軍に歸し保定・大名府を國民軍に讓りて接防せしめ、(二)は未詳(三)天津・海口は公開し、(四)兩軍協力して直系に對する等の八箇條にて、又天津に國民鎭威聯合事務所を組織することを決定したり。倘鹿鍾麟・張學良を領袖とし、郭瀛洲・張厚琬・楊雲峯・蕭其煊・張樹聲・王乃模・史之照・劉汝賢を事務員とし、共に時局に對し協商の上應付することゝなれり。是に於て張作霖は馮玉祥に打電し、其の和平を主張するは同一轍なるを言ひ、且つ關税會議代表の悉く京師に集り居れば、我等兩人の擧動を外人は屬目し居らん。されば如何を論ぜず双方團結して共同行動すべしとの意を說き、馮玉祥は十五日段執政に打電し、十三日の電令を奉じ所部に命じ卽日に京漢鐵路一帶に駐守せしめ、同鐵路の治安は岳督と會同して維持し執政贊成の重きに副ひ、共に時局解決の方法を謀らんと言明したり。隨ひて奉天軍も各處とも撤退し、京漢鐵路沿線の軍は津浦鐵路德州に移り、磁州を退出せるものは仍ほ東北に引上げ、未だ河南軍と激戰を交へず。馮軍は南口に退き奉軍は赤峯・朝陽に駐り、張學良軍は軍糧城・灤州に赴き、津浦鐵路の憲兵も撤去し、李爽愷の第十九師は滄州に駐り、姜登選の部隊は將に德州に駐らんとす。而して河南軍鄧瑜は邯鄲に駐りて北進を中止せり。(十一月十六日―北京・天津電)

浙江軍現在の態度　孫傳芳は徐州に在りて會議を開きて曰く、師を會するの目的は已に達したれば山東攻擊は岳維峻・鄧如琢兩軍の負擔とすることに商議整ひ、浙江軍は已に漸次退きて休養しつゝあり。

河南・陝西聯軍の出發　河南の岳維峻は十一月十六日河南・陝西の聯合軍は六路を分ちて出發したれば二三日内に目的地に到着せんと吳佩孚に打電し、田維勤部は單縣に到り金鄉に向ひて前進し、樊鍾秀部は湯陰に集中して德州を攻め、鄧瑜部は武安を迂廻して邯鄲を側擊せんとす。時に馮は岳維峻に打電して云く、妥協已に成りたれば河南・陝西の軍を催して急に北進し、東の方濟南に出で西の方石家莊に出で奉天の主力軍の南下するを俟ち京保線より之を截擊すべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と。（以上十一月十六日—北京・天津・漢口電）

山東軍の前線狀況　山東軍の前線は徐州を距る三十里の茅村黃河に在りて戒嚴を宣布し、韓莊・兗州間には戰事なし。張宗昌は十六日軍政長官を召集し奉天と馮軍と一致行動することゝなり、河南・山東も諒解あれば、浙江の孫軍は更に進軍する能はず。されば本省は幸に戰事を免るべしと報告せり。（十一月十六日—濟南電）

蕭湖北督辦の擁吳布告　蕭耀南は布告を發して云く、邪正は兩立せず。耀南は此次義師を聯合し子玉（吳）上將軍の後に從ひ國家の爲め暴亂を靖伐す。既に一人一系の爭に非ず。義當に國の爲め民の爲めに戰ふべし。子玉上將軍は耀南と道義をもて相期し夙に患難を共にし、國事を憂ひ湖北人を愛護する所以のものは彼此同契なり。凡そ我が邦人は正に宜しく皆此の意を體すべし云々と。（十一月十六日—漢口電）

武漢の軍狀　蕭耀南は委員四十人を派し劉家廟等の處に赴き軍事轉運所を設け、漢陽兵工廠は十五日より全廠に夜業を爲さしめ、急に銃彈を製造せしめ、寇師團は是の日再び迫擊砲六門・砲彈三百餘を受け取り廣水に送致し、總司令部より孫傳芳軍に子彈十萬發と洋一萬元を接濟し、吳佩孚は參謀三十餘人を派して開封に赴かせ岳維峻を助けて軍事の籌畫を爲さしめ、第八師團第二十九團全部及び工兵一營は已に宜昌より濟蜀艦にて漢口に到著、劉家廟に駐り、第三十團は卽日に續々到著し、孫建業旅は出發の準備中にて、第一團は隨縣に集中し、第二團は德安に集中し、吳より派遣したる旅長等は十五日夕方鄭州に赴き、轉じて陝西に至りて孫岳に議したるが、孫岳は已に先づ代表黃道三を派して漢口に來り出兵として奉天を討伐することを報告せしめたり。（十一月十六日—漢口電）

福建軍の內外兼顧　周蔭人は福建省內部の紛糾せるが爲め、討奉軍は蘇埏の一箇旅を出發せしめたる外再び派遣するを見合せたり。蘇部は兩團にして團長は楊恩榮と馬瑞雲、團附は范超・紀錫海・營長は黃五洲・王文盛・孫春亭・張燕林・朱經章・于某なり。

（十一月十七日—福州電）

河南軍の直隸・山東侵入　國奉和平條約成立したるに拘はらず、河南軍は何の顧慮する所もなく三路に分れて直隸・山東に攻め入らんとし、第一は邯鄲磁州より保定に入り、第二は大名より德州を攻め、第三は濟甯・兗州より濟南を攻めんとす。山東にては沂州・濟南等の知事等は續々獨立を宣言し、張宗昌の威令行はれず地位に不安を生じたるが、張宗昌は北京に打電し、河南軍李紀才部が孝城より前進し沿途に塹濠を掘りつゝ進むもの數十人あり、陸續河を渡り東南に向つて移動しつゝあるを以て、岳維峻に李部を原防へ歸り山東に入らざる樣命すべく請ひ、李景林又河南軍の阻止方を臨時執政府に迫り、別に馮玉祥に向ひ岳維峻に轉電勸阻の事を請へり。かゝる間に李紀才は曹州より濟甯に入り、樊鍾秀軍已に大名を占め、李紀才は鉅野に至り、後續部隊たる郭振才は國民第二軍第一路游擊司令の名

義を以て山東に赴きつゝあれば、時局未だ樂觀する能はざるものあり。是に於て段執政は二十一日河南軍に撤退方を命令して云く、前日河南軍は誤會に因りて山東境に入りしが、已に曹縣荷澤等の處に至り現に仍ほ前進を繼續せりといふ。査するに本月十三日已に岳維峻に令し京漢鐵路に對し力めて維持を爲すべく命じたり。若し兵を分ちて他地方に進まんには本執政が和平を倡導するの意と相背馳すれば、至急山東に向へる軍隊に命じて原防に歸らしめよと。又同時に岳孫協定の結果河南の吳佩孚なる陳文釗・王爲蔚の二箇師・田維勤の一箇混成もすでに徐州に到り、殊に田軍は津浦線により北進し韓莊を占領したり。(十一月二十一日—北京・開封・徐州・上海電)

奉天派の進退維れ谷る　奉天消息によるに云ふ、今回の國奉和平は奉天側より見れば、其の總決算に於て只徒らに大軍を動かして惡評を蒙りしに終り、しかも巧に國民軍並に北京政府側の罠に懸りしものとなりしのみにて、張作霖氏始め一時軟化せし李景林氏さへ切齒扼腕して居る。しかるに之が復讐は容易ならず。何となれば國民軍側の現狀を觀るに、河南の岳維峻氏は夙に馮玉祥氏と諒解あり、奉軍の三河縣占領を口實に直隸・山東の侵入を策しつゝありしも、武器彈藥の不足せる爲め、積極的行動に出づる能はざりしに、去る十三日國奉双方の妥協成立し、京漢線と保定・大名は國民軍の手に落ち、奉軍著々撤退を始め戰意去りしを察知せるを以て、突如として部下唯一の精銳鄧寶珊の第七師をして保定を襲擊せしめ、あはよくば奉軍の防備全からざるに乘じ其の武器彈藥を奪取せんと企てたるが、奉軍は幸に之を擊退せしも、結果は終に京漢線を全部國民軍に渡すに至れり。此れ即ち去る十八日の未明に突發せし保定の衝突事件なるが、張作霖氏としては此の事件を以て國民軍が和平の公約を破りし證とし段執政に嚴重抗議し、一時關稅會議を休會すとも、一擧に北京を衝き、北京政府を奉軍監視下に置かんと欲せしは無理からぬ事なるも、既に馮軍が南口に退きし後とて之を如何ともする能はず、又既に弛緩せる奉軍の大氣は今日の儘に對陣久しきに亘るに隨ひ愈紊亂を免れざるべく、地方民の對奉軍惡評も一層甚しかるべく、隨ひて此際潔く山東・直隸の二省を棄てゝ關內に入るが最善の策なるべきも、李景林・張宗昌は決して之を承認すまじく、進退維れ谷まるとは眞に此の場合を形容するの最適の文字なりと謂ふべしと。

(十一月二十四日)

奉軍の兵變說と時局の急轉　二十四日朝、郭松齡氏は灤州に在り部下に對し演說して云く、此次電召により奉天に返らば必ず幸に免るゝ能はじと思ひ、銃を以て自殺せんとしたるに部下の救ふ所と爲れり。今願ふに張作霖氏は兵を窮め武をけがし羣小を信用して大亂を激成し、又國民軍に向ひて宣戰せんと欲す。かく四面に敵を受けんには安んぞ敗れざるを得ん。たゞに直隸・山東の保たれざるのみに非ず、恐らくば東三省も亦将に奪はれんとす。されば和平を主張し張作霖氏の野に下るを要求し、張學良氏を推して大政を主持せし

め、山東を讓り國民軍と直隷軍とに對し停戰して和議を講ずるに如かず。かくせば東三省の精華は重く洪水に付し去るには至らざらんと。郭氏の部下十萬人は皆之に贊成したれば、該部は卽日山海關に在りて獨立を宣言したるが其の中に(一)內戰に反對して和平を主張す。(二)張作霖氏に下野を請ふ。(三)張學良氏を推して鎭威軍總司令とすとの語あり。該軍旣に山海關にて張作相の軍と衝突し、張軍二千人は武裝を解除さる。郭軍現に灤州に集中し、姜登選等は捕へられたりとの說あり、天津楡關間の電報は不通となり、秦皇島及び北戴河間の電報電話線は郭軍に斷絕さる。奉軍側にては郭氏が馮玉祥氏の運動を受けたる結果此の變を生じたる旨を宣布せるが、李景林氏の電報には只楊宇霆を驅逐せんとの郭氏の意なりといふ。かくて郭軍十萬は楡關より二路に分れて瀋陽に向ひて進み、李景林氏は保境安民を宣言せり。

李景林の對郭感情　二十五日朝、李景林は電話を以て國民軍に郭松齡氏が奉天に返り張作霖氏の下野を請ひ、國民軍共同動作に出でんことを希望せる旨を述べ、同時に鄧寶珊氏に轉達せんことを依頼したり。但し李景林氏は妻の母が尙ほ奉天に人質となり居る關係上灤州宣言には李氏の名を署せずといふ。

北京政局の變化近からん　連日各系の要人皆頻りに包頭鎭に赴き政治の打合を爲しつゝあり。卽日にも政局の變化を生ぜんとす。

河南軍進行の狀況　國民軍第一第二軍は南苑豐臺よりして師を馬廠小站一帶に會せしむべしとの說あるが、王爲蔚より二十一日附を以て吳佩孚に打電せるに謂ふ。本軍は進んで臨城を占領し、多く沿途の鐵道電信の破壞されたるを修理し明朝直ちに滕縣・兗州を攫取せんと圖れりと。報告によるに鄒縣界河の間に二箇旅の敵ありて頑强に抵抗せん。又郭振才二十日附の電報には、陳文劍は金鄉に到り、王爲蔚は韓莊に到り、徐永昌は鄭より北進したり。又湖北代表吳振洪二十二日附開封電報には、北路の鄧寶珊は已に北京に至り、天津の奉軍は自ら紊亂を生じ、東路李紀才は濟甯に至れりとあり。此の如く河南軍續々山東に向ひ進發せるが、岳維峻は此の對山東の軍事を全く靳雲鶚の主持するに一任したりといふ。

(以上十一月二十五日—北京・天津・奉天・漢口電)

奉軍の內訌は文治派の策動　今回奉天派の內訌は反張作霖の文治派が王永江氏を推戴して奉天王國を改造せんとするものにて王派某巨頭の言によれば「張作霖氏の最も信任せし郭松齡氏が內訌を起せし以上張作霖氏も自ら職を抛ちて天下に罪を謝すべし。若し三日以內に之を決定せざれば張作霖氏が下野を强要さるゝに至るも知るべからず」といふ。

郭の張作霖下野勸告　郭軍十六列車は二十四日山海關に出動し、郭氏は灤州より通電を發して張作霖の下野を勸告し、又張學良をして東三省治安維持の責任を持たしめ、楊宇霆・姜登選の退職を命令せり。之が爲め奉天城內は戒嚴令下に在り、流言盛にして人心極め

て動搖せり。（十一月二十五日—奉天・天津・北京電）

李景林の態度と天津の現狀　二十五日李景林より郭瀛洲にかけたる電話によるに、郭松齡氏が歸奉の目的は只主戰の楊宇霆を驅除する爲にて張作霖氏には問題なし。安心を請ふとあり。又督軍署の會議には李より「郭軍の師を返せしは張作霖氏が年老いて羣小に蒙蔽さる丶爲其の下野を請ひ奉天の政治を改造するに在り。而して我が軍は力めて保境を主とすれば他の軍隊と戰ふこと勿かれ」と宣布し、直ちに楊宇霆系の官吏を更迭し、張學良の司令部を取除き、代表李濟春・韓玉辰を派し包頭にて馮玉祥氏に面會して一切の打合せを爲さしめ、領事團に對しては郭・馮妥協の上奉天に對抗するのみなれば、當地は本官より保護の全責任を負ふべきを照會し、張宗昌は李と共に一致の行動を取ることを表示したり。

馮玉祥の態度　馮氏は時局の急變により二十六日包頭より張家口に返り通電を發して張作霖の下野を請ひ、南口なる馮軍は西南苑に出動して京畿を保衞しつゝあり。

張作霖最後の決意　奉天側の郭松齡氏懷柔は全く絶望となり、二十六日郭氏より「東三省を貫通せる鐵道が某國の所有に係ること、十餘名の外國顧問に圍繞されあることを利用し、擅に三省の軍民を虐げたる罪に顧み、張作霖氏は直ちに下野すべし。然らざれば武力を以て之を實現せしめん云々」の電報奉天に達したれば、張氏は卓を敲いて怒り「かくなれば予は昔に返りて自ら兵を率ゐ遼河のほとりに橫行することも意とせず」と云ひ放てり。尙本二十六日の軍事會議にて山東放棄急遽歸滿を張宗昌氏に命じ、黑龍江の吳俊陞氏にも出奉を命ぜり。（十一月二十六日—奉天電）

郭の攻奉戰況　郭松齡の反奉軍中十餘營の張學良に投降するあり、奉天の秩序は尙安靜なるに張作霖氏は東三省全部の軍隊を召し、楡關に出動して郭軍を攻めしめ、又張學良氏は飛行機を用ひて楡關上を往來し傳單を散布し奉天軍に勸めて互に相殘殺することなかれといへり。故に、郭部の軍心は感動する所あり。張作相・汲金純軍は郭軍に抗することを甚だ力強く、熱河の闞軍は承德朝陽より出動して錦西に駐り郭氏に對し戰を宣したり。郭氏は李景林氏に軍餉軍器の援助を請へるが、李氏は未だ容易に許さずと雖も態度は仍ほ中立を守れり。（十一月二十七日—北京電）

郭の反奉は馮との密約による　馮・郭二氏の密約は二十日に馮氏の提出せる條件に、二十三日郭氏が同意せるものにして、其の內容は「(一)郭松齡氏より張作霖氏に下野強要の通電を發す。(二)李景林氏が若し郭氏の背後を衝く時は馮軍は南下して李景林軍を討つべし。(三)李景林氏が中立を嚴守せば李氏に熱河を與へ、京漢線は國民軍第一軍より之を管理す」の三箇條にて、初め李氏は馮・郭二氏の間に密約の成立せるを知らざりしが、後郭氏の強要にて之に加擔せり。若し將來國民軍又は郭軍が天津を侵さんには勢自衞のため張宗昌氏又は吳佩孚氏と提携して之と相對抗するならんと豫想さる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（十一月二十六日―北京電）

郭軍の秦皇島入り　郭軍は二十六日無抵抗にて完全に秦皇島を占領し、該島に駐りし張作相氏の第九師全部は降參したりしも、山海關に在りしものは二十五日夜全部山海關を引揚げ綏中方面に向へり。途中關の東方長城々壁附近なる鐵橋を破壞せり。昌黎に在る奉軍の飛行機は十二臺だけ錦州方面へ飛行し去り、其の餘は悉く掠奪され、殘留せる部隊は薄衣にて寒天にふるへ居れり。

（十一月二十六日―天津電）

錦州郭軍に攻下さる　郭軍は錦州を攻下したれば、張作相は葫蘆島に逃れながら郭氏に打電し、仍ほ張作霖氏を保全せんことを請へり。又張學良氏は電話にて郭氏に葫蘆島に赴き善後の相談を爲さんことを請へるに、郭氏は張學良氏が同じく天津に至り李景林と三人談合せんことを求めたり。（十一月二十八日―天津電）

張・郭の劇戰あらん　奉軍は錦州に集中し張作霖氏親しく自ら戰を督し、郭松齡氏は秦皇島を大本營と爲し、其の前鋒は已に中所を占めたれば兩軍の間自ら將に劇戰あらんとす。郭軍は二十四日より二十八日まで連戰すること五日獲る所甚だ多きも傷亡者は二百餘に上る。又奉軍飛行機の散布せるビラの爲め郭軍には頗る散じ去るものを出せり。（十一月三十日―天津電）

馮の擁段表示　段執政は下野の意を洩らし至急後任者を求めつゝあるが、馮氏は段氏に打電して云く、「鈞座の出で、艱鉅に任じてより以來、國を憂ひ勞に勤め民を愛して惻怛たり。凡そ國人に在りては感深く欽服せり。此次の事變には祥其の愚誠を竭くし、始終擁護し久しく豐豫を邀ふ。頃ろ熱河方面に奉軍陸續兵を増すに因り、人民の驚恐を致し、老を扶け幼を携へ逃れて察區に入るもの至つて夥し。深く双方の投鬪して和平を妨害し初志に違ふを致すを懼る。遂に包より張に返り軍隊を戒飭す。年來軍閥強横にして妄に政治を關す者は其の國に驕り其の身に害あらざるは鮮し。祥は不學無術にして只鈞座を擁護するを知り力めて國家を挽救するを圖り民を水火より拯ふ。始終一致誠を竭して翊賛す。惟恐る時局の靖からずして、詬誶繁興し聽聞を淆惑して疑慮を生ずるを致さんことを。倘乞ふらくは鑒照の及ぶ所、動かす所となるなくして艱難を宏濟せんことを。大局幸甚し」と。而して三十日午後許世英氏が張家口より返り馮玉祥氏が執政を擁護すること最も甚しきを報告しければ、段氏は遂に龔德惠の辭職を許し陳宦を派して代理と爲し、陳の未だ任に到らざるの以前は秦瑞玠之に代り、又李思浩の辭職を聞屆け張訓欽を代理たらしめ、別に通電を發して已が付託するに人あるを俟ちて卽ち下野すべきを明にし各督長が速に建議し政府を組織せんことを望まんとす。

北京の治安に注意する馮玉祥　馮氏は二十九日鹿鍾麟に打電して云く、昨日の羣衆運動は軌外に越出せり。果して學生或は純善なる分子なるに係らば、該司令治安を保衛するの責あり、應に和平に維

持すべし。奸人ありて中より煽惑し、匪徒機に乘じて亂を助け、甚しきは執政を震驚せしめ私宅を擾亂するに至る。此の如きの行爲は何の事體をか爲さん。再び奸人匪徒の治安を擾害することあらば、應に法を按じて嚴辦し以て將來を儆むべしと。

（以上十一月三十日—北京電）

曹錕を嚴刑に處せんとす　張家口より返れる許氏は馮氏が曹錕に對するには嚴辦を主とすることを報告し且つ曰く「我が執政を害し我が民國を亂す」との考語あり。李彥青と同樣の取扱を爲さんと欲しつゝありと。

張・郭の戰事　郭松齡氏は二十九日已に綏中縣に到れるを打電し、且つ昌黎・留守營・九門口・萬家屯にて勝利を獲たることを報じたるが、錦州附近の奉軍に對しては十二月二日に總攻擊令を下すべく、又之に對する張作霖氏は親しく溝幫子に往きて戰を督し張學良氏は前線總指揮に任ずべしといふ。（以上十二月一日—北京・天津電）

政局過渡の方法　北京政府は過渡內閣組織を謀り許世英を總理、王正廷を外交に、黃郛を交通に長とし、內務と陸軍は其の儘とし、餘は未定なるが、許世英內閣の顏觸として外交王正廷・內務龔心湛・陸軍李烈鈞・海軍林建章・財政陳錦濤・農商陳宦・司法王寵惠・教育易培基・交通黃郛と傳ふるも許氏が內閣組織すべきや否や未定なる位なれば閣員を指名するは早計に失せん。（十二月二日—北京電）

張・郭兩軍の興城役　張・郭兩軍は現に錦州を距る八十支里なる興城にて激戰せるが、張學良と郭松齡とは親しく自ら指揮に任じ、郭軍は已に商河岸を占領したり。（十二月二日—天津電）

□閩南時局に關する情報

一、本月上旬汕頭に於ける陳炯明軍（部將洪兆麟並林虎）の失敗と共に潮汕を克復したる蔣介石軍（廣東赤軍）は戰勝に乘じ更に進攻を續けて陳軍を追擊し已に省境を超え閩南の一部詔安及平和縣を攻略し、林虎所部は永定上杭一帶に退却し洪兆麟所部は雲霄漳浦一帶に退却守防し、敗兵の一部既に海澄石碼に逃入したる爲め漳州地方不安を感じ始め民氣遽かに動搖し十日以來避難民陸續として來廈しつゝあり。

二、加之當地國民黨系新聞紙は盛んに蔣軍の閩省進擊を喧傳して民氣を煽り居るより不尠市上に恐慌を來し在漳商民は荷物の仕入を手控へ夫々當地取引先に向け荷送り見合を打電し、猶一面漳州に於ける張師長關係の信託公司（臺灣籍民陳長福經營）は兌換小銀票の取付に逢著し恐慌不安其極に達し居れり。

三、福建民軍（土匪頭）の幹部張貞（即張幹之）は赤軍に加はり前敵案內者として漳浦進擊の報傳はり、張毅は既に兵器廠機具を同安に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運搬し家族は當該濵嶼に避難せしめ萬一の場合に準備しつゝあるも、守防軍（張毅）約一萬を有し洪兆麟の敗兵一萬と稱せらるが事實四・五千に過ぎざるもの、如く一般の守備手薄なると漳州の地勢上訓練しある蔣軍來襲するに於ては到底之を喰止め得ざるものゝ如し。

四、以上の形勢は直接當地海軍警備司令部に影響し急遽上海方面より軍艦の増派を求め目下楚泰・江元・海鴻を以て厦門・同安方面の警備に充て楚觀を東山海面に派する外市内は十七日特別戒嚴令を布きて一般の防備怠り無し。

五、十八日漳州より歸來せし當地支那紙厦門晩報主筆支那人陳沙崙の某官に直話せる要領左の如し。

（一）粤軍（卽ち陳炯明派）の福建省内に退却せしものは洪兆麟及李雲福の指揮下に屬する軍隊にして、周隆人より平和・永定・龍巖・詔安の四縣を限り暫く滯留することに諒解を經たるものにしてその他の地域には立入らざることに協定成り居れり。

（二）福建省の南部は再び紊亂すべきや否やは廣東蔣介石軍が福建省を侵すや否やに依り決せらるゝ次第なる處、本月十六日蔣より漳州駐在の福建陸軍第一師長張毅に宛て福建省内に在る粤軍をして省外に退出せしむるか又は武裝を解除せしめられ度し、貴下は自分と意見を同じくし奉天軍に反對するものなるを以て、右の希望を容れらるゝに於ては自分は決して福建に入らんとするの意なし云々と。

（三）右に對し張は承諾の返電を發する一方洪・李の兩軍に對し福建省の安全を謀る爲退出方申入れたる處、兩軍は蔣軍に對抗の實力なき爲張の申入を承諾し江西省に退き林虎の軍と合することとなり、その費用として銀一萬七千元及米五百俵の補助を受け度旨申込めせり。

（四）張は之を漳州商務會其他の團體に計りしが漳州管下の安全を保たんが爲之れを負擔すべしとのことに一決し、十七日迄に既に二萬二千元寄附金集り之を十八日午前中に張に手交することゝなりしが、右の通り實行の曉は洪・李兩軍が福建省より退去し蔣介石軍の侵入することなく將來平穩なるべしと豫測せられ居れり。（十四年十一月十八日—厦門情報）

□厦門排英風潮の近情

去る九月十一日以來當地排日風潮一先づ終熄を告げ排英のみ繼續することに成りたるが、當地外交後援會は其後弛緩狀態に陷り、排英運動解消し、調査員は辭職を申出づるに至り、此間に乘じて英貨は種々の方法を以て輸入出廻りを見るに至りたる爲、慷慨せる一部

硬派委員奮起して再三協議會を開かんとしたるも、その都度流會に終り何等具體的決議を見るに至らざりしが、本月八日に至り形勢復持直して協議會成立し、外交後援會内部の組織を變更し、新の偵緝隊(五組•一組十名より成る)を編成し、汕頭•廣東等を相策應し徹底的排英實行を決議し、爾來陸上貨物檢査を再開し、入港英船に對しては一切の荷役を止め單に乘客のみを默認し、排英熱再燃するに至れり。最近當地電燈會社支店長英人 Wyse が支那人某を街上にて毆打したりとて支那紙及華民公會の抗議を受け、英國領事は右英人に對し當地退去の命令を下したる事件あり。此の如きは常時ならば到底英國が屈伏すべき筈なきも、目下の形勢に鑑み支那人の反感を高めざる樣措置したるものなるべしと一般に觀察され居れり。

（十一月十九日—廈門情報）

□廈門短信

拜啓陳者今回の支那出張の件に關しては一方ならぬ御盡力を辱ふし難有奉深謝候。海上も頗る平穩、十一月三十日午前七時半、多年の望を籠たる最初の一歩を支那に印し申候。曾ては宋朝の壇之浦たり鄭成功明朝復興の中心地たりし廈門市は御承知の如く隔てたる鼓浪嶼共同居留地により形成致され居り候。舊市街地の不潔にして道路の狹隘なるは既に讀みも致し聞きもしたる處に有之候へども、實地に視察をなし今更其の甚しきに一驚致し申候。

元來廈門人の體格の貧弱なるは一は强健なる靑壯年が盛んに南洋方面に出稼することにも原因することゝ存候も、一面に於ては此の東洋一の不潔なる廈門市が生みたる當然の結果かとも被存申候。殊に當地は水の供給不充分にして其の質も極めて不良に有之、飮料水其他に使用する水も可成り遠方の田舍より運び來る有樣にて、僅に一擔(ブリキ罐二ツ)十錢内外の由に有之候へども、目下水道敷設中に有之、到着同日午後領事館を訪問、領事に敬意を表し併せて視察日程等種々打合せをなし、翌一日領事館警察署長の紹介により當地禁煙査緝辨事分處を訪問致し、在廈籍民七千名の約半數の生活を支持しつゝある阿片吸食所並に之を經營しつゝある籍民の内面的生活狀態等詳細に調査し、不正營業とは申すものゝ在廈籍民の生活上已むを得ざるものあるを見、今更百聞一見に如かざるをつく〴〵感じ申候。更に又親族訪問裁縫等に籍口して渡廈藝娼妓に從事するもの二百四五十名の多きに達し、今や支那藝娼妓を壓倒しつゝあるは驚くべき現象に有之候。

何れ歸府の上は各方面より見たる各地の籍民の狀態を取纏め高覽に供すべく候。明日よりは籍民無賴漢の内面的生活狀態、籍民の利用、籍民誘導方法としての職業並に之が方針並に一般支那方面の調査に從事致すべく豫定致居り候。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政情方面に於ては何等特記すべき變動も無之、當地の治安は海軍の手により維持せられ居り頗る平穩に有之、(海軍警備司令楊樹莊は目下上海にあり近々歸廈すべく林參謀長代理をつとめつゝあり)排日は全く其の聲を潜め、目下港内は日本汽船大部分を占め居り候も、排英氣分未だに深ひつゝあり。太古洋行棧橋には英國船荷役不能の爲め碇泊致居り候。

何れ何等變動あり次第御通報申上ぐべく、不取敢御禮旁々近況御通知迄申上候。敬具。(十四年十二月三日―廈門通信)

□粤軍江西に入るの内情

粤軍敗戰の餘退いて江西邊境に入りたるが、陳炯明は代表を派遣し、方本仁に向ひ三南の數縣を劃定して暫くの駐紮地と爲さんことを求めたりしことは已に人の知る所なり。其の後聞くところ、陳の派遣せし代表黃強は前日江西に到着し、方氏に向ひ懇々要求を爲せしが、方氏は頗る之を難しとし、贛南三南等の縣は連年の兵禍の爲め苦しめるに、今年の大旱災を以てし、地方にては一粒米の收穫もなく供應尤も困難なりとの理由を以て長く粤軍の此處に駐るを肯んずる能はざるの情あり。然るに陳氏の代表尙ほ未だ此地を離れず、又忽にして蔣介石の代表も相繼いで來り、其の任に當りしものは爲大悲なりといふ。爲は十六日夕江西に到着、贛南より淺水汽船にて來省せしものにて、先づ西江大ホテルに寓し、翌日方本仁に拜謁して其の來意を述べて云く、蔣司令は江西・廣東は唇齒相依るの地にして、其の親睦すべきは他省よりは更に深かるべし。現に陳炯明・林虎は潰敗せる爲め將に退いて江西境上に入らんとするの勢あり。此れ治安に妨碍なくんばあらず。されど蔣軍は仍ほ其の後に追擊しつゝありて一日も早く之を殲滅するを期せり。若し粤軍の殘兵が流れて江西の境へ入るものあらば希くは直ちに協同して解散せしめ、容留して惡感を發生し誤會を起さしめざらんことを請ふと。是に於て方氏は去就に苦み、十八日席を軍署に設け爲大悲の爲め歡迎の意を表することと甚だ周到なりき。要するに方氏の兩方面の代表に對するは誠に容易に非ずと謂ふべし。(十四年十一月二十二日―新聞報)

□蔣軍三路入閩の勢あり

一、軍事方面　蔣介石潮汕を克復せしより後所部に命じ廣東・福建の邊境なる粤軍を追擊せしむる外、目下急に進行を圖るものに軍事と財政との二事ある内、今軍事方面に關するものを觀るに、十一月八日蔣介石は崎綠なる總司令部に何應欽・譚曙卿等の各將領を召

集して軍事會議を開きたるに、蔣は陳軍殘部の逃れて福建邊境に入るもの大約二萬あるを攻滅して將來の患を除くべきなるが、入閩追擊すべきや抑又暫時休養すべきやを衆將に諮りたるところ、革命軍第一軍長何應欽は云く、現在福建省軍隊は大部分浙江省に向ひて出發したれば、該省の內部は紊亂し實力空虛となり居らん。我軍乃ち勝に乘じて福建に入らんには、僅に逆軍殘部を剿除するのみならず、且つ能く福建時局を統一するは此の時期にありて機失ふべからずと。是に於て各將一致贊成し、遂に三路を分ちて急に福建を攻むることを議定せり。即ち(一)何應欽の第一縱隊は饒平より分水關に出づ。(二)譚曙卿は第二縱隊張和・余鷹楊等の部を率ゐ大埔より出で楓瀾を經て和平に入る。(三)程潛は第三縱隊を率ゐて梅縣より出で松口に入りて永定を攻む。後方任務に至りては黨軍第一軍政治部主任周恩來の主持するに一任して成を責め、何應欽の潮梅善後督辦の職權は周氏に代理せしめ、總指揮部は移りて溜隍に至り、以て近きより指揮するに便し、並に大埔饒平等の處に於て兵站を設立して運輸に便することゝなれり。かくて蔣氏は九日朝何應欽と共に特別車にて潮州に赴き饒平に向ひ出發し、一方廣州政府に打電して兵を大埔・饒平に集め福建攻略の豫備に著手せる旨を報ぜり。此れを蔣軍攻閩の大略とす。

二、財政方面　蔣氏は惠潮梅財政整理處を設け俞飛鵬を處長に任じ、潮梅運副の職を俞に兼任せしめて事權を一にしたり。尤も蔣軍の入閩に要する軍費は缺乏せざるも軍餉は極めて困難を感じ居れり。故に蔣は軍事會議席上にて俞に至急百萬元を調達すべきを命じたれば俞氏は潮梅十五屬に向ひ百萬元を割當て、惠屬は二十萬元とせり。此の外潮安は十三萬元、潮陽は同上、揭陽は十萬元、澄海は八萬五千元、饒平は六萬五千元、大埔は三萬元、惠來は四萬元、普寧は七萬元、豐順は三萬元、南澳は五千元、梅縣は八萬元、興寧は七萬元、五華は三萬元、蕉嶺は一萬元、平遠は二萬元、汕頭市商會は十萬五千元を借り上ぐることゝなり、該借款は大局の稍定まるを待ち、直ちに財政整理處より籌備して返還し、各縣口糧税を抵當と爲し、各軍の曾て地方に向ひ籌借せるものゝ如きは納入證を差出して之に當つることを許す云々と通知せり。

（十四年十一月二十日—新聞報香港通信）

□罷工解決機運其後の模樣

對陳炯明東江戰爭に依り一時頓挫の姿に在りたる罷工解決機運は汕頭の陷落に依り東江戰の一段落を告ぐると共に再び促進せられ廣州總商會・廣東全省商會聯合會・廣州市商會及商民協會等の廣東の有力なる四商人團體の代表約二十名は廣東政府及罷工團幹部の諒解の

下に香港側支那商人團體の招請に應じ來る二十日頃當地より香港に赴き、罷工解決につき同地の商人團體と一應の接洽を試みることゝなれり。罷工團は十月五日附機密公第一二〇號拙信報告の如き突飛なる所謂解決條件を持出し居るに加へ、英國側には「罷工を終息せしむるは支那側の役目にて、英國側には所謂罷工解決條件なるものを支那側より持出さるゝ謂れなし」と頑張る硬派もあり。右代表今回の香港行が何程の效果を齎すや疑問なるも從來廣東側商人代表の香港行に強硬に反對し居たる罷工團が、今回一行の赴香を承認するに至れることは、少くも罷工解決機運を促進するに與りて力ありと見るべきが如し。

向後香港及廣東側商人代表の往復度を重ぬるに連れ、追て罷工解決條件の內容に觸るゝ時機來るべきか、兩者の間如何にして折合を着くることゝなるべきや。今の處見當つかず。「對香港及沙面罷工は遠からず止めるにしても排英は何處までも繼續するつもりなり」とは政府筋要人の屢々口にするところなる次第もあり、前途樂觀を許さず。

數日前廣東全省商會聯合會々長林麗生(臺灣人)より當地支那側商人團體の間に支那側商人相聯合して當地各國主要商社主任を招待罷工解決に付意見の交換を試みんとする議あり。

支那側は先づ對沙面罷工を終息し、次に對香港罷工解決に還らんとする底意なるが如し。(十四年十一月十七日―廣東情報)

□廣東自衛團の變遷史

劉楚善述

廣東自衛團體は元より甚だ複雜なりしも之を大體に分割すれば左の三期と爲すことを得。乃ちその第一期は更練地保時代とす。清朝一代各地方の自衛團體は純粹に斯の制度を採用せり。此種の制度はその地よりして壯丁を招募充任し竊盜を防禦し竝に窩藏を偵緝するの責を負ひ本團體は地方上の團保局に由りて管轄し局長は之を統率し且指揮するの權を有す。初は頗る地方を防ぎ禦るの能力を有したれども日久しうして弊害生ぜり。既に更練地保に遴選無く而して應募せる分子に對しても又善く挑選せられざれば品流混雜し往々不肖のもの地方の事情を熟悉せるを以て匪賊と與に聲氣を通じ結托して不法を計る。毎に地方上に於て一竊盜案の發生するに遭遇せば匪徒は更練地保を藉りて耳目と爲し事に先ちて遠く逃るゝを以て官軍從つて追獲するによしなし。上官若し匪徒を解送せしむるときは彼等は妄りに嫌疑者を拿捕して責を塞ぎ害を無辜に貽す。末流の弊此の如きものありき。ついで警察の制度を布くに及び城市の更練地保制

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度は遂に消滅に歸す。然るに省會以外の商鎭團保は尙警察と與に幷存するものあり。例へば佛山廿四舖の更練地保の如きは引き續き民國十三年の八月間に至りて始めて南海縣署より令を下して撤銷せしむ。是に至つて更練地保の運命は始めて完全に終りを告げたり。時に舊式の更練地保既に廢く行はれ而して新興の警察は唯だ首要都市に於て實施せるのみなれば尙ほ未だ普及する能はざるの狀態にあり。地方の人士は自衞の計の爲め、乃ち紳耆父老より民團を辦理し、民團保衞諸局を設立す。民團の分子は多くは鄕中の子弟を以て充任し、頗る征兵の意を寓す。而して鄕土をふせぎ衞るの責任心は自ら必ず勇を倍するならむ。民團の組織には定限無し。每鄕或は百人或は百人を迎え多くは人口を以て比例を爲す。その經費は通常之を鄕祠の烝嘗の祭祀費より取り或は科擧時代よりの遺下にかゝる書院の基金或は自治費目より捻出して充當し、不足の分のみ之を田賦附加征收費より十錢を取れり。蓋し此の時民團の組織は純然たる地方人士の自動的辦理に係り各環境の不同に因りてその內容を分つ。卽ち近年廣東省の賭博の禁止を弛め、西江爵南各屬の民團經費は之を自治費に取るを除く外尙賭舘捐を附加し、東江東莞各屬は多くは祖先の遺產及烝嘗の祭費にその支給方を仰げり。是時民團の銃器の種類は則ちモーゼル銃を以て尤も多くとす。各民團には銃器を一挺もたせるか或は別にピストルを一挺持たしむるにあり。軍械購入の費用は悉く地方の公金より發給し、鄕中の子弟にして民團に充てられたるものは屆出でたる上その費用の支給を受くべし。此の時期に於ける民團はその成績頗る見るべきあり。夫れ民國十三年八月九江民團が雲南軍の暴力的侵迫を拒絕するや當日雲南・廣西の客軍は廣東に在りて專橫を極めしが政府また之を如何んともするなかりしに九江の民團が獨り能く桑梓の地を固守し雲南軍と與に拒ぎ戰ふこと一箇月に亘り敵はその侵略を施すを得ず、つゐに輿論大に明白となるを俟ち雲南軍をして淸議に迫られ兵を収めて去らしたる、此れその一例なり。同年九月の間東莞の民團は又駐防の廣西軍に壓迫されたるにより附近の民團を召集して、正當防衞の爲め互に血戰すること數旬、結局は和平を以て終結を告げたるも、しかも此の役ありてより後客軍をして東江に在りては敢へて任意に殺掠せざらしめたり。此の外北江の民團の如きは政府を助けて南侵の北軍を截擊したり。凡そ上の如き諸事例は廣東省自衞團史の上に於て何れも皆價値ある壯擧に屬せり。その流弊に至りては則ちまた間に鄕族の偏見に膠執して他鄕と釁を開き械鬪するものあり。然るに同じくこの時期にして別に民團と道を分ちて鑣を揚ぐるものには則ち廣州市の商團あり。廣州の商團は勝淸の宣統末季より始まる。廣東人は素より外洋に於て商業を經營するもの多く又西洋人の義勇隊の多く商業界の分子に屬せるを目擊せるを以て首めて廣州に商團を創辦し、先づ商民より公安會の籌備を維持し更に公安會よりして商團總公所を產出し、是れに由りて商團は始めて其の雛形を具へたり。廣州商團の組み分けは蓋し

警察區域に依りて團名を定む。例へば第一區に在るものは即ち第一團と名づけ、第二區は即ち第二團と名づけ、以下之れに類推せしむ。淸末より民國に至るまで、年を逐うて團數を增加し、今で民國十三年の初めに至り、已に第十團まで擴充せらる。（城市以外の商團は此の内に在らず）蓋し普通的に市區に充滿せりと云ふべし。且商界は富裕にして經費は充足し購買せる所の銃器中步兵銃は多く六八七九式に係り各商團一名に銳利なる長短銃各一本づゝを購備し、鉅大なる商店には尙ほ且つ一つの店にしてよく商團額二名を占め得べきものあれば是れによりて一軒の店の中には長短銃四本まで具有するを得べし、從つて匪徒の多くは敢へて輕しく劫掠せずして商場は安靜なるを得たり。然るに彼の未だ商團に列籍せざる店戶はその成效を羨むの故を以て遂に亦頻りに之に加入せり。かゝる因果關係ありて廣州商團は遂に一時に聲名を馳するに至れり。然るに末期に及び其の主持の人が商團を擧げて政治渦中に投入せしめたるを以て、去年竟に聯團總部を組織し及銃器購入事件に因り、政府と與に決裂せる結果、官商の戰役を釀成し、商團軍一敗地に塗れ、此の一戰により根本より消滅せり。此れを廣東省の自衞團第二期民團・商團時代となす。これより後第三期に轉入し、遂に今日の民團全盛時代と爲れり。第二期の民團と第三期の民團とはその實質殊る（コトナ）ところなしと雖も、しかもその組織と範圍とは同からざるものあり。前者即ち第二期の民團は各地方の自辦自衞にして、人々自ら政事を爲し、時には聯防を舉行すと雖も、しかも僅かに非常時期に限られ一たび此を過ぐれば精神仍ほ互に統屬せざるなり。第三期の民團は即ち官督民辦にして大規模の組織と最高の統率處あり。此の期間は民團確立の原因となれり。此れ第一には廣州商團消滅後なれば政府は別に一つの自衞團を組織して之に代はらざるべからざるより原より有りし民團の實力尙ほ厚きを以て此を基礎として進行擴充するに在り。

第二には廣州の商團は消滅せりと雖も、廣州以外各屬の商團軍は尙ほ未だ戰役に附和せず、日に依りて保存せるものあり。政府は民團を以て主體と爲し、而して剩餘の商團をして民團に改組せしめ以て劃一主義を昭かにしその未だ改組せざるものは、仍ほ民團に隸屬せしむ。是に於て政府は廣州に民團最高機關一箇所設立し名を定めて廣東全省民團統率處と爲す。民團は概括的名詞にして、他の時に應じて起りたる工團軍・農團軍と又元よりありし商團軍・鄉團軍とはその始め皆該統率處に隸屬し、統率處には督辦一人、會辦二人を置き、省長に直屬す。民團の組織・公約の編制・器械・獎勵・經費等に關したる詳細の辦法は別に定れる規定あり。

此の新たに組織されたる民團には政府より廣東軍第三軍長李福林をして廣東全省民團統率處督辦を兼任せしめ、伍荃萃・李雅を會辦たらしむ。統率處は廣州に設け、李福林・伍荃萃・李雅は九月二十七日に就任せり。是に由りて全省の民團統率處は遂に正式に成立せり。間もなく廣州地方善後委員會は、是の年の雙十節日（十月十日）に正

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

商團軍が廣州市に在りて互に衝突したるに鑒み、議會を除かんが爲め自衞團は門戸を別ち工農商等の旗幟を樹立すべからずとし一律平等に民團と改め、自衞團の名稱を統一し、遂に是の年の十一月二十日に廣州地方善後委員會第六次の大會を開催せし時、會員より民團條例の修改及建議兩案を提議せり。

（一）民團の名稱を劃一すること。

（二）一の地方には祇だ一の民團を限ること。

以上の兩提案は已に該會を通過したれば廣州地方善後委員會の名義を以て省署に向つて建議し、また省署より案に據りて附するに核准せる意見を以てし、民團統率處に訓令して再び核該せしむ。十二月間業に該處より省署に呈覆したるに略ぼ謂ふ、該處意見已に相同じければ卽時條例を修正す等の語あり。かくて民團の條例修正後率先して改組せるものを各屬の商團となす。廣州市の商團軍は覆滅してより以來各縣の商團牽連さるゝを恐れたるにより、一律に令に遵ひ民團と改む。就中南海縣全縣の民團は遂に民團の條例に遵照して全縣の聯團を成立せり。その組織は選擧區域に依照するに係る。每區より籌辦員二人を選び縣長より各區の一局所を指定し召集して聯團長を選擧す。その經費は則ち每團局より先づ開辦費十元を義務支出を爲して縣團局の開辦費に充つ。常年の經費に至りては各方局よりその地の賭館房租を徵收して之に充つべし。[illegible]南の聯團に至りては、その成立の辦法は又南海聯團と區別あり。[illegible]南聯團長の選擧は乃ち各區民團長より縣議會に於て十餘人を互選して聯團局長の候補と爲し、然る後該縣々長は候補者の中より正局長一人副局長二人を選擇して委任し、聯團の經費は從來の該甘棠書院自治費より支出して充用するを除くの外、竝に該屬の賭館捐を附加し縣城は每月附加費一元、各屬は一元或は二元、墟市は則ち等級に準じて附加徵收す。該縣には同時に一の民團養成所を設立し各區に在りて民團四人或は六人を招致し入所の上練習を行ひ授くるに軍事教育を以てし、亦一箇月にして卒業す。所内に在りて練習を受くる時は、あらゆる一切の費用銃器は均しく自分より負擔し、卒業後各該區民團局に派遣して指揮及教練員に充つ。又香山縣は縣人の殷富なるを以て規模尤も大なり。當日該縣聯團の開辦費及服裝旗幟等の購入費總額一萬四千餘元を要し、購入すべき銃器は暫時半數と定め約五萬六千元を要し、經常費の豫算は每年、十六萬元にしてその費用は全く田賦より取り、田地一畝に對し第一回に銀一角（約十錢）を增徵して開辦費に充て、常年の經費は一畝每に銀二角（約二十錢）を徵收す。以上三縣の地方民團組織は各縣の民團にして盡くは雷同せざるの代表なりとす。

蓋し純粹に地方の經濟狀況の同じからざるに因りて略ぼ差別有ればなり。之を總じていへば民團統率處の條例原則にだに背かざればたとへ方式に多少の差異はあるとも亦大なる障礙はなかるべきなり。民團の名稱統一してより後、その間に一つの特點あり。則ち工團軍農團軍が民團統率處と共に關係を離脫したることと是れなり。以

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前の成績は論無し。

最近上海及廣東慘殺案の發生に廣東及香港の二人は一致して罷工し、外交の後援と爲り、並に經濟絶交を爲し、香港の交通を斷絶する計として省より香港に返れる罷工委員會は遂に臨時に工團軍を組織し、分ちて廣東省の內地各商埠に赴き、香港に接濟すべき糧食の運搬及輸入を査禁し名を糾察隊と定め、軍隊式に依りて編制し、暫らく人數を一千名と定め、一總隊を成立し二大隊に分ち、中に又支隊百人を分ちて十班とし各班を十人とす。その上總隊長一人・總教練一人・訓育長一人を設く。以上の各職は各工團より代表を派して公選し、各一工團を單位と爲す。その結果黃金源を選出して總隊長と爲し、全體の糾察隊を統率せしむ。その後擴充して二十支隊人數約二千に至る。此れを最近工團軍の再起と爲す。然るに此れ亦臨時制たるに過ぎず。一に罷工案の解決を俟ちて當然收束すべきなり。以上の農工團軍の狀況を綜觀し來らば吾人は一の共同現象を得べし。即ち農團軍と工團軍とは皆一種の彈力性を含有し、之を伸せば團軍と爲すべし、之を縮むれば仍ほ農工階級の分子たるべし。農工團軍既に定れる形無ければ全省民團統率處の範圍に歸して政府特に農民部及工人部を設け之を統率訓練することあり。此れ即ち比較的最も近き廣東民團史上に特殊の情形なり。

上述三期の自衞團の變遷を明かにせんと欲せば、吾人は該三期團史の背景を忽略すべからず。而してその背景を大別すれば二あり。

（一）政治的關係　第一期の更練地保は有清咸豐同治年間洪（洪秀全）楊（楊秀清）の後に在り。蓋し、その時東南の中堅は盡し太平天國軍鐵蹄の下に蹂り、その後卒に創めて三湘團練の懲創を受く。清吏往轍に鑒み當時の俊傑皆地方團練を倡辦するを以て急務の政策と爲し、廣東の更練も亦是れに緣りて林立せり。清末新政に改革するに逮びて一切の施設は皆法を歐西に取り、警察を舉辦して更練地保を淘汰せり。警察未だ成立せざるの區域には團練僅かに存せりと雖も、しかも已に效力を失ひ居れり。清室の末造に至り維持の任に當る政客は歐風に濡染し、商業保護政策の緩うすべからざるを知り、地方の商業に對して奬勵に餘力を遺すことなし。商法の制定歷年商品陳列會の舉行の如きは皆我商戰の失敗を補救せんと欲するものなり。是の時商界には遂に商團軍の成立ありて十餘年の命運を保有したりしが民黨政を執り社會政策を勵行するに及び資本家の保障たりし商團軍は遂に商業保護政策に隨ひて過去の陳迹となれり。既に社會政策と平民政治とが今日に重く認らるゝ以上、民團軍は遂に勢に乘じ發揚擴大して近今の全盛時代と出現せり。

（二）思潮的影響。吾人一歩を進めて此の三期間に於ける自衞團の變遷を觀察するに、根本上實に世界思潮の傾向に緣り期を逐うて蛻化せり。夫れ最先の更練時代には更練・民團・商團の三者は衆鴉同時に幷び棲むの勢あり。しかも其の結果は自由放任の爲め內部

の競爭衝突の弊を生じぬ。此れ其の缺憾は乃ち統一の規制なきに在り。第三期の民團に及びては個人主義よりして社會主義の時期と爲り、而して同時に又民黨政柄の時代と爲す。故に全省民團統率處の成立あり。劃一なる全省民團制度の條例あり。又全團を統率するの晉辦あり。此種は皆「政治的工具主義」を運用するの表現たり。而して第三期民團の包涵せる農團軍・工團軍は亦社會主義中の工團主義及社會主義の結晶と爲す。がくて結論の得る所によれば吾人は政治的關係が上述三期の自衛團變遷の背景なりと斷ずるを得べし、而して新思潮の影響は又背景中の背景なりと斷ずべきなり。

（十四年十月十日—申報）

□廣西兵禍未だ熄まず

廣西の大局は李宗仁・黃紹雄の二氏が統一政府を打建てしより梧州善後處を裁撤したれば、軍政及民政は同一方途に出づることゝなり、若し人民と共に休息せんには誠に良好の機會なりしなり。然るに奈何せん此の時廣東の戰事方にさかんにして、黃氏は計を決して廣州政府を援助し兵を集め將を遣はし頻りに東下せしめたる爲め、廣西省内の防務空虛となり、再び危急の狀を呈せり。今左に要を擇びて之を分述せん。

（一）東北方面　四川軍が廣東省北江に在りて廣州政府と交戰するの際に當り、黃紹雄は賀縣・鍾山等の處が廣東屬の連山・連州に連接せるを以て、四川軍が敗れて廣西に竄入せんことを恐れ、預て指揮官白崇禧を派遣し前方に赴き防がしめ、其の近きに就き所部を抽きて要隘の地を拒守せしめたれば、四川軍は之を知りて進攻を見合せたり。然るに白氏は遂に轉じて攻勢を取り所部を率ゐて廣東へ入り。之を夾擊せり。四川軍は道を湖南・廣西の邊境に取りて四川に入らんと欲しつゝあれば、廣西の全縣は遂に首として其の衝に當ることゝなれり。只白氏の布防は僅に平樂の龍虎關のみなるに、四川軍の敗退は意外に速なりき。卽ち全縣の防務空虛なるに乘じ、四川軍は竟に十一月二日に該縣に入り大に劫掠を肆にし、且つ二十萬元の勒索に出で、若し從はざれば全城を燒盡さんとす。白崇禧は三日急に之を攻めて大に四川軍を破り、四日全城を收復せるが、一見已に瘡痍滿目の狀あり。

（二）西北方面　黃紹雄の部隊にして柳州・慶遠の一帶に留まれるもの、卽ち呂煥炎・何中權及第三縱隊の獨立營等の如き、頻りに梧州を經過して廣東に下りたるが、跡に殘りしものは只李宗仁部の楊慶祥・徐啓明等にて、兵力漸く單薄を形はしたり。玆に黔桂邊境に伏在せる沈軍は機に乘じて又其の地盤を開拓せんと欲し、頻りに河池・南丹・思恩の各縣を陷れぬ。然るに沈軍の指揮官鄧右文が思恩を攻むる時戰死したる爲め軍氣頗る衰へ、六日完全に思恩を退出し、李部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の後啓明は隨ひて入城を行へり。要するに今次廣西一帶の兵亂には全く防務の空虛なる爲にして、若し然らざれば沈部の敗殘軍が如何にしてか一歩だも外に踏み出すを得べけんや。

(三)東南方面　黃紹雄の援粵部隊は頻りに梧州を經て東下せるを以て梧州の防務空虛となれり。故を以て黃氏は柳州に駐れる第二縱隊伍廷颺部を召して梧州に來り駐らしめたるが、現に沈軍が敗退せるに因り柳州方面緩和し來り、茲に援滇軍總指揮となりし韋作柏は尙ほ南寧に寓し居れり。勿論援滇も無形に消沈し了りたれば、遂に轉じて南を圖ることゝなり、韋氏は愈其の部隊を鬱林に向け出發せしめ、夫れより廣東の高州に入るの準備を爲し居れり。

(四)交通方面　廣西亂離の後、陸路の交通は時々梗塞をあらはし、桂林より陽朔の灕江に至り、賀縣より梧州に至り、武鳴より南寧に至る數道は軍隊の護送なきも辛うじて通行せらるゝも、其の餘は障碍路に満てり。又水道は梧州より潯州に至る路を除くの外は、軍隊の護送なくば不可なり。南寧より百色に上るの小蒸汽は一日中に四艘まで劫掠を蒙れり。桂林より梧州に下るの帆船の六洞・古坑・應木寨等の處を過ぐるには到底支障を免れず。桂林總商會駐梧船務處は特に黃紹雄に軍を派して護送し、竝に要隘を擇びて駐防せんことを願出でたれば、黃氏は已に之を許可したり。之を要するに廣西の現狀は全く省內を安寧にすることを求め居れば尙ほ平靜の希望あるも、若し然らざるときは永く紛擾を致さんのみ。

(十四年十一月二十一日—新聞報)

□世界の產糖近況と吾が國(支那)の需供情態

世界に於ける砂糖の生產は玖馬・印度・爪哇等最も多し。米國農務部の調査に據れば、本年度に於ける世界の產糖量は合計一千九百二十九萬噸にして、其中甘蔗糖は一千三百四十六萬噸、甜菜糖は五百八十三萬噸なり。甘蔗糖は玖馬の三百八十萬噸、印度の三百二十四萬噸、爪哇の百七十五萬噸、日本の四十五萬噸、阿弗利加の五十九萬噸にして、甜菜糖は獨逸の百十二萬噸、其他歐洲大陸諸國の百萬噸、米國の七十七萬噸なり。生產額の上より之れを觀察すれば、玖馬と印度は相伯仲して互に譲らざれども、爪哇は實際印度に比し、百十萬噸の差額を示せり。但し印度は砂糖の生產頗る巨額に上ると雖、而かも消費量も亦極めて巨額に上るを以て、每年外國糖を輸入し、以て其不足を補なはざるべからざるなり。玖馬と爪哇は即ち共に每年巨額の輸出を示し、歐洲諸國の甜菜糖の供給不足せる處は亦其補充を仰ぐなり。故に玖馬と爪哇とは即ち世界に於ける砂糖の主要供給地なり。世界に於ける砂糖市場の中心は、歐洲大戰以前迄では歐洲大陸に集中されしが、歐洲大戰以後は、歐洲大陸諸國に於ける甜菜糖の產額激減せるを以て、砂糖取引の中心市場は遂に倫敦と

紐育とに移り、現今倫敦と紐育の砂糖市價は全世界の標準となり、吾が國（支那）の糖價も亦兩市に於ける市價に據りて、左右せられり。

吾が國（支那）の砂糖産額は本來極めて豐富にして、其砂糖産出地域は廣東省の潮州・惠州・廣州・慶廉州・欽州・瓊州・崖州、福建省の福州・興化・泉州・漳州、浙江省の處州・温州・台州、四川省の潼州・叙州・嘉定・成都・重慶、廣西省の梧州・南甯、雲南省の臨安等の處に及び、就中廣東の潮州・廣州及び福建の漳州は其最も著名なるものなり。唯吾が國（支那）は甘蔗の栽植法に就き研究を行はず、且つ製糖の方法も土法に屬し、水牛の動力に依り、石車を運轉して壓搾するものなれば、糖分の損失頗る大にして、甚だ不經濟的なり。且つ亦砂糖内には常に藷粉を混入し、重量の増加を圖るを以て、之れを外國糖に比較しなば、色澤共に劣れり。故に購買者は高價なりと雖、清淨なる外國糖を欲し、吾が國（支那）自製の粗糖の購入を欲せざるなり。此れによりて外國糖の輸入は年々増加し、國産の砂糖は遂に萎靡として振はざるに至れり。海關の貿易表に記載されたる所に據れば、最近毎年外國糖の輸入高は約七百餘萬擔にして、其價額は關平銀六七千萬兩に上れり。玆に最近三個年間の輸入數量及び價額を列記すれば、即ち左の如し。

年次	擔數	海關兩
民國九年	三、八七七、一八七	三九、〇七九、〇一二
民國十年	七、七一九、九〇五	七一、四五七、四一九
民國十一年	七、六六四、八〇九	六二、三五四、七〇四

外國糖の輸入は既に此の如く巨額に上れり。但し本國糖の供給高幾何なりやを見るに、吾が國（支那）には素より統計無きを以て、詳細に亘り之れを知る事能はざれども、姑く大體に就きて計算すれば、即ち廣東・福建・四川・廣西・雲南・貴州の六省を以て、其主要産出地となすものなれば、此六省の消費額及び輸出額に就き詳細なる研究を行はゞ、即ち全國の砂糖産出量は略其梗概を知り得べし。海關の調査に據れば、四川・廣東・福建・雲南・廣西・貴州 六省の人口は約一億四千餘萬人にして、一人の消費額を平均三斤として計算すれば、一箇年の需要高は四百二十餘萬擔となり、其中外國糖の消費高約七十餘萬擔を除去しなば、本國糖の純消費高は約三百七十餘萬擔となれり。更らに最近四箇年間に、該六省より各地に輸出せるものは平均一箇年約百三十餘萬擔に上るを以て、之れを加算すれば、即ち毎年本國糖の供給量は約五百萬擔内外なり。上表の輸入外國糖を之れに計上すれば、即ち吾が國每年の消費高は約一千一二百萬擔に上るを以て、本國糖毎年の供給量は、尙六百萬擔の不足なる事を知るべし。一國の砂糖消費量と其國の文化とは正比例をなすものにして、之れを換言すれば、文化の最も發達せる國は即ち砂糖の消費量も亦最も多く、文化進歩の急速なる國は、即ち其消費量も亦必ず之れに隨ひて激増するものなり。此語は絶對的標準となすに足らずと雖、而かも諸外國に於ける砂糖消費の趨勢を觀察するに、大體之れに符合せ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り。即ち一九一四年度米國の砂糖消費量は僅かに三百七十萬噸なりしが、一九二二年度に至り、五百九萬噸に激增せり。又日本は明治四十四年度の消費高は十六萬七千噸に過ぎざりしが、大正六年度には三十四萬五千八百噸に達し、大正十一年度に至りては、竟に六十七萬噸に達したり。此れは僅か米・日兩國に就きて之れを言ひたるものなれども、其他の諸國も亦其然らざるは無し。玆に英國の政家年鑑の記事を根據として、各國に於ける一人一年間の平均消費額を列記し、以て比較すれば左の如し。(單位一斤)

國別	數量	國別	數量
英國	六九・二	墺地利	一八・五七
米國	六〇・八八	露國	一四・六三
丁抹	五七・一六	葡萄牙	一一・六一
瑞西	四一・〇三	日本	九・七〇
諾威	三四・四六	土耳其	九・五九
獨逸	三一・六〇	西班牙	八・二四
和蘭	三一・六〇	希臘	七・八五
佛蘭西	二七・二九	伊太利	六・一六
白耳義	二三・三九	支那	二・三三

上表より觀察すれば、吾が國(支那)の砂糖消費量は列國中の最下位に位し、程度の高低を以て論ずれば、歐米各國に比し、其差額言語に絶するものあり。但し吾が國(支那)の人口は頗る多きを以て、一箇年間の消費量は已に十億斤内外に達せり。若し爾來自ら發奮努力しなば、生活程度は必ず向上し、而して砂糖の消費量は日に漸次增加すべく、將來若し最近の日本と相爭するに至りなば、即ち四十億斤の數に達すべし。然る時は即ち吾が國(支那)の福建・四川・浙江等の諸省を悉く甘蔗栽培の區域と爲すと雖、恐らくは國人の需要を充すに尙不足すべし。

日本は臺灣を取得せしより以後、製糖工業に對し、力を盡して其擴張充實に意を用ひしかば、著しく進歩を來し、直ちに歐米に匹敵するに至り、每年の產出高は數十萬噸に達し、一人の平均消費額は九斤以上となり、且つ其自己消費の外に、更らに巨額の輸出を示すに至れり。我が國(支那)に來るものは、精製糖のみにて一箇年約六七萬噸に達し、此砂糖の一項は吾が國(支那)は已に日本糖の絶好の消費市場と爲れり。但し日本人は猶ほ之れを以て足れりと爲さず、最近吾が國(支那)關稅の增加に鑒み、日本糖の支那輸入は相當の影響を受くるものとなし、紡績工場の方法に倣ひ、製糖工場を吾が國(支那)に設置し、以て其土地に於いて製造し、其土地に於いて販賣するを便利となせり。然れば即ち既に輸入稅を避け得べく、復た勞銀の低廉なる利を得べし。而して現在已に建設中なるものに、上海楊樹浦の明華製糖廠(東京明治製糖廠の分工場なり)及び浦東方面に在りて土地を購入し建築する大日本製糖分廠の如きあり。明華製糖廠は何時製糖を開始するや、知る能はざれども、其工事に就きて言

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

はゞ、進歩頗る速なるを以て、年末迄でには完成すべし。該工場は東京に本店を有し、後盾と爲すにより、支那に在りては未だ作業を開始せざれども、已に先づ八月渡しのもの一萬俵の投賣を發表し、市場上に於いて、預め勢力を植え付くべく謀れり。日本人の商業戰の方略は、實に微に至る迄で穿がたざるは無しと謂ふべきなり。回顧するに、吾が國(支那)の糖業は資本と人才とに限りある關係上、依然として舊法を墨守し、改良を加へざるなり。國内の製糖工場にして、工場を完備し、新式の機械を以て製造に從事するものは、僅かに山東の溥益製糖公司一箇所あるのみにして、且つ其能力は大ならず、其製品は僅かに其附近地方の需要に供給し得るのみなり。其他の國民製糖公司の如きは規模稍や大なりと雖、而かも準備に一箇年を設せるに拘はらず、尚成立せず、又今春華夏製糖公司の設立を發起せる者ありしが、踵を廻らさゞるに已に消滅せり。斯くの如きを以て、吾が國(支那)糖業の前途は實に暗澹たるものと云ふべきなり。夫れ吾が國(支那)は土地廣く、人民多く、南は瓊崖に至り、土質氣候共に甘蔗の栽培に宜しく、北は卽ち遠くは内蒙古、東三省の如き、近くは直隷・山東・河南の未開墾地方の如き、皆甜菜の栽培に極めて宜しきを以て、苟しくも此荒涼たる區域に於いて、積極的に提唱し、大いに栽培を行はゞ、卽ち數年の後を出でずして、製糖の原料は充實すべく、一面復た新式の製糖工場を設置し、次第に興しなば、吾が國(支那)の製糖業は或は自給自足を謀り得べし。

(農商公報第百二十七期)

比律賓

□比島對日貿易に關する考察

比島の北方に位置し、今日加速的歩調を以て恐るべき進展を極めつゝある極東の一大帝國日本と、我が比島との通商關係は、嘗て勇敢なる西班牙の航海者に依つて本島が發見された時代よりも、更に數百年の昔に於て、早くも相當なる端緒を發してゐるのである。當時、海上生活者であつた本島初代の植民が、通商を求むる爲めに、日本の如き遠い北方の邦へ迄も、脆い小舟を乘り出したか否かは暫く疑問であるが、他方、みかどの冒險的航海者が、交易を目的として、其頃既に我が比島沿岸へ來航したことは確からしい。而して、其後西班牙の本島征服後に於ても、日本人の來航は依然として行はれた。

然り乍ら、比島對外貿易に關する報告は、一八三四年に、初めて島内諸港を開港した時から、漸く作成されることゝなつたのであるから、夫れ以前の通商に關しては、何等據るべき記錄をも得る由がない。尙ほ、比島に於ては長い間、日本貿易は對支貿易の一部の樣

に居はれ、現に一八五八年迄は、實際さう報じられて來たのであつた。要するに、日本は當時我が對外貿易に於ては、夫れ程に微力で、重要視されてゐなかつたのである。

墨西哥貨幣の輸出

一八五八年の比島對日貿易總額は、僅か比島より價額五百弗の墨西哥貨幣と、四三五・七五弗の食料品とを輸出したのみであつた。而して翌年は馬尼拉麻繩索一一擔、價額一一五弗、葉卷煙草六千本、價額七三弗、食料品一三七・三七弗、合計三二五・三七弗で、之に對する前年は合計九三六弗であつた(上記弗は凡て墨西哥弗)。而して兩年共、日本は交貿品として何物をも比島へ齎らしてゐないのである。斯の如き貧弱なる狀態より始まり、我が對日貿易は爾來極めて神速なる發達を遂げ、十年毎に實に倍加を實現した。斯くて西班牙統治の終末頃には、該貿易總額は約百五十萬比に達した。米西戰爭、續いて米比戰爭の後に、再び島內諸港を開港するや、我が對日貿易も再始せられ、一八九九年には貿易總額は二、四一二、八三六比に達し、內輸入は三六八、七九六比、輸出は二、〇四四、〇四〇比であつた。斯くの如く、比島は當年幸にも百六十萬比以上の出超を以て再び對日貿易を開始することゝなつたのである。然るに、其後十年の後には、同貿易總額三、七八八、七五八比の內、比島よりの輸出額は僅か五四六、七五二比に過ぎなかつた。爾來日本は殆んど每年出超を續けた。近く一九二四年に於ては、貿易總額は二九、六三一、五九五比となり、此內日本品の輸入額は一七、〇八七、六八五比、比島よりの輸出額は一二、五四三、九一〇比であつた。而して過去に於ける兩國貿易の最頂點は一九二〇年で、當年の輸入總額は三二、一七八、二三一比、輸出總額一四、八八六、〇四一比、貿易總額は實に四七、〇六四、二七二比であつた。

而して、過去五箇年間に於て、比島は日本の全輸入額中、平均僅かに其の一%未滿を供給するに過ぎず、更に極東諸邦よりの同國輸入額に於ても、僅か一・八%を供給するに過ぎなかつた。他方同期中の同國輸出に就て見れば、比島は其の約一・三%を引受け、更に同國對極東諸邦の輸出に於ても二・八%を吸集せしに過ぎぬ。次に比島貿易に於ける日本の通商關係を示せば、輸入に於ては一〇%、輸出に於ては六・二%を占めてゐる。而して兩國對外貿易の發達せる現狀に照す時、彼我貿易に於ける相互の關係は、實に比較的僅少なるものと云はねばならぬ。玆に於て、抑も我が對日貿易を研究する者には、兩國間の諸情に鑑み、現在の彼我貿易關係が極めて不自然なものであり、もつと隆盛であるべき筈との念が浮ぶであらう。卽ち第一に、比島と日本とは其の位置に於て地理的に相接近しており、第二に、兩國の通商必需品が相互の補足品であるから、日本は比島貿易に於て更に大なる部分を占め、比島も亦彼との貿易に於て、より大なる部分を占むべきである。

日本は今や恐るべき人口增加の爲めに、既に農作に供すべき土地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資源は殆んど之を利用し盡し、現在では最も有力なる一工業國と變りつゝある。從つて今日同國が他に求むる所のものは、彼の國内の大なる諸工場に供給すべき原料品と、此等工場から生産する製品を吸集すべき海外市場とである。而して之等日本の要求物——市場と原料品——は、今日當然比島より提給すべきである。

相互利益

日比兩國が將來更に近接し、倍々通商上の了解を遂げるに於ては、相互の利益は一層增進せられ、兩國貿易は層一層大なるものとなるに違いない。然るに、現在日本諸工場に對する極東の供給國が、英領東印度・蘭領東印度・佛領東印度・暹羅及び濠洲であることは、實に奇怪な現象である。此等諸邦と日本との地理的關係は、比島に比して何れも更に遠距離にあるではないか。而して上記諸邦の大部、殊に東印度歐洲植民地の生産する所は、事實我が比島に於ても生産し得るものである。何れにしても、比島は最も日本市場に接近してゐるから、同市場に於て、上記諸邦以上に、一層大なる利益を附與されればならぬ。比島貿易の該局面に就ては、更に充分なる研究を重れる餘地がある。而して當然之が發展策を講ぜらるべきである。比島が米國の屬領たる現狀より脱して、愈々獨立を實現する際、其の通商上の形勢は何う變るか解らぬ。然し、現在比島貿易の三分二は、自由貿易關係に由り、母國たる米國に對してゞある。然り乍ら、愈々比島が一獨立國となつた曉には、該自由貿易關係に一大變化を招來すべきは必定である。

英國は比島に對しては古い顧客であるが、同國の輸入する比島產物と云へば、單に馬尼拉麻のみである。獨逸の國情は凡て著々恢復に向ひつゝあるから、將來更に多量のコプラ、コプラ・ミール、馬尼拉麻及び竜舌蘭を輸入する樣になるものと見てよい。然し他方佛國は、比島に對する椰子油の競爭者として姿を現はしてゐる。故に現時の對米自由貿易關係が全然改變せらるゝ場合、米國に代つて多量の原料品を吸集し得るは獨り日本市場あるのみである。

對日貿易の好望なる將來

如上の次第であるから、比島對日貿易の擴張は當然企劃されればならぬ問題である。兩國位置の接近、直航貿易航路、竝に相互が補足的市場たること等は、好望なる將來を保證する有利的條件である。從來比島に於ては對日貿易は多少閑却されてゐたが、それでも彼我貿易關係は、其間事實に於て長足の發展を告げてゐる。過去三十年間に於ける該貿易の增加率は、次表の示す如く約三十倍である。

（單位比）

一八九四年	一、四一〇、三九二	一九一九年	三七、二八九、〇八六
一八九九年	二、四二三、八三六	一九二〇年	四七、〇六四、二七二
一九〇三年	四、八八一、二五二	一九二一年	三五、〇九四、九六六
一九〇八年	三、四六一、四〇三	一九二二年	二八、九六四、九〇二
一九一三年	一四、六二五、五二八	一九二三年	三一、四九九、一〇七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一八年　四二、一四四、九二〇　一九二四年　二九、六三二、五九五

右の如き貿易額の増加は、對日貿易の發展に於て將來大なる可能性あることを明白に顯示するもので、殊に今日の對日貿易關係は、殆んど例年日本側が出超を告げてゐるから、同國への我が輸出貿易に於て、殊に大なる可能性がある譯である。西班牙統治中から引續き米國領有直後に於ては、對日貿易は常に比島側に於て大なる出超を示してゐたが、一九〇四年以來、日本は例年獅子の分前を占むることゝなり、米領以來今日に至る迄の日本側出超額は累計六八、一八五、九〇四比に達してゐる。斯の如き莫大なる比島側の入超は、日本原料品市場に於ける我が原料品の發展を閑却してゐた爲めである。

輸出貿易の不安定なる趨勢

然り乍ら、我が對日輸出貿易も近來長足の發達を示してゐる。併し日本市場に於ける比島産物の趨勢は尚ほまだ不安定である。卽ち或種の輸出品は全然輸出が杜絶し、或るものは折々輸出激増を告げ、又或ものは依然として決定的の減退を演じてゐる。

左に示すは一九一三及び一九二四年の我が對日輸出表で、過去十年間に於ける輸出品の趨勢を語るものである。（單位比）

品名	一九一三年	一九二四年
カントン(Canton)	—	三三六、五三五
椰子油	二二六	一四九、〇〇七
コプラ	五九、八七五	二四、四九四
馬尼拉麻	一、七〇七、一九二	六、八七二、一九五
ノッテッド・ヘンプ	二三、九九一	二、〇六五
木材	七四九	五八七、七二〇
龍舌蘭	五〇、五〇一	一、一五九、四七五
貝殼	三九、一五九	一〇、五二八
砂糖	二、〇一六、九〇四	二、三四二、九一〇
煙草製品	二五、四五二	七五六、四〇四
其他	三、九三五、九五九	三〇二、五七九
計	七、八四九、〇六八	一二、五四三、九一〇

而して最後の項目たる「其他」に於て、一九一三年には二四年よりも更に多くの種類を輸出したことがわかる。

輸出貿易とは異り、他方輸入貿易は、盛大なる日本諸工場よりの製品輸入に於て矛盾なき發達を示してゐる。綿製品・石炭及骸炭・鐵及鋼製品・絹及紙製品・陶土器及硝子器・セメント・化學藥品・櫛・魚製品・玩具・雨傘・野菜類等は何れも十萬比を超え、之等は除々に、中產階級以下の消費者間では米國品の代用に供されつゝある。故に、現時日本が佛領東印度のみを除く極東諸邦に於て、米國を凌駕して其の製品を多量に輸出しつゝあることは、少しも驚くには足らぬ。因に、日本と比島とを除く極東諸邦への米國の輸出總額は一九〇、七四三、六二五比であるが、同年同一諸邦への日本の輸出總額は二一七六、八三七、七二三比であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當然起るべき一大變化

日本が極東に於て異常なる經濟的利益を占むることは、世界一般の認むる所であり、且つ上記の事實に依つても確認されるのである。而して、現時日本より比島が特に除外視されてゐるのは、主として比島對米國の自由貿易關係に由るのである。然し將來、比島が一獨立國を實現する時には、該特殊關係には當然一大改變を來し、其際我が對日貿易狀態は、恰も今日の我が對米貿易の夫れと同一水準に到達するであらう。

要するに、比島商人は彼の日本市場に於ける需要品を調査し、且つ同國に對する我が輸出貿易擴張の可能性を研究して、大いに此際機先を制する必要がある。

(The Philippines Herald, Sept. 6, '25.)

□比島の石綿

比島石綿の產況は、一九一九年度は極めて優勢であつたが、一九二〇年度には、イロコス・ノルテ縣營デュンゴン・デュンゴンのエステートが作業を中止した爲め、同年の產額は前年度に比し多少の減退を告げた。イロコス石綿製品會社(The Ilocos Asbestos Products Co.)は、其の限りある資金を以て該企業を營むことは、餘りに出費多きを明白に知つたのである。同會社は馬尼拉に一工場を有し、其處で屋根用材料、パイプ套被等の如き價値ある數種の製品を產出してゐた。同會社が再び作業を開始せむことは誠に望ましい次第である。今日迄に採掘された石綿は、大部分第二、三等品であつたが、併し中には幅二・五仙米と云ふが如き頗る立派な溫石綿の標本も發見された。

イロコス・ノルテ縣に於ける石綿の存在は、既に十五年以上も前から知らるゝ所であつた。該地方は、最初一九〇七年に、スミス氏に依つて地質學的に報道された。而して爾來、該地方に關しては簡單なる陳述の外、何等印刷としての發表を見ず、其の結果、イロコス・ノルテ石綿礦業の經過に就ては殆んど知る由がなかつた。予は一九二一年三月に、彼のデュンゴン・デュンゴン鑛區の石綿調査を行ひ、該作業の經過を報告する爲めに彼地へ特派された。而して該調査の際には、石綿は全然採掘されてゐなかつた。

地形　デュンゴン・デュンゴン地方の丘は、常に植物を給養する石灰岩を以て其の頂を覆はれるものを除いては、大多數禿山である。蜿蜒たる地域の陷落地形は、殊に顯著なるものである。該地方の此の部分は、完全に切斷されており、而してバルイェン河は、其の多數の浸蝕されたる迂曲部に依つて示さるゝ如く、一の回春河(Rejuvenated Stream)である。而して沿岸の流域は平坦で且つ肥沃であり、デュンゴン・デュンゴン附近のボヘアドル岬は、火山性で又顯著

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる荒蕪の地である。

地形の關係上、該地方の道路は險峻である。現在、デュンゴン・デュンゴン地方の道路は立派に造られてなく、極めて貧弱な狀態である。此等の道路は、僅か牛車の運搬に堪ゆるに過ぎず、而も之を通し得るは、本道たる官道から百五十乃至二百粁以内の地點迄で、到底三百粁には達し得ぬのである。而も雨期中、此等の道路は不通となつて了ふ。

パンヤ灣は、むき出しの碇泊所で、安全な投錨地ではない。今日波が靜かであつても、明日は忽ち高波を起すかも知れぬ。併し南西季節風の間は、同港も安全に相違ない。港として殆んど申分の無いのは、デュンゴン・デュンゴンを去る二十六粁のディリキ港である。

地質　イロコス・ノルテ縣デュンゴン・デュンゴン地方の地質構造は、本質的には、片岩系統で、蛇紋化作用、角閃化作用と稱する變質作用の一種に屬するものである。而して該片岩の上部には、不整合に第三紀上層期の石灰岩が殘在し、バルイェン河は該系統に於て、深い峽谷を刻つてゐる。

デュンゴン・デュンゴンを貫く、北西から南東への線に沿ふた想像的縱斷面は、彼のデュンゴン・デュンゴン鑛區に存在する諸系統の一般的關係を示すものであるが、該地方に關しては、何等信賴すべき地圖が無いのである。

石綿の根源及發生　デュンゴン・デュンゴン地方の鑛區に於ける石綿は、蛇紋化作用、角閃化作用の過程を經た鑛岩から出來たものと考察される。夫は、溫石綿脈と、透角閃石及び陽起石脈との二岩脈存在が知られてゐるからである。

採掘法　デュンゴン・デュンゴン附近なるイロコス石綿製品會社の鑛區に於ける石綿は、該鑛石が礦脈又は枝狀脈をなして存在する所を、全然露掘法を以て採掘されてゐる。而して最大作業地は——將來多望ではないが——ベッド・クリーク坑で、此處では過去二箇年間に約三百噸の石綿を產出した。彼のヒル・トップ坑は之に亞ぎ、其の產額は同期中角閃岩五十噸であつた。其他諸所に散在せる蛇紋石の露頭では約五噸と云ふ所であつた。

採掘礦は先づ人手と爆發とに依つて緩められ、石綿は人手に依つて蛇紋岩から切り出され、屑は手車に依つて棄てられる。而して纖維を含む岩石は假庫に入れられ、更に人手に依つて鑛石から分離され、纖維は二十五乃至三十瓩として袋又は籠に詰められる。而して纖維を詰めた袋は、馬尼拉へ積出す爲め、牛車でディリキ迄運搬される。

角閃岩の採掘費は一噸當り約二〇比である。溫石綿(未製抽出物)を上記の方法で商業的數量に於て採掘し、クリーニングするには非常に多大の費用を要する。而して該鑛區からディリキ迄の運賃は噸當り七乃至九比、ディリキから最後の積出地たる馬尼拉迄は平均噸當り約二二比である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

採掘法が原始的で、而も結局、其の費用の過大な事が認められるであらう。同會社は數年前既に試掘時代を經過して、今日では可なりに發達した礦山を所有してゐる事と思ふ。

勞働賃銀は安いが、併し質が劣つてゐる。一日の勞銀は八〇仙止りで、尙ほ充分なる助力を得る爲めには、女工を傭はねばならぬが、同社支配人ヴァティリー氏の談に據ると、彼女等は勞働者として男工に劣らぬと云ふ。氏は尙ほ、彼の經驗に依ると、之等勞働者を信賴し難き主なる原因は、採掘時間の不足（彼等の大多數は小地主である）、忍耐力の缺乏、規則的に仕業に從事せぬ事等であると語つた。

纖維の輸送は既に述べた通り、牛車に依るのであるが、ディリキ迄約二日を要する。官道の行程には、峻坂が無數にあつて難渋である。而し附近には多量に良い砂利があるから、立派な本道を造る事は出來る。

其他の試掘位置　石綿は亦サムバレスとアンティケとにも存在すると言はれてゐる。サムバレス埋藏地はスビックの附近、陸海軍豫備地構内に存在し、試掘者の提出せる見本は、角閃岩及び溫石綿と鑑定されてゐる。而してアンティケ埋藏地の精細な試驗は未だ遂げられてゐない。（完）（Far Eastern Review, Oct. '25.）

佛領印度支那

□新任印度支那總督の施政方針

新任印度支那總督バレンヌ氏は十一月十九日着任、目下保護領王室の慰訪及公式接見等頗る多忙の時間を送りつゝあるが、各方面に於ける演說及新聞記者會見談等を綜合すれば、新總督の施政方針は大體左記の如くである。（赴任以前に於ける聲明は內外情報第一五八號掲載）

植民地財政及豫算問題　財政及豫算は予の最も重要視する問題で、新任早々の際成案を披瀝することの出來ないのは遺憾であるが、鋭意研究を怠らざる決心である。歲出に對しては餘りに急激な緊縮主義を以て臨むことは、爲めに政務の凝滯を誘起する惧あるが故に、徐々として財布の緒を締むる方針である。然しながら苟も不意の事業費に因つて豫算を加重するが如きことはこの際斷じて差控ふべきである。尙又、予備金支辨に依る事業費は、從來甚だしく巨額に達すれども、是等は當然節減すべきものと信ず。加之、公債政策に因る財源以外、一切の歲出は財政改革を斷行するにあらざれば支辨の途なしと信ぜらる。予は予の政治的閲歷に於て、總ての時期總ての事情の下に增稅に反對して今日に至れる者である。從つて總督としての予の統治下にある印度支那は、有らゆる種類の稅目を通じ負擔の過重を强ゐらるゝ危險なかるべし。予は印度支那豫算の基本要素

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である間接税收入は、決して財源としての確實性を有するものとは信じない。何となれば間接税の收入は多くの場合增税に因つて著しくその收納率を低下するからである。世上一部の識者は、財政改革案として新間接税の設定を説き、又既設間接税の增税を主張すと雖、予は將來植民地に必要とする財源を間接税に求むる意志は無い。蓋し歳入增加の合法的最良手段は之れを直接税に求むるにあり、唯增收の方法形式如何が問題として殘るのみである。

對土人政策に就て　對土人政策に對する予の抱負、予の希望は豫め茲に明示することを避けたい。從來當局者は實行困難なる餘りに多くの計畫を豫約した傾向がある。予は尠く約束して多く實行することを即ち不言實行を信條とする者である。唯然し茲に一言し置きたきことは、土人の物質的及精神的要求並に彼等の正しき希望を滿足せしむるに必要にして且つ可能なる一切の施設に關しては、吾等に忠順なる土人と彼我相協調して之れが解決の策を講ずることは勿論であるが、同時に又到底濟度の途なき傳統的反抗者等に對しては自ら別種の態度に出づることも又勿論である。予は對土人政策に關する改革案を近く政府に提出する考へである。

社會政策的施設に就て　社會政策的施設の二大眼目は教育＝保健及救護事業である。予は初等教育機關の大擴張論者で、大に土人教員の協力を期待する者であるが、特に佛人教官に對しては新式教育法に準據して土人教員の養成に努力せんことを希望する。予は又中等及高等教育機關の完成と擴張の必要を認む。事實上[illegible]優良なる植民地の青年學生等が、遠く巴里に遊學するにあらざれば、その學業を完成すること能はざるが如きは不便此の上もなきことで、是等青年學生の教育を完成すべき一切の機關を印度支那に設備して彼等を永く植民地に定着せしむることは爲政者當然の責務で、學生の利益であると同時に國家の利益である。

保健及救護事業に關しては既に一大改善を實施せられ成績見るべきものがある。吾等は唯之れを支持善導すれば可なりである。老病癈疾者救護、防疫、衞生設備の完成は植民地に對する本國政府の先決的責務で同時に又吾等當局者の犧牲的一大義務である。

勞働法の適用に就て　歐洲の中央舞臺に適用せらるゝ勞働法を、その儘國情を異にする植民地に適用することの不可能なることは當然である。然しながら予は安南勞働團體の要求する勞働傷害保險法案の調査開始を認容する。傷害保險法の運用如何は今茲に言明するの限りにあらざるも、極力圓滑なる進展を圖る考へである。

代議制に就て　植民地居住民をして一般豫算及地方豫算の審議に關與せしむることは當然過ぎる程當然の事で、多數代表の性質上本國人と土人の區別は無かるべきである。此の意味に於て總督府高等會議の編成改革の必要が認めらるゝことゝ思ふ。然しながら高等會議の改革を行ふに當つては、印度支那各州の間に存在する根深き國情の相違を愼重に考慮する必要がある。言ふまでもなく印度支那各

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州は夫々文化の程度を異にし、種族、言語、習慣又同一ならず、加ふるに別種の統治形式を備へてゐる。斯くの如く人種的に且つ社會的に種類を異にする廣大なる印度支那各州を一丸として、同一形式の下に總轄するの必要ありや否や、研究を要する問題なれども予は明かに之れを否認し、寧ろ各州地方會議の發達を推奬する者である。

以上述ぶるが如き見解の下に予は現在の高等會議を代議制に依る議會たらしめんとする案に不贊成である。蓋し中央統一主義の適用のみが印度支那存立の唯一の形式にあらずと信ず。

□印度支那の棉花

印度支那に於ける經濟研究機關たる化學部々長、ジー・カルドー(J. Carlot)氏は、棉花栽培に關し、興味ある記事を植民地農業(L' Agronomie Coloniale)紙上に發表してゐる。(一九二四年十一卷一六一頁、一九二五年十二卷一五頁及四四頁)

印度支那棉花は主として Gossypium Hirsutum, L' 及 G, indicum, Lam. なるもG. Arboreum, L' 或は G. vitifolium をも時に之を見受けられる。東京に於ける棉花栽培地は主としてナンベン州(Nin-binh)(360エクタール)タイベン州(Thai-binh)(430エクタール)、ナムヂン州(Nam-dinh)にして、何れもG. indicum を栽培す。又棉花栽培に好適の地、安南に於ては、北部にタンホア州(Thanh-hoa)南部は、

對外政策に就て 對外政策は主として本國政府の方針に基くこと勿論であるが、太平洋及極東方面に於ける本國政府の最高代表者たる資格に於て、予は印度支那對隣邦諸國の外交關係一切の案件に就き我が外交官及領事官より諸般の報告に接することを期待す。張目飛耳備に外交の推移を觀察する覺悟である。赤化運動の對策に關しては、抑壓政策必ずしも不逞運動防止の最良手段にあらずと言ふの外言明の限りにあらず。

ベントュアン(Binh-thuan)、カンホア(Khanh-hoa)、バンダン(Binh-dinh)の各州に於て之が栽培を見る。安南に於ける棉花植付面積は、六、〇〇〇乃至七、〇〇〇エクタールに達し、內タンホア州は實にその四分の三を占めてゐる(G. indicum 種の栽培地をも含む)。南部安南地方に栽培さるゝものは、G. hirsutum 種である。交趾支那はバリア(Baria)州下に少し栽培され、種類は前記四種類全部を含んでゐるが、その內 G. vitifolium 種が特に優勢である。東埔寨並に南部老撾に於ては、G. hirsutum 種成育し、北部老撾に於ては、G. indicum 種が栽培されてゐる。

之等栽培事業は殆んど土人に依りて獨占され、二三佛人栽培家により安南及東京に於て之が試驗的栽培行はれたるも、さしたる成功

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を收め得なかつた。

安南並に東京の土人は棉花を彼等の住宅近くに栽培し居るを以てその土壤は、村落の塵物、家畜の糞尿、人糞等によりて、常に肥沃である。棉花は稻の收穫後栽培さる。故に第一に彼等は刈株の鋤返しを爲すのであるが、これは十一月の終り若しくは十二月の初めに行ふ。次に耙にて地を均し、之を平かにする。播種期は正月であるが、播種前、一晩よく之に水を浸みこませ、又時としては、その後水牛の乾糞を之に混ずることがある。

播種後、八日乃至十五日にして發芽す。四月の中旬第二回の施肥を行ふのであるが、肥料は各木の周りによく注意して施さなければならぬ。施される各種肥料の總量は一エクタール當り、五、〇〇〇—六、〇〇〇キログラムである。又同月若木が三〇乃至四〇糎となりたる頃、頂きを剪み切る。これは若木の上へ昇長せるを阻止し。側生枝を助長せしめんが爲めである。然し乍ら土人の中にはこの剪切を行はないのもある。四月の終りに至り開花し、それより約一箇月にして、第一期圓莢(Boll)の成熟を見る。これより七月の中旬まで毎日女子によつて之れの摘取りが行はれるのである。

如斯して、全ボールを蒐集するのであるが、土人は只之を取纏めて棉とするに過ぎぬ。故に印度支那棉は幾多の破莢片を含んでゐる。又如斯方法なるを以て、女は容易に一日十瓩許りの棉花を處理することが出來る。纖維は夜間圓莢より摘出し、之を翌日太陽に曝露せしめ、全く乾燥し切るのを待つて之を貯藏するのである。棉繰り(Ginning)も亦女子に依りて爲されるのであるが其の器具は頗る原始的のもので二箇の木圓筒(Cylinder)が水平に置かれ、それが各反對の方に廻轉する仕掛のものに過ぎない。纖維はこの二圓筒間に在つて牽引され、後一方の側に纏められると同時に種は分離し、他の側に落ちる。如斯方法にて、女一人にて七日間(一日十一時働く)に六十キログラムの實棉(Seed Cotton)を處理し、これより絨毛(Lint)約十八キログラムを造るのである。この方法は印度支那を通じて實際に行はれてゐる繰棉法である。

交趾支那のバリア州では、安南人が棉花を玉蜀黍と共に栽培してゐる。此の地の栽培は赤粘土質然かも燐酸時には窒素を多量に含有してゐる地所に限られてゐる。土地は極く簡單な方法によりて耕され、肥料は何等施されない。雨季に入らんとする頃、玉蜀黍及棉花種は共に播種される(五月末若しくは六月初め)。玉蜀黍は三月で成育し、九月に收穫されるのであるが、莖は根拔きされないで只地表より二十吋許りの箇所から切り取られるに過ぎない。此間棉花は絶えず成長し、雨季の終らんとする頃、開花し始めるのである。(十月末)。而して十二月に圓莢の採取が始まる。

柬埔寨に於ては、定期的に氾濫するメーコン河岸、並にその支流々域に栽培され、その栽培地面積は、一二、〇〇〇乃至二〇、〇〇〇エクタールにして、實棉の產出量は三、〇〇〇噸から八、〇〇〇噸の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間に在る。此の地に於ては十月末より十二月初めにかけて栽培が行はれる。二十四時間の間充分に水を吸收せしめたる種を廣さ約八十糎許りの穴中に播く。各穴間の間隔は約一米突にして、各穴は深さ約十糎、且各十箇許り種を收容するのである。斯して播種されたる種は、速かに發芽す。發芽後、二週間許りにして苗の間引きを行ひ、各穴當り三乃至四苗を殘す。且成育期間中に於ては二三度除草する必要がある。三月初めに至りて最初の圓莢成熟す。これは女或は子供によりて摘取られるのであるが、この摘取りは五月末迄續く。全部の圓莢を集め、乾燥したる後此地方に於ては一般に之を Ksach-Kandal の繰棉工場へ送るのが普通である。柬埔寨の棉花に就ては、既により以上の消息がフラクール氏（Flacourt）によりて報告されてゐる。その報告は氾濫を蒙らない地方、竝に堵土質の土地等に於ける、棉花栽培事業等をも含まれてゐる（本誌一九一九年、一七卷五八五頁）。以下は之より摘錄したものである。

數字及棉花の植付、圓莢の成熟時期等に就て、前述せる所と相違する所あるは、各自年代を異にするが故である。卽此點に於ては年代の新しいジーカルド氏の說を採るべきである。

Bulletin No. 5· Série Saigon, Gouvernment Général de l' Indochine に於て柬埔寨に於ける棉花栽培の可能性と題し柬埔寨農商課長 M. de Flacourt は題目の事項に就き興味ある記事を書いてゐる。

柬埔寨に於ては棉花は廣く分布されてゐるが其種類は次に述べる四種である。（一）Krabas 一名 Krabas Bay は Gossypium Hirsutum, Linn の一種にして、柬埔寨棉として知られてゐる。此はメコン河流域及バサック及其主なる支流に亘つて、大規模に栽培せられてゐるものにして、數年前英領印度に送られ大成功を齎らしたものは本種である。（二）Krabas Fés (G. acuminatum Rox b.)、（三）Krabas Saure 一名 Krabas Sangke、之は G. arboreum と G. indicum との中間種なりとされてゐたが、最近 G. arboreum の一種なりと認められてゐる。（四）Krabas Sampau、此の植物の起原に就ては、現在正確に決定されてゐない。

第一に擧げた棉花は其作付面積及量より見て柬埔寨に於ては重要なる位置を占めてゐる。每年植付けられる面積は河面の高下によつて一三、〇〇〇―二〇、〇〇〇エクタール（三五、〇〇〇―五〇、〇〇〇英反）の間に在る。河岸傾斜地に於ける棉花は、桑・煙草・豆・玉蜀黍・甕麻・落花生及胡麻等の植付けられる關係上、栽培は大範圍に亘る事は出來ないのであるが、掘拔を造つて以て洪水を防ぐ事が出來るならば、此は地方に於ける棉花栽培に使用せらるゝ土地は、漸次之を增加することが出來る。

柬埔寨に於ける實棉の生產は一九一二―一七年の間に於ては次の如くである。（單位 Short 噸）

一九一二年 七、〇〇〇、一九一三年 六、〇〇〇、一九一四年 、八

〇〇〇、一九一五年 三、〇〇〇、一九一六年 五、〇〇〇、一九一七年五、〇〇〇。棉花の大部分はクサカンダル繰棉工場で繰棉され西貢より直接に、或は香港を經て日本に送られる。

汎濫地々方に於ては、土人は栽培開始時期を決定する事が出來ない。河の汎濫期如何に依つて之を決定するのである。播種は汎濫の收まつた後再び汎濫の來襲せざる事を確かめ、之を行ふのであるが、普通は十月の終り頃之を行ふ。蓋し其は雨期の終了と一致するのである。斯の如き狀態なるを以て、大利益を齎すが如き收穫はなく、且若し雨期の到來遲きときは、冬寄直ちに襲來し、植物は充分に根を張らない成育期に於て其の發育を阻止せられるのである。而して又一方降雨が三日、四日或は五日に亘り、雨量頗る多き時は、品質及收穫に有害なる結果を及ぼすのである。斯の如き狀態の下にて生產せられた棉花は、其纖維短く且不規則にして、然も多數の少さな未生熟種子を含んでゐる。

棉花事業に對して、此等の障碍を研究したる後、柬埔寨科學課に於ては、良質棉花を生產する目的の下に、棉花栽培に適する其他の地所を調査したのである。又汎濫を蒙らない程度の高地に於ける之れが栽培試驗をも併せ行つた結果、柬埔寨に於て栽培に適する地は入、〇〇〇、〇〇〇乃至一〇、〇〇〇、〇〇〇エクタールあることが分つた。斯くて一九一三年に開始せられたる試驗に於ては良結果を齎らし。河岸地方に於けるものより優良なる品質を得ることが出來た。

斯の如き汎濫を蒙らざる地方に於ける棉花は七月の終り或は八月の終りに於て、植付を開始する故雨期に入るに及んで充分根を張る事が出來るのである。開花時期は十一月、圓莢の成熟期は、十二月なるを以て、二月の終から三月の終にかけて充分に收穫する事が出來る。卽ち、一月及二月は此地方に於ては乾燥期なるを以て、圓莢は最も良好なる狀態に於て、收穫し得るのである。如斯して得られたる棉花は、佛蘭西の中番手紡績に適してゐるものと專門家は鑑定してゐるが、一方河岸に生產されたものは、現在の機械が改良されない限りは不可能のものとされてゐる。

上述の如く、此の事業卽ち高地植付の試は一九一三年に開始せられ、滿足なる結果を收め得たのであるが、次に土人に棉花の高地栽培を普及せしめんが爲めに、二つの試驗園が Stung-Trang 州 Chambak-Meas 村及 Kom-Pong-Srai 州 Thbong-Krapeu 村に設置された。此等試驗園は二つながら汎濫を蒙らない程度の高地に設けられ、栽培には土人の助力を受けたるも、灌漑及施肥は之を行はなかつた。

此等兩地方の土壤の性質及組本は大いに異なり、Chambak-Meas 地方の土は赤色にして Thbong-Krapeu のそれは灰色である。一九一三年以降四年間に於ける栽培試驗の結果、之等兩地のいずれにも棉花栽培に適應する事が證明されたのである。又双方共に、收穫量は河岸のものと同じく、汎濫地帶と大した差異はないのである。

一九一六年の雨期に於て、Kompong-Siem 州の稀土地一六乙エク

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

タール(四十一英反)の地に、土人は其發意によつて棉花を植付けた。植付場所は五十箇所許りにして各所に散在してゐる。然して尙彼等は灌漑及施肥のいずれも行はなかつたが、一エクタール當り平均六三八キログラムの實棉を得、此の結果土人に棉花栽培を漸次普及せしめる事を得たのである。柬埔寨に於て高度六〇—一二五米の赤土質の地にして此に適するものは少くとも二、〇〇〇、〇〇〇エクタールあるのであるが、科學課に於ては交通の便のある六〇〇、〇〇〇エクタールの地に着目してゐるのである。

終に當つて M. de Flacourt は柬埔寨に於ける棉花栽培の大いに囑目すべき點を擧げ、且之に附隨して繰棉工場の設立せらるべき事を說き此稿を結んでゐる。

次に低地老撾に於ては、棉花は柬埔寨と同樣にメーコン河岸に成育するも、事業は柬埔寨に於けるもの程には進步してゐない。卽ち土人は單に雜草及籔等を燒拂ふのみで土地の耕作、施肥等は何等之を行ふことなくして播種するのである。栽培は四月或は五月に始まり、收穫は一般に十一月を過ぎるのが普通である。而して翌年は他處に於て同樣方法の下に栽培されるのである。輸送機關の缺如せる爲め、從來その產額は地方消費にのみ當てられてゐたが一九二四年に於ては約四十噸を西貢に輸出してゐる。

印度支那棉花はよく蟲害、若しくは菌性病に罹され易い、時にはこれが收穫上、非常なる危險を釀すことあるも、土人のこの點に注意する度合は比較的少いのである。現在、柬埔寨に於て見受けられる、小鱗翅類蟲は、從來 Pink boll-worm (アオ蟲の一種) だと考へられてゐたが、標本を巴里の昆蟲研究所に送付したる結果、Pyroderces Smplex 種なることが分明し、この幼蟲は Pink boll-worm に比較し、有害の程度頗る少きのみならず、既に罹病せる圓蒴のみを犯すものであることが分つた。又他の昆蟲としては Anthonomus 屬、Dysdercus Angulatus 屬のものを柬埔寨地方に於て見受けられるが、これは双方共に棉花の圓蒴を犯すものである。又螟蟲蛾科 (Pyralid moth) の (Sylepta derogata) の幼蟲は、棉木の葉を喰ふ。次に菌性病としては、Ramularia, Glomerella, Mycosphoerella 菌の作用による數種のものがある。

極く最近迄、印度支那の棉花業は、全く土人の手によつて爲され、土人は棉花を生產するのみならず、之を繰り、紡ぎ且織つてゐたのであるが、一八九〇年に至り一佛人がメーコン河畔のクサカンダルに繰棉工場を設立し、次で搾油工場 (Oil Mill) の設置を見るに至つた。又以前は柬埔寨にて生產される實棉の大部分は、之を日本に輸出されてゐた。新企業は棉花價格の昂騰を促すものであるとして土人にその生產を奬勵したるも、永らく取引は支那商館の手に在りて、今も尙依然として彼等によりて、多量の柬埔寨棉花は、日本若しくは香港へ向け輸出されてゐる。

一九〇三年以來、當局は繰棉作業の進步を圖り、Macarthy式手繰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

棉の普及に努め、又その後佛植民地棉花協會(French Colonial Cotton Association)は、本植民地へ二十臺の San-gin(鋸齒を有する繰棉機)を送付し來れるも、土人は依然として既述せる彼等固有の器具にのみ拘泥し、折角の努力に對して何等實際上の效果を以て酬ひ樣とはしなかつた。

東京には紡績工場二箇所ありて、一は海防に、他は南定(ナムヂン)に所在するも、雇傭する土人男女工數は、双方合せて三、〇〇〇人を出でない。兩工場はタンホア州(北部安南)産のもの全部と、ナムヂン州及タイバン州産のもの、それに印度、亞米利加より來る多量の輸入綿とを以て之が原料に當てゝゐる。

印度支那が年々輸入する高は、繰棉約四、五〇〇噸、綿絲二、七〇〇噸、それに綿布六、〇〇〇噸に達してゐる。一九一九年―一九二三年、五箇年間に於ける印度支那の棉花平均輸出高は繰棉二、〇一七噸、實棉一、三五五噸であるが、生棉(Unginned cotton)の輸出額が漸次減少されつゝあることは、誠に喜ばしい現象である。何故ならば繰棉の方がより以上の利益を收めるのみならず、種は之を油製造に利用され、搾油工場へと送られるからである。

歐人の印度支那に於て棉花栽培事業を爲さんとするものは、比較的少いが、この國の産出棉花は亞米利加物と同等價値を以て紡績さるゝ可能性ある事が證明されてゐるから、十分に見込あるものと見て差支えない。

印度支那棉花の栽培企業を促進せんとする意見の下に、之が管理策として次の如きものが提案されてゐる。消費組合若しくは農事組合の組織、免稅若しくは減稅、棉花價格の提供、精選種の自由分配、宣傳方法、主要生産地の中央に繰棉工場及適當なる市場の設立等、又調査所を主要生産地に設立し、以て棉花各種菌の取締方法を研究し、併せて栽培せんとする各種棉種を組織的に選定且改良し、棉花栽培の十分なる發達を圖らんとするのである。

(Bulletin of the Imperial Institute, Vol. 23, No. 3, '25.)

馬來半島

□英領馬來本年十月護謨輸出高

十月中護謨輸出高次の如し。(單位噸)

仕出國	本年十月	昨年十月	本年一月―十月	昨年一月―十月
英合衆王國	四、〇八三・〇五	二、三九八・五六	三三、八七八・二四	二七、六二六・九〇
米合衆國	二〇、一八三・五四	一三、九一一・二六	一八四、一三三・九七	一五二、六三三・七三
歐羅巴	二、三五一・六五	八七三・三三	二四、一〇五・一八	一四、七八七・六九
英馬領地	三四二・〇二	二七七	三、六六九・四三	四、三五八・四七
日本	一、三六四・三九	二、六四五・三九	九、三四二・四四	一三、一三八・二五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他	六・一〇	二〇四・二	一六六・五〇	一六七・〇一
合計	二八、七一〇・九四	二〇、二六九・七五	二三五、五二四・七六	二二五、〇二三・〇四

前表數字は同月末日迄に馬來各港より輸出せられたる數量なれども必ずしも同月中積出されたる實際數量に非ず。

馬來以外の諸國より輸入せられたるパラ護謨の數量は一四、九八六・三九噸を計上し前年同期は九、九八一・三四噸を示す。又本年一月より十月末に至る前記パラ護謨輸入量は累計一二九、一五三・七八噸にして前年同期間の其れは八六、〇〇五・〇一八噸に過ぎず。

而して本年累計輸入總價額は前年同期二〇六、八八七、〇〇〇弗に對する五三五、三一二、〇〇〇弗に達し增加數量は四二、三〇二・七二噸なり。

因に輸入護謨の類別數量を示せば左の如し。

スモークド・シート	二、三五四・七八噸
クレープ	六六八・一六〃
アンスモークド・シート（ウエット）	九、八〇七・一〇〃
スクラップ（ウエット）	一、〇〇五・七九〃
ランプ　（ウエット）	一、〇七七・五六〃
計	一四、九八六・三九〃

（新嘉坡フリー・プレス十一月四日）

□本邦人護謨園益々賣らる

馬來半島所在の本邦人護謨園にして既に賣却されたものは、日東の六千五百英反、臺灣拓植の一千三百英反、柔佛護謨の三百三十英反（別にジャングル二千英反）、聯合馬來の一部一千四百五十英反、第一合同の一部一千二百英反、及鈴木ゴム二千三百英反であるが、最近古河の二千八百英反も亦賣られた由である。尙目下交渉中のもの二、三ある。相場は本年三、四月頃には一英反四百封度位出るもので四百弗位の所であつたが最近には三百封度位しか出ない山でも六百弗位を唱へて居る。先年護謨好景氣時代には（イヲンボ附近のよい山は一英反千弗位もした事があつた。今三百封度見當の山が六百弗して居るとすれば四百五十封度出る山は八百弗もしてよい譯である。其所で好景氣時代の千弗と今の八百弗として比較して見るに、馬來半島は兎に角として、世界の全般の經濟狀態から云へば今日の八百弗の山は隨分よい相場であるからそろ〳〵警戒せずばなるまい。則ち賣り手にとりては今が最好時機ではあるまいか、從て買手の方は大に警戒す可き時機であると思ふ、先年好景氣時代には日本人も隨分高價な山をつかまされて大に後で閉口した事がある。今日は高價に賣つた方の立場にあるから先づ其の點はよい樣なものであるが、日本人の事業が順次に無くなつて行く事は甚だ心細い次第で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。個人護謨園の側は割合に腰を落着けて、附近の土人園を買收してる向もあるが、此の方は高く買過ぎない樣に注意する必要がある。(新嘉坡商品陳列館報第百六十二號)

□馬來半島護謨生產制限による護謨輸出入額と三箇年間の成績

本年十月三十一日を以て生產制限の第三年目が終つた譯である。其所で過去三箇年間の輸出入額等を比較對照して見ると次の樣になる。

(一)

一九二四—二五年(第三年目)	總輸出額	五九三、三六八、〇〇〇弗
一九二三—二四年(第二年目)	同	二五三、二六九、〇〇〇〃
差引增加		三四〇、七九九、〇〇〇〃

總輸出高より輸入高を差引きたる純輸出高は

一九二四—二五年	四〇七、八七二、〇〇〇弗
一九二三—二四年	一八五、六五二、〇〇〇〃
增加	二二二、二二〇、〇〇〇〃

(二) 過去四年間の純輸出高を見るに

一九二一—二二年	二二三、九五四噸	一三七、五三五、三三一弗
一九二二—二三年	一八五、四三五〃	三二一、五四五、六一六〃
一九二三—二四年	一六七、八九六〃	一八五、六五二、〇〇〇〃
一九二四—二五年	一八九、〇〇〇〃	四〇七、八七二、〇〇〇〃

一九二三—二四年が最も決定的な年であつた。前年卽ち生產制限第一年目には無制限の年に比して僅かに二萬八千噸だけ少なく輸出したが、一九二三—二四年には四萬七千噸を減じて、世界のストックを減少せしめ、相場高騰の原因を作つたのである。

(三) 生產制限三箇年間の輸出金額合計は(純) 八一五、〇六九、六一六弗

無制限(一九二一—二二年)三箇年の計算は(純)四一二、五七五、九六三〃

差引利益 四〇二、四九三、六五三〃

右の如く大利益を生じたのである。若し生產制限無かりせば自殺的競爭、生產過剩、農園荒廢、從て來る可き時期に於ける需要に對し產出力の不足等により大損害を蒙つたであらう。

(四) 三箇年間の制限率次の如し。

	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年
十一月より一月	六〇%	六〇%	五〇%
二月より四月	六〇%	六〇%	五五%
五月より七月	六五%	六〇%	六五%

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八　月より十月　六〇%　三五%　七五%

（五）各年の平均相場次の如し。

一九二一—二二年	二十九仙四分三
第　一　年	五十二仙二分一
第　二　年	四十五仙
第　三　年	九十七仙

（六）最初蘭領の土人ゴム園の生産增加のために生產制限を無效にすると考へる者が多かつたのであるが（一九二二年ですら新嘉坡に來た是等の護謨は三萬噸を下らず）世人の思ふ如くには相場は崩されなかつた。馬來以外よりの輸入量は次の樣である。

一九二二—二三年	六二、八四六噸
一九二三—二四年	一〇一、〇〇九〃
一九二四—二五年	一五〇、五六八〃

因に最近三年間錫蘭島より輸出したる護謨量を示せば次の樣である。

錫蘭護謨輸出高

一九二二—二三年	三七、八四六噸
一九二三—二四年	三七、一九四〃
一九二四—二五年	四四、〇九二〃

輸入せしものを再輸出せる高

一九二二—二三年	二、二九九噸
一九二三—二四年	二、七九九〃
一九二四—二五年	三、八四五〃

ラテツキス輸出高

一九二二—二三年	一三、二〇七ガロン
一九二三—二四年	一三二〃
一九二四—二五年	三一、九五九〃

（新嘉坡商品陳列館報第百六十二、三號）

□世界に於ける護謨の生產額と消費量

附ステブンソン制限法の影響

世界に於ける護謨の生產額及消費量に就ては、各國の統計に表はれたる數字に若干の相違あるは護謨・米・砂糖等の如く廣汎なる範圍に亘る大量生產品に對する統計上實に已むを得ざる所で、今佛紙ル、タン經濟部の調査に係る統計及ステブンソン制限法の效果に就て次ぎに紹介することゝする。（單位英噸即一、〇六六瓩）

產　地	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年（豫想）
馬來半島	二二三、六九四	一六五、〇〇〇	一六五、〇〇〇	一九〇、〇〇〇
錫　蘭	四七、六三七	三四、〇〇〇	三七、〇〇〇	四四、〇〇〇

英領印度	四、八五四	六、五〇〇	七、二〇〇	八、二〇〇
ボルネオ	三、七五〇	四、五〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇
蘭領印度	九九、八五六	一三一、〇〇〇	一六二、〇〇〇	一九三、〇〇〇
印度支那	四、一〇四	五、〇〇〇	六、四〇〇	七、〇〇〇
其他諸國	六、六三四	九、〇〇〇	八、四〇〇	九、八〇〇
計	三七九、五二七	三五五、〇〇〇	三九〇、五〇〇	四五七、〇〇〇

以上栽培護謨の生産額を示す。

ブラジル其他野生護謨産額	二五、二三五	二七、〇〇〇	二九、五〇〇	三一、〇〇〇
通計	四〇四、七六四	三八二、〇〇〇	四二〇、〇〇〇	四八八、〇〇〇

右の數字を十年以前（一九一二年）の生産額即ち栽培護謨二八・五〇〇英噸、野生護謨七〇・四〇〇英噸に比較すれば斯業の發展眞に隔世の感がある。就中馬來及蘭領印度の發展特に目覺ましく、前表に示すが如く一九二二年に於ける馬來半島の産額は世界全産額の半ば以上に達してゐる。同年以降ステブンソン制限法の實施に依り稍々産額を減少したるも、尙且つ重要な位置を占めてゐる。反之、蘭領印度は全く該制限法の圏外に立ち、一九二二年以降年と共に産額を倍加し。巧に市場を利用しつゝ、今日に至つた。

元來ステブンソン制限法なるものは、護謨市場に於ける市價の安定を目的とする一種の生産制限法であつて、一九一九年＝一九二〇年世界の護謨市場を風靡した大恐慌に當面して案出された英國政府側の救濟策と見るべきである。さうしてこの制限法は一九二二年十一月一日以降馬來半島及錫蘭に適用すること、なつたが、同要件として前記兩地に本社を有する護謨栽培會社に對し、一九二〇年の生産額を標準とし、市價一リーブルにつき一志に達した時標準額の六割に對し二分の一片の最低税率を課して輸出することを許可し、會社が若し六割以上を輸出せんとする場合は税率を遞增して最高一志を課税することに決定した。但し前記六割の制限は市場の景氣に順應して伸縮せらるべきは勿論で、護謨原料の相場が引續き三箇月以上平均一志三片に達した場合は五步を增して六割五步、又一志六片に騰貴した場合は更に五步を增して七割を輸出し得るのである。

昨年度の實績に就て見るに十一月は相場下落の結果制限量を五割に緊縮したが、本年に至り相場漸次昂騰し、二月一日には五割五步、五月一日には六割五步、八月一日には七割五步に增加するに至つた。尙引續き相場が一志六片臺を維持してそれ以下に下落せざる限りは、十一月一日の更新期に於て更に制限率を增加する筈である。市場側の觀測では明年の初めには多分生産全額卽ち十割の輸出が可能となつて、ステブンソンの制限法は事實の上に撤廢を見るに至るであらうといふことに一致してゐる。然しながら生産者側ではこの觀察を一笑に附し、現在の勞力と資本組織とでは八割五步が手一杯であると主張してゐる。

以上はステブンソン制限法及その實施經過の大要であるが、一方この制限法の圏外にある蘭領印度の狀況を見るに、英國側の制限法

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の適用に依つて釣り上げられた市價を利用して旺に生産活動を試み大に漁父の利を占め來つたが、現在の生産程度が略々最高限度を劃するもので、これ以上の發展は恐らく困難であらうと一般から觀察されてゐる。兎も角もステブンソン制限法は之れに加入すると否とを問はず一樣に護謨生産者に對して有利なる立場を與へたことは事實であるが、その反面に消費者側に對して尠なからざる不利益を及ぼしたことも亦當然の歸決である。從つて世界に於ける護謨の二大消費國たる米、佛兩國の如きは俄かに之れが對策に腐心し、米は比律賓に於て、佛は印度支那及阿弗利加植民地に於て夫々生産増加の計劃を進めてゐる。これは明かにステブンソン制限法に對する別種の反響と見るべきである。

次ぎに既往四箇年間及一九一四年に於ける世界重要國の護謨消費量を表示せん。(單位英噸一、〇一六瓩)

國名	一九一四年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年(豫想)
米國	六一,二四〇	二八二,〇〇〇	三〇五,五〇〇	三三五,〇〇〇	三六〇,〇〇〇
佛國	五,六〇〇	二七,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	三八,〇〇〇
英國	一八,〇〇〇	二五,〇〇〇	二七,〇〇〇	二七,〇〇〇	二九,〇〇〇
獨墺國	一三,五〇〇	二八,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二二,五〇〇	二五,〇〇〇
日本	二,五〇〇	一六,〇〇〇	一三,〇〇〇	一七,〇〇〇	一八,五〇〇
加奈陀	—	九,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,五〇〇	一五,〇〇〇
伊太利	—	六,〇〇〇	七,五〇〇	八,七〇〇	九,〇〇〇
白耳義・和蘭	—	二,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
濠太利	—	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇
瑞典那威	—	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,八〇〇	三,〇〇〇
露國	—	三,〇〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
西班牙	—	三,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
其他	—	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	八,〇〇〇
計	—	四〇八,〇〇〇	四三四,〇〇〇	四七五,〇〇〇	五一〇,〇〇〇

上表の示すが如く米國は世界最大の護謨消費國で昨年度は世界全消費額の七割、本年は更に増加して七割五歩に達せんとする状況である。之れを金額に換算すると昨年は一億八千五百萬弗、本年は約四億萬弗を突破することを豫想されてゐる。

最後に護謨ストックの状況を見るに、英國にては一九二三年一月現在の約八萬噸のストックは漸次減少して本年一月には三萬噸、六月及七月には僅かに五千噸に過ぎなかつた。米國では一九二三年十二月七萬三千噸、一九二四年十二月五萬五千噸である。又新嘉坡では一九二三年末二萬四千噸、一九二四年末一萬五千噸で孰れも著しき減少を示してゐる。本年の上三箇月間の世界に於ける護謨の需給關係を見ると消費量は生産額を超過すること實に三萬噸である。是等の需給關係が如何に調節せらるべきや、蓋し一九二六年の護謨事業界は頗る多事であらうと想像される。

(le 26, 11, 1925 Le Temps)

□護謨の生產及其豫想

護謨は現在我が合衆國々家經濟上に於て、他の商品が從來享有するを得ざりし重要なる位置を占むるものである。亞米利加護謨製品製造會社は世界に於ける唯一無二の大護謨製品生產者なりと雖も其領土內に於ては一片の護謨さへ生產されないのである。我が國は最近倫敦及アムステルダムで小數の株式を買込んだが、外國護謨生產會社の株式を凡ど所有してゐないといつてもよい。最近或る亞米利加株式仲買人は在亞米利加投機者が紐育株式市場に於て取引するのと同樣の容易さを以て倫敦で護謨株式の賣買を爲し得る立派な機關を設立した。

之により我々も多少たりとも直接間接に世界全產量の數パーセント位に利害關係を有するに至つたが、一方消費に於ては依然として世界全產量の七十五乃至八十%を占めてゐるのである。

加之、世界護謨生產能力は、漸次旺盛になりつゝある需要增加に對し追從し能はざるは明瞭なる事實であるから、新護謨園の開發は是非遂行されなければならないのである。我が亞米利加は世界資本市場に於ては直接或は間接に多數の企業に投資し、或は其財政に參與すると云はれ居る狀態であるから當然の結果として『護謨問題に就て如何なる態度を採るべきか、護謨生產增加をなす際に於て各國に先すべきか、若し然りとせば、何れの地方に――既開地或は未開地に――我々は投資すべきか、又單獨或は他の經驗國英國・和蘭・其他と相提携してなすべきか、後者を選ぶ卽ち相提携する際に於て統御力を有する表面に立つ株主としてか或は裏面にある大株主たるべきか、有名なるRothschildの所謂「美味いものを食ふより熟睡する」方を選ぶべきか』と云ふ種々の問題が起きてくる。

一九二一年個人消費の調査研究の稿に於て本題の筆者は英國及和蘭の多數護謨會社が清算、或は解散價格より更に廉價にて市場に其商品を賣出せる事を指示した。主要工業に參與せる會社が實際資本より低廉に其商品の賣却をなす際は、商業上の最惡なる危機の到來が程遠からざる事を意味するのである。此の時勢を觀取したる筆者は土地、其他の不動產及管理上の才幹を寄に近き價格にて、我々に致命的の重大さを有する產業を買收する事により、利害關係を有するに到るべく提出された、此唯一無雙の機會は一九二一年なりと力說したのであつた。筆者の意圖する所は此目的のため英國と共同してシンヂケートを組織する事であつたが、然し八年巡環の說を固持して活動せる詭辯者輩の意見により、此の目的は達せられなかつた。又一九二一年以來種々な事件はあつたが、筆者は依然として將來米國及世界の供給增加を來すべき適當にして且最も利益ある方法は國際的に協調をなす事であるといふ說を維持してゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我が國製造業者中には英國がスティーブンソン案により生産制限をなすため彼等に反感を有し獨力にて護謨栽培をなさんとの希望を懷ける者がある。然るに又英國側にても同じく護謨價格暴落を米國の責となし、其結果スティーブンソン案を確立したるものなりと云つてゐる。然しながら經濟上の事項に就いての反感は生産政策を決定すべき要素として永久的な位置を占めるものではない。其の理由は我々米國人が産業を確立する際の反感反目よりも最り以上の或物を必要としてゐるからだ。即ち第一に適當な地、氣候及生活狀態、第二に勞働及熟練されたる管理、最後に適當なる運輸及市場を必要とするが故である。素人藝は經費が多く零落しやすきものである。其れで初め雄大なる企圖を懷いたものも屢々うたかたの如く跡もなく消え去るのである。が詮ずる所考慮に入れらるるのは生産費及量の問題である。

米國の護謨

何處で如何な狀態の下で我々は我等自身及世界へ充分な護謨の供給をなし得る事が出來るか。然して其生産費は如何程であるか。此等は最も重大なる問題である。若し我々が米國の屬領或は或る近くの領土で護謨生産をなし得るなれば此に超した事はない。然し斯くの如く出來なくても驚く理由はない。若し我々が最も多く利益を見て事業を經營し得る所が英領、白耳義領或は葡萄領であれば、何故斯くする事が不可であるか。現に我が國は大麻・ココア・コーヒー・黄麻・香料を生産し得ぬ――之等は我々に採り深い不安を與へぬ。然して若し我々が此等の物を生産し得ても、我が國より廉價で生産し得る諸國より我々は購ふであらふ。我々は廣く世界に對してのみならず範圍を狹めて米國の消費者及其財政に對して或る義務を有してゐる。

然し若しも我々が世界の經驗ある生産者と相提携して敏速に、能率を高め、且經濟的に我々の目的を達し得るなれば次に現はるゝ第二のスティーブンソン案に對し如何なる態度を採るべきかといふ事が問題ならぬ理にはゆかぬ。

第一スティーブンソン案は數年前に於て既に消失せる産業によつて生きんとする失望的な努力であつた。第二に此がなければ（或は此れと同じ樣な結果を得る其他の案がなければ）一九二二年に於ける護謨價が採液及船積を加へた値段より安かつた事實よりして印度及馬來の護謨栽培が叢林と同じ樣な狀態になつたであろうから、現在我々は護謨を得んとしても得る事が出來ないであらふ。故に次に問題となるスティーブンソン案が若しも提起されたら我々は英國同樣護謨に廣大なる關係を有する事となり、案をして有效ならしめる事が要求されよふ。

此場合細々した事については或は反對をする人があつても大體に於て之を裏書きしない樣な人があらふか。又生産者のみならず主なる消費者共に産業界から影を消すのに對して何等適等なる方法手段を講じないであらふか。

筆者は玆に至つて之の問題を冷靜に且考慮的に處置するの必要を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

感じたから護謨工業の他の基本的な見致については漸次追求する機會があるだらうと思ふ。

兎に角く筆者は讀者諸氏が政治的の意味を含まないで（不幸にも政治的に論じたものは缺如してゐるが）少くとも職業的の立場よりして、之は蘭領東印度護謨業者のする所であるが、其根本的な立場の究明及び近き將來及遠き將來について研究するのを喜ばれるであらうと思ふ。

護謨栽培上に英國の獨占を強調する

護謨栽培の位置及見解についての興味ある數字が、Strait Times の主筆 A. W. Still 氏により彼南の栽培業者會議に於て朗讀された原稿中に舉げられてゐる。之れは米國より遠く離れて凡ど知られてゐない所の護謨栽培業者の意見を代表してゐるから特に興味あるものである。この意見發見は明らかに論議的であり又研究的であり或は教示的である。

此のステイトメントの目的とせる所は護謨の生産權をを英國の獨占にしようといふのである。同氏は英帝國政府の保證したる五分利付三兆弗の公債を發行し、其により現在より五〇％乃至百％の栽培面積を増加せんとする經驗ある栽培者に前貸せんとする提議をしたのであつた。彼は生産費を一封度當四仙、賣値段を平均三五仙乃至三六仙として其計算をしてゐる。新らたに生産された護謨一封度について六仙の特許料を英國政府へ納付するのである。一、五〇〇、〇〇〇英反の地に於て植付後六年で英反當百封度、七年で二百封度、八年で三百封度、九年以後は三百五十封度と計算してゐる。六仙の採液特許料は植付の開始せられしより十二年間の期間滿了に至る迄英國政府に支拂はるゝのである。卽ち之によれば英國政府は約三七、五〇〇、〇〇〇磅の收入を得る事になる。然るに十二年間の公債利息は三六、〇〇〇、〇〇〇磅であるから差引一、五〇〇、〇〇〇磅の殘金である。次の八年間の取得は二八、五〇〇、〇〇〇磅であるから二十年間の總收入は三〇、〇〇〇、〇〇〇磅卽ち一五〇、〇〇〇、〇〇〇弗となることになる。

之の多少狂的な計劃は何物の利益もなし、最初成長期間の六年間の利息を混合してゐるし又米國より多大の援助を得る事が出來るなどと天眞爛漫なことを云つてゐる。が然し之の缺點を除けば實に興味あるものである。

生産費及收益

Still 氏の云ふ將來需要の豫想は平均相場を無視してゐる點に於て粗雜であるといふ謗は免ぬかれぬが數年ならずして重大なる危機が到來するといふ事を終末に於て明にしてゐる。世界護謨の需要は過去に於て商品の廉價なりし爲め及米國自動車工業の發展の途上にありしため非常なる增加率を示せしが、未來に於ける需要が果して又商品の高價になる傾向及自動車工業が發達の頂點に近づきし事情あるに拘らずば過去に於けると同じき增加率を示めすや否やは大いに疑問視せらるゝ所である。

然るに此等の觀察は第二次的の重大さを有するものである。が筆

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者は茲に同氏のステイトメントの中より非常に價値ある且注目に價する一句を引用する。卽ち Still 氏が平均生產費（諸雜費を含む）を一封度當七片卽ち一四仙と、計上した事である。又 Still 氏は平均賣價は三十五或は三十六仙としてあるから、採液特許料六仙を除き利益は十五仙乃至十六仙となる。卽ち千英反の地を所有してゐる栽培者の利益は六年目には一六、五〇〇弗に昇り、七年目には三三、〇〇〇弗、八年目には五〇、〇〇〇弗で九年目及其以後は一英反に三五〇封度を產出するに至るから五八、〇〇〇弗を擧げる事が出來る。彼の文は未來發展を精細に論じてあるから次に之に引用する事にする事とする。

護謨工業の英國に與へる利益は第一に帝國の自由處分をなし得る六千萬磅の貿易、第二に熱帶地發達の母國工場に對へる利益及最後に馬來自身の發展である。

一九二一年の國勢調査によれば當時馬來に於て護謨栽培に供せられし全面積は二、九六二、二一六英反にして作付面積は二、二二六、二三六英反。中採液し得る狀態にあるものが一、三一六、八三一英反であつた。一九二一年の數字と一九二五年に發表せられた數字を比較すれば一九二五年の新開園の中大園は十萬英反を過算してあり又小園の分は如何程過算してあるか不明であるから結局採液面積を二百萬英反以上とするのは不穩當である。

故に假に現在採液面積が二百萬英反とし、一英反當平均三五〇封度の護謨を生產し得るものとすれば、三一二、五〇〇噸の生產量を得る事になる。標準生產額（一九二四年十一月一九二五年十月終り）（二五六、二〇〇噸）及新嘉坡、彼南の生產額（五、〇〇〇噸）を合しても二六一、二〇〇噸となり、自分の計算による生產額より五一、〇〇〇噸少いのである。現在の輸出し得る額は六十五%卽ち一六六、五三〇噸、新嘉坡及彼南の五、〇〇〇噸及小園所有者の輸出許可量一四、〇〇〇噸であるから全年輸出額は一八五、五三〇噸となる。若し二百萬反の地から一英反當三五〇封度を產出し得る事が誇張でなければ馬來全生產能力の五九%強となる。故に年々一二七、〇〇〇噸の餘剩を生ずる事となる。

一九二二年十一月一日以來馬來に於ける護謨樹は適當なる採液をなすに至りし結果漸次其生產力を增しつゝあるのである。若し生產制限が撤廢せられたら如何なる事が惹起するのであらふといふ事は唯人も自信を以て言ひ得る人はあるまい。輸出され得べき割合の增加に伴ひ勞働力の漸次增加の傾向があり、若しも農園所有者及支配者が全能力にて生產を試みるなれば必ずや驚くべき結果を齎す事を知らればならぬ。

余は若しも一九二六年一月一日迄九十五%の制限率で且一志六片の平均値段を護謨が維持してゐたならばステイーブンソン委員會は其繼續期間に於ては何等の命令を發しないであらふと豫言をする。余は豫言が確かめられるのを嬉しく思ふのではないが、余の豫期せる不慮の出來事に備ふる手段が護謨業者によつて採られないときに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は此の豫言を確める事があらふ。スティーブンソン委員會は馬來のみならず錫蘭に關係して、標準の基礎は兩國同じくないのである。

一九二六年に於ける馬來(新嘉坡及彼南を含む)の標準生産額は二六八、〇〇〇噸と計上されてゐるが採取面積英反當三五〇封度としての總量より四四、五〇〇噸だけ少いのである。此の數字に據れば一九二二年の五月乃至七月の期間に於ける生産量は六三、六五〇噸で二六八、〇〇〇噸を四で割つたものより五%少ない譯となる。若しも輸出し得る割合に於て何等の命令が一九二六年の八月乃至十月の期間に於て發せられなければ又若し余の全生産能力の數字が正確であり且全能力採液が通例となれば、我々は一九二六年八月一日より十月三十一日の間に於て約七八、一二五噸を卽ち三一二、五〇〇噸の四分の一、前期より一四、四七五噸を生産し得るであらう。

健全なる投資

不況の悲慘なる結果は産業が危險なる印象の撒布である。銀行は護謨株を擔保としないであらう。又投資によつて生きてゐる人は一年或は二年間何物をも齎らさない物に資本を支出するを躊躇するであらう。然りと雖も現在に於ては護謨より健全なる投資は凡どないのである。

未來の世界的需要を豫見する目的で一九二四年末に於て株式が平準であつたと假定する。此は其以前に總べての護謨生産品が工場用の準備として必要とされる限度迄消費された事を意味する。

生産に付いてはRichligの數字期間は四年一期卽ち一九一六年を以て終る一期、一九二〇年を以て終る一期、最終に一九二四年を以て終る一期とする。

第一期に於ては總産出高五八九、一二〇噸であつて平均は一四七、二八〇である。

第二期は一、二三二、八二八噸であつて年平均は三〇八、二一七噸で前期に比し一六〇、九三七噸の增加である。

第三期は制限が強制的になつてきて生産は一、五〇八、〇七五であつて年平均は三七七、〇一九噸で第一期に比し二二九、七三九噸第二期に比し六八、八〇二噸の增加である。(Annalist Oct. 30, '25)

余は、本文の前半に於て、護謨生産上の望ましき亞米利加の政策及加入を論じ、且つ彼南に於て開催せられた護謨栽培業者會議に於てA. W. Still (The Strait Times 主筆) 氏の朗讀されたる原稿から、護謨生産業の現況に付いての若干重要なる數字を引用した。本稿も亦前號と關聯するものであつて同氏の所説を引用するのである。

スティーブンソン案の廢止は生産增加を來さない

Still 氏の論旨は最近受取つた報道が護謨産業上に豫期せざる多大の困難があるといふ事を明確に示してゐる眞に於て正當であつた。其困難とは卽ち護謨不況時代の維持上怠慢に據る病害、勞働力の不足及運轉資本の不足は護謨産業上、生産能力を萎縮せしめたのであ

る。例へば一九二六年（遲くとも同年の中頃であらふか）の或る時期に於てスティーブンソン案廢止の準備をしてゐる馬來に於て、多數の生産業者は共潛勢的生産力が現在協定率を超ゆる事少いため、完全なる自由輸出上のそれより多大なる利益を享受する事は不可能なりと考へてゐるのである。馬來に於ける豫猶生産力の最近調査に據れば、次の事項を明らかにし得たのである。即ち豫想護謨栽培面積二、四〇〇、〇〇〇英反の中、綜合面積一二三、五〇〇英反を有する約二〇八農園のみが英反當四〇〇封度を生産し得るのみである。スティーブンソン案の廢止により利益を得るのは此等生産業者のみで、又自由狀態の下に於て此等生産者の生産する量は全産額の數%にも及ばないのである。

疑もなく運轉資本の問題は護謨事業が好景氣を出現すれば容易に解決せられるのである、が勞働問題は容易に解決し得ざる問題である。馬來に於て使用せられてゐる勞働者は一八〇、〇〇〇であるが全生産能力を發揮する爲めにはより以上三十%の勞働者が必要とせられる。勞働者爭奪に就いては各農園間に於て競爭が行はれてゐる。勿論之は勞働力の増加を來すものでなくして其能力を缺くものである。

經驗的管理方法の必要

我が國に於て（米國に於て）の問題は單に適當なる土地・資本・勞働或は採液に至る迄數年間を要するといふ樣な問題でなくして、特に缺けてゐる經驗を有する管理法である。S三氏は此點を「最も經驗を有する栽培者へ」資本を與へよと言つて、如何にも巧みに説破してゐる。之は彼の提議した五分利附公債を亞米利加人が工夫すべきだといふ事を云つてゐるのである。が亞米利加人は神經が鈍くて發起人たる危險を負擔する事が出來ないから貸金者たる事が出來ず又公債所有者の受ける樣な小利息では滿足出來ないのである。然しながら我々米國は護謨業に對する智識及熟練が不足である事は事實であるから、此の不足を補ふ爲めには、獨立して經驗を得るために長期にして、費用多く又冗長な方法を選ぶよりも英國和蘭と相提携して行ふ方が良いのである。

余は前週此點に於て討議したのであるが、今茲にも少しく附言し樣と思ふ、我々は護謨が唯金さへ注げば成育し得るものだと思つてはならぬ。護謨が充分なる收穫をなし得るには植付後九年を要し、又採液を初めてなし得るに至るのも六年間を要するのである。加之、必要な護謨植林をなし得るにも計劃が定まつてから數年間を必要とするのである。

若し亞米利加自身に護謨を栽培して利益を得、生産費が尠く、勞働力が潤澤で又熟練せる管理者を得る事が出來るといふことを想像してみる。然し實際に於ては實現されたといふ譯ではないのだ。が又今後十箇年後に於ても我が需要の一部を充たす事は出來ないけれども、此場合又生産過剩か或は生産不足があり又護謨業者をして再び

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

或る取極められた政策を必要とせしめる出來事があるとするなれば我々は必ずや凡ゆる努力をしない英國と協調する事が必要とせられるのである。

若しも協調するとすれば何故最初から此の賢明な政策を採らなかつたか、若し我々米人が同問題に對する英國側を知る事にのみ努め即ち護謨事業に對し英國は如何樣な氣持でゐるかといふ事を知るのにのみ努めていたら、又冷靜にして智謀に富む我々が（或る新聞紙の報道によると）世界的に護謨の生産額を增加せんとする目的で栽培し得べき地方の米國護謨業へ出資するに至るなれば、我々は少さな軋轢とか非難とかを避けなければならぬと同時に、實際に仕事をやらればならないのである。我々は護謨を多量に生産して世界及米國自身に供給しなければならないし、又大西洋兩國間に蟠る誤解及怨恨の基となる物を破壞しなければならぬ。我々は護謨が廉價であり又多量である時には英國の護謨所有に反對すべきでない。護謨は多量に存するときは廉價である。いずれにしても護謨を多量に生産せんとするはよい事であり而して生産費が安く多量に產する事が我々出資者の採るべき最良の方法である。

Still 氏の原稿の後半は次の通りである。

將來の需要

四年を一期とした將來の二期を豫言するために過去の事實を參照して見れば、年平均需要の增加は一九二四年を以て終る一期と同じであらふ。即ち六八、〇〇二噸であらふと思はれる。一九二四年に於ける消費は四一八、〇〇〇噸であつた。一九二八年を以て終る時期の全世界の消費は六九三、二〇八噸であらふし又全世界の供給は

馬來	三一三、七四四噸	錫蘭	七〇、〇〇〇噸
其他	三〇、〇〇〇噸	野生パラゴム	三〇、〇〇〇噸
合計	四三三、七七四噸で		

結局蘭領東印度に二四九、四三四噸の供給量を分與する事となる。

蘭領東印度は大いに疑問視せられてゐる。一九二四年に於ける其乾式生産品は一五八、〇〇〇噸であつたから、次の四年間には世界需要に足る九〇、〇〇〇噸の生産增加はあるべきだと思はれる。

不足量の增加

一九二八年を以て終る一期は不足を見ないだらふが一九三二年を以て終る一期には直に新植林計劃が着手せられなかつたならば不足を見るは明らかな事である。如何なる人と雖も現在の狀態より七〇〇、〇〇〇噸以上のものの生産が出來るなどゝ云ふ事は確言出來ないであらふ。此限界は、若し消費の年增加率が一九二四年より大ならざるものとしても、一九二九年には需要により突破されるのである。此を數字に示めすと

一九二九年の不足豫想量	六二、〇一〇噸
一九三〇　同	一三〇、八一二同
一九三一　同	一九九、六一四同

一九三二年の不足豫想量　　二六八、四一六噸である

一九三二年に於ける不足は新植林を以てしても追付かないのである。即ち我々は一九三二年迄今後約六年半の間で英反當二百封度の生産をなし得るや否やに付いては斷言は出來ないのである。即ち是非共二百萬英反以上の植林とする必要があるのである。

英國護謨栽培業者は此の來るべき供給不足に對して何か具ふる所がなければならぬ。護謨が到底需要に適應する事が出來なくなると代用品の惹起を促し、此結果多少の利益を得ても世界護謨生産業者の利益を害する事大なのである。茲に廣い英帝國としての大きな立場から見る事が必要である。蘭領東印度に於ては護謨栽培に適する幾多の土地があるが一英反の地に植付は成育を見る迄には四〇磅が必要であるから三、〇〇〇、〇〇〇點の地には一二〇、〇〇〇、〇〇〇磅が必要とせられる。然し斯の如く多額の金額を數年間何等の利益を獲る事なしに寢かして置く余裕の有る人が英帝國内にあるが如何がは疑はしい。一方道德的負債とも稱すべきものが護謨に我々が關係してゐる範圍に應じて來るべき不足に手段を講ぜよと云ふのである。其の花園は全世界護謨栽培の五十％以上を占めてゐるから、若し三、〇〇〇、〇〇〇英反が必要とせられるなれば、我々は是非共中一、五〇〇、〇〇〇英反を引受けなければならないのである。

提出されて發展計劃

Sir 氏は五分利付英國政府保證支拂の護謨栽培地開發公債と稱せらるゝ六千萬磅の總資金募集を提議した。彼は豫約者が潮の如く公債を買はんと押し寄せ又米國より多額の資金を得る事が出來ると確言してゐるのである。護謨産業は世界に歐洲人なると亞細亞人なるとを問はず最も經驗を有する數百人を有し、若し資本とへあれば其栽培面積を五十乃至百％增し得る數百の農園を有してゐる。又Sir 氏は總ての農園所有者及栽培業者が政府監督の下に於て彼等自身の熟練せる技術によつて其發展計劃に參與する事が出來ると云つてゐる。然し此際生産し得る狀態になつたときには彼等に作業上の第一選擇權を付與する代りに、大藏省が非生産時代に負擔した金額に對し之の特權の代償として支拂ふべき義務を負擔するものだと云つてゐる。此に必要な財産項目は次の如くである。即ち賣價は封度當一志六片、採液特許料は封度當三片、必要とせられる面積一、五〇〇、〇〇〇英反、資本六〇、〇〇〇、〇〇〇磅、利率五分で年三、〇〇〇、〇〇〇磅、生産された一封度に對して採液特許料三片であるとしてゐる。

提案されし計劃に依る利益

Sir 氏は栽培業者及栽培會社が斯の如き計劃に對して滿腔の助力をなす樣に大いに誘導せらるゝは最も必要な事であると其聽衆に向つて言つたのである。若し事業が馬來、錫蘭或は又ボルネオに於て敏速に且有效に遂らせらるるなれば斯の如き助力は是非必要なるものである。彼等は特許に依る新面積の第一採液の選擇權を與へられる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものである。敷設及製造の諸雑費を含み生產費は一封度について七片、特許料は三片である。故に實價が一志六片である間八片の利益を一封度について見る事が出來る。千英反の地に於ける六年目の利益は三、三三三磅六志八片であり七年目は六、六六六磅十三志八片で八年目は一〇、〇〇〇磅其後は一英反當三百五十封度の生產量として一一、六六六磅十三志四片となる。之は同計畫を援助した人には非常なよい報酬である。

S氏は猶ほ護謨業の帝國的重大さを栽培業者に鼓吹し之により何か稗益する所があれば幸甚之に過ぎたるものなしと結んでゐる。

（Annalist—Nov. 6, '25.）

蘭領東印度

□一九二五年爪哇糖產額及二六年植付面積豫想

一九二五年に於ける操業工場數は一七九にして、本統計は全工場よりの各種統計を徵綜せるものなり。

本年に於ける爪哇糖總產額は、一九二四年と比較する時は、一四・九パーセントの增加を來し居り、三七、一七五、八二八擔二、二九六、二二二米突噸に昇り居り、東部、中部及西部に本增加率を割當つる時は各々、一五・六、一五・三及一二・〇パーセントとなるなり。

增加率最も大なるはケヅー、及ベスキ州にして、各々二二・二、及二二・一パーセントに達せり。

本統計に於ては、各種砂糖を總て同一價値品と見做し計算し居れども、袋糖及分蜜糖に特別扱となし、一八九三年以降本統計に使用し來りたるが如く二袋糖を一ヘッドシュガー、及四分蜜糖を一ヘッドシュガーとして計上せり。本方法を以てする一九二五年度一バウ當り產額豫想はヘッドシュガー一四八・二擔なり。

甘蔗栽培面積は再び增加し、一九二六年度收穫面積は二五四、〇四九バウにして、之を一九二五年度と比較する時は一・三パーセントの增加を來し居るなり。而れども、現今迄引續きたる乾涸の結果、一九二六年度總收穫は一九二五年度に於けるより減少せんとの見込みなり。

第一表

州名	一九二五年度操業工場	一九二四年砂糖產額 擔	一九二四年砂糖產額 噸	一九二五年砂糖產額豫想 擔	一九二五年砂糖產額豫想 噸	增加又は減少 %
ベスキ	九	一、一九七、四二八	七三、九六〇	一、四六一、七八〇	九〇、二八九	(+)二二・一
パスルアン	二七	四、六二三、九四三	二八五、四三〇	五、〇〇一、〇三五	三〇八、八九六	(+)八・二
プロボリンゴ グループ	三	二、五六四、一九四	一五八、三八一	二、八三三、〇一〇	一七四、九八五	(+)一〇・五

パスルアングループ	一五	二、〇五八、七四九	一三七、一六三	二、一六八、〇一五	一三三、九一二	(+) 五・三
スラバヤ	三六	五、二九九、〇九六	三三七、三〇七	六、三五九、八二六	三九二、八二五	(+) 二〇・〇
シドアルジヨグループ	一三	一、九三三、一四四	一二八、七二四	二、三〇二、二六五	一四二、二三九	(+) 一九・八
モジヨケルトグループ	一三	一、六一七、五九一	九九、九一三	一、九九三、三二六	一三三、一一五	(+) 二三・二
ジヨンバングループ	一二	一、七五九、三六一	一〇八、六七〇	二、〇六五、九一五	一二七、四八一	(+) 一七・三
ケジリ	二三	四、五〇〇、四五〇	二七七、九七七	五、二二一、一六五	三二一、七八六	(+) 一五・八
マヂオン	六	一、四〇八、五三六	八七、〇〇〇	一、六五三、三九二	一〇二、一一四	(+) 一七・四
スラカルタ	一六	三、〇六六、三四五	一八九、三九七	三、五八二、一一六	二二一、二五五	(+) 一六・八
ジヨクジヤカルタ	一七	三、三四九、一三〇	二〇六、八六四	三、七三九、五一二	二三〇、九七七	(+) 一一・七
ケヅー	二	八三五、〇二〇	五一、五七六	一、〇二〇、五四二	六三、〇三五	(+) 二二・三
パンジヨマス	五	一、〇七七、七五一	六六、五六九	一、二九四、〇五七	七九、九二九	(+) 二〇・一
スマラン	一二	一、八一六、九二六	一一二、一三五	二、〇六〇、五七四	一二七、二七四	(+) 一三・四
ペカロンガン	一七	三、二七九、八二七	二〇二、五八四	三、七四六、八六三	二三一、四三一	(+) 一四・二
ペカロンガングループ	七	一、四二七、七二四	八八、一八六	一、七二〇、一七四	一〇五、六三三	(+) 一九・八
テガルグループ	一〇	一、八五二、一〇三	一一四、三九八	二、〇三六、六八九	一二五、七九九	(+) 一〇・〇
チエリボン	一三	一、八九二、七二八	一一六、九〇七	二、〇四四、九七六	一二六、三一一	(+) 八・〇
東部爪哇	九九	一七、〇二八、四四三	一、〇五一、七八七	一九、六八七、一八八	一、二一六、〇〇〇	(+) 一五・六
中部爪哇	五一	一〇、一四五、一七二	六二六、六三二	一一、六九六、七九九	七二二、四七〇	(+) 一五・三
西部爪哇	二九	五、一七二、五五五	三一九、四九一	五、七九一、八四二	三五七、七四二	(+) 一二・〇
合計	一七九	三二、三四六、一七〇	一、九九七、九〇九	三七、一七五、八二六	二、二九六、二一二	(+) 一四・九

第二表

州名	一九二五年操業工場數	一九二五年收穫に對する植付面積 總植付 バウ	一九二五年收穫に對する植付面積 總植付 ヘクタール	一九二六年收穫に對する植付面積 總植付 バウ	一九二六年收穫に對する植付面積 總植付 ヘクタール	增加又は減少 %
ベスキ	九	九、七五九	六、九二五	一〇、二四六	七、二七一	(+) 五・〇
パスルアン	三七	三七、七〇八	二六、七五七	三八、四七九	二七、三〇五	(+) 二・〇
プロボリンゴ	一二	二一、三九四	一五、一八一	二二、二六九	一五、八〇二	(+) 四・二
パスルアングループ	一五	一六、三一四	一一、五七六	一六、二二〇	一一、五〇三	(+) 〇・六
スラバヤ	三六	四〇、二七八	二八、五八一	四〇、三六八	二八、六四五	(+) 〇・二
シドアルジヨグループ	一三	一三、七二四	九、七三九	一三、七五七	九、七六二	(+) 〇・二
モジヨケルトグループ	一三	一三、八八一	九、七〇二	一三、七六七	九、七三九	(+) 〇・七
ジヨンバングループ	一二	三四、八五五	九、一四〇	一三、八四四	九、一一四	(−) 〇・三
ケジリ	二三	一一、五〇六	二四、七三三	三四、七八〇	二四、六八〇	(−) 〇・三
マヂオン	六	一一、五〇六	八、一六五	一二、二一五	八、六六八	(+) 六・三
スラカルタ	一六	二五、〇六八	一七、七八八	二五、〇三五	一七、七六五	(−) 〇・一
ジヨクジヤカルタ	一七	二三、三六四	一六、五七九	二三、二七二	一六、五一四	(−) 〇・四
ケヅー	二	五、九一八	四、一九九	五、九八二	四、二四五	(+) 一・二
パンジヨマス	五	八、一二八	五、七六一	八、八七四	六、二九七	(+) 九・三
スマラン	一二	一四、八三三	一〇、五二八	一四、七九〇	一〇、三五三	(−) 一・六
ペカロンガン	一七	二四、一〇九	一七、一〇七	二四、二四五	一七、二〇四	(+) 〇・六

プカロンガン	七	一一、一九七	七、九四五	一一、三四五	八、〇五〇	(+)一・三
チガルグループ	一〇	一三、九一三	九、一六二	一三、九〇〇	九、一五四	(−)〇・二
チエリボン	一三	一五、三七九	一〇、九一三	一五、九六三	一一、三一七	(+)三・八
東部爪哇	九九	一三四、一〇六	九五、一六一	一三六、〇八八	九六、五六九	(+)一・五
中部爪哇	五一	七七、二九一	五四、八四六	七七、七五三	五五、一七四	(+)〇・六
西部爪哇	二九	三九、四八八	二八、〇三〇	四〇、三〇八	二八、五三二	(+)一・八
合計	一七九	二五〇、八八五	一七八、〇〇七	二五四、〇四九	一八〇、二七四	(+)一・三

（蘭印砂糖週報第四五號に據る）

□蘭領東印度の護謨

一九二四年末に於ける企業園護謨栽培面積は三九三、九四三ヘクターにして、内二七四、四八〇ヘクター生産中なり。而して最近四箇年間に約四一、〇〇〇ヘクターの植付面積の増加を見たり。

一九二四年に於ける企業園護謨輸出數量は八九、六四三噸にして、當年の産額豫想は高く見積られ、卽ち本年始めに於て大約九六、〇〇〇噸となされ居たり。

土人生産護謨は我總輸出高の主要部分を占むると共に迅速なる發達を遂げたれども、生産品は一三乃至五〇パーセントの水分を含有し且つ不純なり。故に輸出數量より乾燥護謨數量を算出せんが爲全數量より三〇パーセント減ぜざる可からざるなり。

一九二三年に於ける粗製護謨輸出數量は五、七〇〇〇噸（內乾燥護謨三五、七〇〇噸と見積らる）にして、本年に於ては一一〇、〇〇〇噸と見積られ內七三、四〇〇噸を乾燥護謨と見做し得るなり。

以上の指數より見る時は、土人護謨生産量は企業園のこれに比較して、差したる大差無きを知るなり。

護謨生産量（單位噸）

年次	企業園産額 爪哇	企業園産額 外領	企業園産額 合計	土人護謨（乾燥）	總計
一九一九	二六、七八五	三九、二七四	六六、〇五九	一三、〇〇〇	七九、〇五九
一九二〇	二七、二五八	四二、七九八	六九、〇五六	一〇、〇〇〇	七九、〇五六
一九二一	二四、五一四	三七、四七三	六一、九八七	六、〇〇〇	六七、九八七
一九二二	二八、九〇二	四三、二六一	七二、一六三	一七、〇〇〇	八九、二〇〇
一九二三	三四、一五四	四七、五四〇	八一、六九四	三六、〇〇〇	一一八、〇〇〇
一九二四	三七、七七三	五二、五一八	九〇、二九一	五六、〇〇〇	一四六、六三七
一九二五（豫想）	四〇、六二〇	五五、四六二	九六、〇八二	七三、〇〇〇	一六九、四八二

右表に依り、如何に當領産額の迅速なる增加を爲しつ丶あるやを知るを得べく、一九二三年に於ては、當領は世界産額の三〇・八パーセント、一九二四年に於ては三五・一パーセントを生産せり。

（Rubber in Ned-Indië）

□爪哇に於ける漁業と魚の商價値開拓

最近スラバヤに於て邦人漁業會社を起し、同地近海で漁業に從事すると云ひ、又はスマラン丸で四十二名の邦人漁夫が來島し、支那人側の資本の下に漁業に從事すると云ふ樣な記事が屢々和蘭新聞紙上に報道され、支那新聞の如きは右を信じて何故に支那人が日本人を聘して漁業をするかと、非難して見たりする程各方面に反響を起してゐるが、今回バタビヤ近海にて漁業計畫を起す爲め新嘉坡より來島せる永福虎氏に就いて實否を訊して見ると、最近の報道は殆んど全部誤報のみであつた。永福氏の漁業計畫は新嘉坡の大成漁業會社とは全然關係無く同氏一箇の事業であつて、既に二年前より計畫しつゝあつたものであると。漁業地は大體バタビヤ近海（然し多く領海外に出て仕事をする樣にならうと）を中心とし、その販賣地はバタビヤ、ボイテンゾルフ、スカブミ、晩敦等に及ぼす筈である。此事業の爲め沖繩縣人三十名、發動機漁船數隻、漁獲物運輸船一隻を準備して來た。此運輸船は約二萬斤弱の魚を氷詰にして市場に運送する能力を有し、右の二萬斤の魚は各日位に市場に運搬し得るであらうと云ふ。故に此大量の魚は到底バタビヤ市内のみでは消費し得ない故、氷詰にした上急行車で右掲の各地に輸送することゝし、右各の地には夫々專屬の販賣掛りを派出する手筈である。從つて從來各山地方面では餘程高價でなければ手に入らなかつた鮮魚が、比較的容易に手に入るやうになると共に、供給が豐富になれば、從つて土人達の口にも這入る樣にならう。今日晩敦の生魚は主としてチエリボンより供給されてゐたが、極めて高價である上に、殆んど半腐りの魚許りであつた。永福氏の談に依ると、土人は鮮魚と腐魚の區別が殆んどつかない。爪哇では三時間天日に曬された魚は殆んど半腐であつて鮮魚とは云へない。然るに消費者は平氣でそれを買つてゐる。普通日蔭に置かれた魚は七時間乃至九時間位は持つとの事だ。尙永福氏は計畫の抱負を語り次の樣に述べた。「爪哇の魚市場は今日では殆んど經濟的な價値を有してゐない。之れは供給が少ないので從つて消費者が少ないことに原因する。又魚市場の組織なぞにも多くの缺陷がある。邦人漁業が起つたら土人漁夫が困るだらうと云ふ樣な考へは、全く事實と反對な素人考へである。漁業が發達し鮮魚の市場供給が豐富になれば消費者が增加すると共に、魚の市場價格が騰貴して來る。魚の市場價値が高まれば漁業に從事する土人漁夫が受ける利益は尠くない。新嘉坡に於いても日本人の漁業が起る迄は魚の市場價値と云ふものは今日の爪哇同樣問題とならぬ程微弱なものであつたが、邦人漁業が魚の市場を開拓すると共に、その價値が高騰するに從つて土人漁夫の受けた利益と云ふものは少くない。之れと同樣なことが爪哇に於いても云へると思ふ。詰り私の事業は爪哇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於ける漁業及び魚の商價値を開拓しやうと云ふのが本意である。故に土人漁夫の不利になると云ふ樣なことは前後顛倒の話だ。又漁業其物は新嘉坡なぞに於いては大概三百浬の沖で仕事をしてゐるが、恐らく爪哇でも遠き沖合で從事することにならう。何故と云ふに、沿岸近くの魚は不味で深海の魚と比較にならないからだ云々」と。倘聞く處に依ると、沖繩縣人の漁法は日本に於ても全く獨特のもので他に見られない。彼等は幼少の折りから海水内に潜入して仕事を練習してゐるのであるから、一朝にして之れを眞似やうとしても至難のことだと云ふ。

聞くに、土曜日メナド丸で來着せる邦人漁夫は悉く新嘉坡の大成漁業會社に屬するもので、永福虎氏が引き伴れて來島したものだと。因に漁夫は一部は泗水に赴き、一部はバタビヤに滯在してバタビヤ日本人漁業組合と共に漁業に從事することゝなつた。

（十一月十一・十三日爪哇日報）

其他

□リベリヤに於ける亞米利加の護謨栽培狀況

過般來亞米利加はリベリヤに護謨栽培地を得んとして The Firestone and Company の Harvey Firestone 氏と亞米利加資本家との間に交渉進められつゝありしが遂にその決定を見たりと云ふ。この交渉は約一萬一千英反に亘るヘビヤ護謨園を含める百萬英反の土地を獲得せんとせるものにして、この土地は嘗て Monrovia Rubber Company の所有たりしものなれども同社の沒落後リベリヤ政府の手に歸せるものなりと云ふ。同園内十二萬五千のヘビヤ樹は上記護謨栽培地域に栽培するに充分なる種子を有し栽培開始の準備既に整ひたりと謂ふ。この土地、氣候、勞働に對する條件甚だ宜しきを得、經驗亦豐富にして亞米利加に於ける經驗を有し五年後に至りて其の生產を見るべく、七年後に至らば亞米利加の全消費量を供給し得るに至るべしと期待せらる。これと同時にリベリヤ政府は五百萬弗の公債を亞米利加に於て募集し、この公債募集の條件として同國政府の經理は亞米利加によりてなさるゝことゝならんと言ふ。公債はリベリヤに取りては甚だ巨額なるを以てリベリヤは亞米利加政府の許可なくして外國より借款することを得ざる樣拘束せらるゝならんと。猶又リベリヤ政府は亞米利加政府の許可なくして他國に土地賃貸することを得ざるべしと云ふ。

リベリヤは護謨栽培に對して實に好適の國と云はれ、土地・氣候・勞働は大なる便益を提供す。勞働者は英語を解し而も獨立の人民なり。リベリヤ人は亞米利加人の如く活動し而も米人を好む風ありと云ふ。故に公債募集完了の曉に於ては亞米利加との關係更に親善と

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なるべしと期待せらる。

以前リベリヤは野生護謨を輸出したるものなりしが、一八五五年一八五六年倫敦の C. W. Meitner 氏護謨栽培の爲め土地租借をなしたるも遂にこれをなすこと無く、其の後一八九八年に至り倫敦の一會社に新土地を貸與しリベリヤ護謨シンヂケート（Liberia Rubber Syndicate）の名稱を以て繼承せられたりしが一九〇四年に及んで此の租借地回收せられ、一九〇九年及一九一〇年に更に西錫島植物園産の種子を以て新に護謨園を開始せり。一九一六年栽培面積は一、一〇〇英反に達し Firestone 氏に讓渡せられたりと云ふ。一般に輸送法は不便にして河川多けれども舟佯の便に資すべきもの無く、たゞ牛車の數多きのみなりと。成育せる護謨は皆在來種にして而も十六種に達す。この中最も著名なるは Funtumia 種なり。ヘビア種は在來種に非ずと雖もこの種栽培護謨は成功せるものゝ如し。

リベリヤに於ける一大便益は人口稠密なることにして、アメリカ、リベリヤ系の者は約二萬五千人と算せらる。之に加ふるに四萬の歐化せられたる基督教黑人ありて而も彼等はリベリヤの紳士としてその地位を占むるものなりと云ふ。

以上の者を除外しても尚ほ人口約二百萬あり。其の住民は概れ頑強なる體格を有す。亞米利加合衆國に於ける棉花栽培の勞働者が黑人にして而も善良なる勞働者たるを知る時はリベリヤの黑人と雖も亦米國黑人と異なる所なしと期待さる。

氣候及降雨は熱帶地的にして西部地方に於ける降雨量は一年約一五〇吋にして東部地方に在りては一〇〇吋なりと。而して Mandigo Plateau に於ては六〇乃至七〇吋を越えず。每月降雨あれども雨期は五月より十一月なり。海岸地方及森林地方に於ける氣溫は高く且つ同一なり。夜中七十五度より正午一〇〇度の間を往來す。雨期に至らばその差違左程に大ならずして七十五度乃至八十五度の間を往復し時として日中、夜間共に同一氣溫なることありと。

二月は最も涼しく最もよき時にして不健康なる時は九・十兩月にして一年の中八箇月間は南方よりの涼風あり。こは內地奧深き所迄は影響するところなし。十二・一・二月には北風あり、這はサハラ(Sahara)より來る風にして栽培上善き影響を與ふると。

以上の事項は "India Rubber World" より得たる資料なるが、以下述べんとする所は "All Street Journal" より得たるものにして、同紙は曰く亞米利加は他國に護謨栽培地を得んとするも樂觀を許さずと。

比島に於ける亞米利加の護謨栽培に對する調査の結果は甚だ悲觀的なりと結論せらる。是れ比島に於ける氣候・土地は宜しきも勞働者はこの栽培に適せざるが爲め常に蘭領印度及マラッカとの競爭に堪へざる所なり。亞米利加に輸出する煙草・砂糖は輸出稅を免除さるゝを以て比島は大いに利得する所あるなり。爲めに勞働者は安き賃銀を以て働かず比島人の收入はマラッカ及蘭領印度の苦力の三倍

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

なり。故に亞米利加が比島に護謨栽培業を盛んならしむる唯一の方法は支那或は蘭領印度より勞働者を移入すること外なし。India Rubber World の所論は甚だ樂觀的なれども同紙に記載せられし一統計に就て次の觀察を下さん。

リベリヤに於ける護謨栽培面積百萬英反として十年後一三〇、〇〇〇噸の護謨生產に留まらん。這は多年經驗を積み組織的に經營せられたるスマトラ島に於て實際より考察したる數字にして、亞米利加が七月迄に輸入せる護謨は二一五、七〇五噸にして今年末迄には約三六〇、〇〇〇噸となるべしと、今後十年の曉に於て而もリベリヤ護謨生產高が亞米利加今日の需要額の三分の一に過ぎざるが故に今後十年間に於ける亞米利加の護謨需要に到底應じ得ざるべし。

スマトラ島の東海岸に於ては護謨栽培區にして然も經濟的經營法によると雖も猶三ヘクターの地に二人の苦力を要す。一九二一年以前にありては一ヘクター每に一人の苦力を要したるものなりき。この割合を以てせばリベリヤ百萬ヘクターの栽培面積に對し實に四〇〇、〇〇〇人の苦力を要すべし。然もこの上多くの歐人監督者を要するなり。全人口二百萬としてもリベリヤその自身より得らるべき人數は極く一小部分に留り他の大部分は他地方より移入されざるべからず。何處より斯くも多數の勞働者を移入すべきやこれを知るに由なし。リベリヤに於ける米國の護謨栽培業は寧ろ悲觀すべきものなるべしとの意見を懷くもの多し。

(スラバヤ商品陳列館報告十月十四日)

□日本綿花工業に對する孟買機業組合長の劃策

十一月十日倫敦電報　孟買機業組合會長 Wadia 氏は今回英國を訪問し、近くマンチエスター市の商業代表者と公式に會見する筈である。氏の訪英の目的はランカシヤイア市に於ける綿花工業の首腦者と孟買機業家と東西相呼應して提携の實を擧げ、從來兩市場に於ける綿花工業の圓滑なる進展を阻害したる日本機業の競爭に對抗し、日貨下落の好機を利用して機宜の策を執らんとするにありと傳へらる。

目下孟買機業界に於ては事業不振に因り勞働賃金一割一步五厘の値下げを斷行し爲めに罷業中の窮境にあり。一方日本機業界は華盛頓條約に規定する勞働時間及條件の制限を受けざる自由の立場にある關係上 Wadia 氏は是等の點に就て諸方面の諒解を得るに努力する筈なりといふ。(十月十一日ルーター)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□一九一〇—二四年比島砂糖生産表

年次	甘蔗栽培面積(英反)	砂糖(米噸)	(二)パノーチャ(米噸)	砂糖及パノーチャ計(米噸)	一英反當りの砂糖及パノーチャ生産高(米噸)	(三)パシー(ガロン)	糖蜜(ガロン)
一九一〇	二〇五、五〇八	(一)	(一)	一六八、三五四	一、六三七	(一)	(一)
一九一一	二九七、二九三	(一)	(一)	二六八、八七八	一、八〇九	(一)	(一)
一九一二	四〇五、八八九	二六七、〇一六	一四、三三九	二八一、三五五	一、三八六	三、二三三、三三七	一、〇一九、二八一
一九一三	四三五、一八八	三三一、一九六	一三、八八一	三四五、〇七七	一、五八六	三、三七四、三九六	六〇七、九九八
一九一四	四一八、六七六	三八一、八六九	二六、四七〇	四〇八、三三九	一、九五一	二、四六八、一〇五	六五五、一七四
一九一五	四一七、七一〇	三九七、〇二三	一四、一六九	四一一、一九二	一、九七〇	一、四六四、六五四	六一七、九四〇
一九一六	四四四、一八九	三八六、一一六	二六、一五八	四一二、二七四	一、八五六	一、七八四、〇九三	五八五、五九一
一九一七	四五九、四三六	三九九、四〇五	二五、八六一	四二五、二六六	一、八五一	一、八五三、七〇九	五二〇、三〇一
一九一八	五〇七、八一八	四三六、七七八	三七、九六六	四七四、七四四	一、八七〇	一、八七七、四七〇	一、三四三、六一七
一九一九	四九四、六九三	四一七、九一三	三五、四三三	四五三、三四六	一、八三三	二、三〇二、八五三	五三八、五八六
一九二〇	四八七、七八三	四三一、九五一	三四、九六二	四六六、九一三	一、九一四	二、六六〇、三四三	一、〇八二、〇七六
一九二一	五九六、三六四	五六二、三六二	二七、〇七五	五八九、四三七	一、九七七	二、一三三、八九九	一、九八七、八八七
一九二二	五九五、〇六六	五〇一、九九二	三一、一九六	五三三、一八八	一、七九二	二、七八三、九二四	五、五九六、七三八
一九二三	五六一、六三四	四四九、四七四	三二、七九九	四八二、二七三	一、七一四	一、九八九、六〇〇	二、六〇九、一〇二
一九二四	五六一、三八六	四九七、二九一	二五、八五一	五二三、一四二	一、八六四	一、〇二五、一七〇	七八六、三四五

備考(一)一九一二年以前には分類せられず。
(二)「パノーチャ」とは、重量一乃至二封度の小塊とせる粗糖で、島内消費用として其の取扱上輕便なるものである。
(三)「パシー」とは切りたての甘蔗の莖から得た液汁を以て製せる一種の飲料である。
(四)本表は比島農務省農業統計課の數字に據る。

一九一〇—二四年比島各種砂糖輸出表

年次	全輸出額 數量(米噸)	全輸出額 價額(弗)	全輸出額 一封度平均價格	全輸出額 輸出總額に對する百分率	內合衆國へ 數量(米噸)	內合衆國へ 價額(弗)	內合衆國へ 砂糖輸出總額に對する百分率
一九一〇	一三三、八九八	七、三三四、三八五	.〇二七〇	一八	一一一、〇〇三	六、三二四、三三六	八六・〇
一九一一	二三〇、四三〇	一一、〇七五、六七三	.〇二四〇	二五	二〇六、八五六	一〇、一〇三、一〇三	九一・二
一九一二	二一七、二三七	九、八〇〇、三四〇	.〇二二五	一八	一四七、五七四	七、〇〇五、一一四	七一・四
一九一三	一七三、四二九	七、〇三二、八八九	.〇二〇三	一五	三三、八五九	一、五六四、〇三六	二二・二
一九一四	二六〇、六九二	一一、〇五九、五九三	.〇二一一	二三	一八六、八七三	八、二四一、八五三	七四・五
一九一五	二三二、五九九	一一、三一〇、二二五	.〇二四三	二一	九一、三二六	五、一四一、五七九	四五・四
一九一六	三七二、〇一五	一八、五八七、五九二	.〇二五〇	二七	一四五、三七七	八、六三三、七〇〇	四六・四
一九一七	二二六、九七三	一二、二七七、六七八	.〇二七〇	一三	六八、七五九	五、四〇五、七五九	四四・〇
一九一八	三〇一、二二三	一五、八〇四、三九〇	.〇二六二	二一	一二六、九三三	八、二七九、八七〇	五二・四
一九一九	一四九、九七九	一五、二〇七、八五〇	.〇五〇七	一三	三五、四九九	三、八五八、九六七	二五・三
一九二〇	一九八、七九〇	四九、六一九、二六〇	.一二四八	三三	一三六、六一六	三九、三四八、九三四	七九・三
一九二一	三一九、五三〇	二五、五一八、七二七	.〇三九九	二九	一六五、八七三	一六、八七六、一七八	六六・一
一九二二	三九九、一一二	二五、五八二、五五五	.〇三二〇	二七	二六九、九〇〇	二〇、〇一〇、二四五	七八・二
一九二三	二九九、八〇七	三四、五一九、一二三	.〇五七六	二九	二五四、一四一	三〇、三七七、一五〇	八八・〇
一九二四	三九四、四三六	四一、八六八、〇八七	.〇五三一	三一	三三二、四二六	三七、四九〇、七五一	八九・五

(The Concerning Sugar, Sept. '25.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

墨西哥と合衆國及日本
Mexico, the United States and Japan. By Rafael Nieto. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 10, Nov. 7, '25. P. 230.)

一九二四年度財政追想
Economic. Review of the Fiscal Year Ended June 30, 1925. (Com. R. No. 45, Nov. 9, '25. P. 314.)

米國の護謨栽培地租借(リベリア)許可詳報
Rubber Grant is Detailed. (P. H. Nov. 12, '25. P. 6.)

米國の支那美術蒐集
American Collections of Chinese Art. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17944, Nov. 14, '25. P. 14.)

ファイヤストーン氏の理想と實現性
Mr. Firestone's Fantasy. The Ideal and the Practicable. (S. F. P. Nov. 16, '25.)

西　印　度　諸　島

ドミンコに於ける經濟資源
Economic Products from Dominica. (B. I. I. No. 3, '25. P. 275.)

南　亞　米　利　加

一九二四年ブラジル對外貿易
Brazil : Foreign Trade in 1924. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 345.)

加奈陀總選擧
The General Election in Canada. (E. No. 4283, Sept. 26, '25. P. 486.)

伯剌西爾棉花
Brazilian Cotton. (E. No. 4283, Sept. 26, '25. P. 493.)

本年第一四半期のブラジル對外貿易
Brazil : Foreign Trade, Jan.-March. (B. T. J. No. 1505, Oct. 1, '25. P. 371.)

祕露近情
Conditions in Peru. (E. No. 4284, Oct. 3, '25. P. 534.)

伯剌西爾に於ける金採掘
Gold Mining in Brazil. (Com. R. No. 41, Oct. 12, '25. P. 96.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□一九一〇―二四年比島砂糖生産表

年次	甘蔗栽培面積（英反）	砂糖（米噸）	(二)パノーチャ（米噸）	砂糖及パノーチャ計（米噸）	一英反當りの砂糖及パノーチャ生産高（米噸）	(三)メシー（ガロン）	糖蜜（ガロン）
一九一〇	二〇五,五〇八	(一)	(一)	一六八,二五四	一、六三七	(一)	(一)
一九一一	二九七,二九[illegible]	(一)	(一)	二六八,八七八	一、八〇九	(一)	(一)
一九一二	四〇五,八八九	二六七,〇一六	一四,三三九	二八一,三五五	一、三八六	三,[illegible]三七	一,〇一九,三八一
一九一三	四三五,一八八	三二一,一九六	二三,八八一	三四五,〇七七	一、五八六	二,三七四,三五六	六〇七,九九八
一九一四	四一八,六七六	三八一,八六九	二六,四七〇	四〇八,三三九	一、九五一	二,四六八,一〇五	六五五,一七四
一九一五	四七七,七二〇	三九七,〇二三	二四,一六九	四二一,一九二	一、九七〇	一,四六四,六五四	六一七,九四〇
一九一六	四四四,一八九	三八六,一一六	二六,一五八	四一二,二七四	一、八五六	一,七八四,〇九三	五八五,五九一
一九一七	四五九,四三六	三九九,四〇五	二五,八六一	四二五,二六六	一、八五一	一,八五三,七〇九	五二〇,三〇一
一九一八	五〇七,八一八	四三六,七七八	三七,九六六	四七四,七四四	一、八七〇	一,八七七,四七〇	一,三四三,六一七
一九一九	四九四,六九二	四一七,九一二	三五,四三四	四五三,三四六	一、八三三	二,三〇二,八五三	五三八,五八六
一九二〇	四八七,七八三	四三一,九五一	三四,九六二	四六六,九一三	一、九一四	二,六六〇,二四三	一,〇八二,〇七六
一九二一	五九六,三六四	五六二,三六二	二七,〇七五	五八九,四三七	一、九七七	二,一三三,八九九	一,九八七,八八七
一九二二	五九五,〇六六	五〇一,九九二	三一,一九六	五三三,一八八	一、七九二	二,七八三,九三四	五,五九六,七三八
一九二三	五六一,六三四	四四九,四七四	三一,七九九	四八一,二七三	一、七一四	一,九八九,六〇〇	二,六〇九,一〇三
一九二四	五六一,三八六	四九七,二九一	二五,八五一	五二三,一四二	一、八六四	一,〇二五,一七〇	七八六,三四五

備考（一）一九一二年以前には分類せられず。
（二）「パノーチャ」とは、重量一乃至二封度の小塊とせる粗糖で、島内消費用として其の取扱上輕便なるものである。
（三）「メシー」とは切りたての甘蔗の莖から得た液汁を以て製せる一種の飲料である。
（四）本表は比島農務省農業統計課の數字に據る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一〇—一九二四年比島各種砂糖輸出表

年次	全輸出額 數量（米噸）	全輸出額 價額（弗）	全輸出額 一封度平均價格	全輸出額 輸出總額に對する百分率	内合衆國へ 數量（米噸）	内合衆國へ 價額（弗）	内合衆國へ 砂糖輸出總額に對する百分率
一九一〇	一三三、八九八	七、三二四、三八五	.〇二七〇	一八	一一一、〇〇二	六、二二四、二三六	八六・〇
一九一一	二三〇、四三〇	一一、〇七五、六七三	.〇二四〇	二五	二〇六、八五六	一〇、一〇二、一〇三	九一・二
一九一二	二一七、二三七	九、八〇〇、三四〇	.〇二二五	一八	一四七、五七四	七、〇〇五、一一四	七一・四
一九一三	一七三、四二九	七、〇三二、八八九	.〇二〇三	一五	三三、八五九	一、五六四、〇三六	二二・二
一九一四	二六〇、六九二	一一、〇五九、五九三	.〇二一一	三三	一八六、八七三	八、二四一、八五三	七四・五
一九一五	二三二、五九九	一一、三一〇、二一五	.〇二四三	二二	九一、三二六	五、一四一、五七九	四五・四
一九一六	三七二、〇一五	一八、五八七、五九二	.〇二五〇	二七	一四五、三七七	八、六三三、七〇〇	四六・四
一九一七	二三六、九七三	一三、二七七、六七八	.〇二七〇	一三	六八、七五九	五、四〇五、七五九	四四・〇
一九一八	三〇一、二二三	一五、八〇四、三九〇	.〇二六二	一三	一一六、九三三	八、二七九、八七〇	五二・四
一九一九	一四九、九七九	一五、二〇七、八五〇	.〇五〇七	一三	三五、四九九	三、八五八、九六七	二五・三
一九二〇	一九八、七九〇	四九、六一九、二六〇	.一二四八	三三	一三六、六一六	三九、三四八、九三四	七九・三
一九二一	三一九、五三〇	二五、五一八、七二七	.〇三九九	二九	一六五、八七三	一六、八七六、一七八	六六・一
一九二二	三九九、一二二	二五、五八二、五五五	.〇三二〇	二七	二六九、九〇〇	二〇、〇一〇、二四五	七八・二
一九二三	二九九、八〇七	三四、五一九、一二三	.〇五七六	二九	二五四、一四一	三〇、三七七、一五〇	八八・〇
一九二四	三九四、四三六	四一、八六八、〇八七	.〇五三一	三二	三三一、四二六	三七、四九〇、七五一	八九・五

(The Concerning Sugar, Sept. '25.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上部シレシヤに於ける商戰(其二)
Commercial War in Upper Silesia—II. (E. No. 4286, Oct. 17, '25. P. 606.)

■南 米 大 陸■

加奈陀及合衆國

一九二五年の加奈陀穀物產額豫想
Field Crop Estimate for 1925. (B. T. J. No. 1503, Sept. 17, '25. P. 321.)

一九二四年加奈陀石綿產額
Canada : Asbestos Production in 1924. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 346.)

一九二四年の加奈陀漁業狀況
Canada : The Fishing Industry in 1924. (B. T. J. No. 1507, Oct. 15, '25. P. 423.)

護謨現狀に對する米國側の見地
View of the Rubber Situation. (B. T. J. No. 1503, Sept. 17, '25. P. 319.)

一九二四/二五年度米國對外貿易一覽表(各大陸別)
Direction of Foreign Trade in 1924-25. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 345.)

本年一/六月米國鐵及鋼輸出貿易
U. S. A. : Iron and Steel Exports, Jan.-June. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 347.)

米國棉花收穫
American Cotton Crop. (E. No. 4283, Sept. 26, '25. P. 492.)

米國の對外野菜貿易
United States Foreign Trade in Vegetables. (Com. R. No. 40, Oct. 5, '25. P. 25.)

米國の對外織絲貿易
United States Foreign Trade in Yarns. (Com. R. No. 40, Oct. 5, '25. P. 29.)

米國棉產
American Cotton Crop. (E. No. 4285, Oct. 10, '25. P. 571.)

米國に於ける石油工業
Petroleum-Industrie in de V. S. v. Amerika. (L. N. e. H. No. 42, Oct. 16, '25. P. 334.)

米國對日貿易
U. S. Trade With Japan. (C. W. R. Vol. XXXIV. Oct. 17, '25. P. 164.)

對ユーゴースラビヤ米國護謨製品の貿易可能性
Possibilities of American Rubber Goods Trade With Yugoslavia. (Com. R. No. 42, Oct. 19, '25. P. 149.)

合衆國航空郵便現航路及豫定航路圖
Network of Proposed Airmail Routes in U. S. (M. T. Oct. 22, '25. P. 7.)

米國勞働聯盟の採れる賃銀新政策の裏面
Background of the A. F. of L. "New Wage Policy." (A. Oct. 23, '25. P. 507.)

不安定なる自動車製造業
The Instability of the Automobile Industry. (A. Oct. 23, '25. P. 507.)

米國外國投資の擴大
The Extent of U. S. Foreign Financing. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 8, Oct. 24, '25. P. 185.)

米國の護謨製品輸入
United States Imports of Rubber Goods. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25. P. 203.)

商業上の立場より見たる飛行運輸事業
The Business Side of Air Transport. By A. Black. (A. Oct. 30, '25. P. 543.)

護謨栽培地獲得に對するファイアーストーン會社の活躍
Firestone After Rubber Land in Mexico, Brasil. (M. T. Oct. 30, '25. P. 1.)

歐洲經濟界復活の米國に與へる影響
What European Recovery Means to American Business. (Com. R. No. 44, Nov. 2, '25. P. 259.)

港別による米國の麥粉輸出
United States Exports of Flour By Ports. (Com. R. No. 44, Nov. 2, '25. P. 265.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國棉花貿易
The Cotton Trade. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 652.)

英本國の青果貿易
Fresh-Fruit Trade of United Kingdom. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25. P. 194.)

米國機力工具市場としての英國
The Britishe Market for American Machine Tools. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25. P. 199.)

英國の石油貿易
British Petroleum Trade. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25. P. 209.)

佛　國

本年上半期の佛國對外貿易
France : Foreign Trade Jan.-June. (B. T. J. No. 1505, Oct. 1, 25. P. 370.)

平和の勝利
The Truimph of Peace. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 647.)

佛國カイヨー藏相の增稅原案
Revue Politique. (Le C. H. Oct. 25, '25. P. 1.)

佛國近況
The Situation in France. (E. No. 4288, Oct. 31, '25. P. 691.)

植民地高等會議論制改正
Organisation du Conseil Supérieur des Colonies. (Le C. H. Nov. 11, '25. P. 7.)

モロッコに於ける佛國人
The French in Morocco. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17948, Nov. 19, '25. P. 11.)

獨　逸

獨逸修正關稅法全文
German Customs Tariff. (B. T. J. Supplement to No. 1507, Oct. 15, '25.)

獨逸と國際聯盟
Germany and the League. (E. No. 4286, Oct. 17, '25. P. 603.)

獨逸產業の危機
The Industrial Crisis in Germany. (A. Oct. 23, '25. P. 509.)

獨逸產業の再組織
German Industrial Reorganization. (E. No. 4288, Oct. 31, '25. P. 694.)

獨逸玩具輸出の減少繼續
German Toy Exports Show Continued Decline. (Com. R. No. 44, Nov. 2, '25. P. 267.)

獨逸機械界の現況
The Present Machinery Situation in Germany. (Com. R. No. 45, Nov. 9, '25. P. 331.)

和蘭及墺太利

和蘭砂糖標準の起源
Origin of the Dutch Sugar Standard. (M. T. Oct. 5, '25.)

和蘭の豫算
Holland-Budget. (E. No. 4285, Oct. 10, '25. P. 579.)

墺・獨の關係
Austria and Germany. (E. No. 4283, Sept. 26, '25. P. 484.)

墺太利の好況と關稅問題
Austria Gains : But Tariff Walls Check Progress. By C. H. Layton & Charles Rist. (A. Oct. 16, '25. P. 477.)

露國及其他

最近露西亞石炭石油の產出並に輸出狀況
Russian Coal and Oil Production and Exports. (S. Sept. 26, '25. P. 444.)

露・獨協商
Russo-German Trade Treaty. (E. No. 4286. Oct. 17, '25. P. 614.)

芬蘭近況
Conditions in Finland. (E. No. 4284, Oct. 3. '25. P. 534.)

上部シレシヤに於ける商戰(其一)
The Commercial War in Upper Silesia—I. (E. No. 4285, Oct. 10, '25. P. 566.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ポートランドセメント
Portland Cement. (S. Hb. Nov. 21, '25.)

蘭印の旱魃
De Droogte. (H. N. v. d. D. Nov. 24, '25.)

濠洲及新西蘭其他

濠洲新關税率
Australia : New Customs Tariff. (B. T. J. No. 1506, Oct. 8, '25. P. 400.)

濠洲税率變更
Australian Tariff Changes. (E. No. 4285, Oct. 10, '25. P. 573.)

濠洲の人口概數
Australian Population Statistics. (S. F. P. Oct. 14, '25.)

ニウ・サウス・ウエールスへの獨逸輸入品增加
Australia : Increased German Imports into New South Wales. (B. T. J. No. 1507, Oct. 15, '25. P. 423.)

本年上半期の新西蘭對外貿易
New Zealand : Overseas Trade in First Half Year. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 343.)

本年第二四半期新西蘭の原産國別輸入貿易一覽
New Zealand : Competitive Imports in June Quarter. (B. T. J. No. 1505, Oct. 1, '25. P. 369.)

英領ニウ・ギニア拓殖株式會社總會
British New Guinea Development Co., Ltd. (S. Oct. 17, '25. P. 567.)

■阿弗利加■

一般

ニヤサランド產粘土の煉瓦類其他製造に對する研究
The Suitability of Certain Nyasaland Clays for the Manufacture of Bricks, Tiles, Drain-Pipes and Pottery. (B. I. I. No. 3, '25. P. 281.)

ニゼリヤの發達と資源
Nigeria : Its Developing and Resources. (B. I. I. No. 3, '25. P. 331.)

本年第一四半期の南阿對外貿易
South Africa : Foreign Trade in March Quarter. (B. T. J. No. 1503, Sept. 17, '25. P. 317.)

埃及棉花收穫
Egyptian Cotton Crop. (E. No. 4283, Sept. 26, '25. P. 493.)

南阿の煙草業
The South African Tobacco Industry. (Com. R. No. 45, Nov. 9, '25. P. 342.)

ファイヤストーン氏のリベリヤ投資
Firestone's Liberian Fantasy. Former Malayan Planter As Chief Aid. (S. F. P. Nov. '25.)

■歐羅巴■

英國

落花生の栽培、加工法及其利用
The Cultivation, Preparation and Utilisation of the Ground-Nut. (B. I. I. No. 3, '25. P. 291.)

護謨生產とスチーブンソン案
Rubber Production and the Stevenson Scheme. (E. No. 4283, Sept. 26, '25.)

失業調査
An Analysis of Unemployment. (E. No. 4284, Oct. 3, '25. P. 529.)

愛蘭自由國の貿易及歳入
Free State Trade and Revenue. (E. No. 4284, Oct. 3, '25. P. 532.)

本年九月英國對外貿易
Overseas Trade in September. (S. Oct. 17, '25.)

本年九月英國對外貿易
Overseas Trade in September. (S. Oct. 17, '25. P. 544.)

英人の見たる護謨恐慌の眞相
The Truth About the Rubber Crisis from the British Point of View. (A. Oct. 23, '25. P. 511.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

盛なるスマトラ煙草業
Sumatra Tobacco· A Flourishing Industry. (S. F. P. Oct. 22, '25.)

爪哇及マヅラの陸稲收穫
De Padi-Oogst of Java en Madoera. (S. Hb. Oct. 23, '25.)

ベラワン港の罷業
De Staking te Belawan. (S. Hb. Oct. 29, '25.)

一九二三、一九二四年及一九二五年上八箇月間に於けるスラバヤ港タピオカ輸出比較表
Uitvoer van Tapioca-Producten uit Soerabaja Gedurende de Jaren 1923 er 1924 en de Eerstacht Maanden van 1925. (L. N. e. H. No. 43, Oct. 23, '25. P. 343.)

一九二五年度爪哇及マヅラに於ける水稲産額豫想及其他土人重要農産物の收穫面積表
Voorloopige Schatting van de Sawapadi-Productie op Java en Madoera in 1925, en Voorloopige Opgaven Betreffende de in 1925 te Oogsten Oppervlakte der Overige Belangrijke Inlandsche Landbouwgewassen. (L. N. e. H. No. 43, Oct. 23, '25. Bijvoegsel. No. LX.)

日本の漁業者
Japansche Visschers. (H. N. v. d. D. Oct. 23, '25.)

中部竝に東部ボルネオ探檢
Naar de Midden en Oost Borneo. (H. N. v. d. D. Oct. 24, '25.)

驚嘆すべき漁獲
De Wonderbare Visschvangst (II) (H. N. v. d. D. Oct. 24, '25.)

印度の石油政策
De Petroleumpolitiek van Indië. (H. N. v. d. D. Oct. 27, '25.)

織物市場としての蘭印
Textile Marker in the Netherland East Indies Improves. (C. R. No. 44, Nov. 2, '25. P. 262.)

蘭領東印度及外國資本
Nederlandsch-Indië en Het Buitenlandsch Kapitaal. (S. Hb. Nov. 9, '25.)

邦人漁夫
Japansche Visschers. (S. Hb. Nov. 13, '25.)

スラバヤ市況
Soerabajaasch Marktoverzicht. (S. Hb. Nov. 14, '25.)

蘭領東印度政府組織如何に變更せらるゝや
Welke Veranderingen Brengt ons de Nieuwe Staatsinrichting. (H. N. v. d. D. Nov. 14, '25. P. 1.)

官營茶栽培計畫
De Gove. Theecultuur-Planen. (H. N. v. d. D. Nov. 16, '25.)

蘭印の新統治組織
De Nieuwe Staatsinrichting. (H. N. v. d. D. Nov. 17, '25.)

石油及戰爭
Olie en Oorlog (I) (S. Hb. Nov. 17, '25.)

蘭印の新統治組織
De Nieuwe Staatsinrichting. (S. Hb. Nov. 18, '25.)

石油及戰爭
Olie en Oorlog (II) (S. Hb. Nov. 18, '25.)

蘭印に於ける糖業
Het Suikerbedrijf. (S. Hb. Nov. 19, '25.)

一九二五年度收穫爪哇糖産額及一九二六年栽培面積豫想
Schatting der Java-Suikerproductie, Oogst 1925 en der Beplante Opperolakte Voor Campayne 1926. (S. i. N. I. No. 45, Nov. '25.)

護謨市場の前途
De Vooruitzicht der Rubbermarkt. (S. Hb. Nov. 20, '25.)

砂糖及旱魃
Suiker en Droogte. (S. Hb. Nov. 21, '25.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督の署名を終へたる一九二六年度豫算案
1926 Outlay Bill Signed By Governor. (P. H. Nov. 7, '25. P. 1.)

上院は滿場一致にて獨立庶民投票案を協賛す
Senate Approves Plebiscite Bill Without Dissent. (P. H. Nov. 7, '25. P. 1.)

獨立庶民投票案の要點
Highlights of Plebiscite Bill. (P. H. Nov. 7, '25. P. 1.)

比島パインアプル業の前途好望
Good Prospects for Pineapple Industry. (P. H. Nov. 8, '25. P. 2.)

汎太平洋見地よりの比島問題
Pan-Pacific Aspect of Philippine Problem. (P. H. Nov. 8, '25. P. 12.)

駐米委員ガバルトンとゲヴアラ氏の再選
Commissioners Reelected. (P. H. Nov. 10, '25. P. 1.)

今議會にて法律となりし法案
Bills Enacted into Law. (P. H. Nov. 10, '25. P. 1.)

近日中總督に提出せらるべき兩院通過の法案
Bill Approved By Both Houses to be Submitted to Wood Shortly. (P. H. Nov. 11, '25. P. 1.)

比島來年度豫算可決
P. 59,760,425 Voted for Next Year. (P. H. Nov. 14, '25. P. 1.)

總督護謨種子配布案に署名す
Rubber Seed Bill Signed By Governor. (P. H. Nov. 15, '25. P. 1.)

馬尼拉に於ける生活費低下運動
Manila Cost of Hiving to be Cut Down. (P. H. Nov. 17, '25. P. 1.)

比島護謨栽培に着目する米國
U. S. Has Eye on Rubber Here. (P. H. Nov. 20, '25. P. 1.)

蘭　領　東　印　度

蘭領印度に於ける地籍問題
Kadastrale Vraagstukken in Nederlandsch-Indië. (K. S. No. 5, Oct. '25. P. 159.)

社會經濟概觀
Sociaal-Economisch Overzicht. (S. i. N. I. No. 43, Oct. '25. P. 1168.)

爪哇國營鐵道の電化問題
The Electrification of the Java State Railways. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 655.)

護謨精製に際し凝結法としての蟻酸
Mierenzuur als Coagulant bij Rubberbereiding. (L. N. e. H. No. 42, Oct. 16, '25. P. 334.)

蘭領東印度の物價指數
Prijzen en Indexcijvers in Ned. Indië. (Byvoegsel. L. N. e. H. No. 42, Oct. 16, '25. No. LVI.)

糖　業
Het Siukerbedrijf. (S. Hb. Oct. 19, '25.)

中央政府及各州との財政關係
Financieele Verhouding Tusschen Land en Provincies. (S. Hb. Oct. 19, '25.)

スラバヤ沿海に於ける邦人漁業
Japansche Visscherij in de Soerabajasche Wateren. (S. Hb. Oct. 21, '25.)

關稅收入額(一九二五年上八箇月)
Douane Opbrengsten. (S. Hb. Oct. 21, '25.)

國際問題としての二重稅並に脫稅(1)
Dubble Belasting en Belastingontduiking als Internationale Problemen (1) (S. Hb. Oct. 22, '25.)

驚嘆すべき漁獲
De Wonderbare Visschvangst. (H. N. v. d. D. Oct. 22, '25.)

スマトラ煙草業の隆盛
Sumatra Tobacco. A Flourishing Industry. (S. F. P. Oct. 22, '25.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

フエーアフイールド案の經濟的價値
The Economic Significance of The Fairfield Bill. (M. T. Oct. 5, '25. P. 5.)

比島糖業史
A History of the Sugar Industry of the P. I. By Geo. H. Fairchild. (M. T. Oct. 5, '25. P. 7.)

比島糖業の發達と甘蔗の豐作
The Progress of Our Sugar Industry and the Bumper Crop. By S. Jamieson. (M. T. Oct. 5, '25. P. 9.)

比島內製糖所一覽表
Sugar Centrals in the P. I. (M. T. Oct. 5, '25. P. 13.)

合衆國現行砂糖關稅率は持續さるべし（クーリツヂ大統領聲明）
Present U. S. Sugar Tariff on Sugar to Stand, President Coolidge Declares. (M. T. Oct. 5, '25.)

比島に於ける米國護謨開發策を阻止する比島政客側の反對
Antagonism of P. I. Politicos Given as Cause. (M. T. Oct. 8, '25. P. 1.)

ダヴアオ住民の同港昇格運動
470 Davao Residents Petitioning to Have Port Made 1st Class. (M. T. Oct. 8, '25. P. 1.)

米國は未だ比島に留まらざるべからず、米人の事業は漸く緒につきしのみ（ウツド總督）
"U. S. Must Remain in P. I. Indefinitely," — Gov. Wood. Works of Americans Has Only Begun, Declares Executive in Interview. (M. T. Oct. 9, '25. P. 1.)

ウツド總督曰く「米國は今後尙ほ五十年間比島統治の要あり」と
'50 Years More of U. S. Rule Needed Here,' Says Gov. Wood. (M. T. Oct. 11, '25. P. 18.)

小作人の地代値下運動
Tenants Campaign for Rent Reduction. (M. T. Oct. 13, '25. P. 3.)

フアイアーストーンは比島への護謨投資計畫を放棄す
Rubber Concern Gives Up Plan of Investing Here. (M. T. Oct. 16, '25. P. 1.)

ウツド總督家畜輸入解禁を裁可す
Gov. Wood Approves Cattle Importation. (M. T. Oct. 16, '25. P. 1.)

比島土地法は護謨栽培に適合す
P. I. Land Law Good Enough for Rubber Growing. (M. T. Oct. 18, '25. P. 1.)

華府比島間を連結するラヂオ
Radio Connects Washington With Philippines. (M. T. Oct. 2, '25. P. 1.)

靜寂たる比島ラヂオ界：今日只一つ無線會社あるのみ
P. I. Radio Sky Clears, Only 1 Company Now. (M. T. Oct. 22, '25. P. 1.)

護謨種子配布に關する上院案を下院協贊す
House Approves Rubber Seed Bill. (M. T. Oct. 25, '25. P. 3.)

ケソン氏來春一月に渡米
Quezon to Leave for U. S. in January. (M. T. Oct. 30, '25. P. 2.)

比島に於ける採金業
Gold Mining in the P. I. By W. D. Smith. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 689.)

比島シバロン河灌漑計劃
The Sibalom River Irrigation System. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 719.)

比島石炭埋藏量の缺乏
Coal Mine Deposits in P. I. Scant. (P. H. Nov. 1, '25. P. 1.)

駐米委員の詮衡に忙はしき立法部
Choice of Envoys Keep Solons Busy. (H. P. Nov. 3, '25. P. 1.)

比島獨立に對する庶民投票案
Plebiscite May be Held to Determine Stand o Filipinos. (P. H. Nov. 5, '25. P. 1.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來半島

本年一/八月英領馬來護謨輸出
British Malaya : Rubber Exports, Jan.-Aug. (B. T. J. No. 1503, Sept. 17, '25. P. 316.)

本年一/八月馬來聯邦州錫輸出
F. M. S. : Tin Exports, Jan.-Aug. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 246.)

本年第二四半期の馬來聯邦州對外貿易
F. M. S. : Foreign Trade in June Quarter. (B. T. J. No. 1507, Oct. 17, '25. P. 423.)

英領馬來本年九月輸出入表
Malayan Trade. The Sept Statistics. (S. F. P. Oct. 16, '25.)

立法會議の開會
Legistlative Council Yesterday's Meeting. (S. F. P. Oct. 27, '25.)

護謨問題さ英領馬來に於ける護謨
Rubber Matters. Rubber in British Malaya. (S. F. P. Oct. 29, '25.)

馬來聯邦州鐵道敷設工事
Construction Work on the F. M. S. Railways. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 723.)

第三年目護謨生產制限統計
Rubber Restriction Statistics. Third Restriction Year. (S. F. P. Nov. 3, '25.)

本年十月英領馬來護謨輸出入高
British Malaya Rubber October Exports. (S. F. P. Nov. 4, '25.)

馬來聯邦制度の改正
Federal Changes. (S. F. P. Nov. 9, '25.)

英領馬來十月度輸出入表
Malayan Trade. The October Statistics. (S. F. P. Nov. 14, '25.)

シンガポールさ護謨生產制限
Singapore and Rubber Restriction. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17949. Nov. 20, '25. P. 2.)

■南洋諸島■

比律賓

比島に於ける石綿產況
Asbestos in the P. I. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 672.)

優秀農業國たる比島
Philippines Prominently An Agricultural Country. (P. H. Oct. 4, '25. P. 10.)

比島さ其の護謨業
The Philippines and Her Rubber Industry. (P. H. Oct. 4, '25. P. 10.)

比島は外資を歡迎す
Foreign Investments Welcome in Philippines. (P. H. Oct. 4, '25. P. 12.)

比島及他諸糖產國製糖業比較表
Comparing Philippine Enterprise With that of Other Sugar Producing Countries. (P. H. Oct. 4, '25. P. 13.)

甘蔗さ其の栽培法
The Sugar Cane and Its Cultvation. (P. H. Oct. 4, '25. P. 17.)

比島糖業さ農業專門學校
The Philipline Sugar Industry and The College of Agriculture. (P. H. Oct. 4, '25. P. 19.)

甘蔗生產に於ける肥料
Fertilizer in Sugar Cane Production. (P. H. Oct. 4, '25. P. 26.)

第三回比島糖業組合總會開催
Sugar Convension Opens. (M. T. Oct. 5, '25. P. 1.)

世界砂糖生產地圖
World's Sugar Production. (M. T. Oct. 5, '25. P. 3.)

世界砂糖消費地圖
World's Sugar Consumption. (M. T. Oct. 5, '25. P. 3.)

比島甘蔗生產增加問題
The Problem of Increasing Philippine Sugar Cane Yields. By G. H. Pritchett. (M. T. Oct. 5, '25. P. 4.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中央政府の歳出
Central Government Expenditure. (T. O. I. No. 39, Sept. 26, '25. P. 3.)

英領印度に於ける課税問題
Belastingvraagstuk in Britsch-Indië. (K. S. No. 5, Oct. '25. P. 263.)

紡績工場の同盟罷業
Mill Strikes. (T. O. I. No. 40, Oct. 3, '25. P. 2.)

紙幣改型提案
Government Proposal for Remodelling. (T. O. I. No. 4, Oct. 3, '25. P. 3.)

在印度外資
Foreign Money in India. (T. O. I. No. 40, Oct. 3, '25. P. 6.)

緬甸立法會議
Burma Legislative Council. (R. G. No. 40, Oct. 5, '25. P. 7.)

印度の經濟的價値
Economic Survey of India. (R. G. No. 40, Oct. 5, '25. P. 16.)

英領印度に於ける鐵及鋼線・竿の改正關稅分類法
British India : Revised Customs Crassification of Iron and Steel Wire and Rod. (B. T. J. No. 1506, Oct. 8, '25. P. 401.)

紡績罷業一解決の曙光
Mill Strikes-Hope of Settlement. (T. O. I. No. 41, Oct. 10, '25. P. 2.)

緬甸立法會議
Burma Legislative Council. (R. G. No. 41, Oct. 12, '25. P. 3.)

解決の望絶ゆ
Mill Strikes-All Efforts Fail. (T. O. I. No. 42, Oct. 17, '25. P. 2.)

印度鐵道會議
Indian Railway Conference. (T. O. I. No. 42, Oct. 17, '25. P. 4.)

蘭貢市政に關する報告
The Annual Report. (R. G. No. 42, Oct. 19, '25. P. 13.)

印度に於ける疾病
Diseases India. (S. F. P. Oct. 20, '25.)

緬甸の開發と外資の必要
Development of Burma. Outside Capital Needed. (S. F. P. Oct. 20, '25.)

紡績罷業前途の暗澹
Mill Strikes-Deadlock Continued. (T. O. I. No. 43, Oct. 24, '25. P. 4.)

カシミヤの新支配者
Kashmire's New Ruler. (T. O. I. No. 43, Oct. 24, '25. P. 6.)

印度商業上の保證仲買人の位置
The Guaranty Broker in Indian Trade. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25, P. 232.)

孟買會議
Bombay Council (T. O. I. No. 44, Oct. 31, '25. P. 2.)

印度飛行郵便事業
Aeroplane Mail Service to India. (S. F. P. No. 10, '25.)

英領印度新總督の任命
New Viceroy of India. (S. F. P. Nov. 13, '25.)

自動車製造業に對するカルカッタの提案
Blow to Motor Industry Calcutta Propasal. (S. F. P. Nov. 18, '25.)

英印綿絲工業の危機
Crisis in de Britsch-Indische Katdenindustrie. (S. He. Nov. 18, '25.)

印度の貿易と財政
Trade and Finance in India. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17948, Nov. 19, '25. P. 2.)

一九二四年錫蘭輸入貿易
Ceylon : Imports Trade in 1924. (B. T. J. No 1506, Oct. 8, '25. P. 391.)

錫蘭の石墨業
Ceylon Plumbago Industry. (S. F. P. Oct. 28, '25.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

福建に對する紅黨の威迫
Red Menace to Fukien. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17945, Nov. 16, '25. P. 15.)

山東に於ける日本の抗議
Japanese Protest in Shantung. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17945, Nov. 16, '25. P. 15.)

孔子教さ近世支那
Confucianism and Modern China. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17949, Nov. 20, '25. P. 14.)

佛領印度支那

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 434, Oct. 4, '25. P. 14.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 436, Oct. 18, '25. P. 14.)

東京の人口增加に就て
La Surpopulation ou Tonkin. (Le C. H. Oct. 28, '25. P. 1.)

印度支那增兵問題
Bulletin (R. Le Gac.) (Le C. H. Oct. 29, '25. P. 1.)

アレキサンドル・バレンヌ
Alexandre Varenne. (Le C. H. Oct. 30, '25. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 438, Nov. 1, '25. P. 14.)

印度支那駐在極東政務總監の制定說に就て
Le Haut Commissariat du Pacifique. (Le C. H. Nov. 5, '25. P. 1.)

交趾支那知事コニャック氏の演說 (交趾支那の內治一般狀況)
Un Discours de M. Cognacq. (Le C. H. Nov. 5, '25. P. 3.)

交趾支那知事コニャック氏の演說 (交趾支那の內治一般狀況)
Un Discours de M. Cognacq. (Le C. H. Nov. 8, '25. P. 3.)

安南執政府さ印度支那總督さの新協約
Le Protectorat en Annam. (Le C. H. Nov. 13, '25. P. 1.)

アレキサンドル・バレンヌ氏着任
L' Arrivée de M. Alexandre Varenne. (Le C. H. Nov. 19, '25. P. 1.)

印度支那さ佛國綿花市場
(Gaston Valran) L' Indochine et le Marché Française du Coton. (Le C. H. Nov. 21, '25. P. 5.)

本年の東京稻作
La Situation Agricole du Tonkin ou 1er Nov. 1925. (Le C. H. Nov. 22, '25. P. 1.)

アレキサンドル・バレンヌ氏の聲名(着任後)
Les Declarations de M. Alexandre Varenne. (Le. C. H. Nov. 27, '25. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 442, Nov. 29, '25. P. 15.)

印度支那の棉花
Cotton industry of Indo-china. (B. I. I. Vol. 23, No. 3, '25. P. 346.)

暹羅・印度・錫蘭

本年第一四半期の暹羅對外貿易
Siam : Foreign Trade in March Quarter. (B. T. J. No. 1507, Oct. 15, '25. P. 426.)

暹羅一九二五/二六年度豫算
The Siamese Budget. (S. F. P. Oct. 27, '25.)

一九二四/二五年英領印度の輸出入貿易
British India : Imports and Exports, 1924-25. (B. T. J. No. 1804, Sept. 24, '25. P. 342.)

英領印度の紙輸入稅
British India : Import Duties on Paper. (B. T. J. No. 1504, Sept. 24, '25. P. 349.)

在孟買紡績工場の罷業による作業停止
Mill Strikes : Almost Complete Stoppage in Bombay. (T. O. I. No. 39, Sept. 26, '25. P. 2.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の會議投票は支那の改造を導かん
Conference Votes U. S. Should Lead Reforms in China. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 8, Oct. 24, '25. P. 189.)

孫傳芳(字馨遠)小傳
Marshal Sun Chuan-fang. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 8, Oct. 24, '25. P. 197.)

支那關稅會議(其二)
The Chinese Tariff Conference—II. (E. No. 4288, Oct. 31, '25. P. 695.)

唐少川は先づ一致を要求す
Mr. Tong Shao-Yi Demands Unity First. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 9, Oct. 31, '25. P. 204.)

支那は今十四世紀の英國に似たり
China Now As England Was in Fourteenth Century! By Sir A. Maurice Sow. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 9, Oct. 31, '25. P. 206.)

支那の產業革命
China's Industrial Revolution. By Charles C. Batchelder. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 9, Oct. 31, '25. P. 208.)

基督敎會と支那との條約
Christian Missions and Treaties with China. A. L. Warnshuis. C. R. Vol. LVI. No. 11, Nov. '25. P. 706.)

支那に於ける基督敎傳敎條約權利の開展
The Evolution of "Christian" Treaty "Rights" in China. (C. W. R. Vol. LVI. No. 11, Nov. '25. P. 719.)

鄕村敎會の爲めの實業的作業
Industrial Work for the Rural Church. W. A. McLeam. (C. R. Vol. LVI. No. 11, Nov. '25. P. 742.)

南京·浦口及武昌·漢口間列車渡船計劃
Proposed Train-Ferry Schemes for Nanking-Pukow and Wuchang-Hankow. By P. H. Chen. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 716.)

支那人は日本人を嫌惡するや
Do the Chinese Hate the Japanese? (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 680.)

支那阿片に對する香港前總督の管見
Opium in China. Former Hongkong Governor's Views. (S. F. P. Nov. 6, '25.)

支那の提議したる海關稅則
China's Proposed Customs Tariff Law. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 10, Nov. 7, '25. P. 229.)

香港ボイコットの最後の場面
The Last Stage of the Boycott in Hongkong. By Hui Wong. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 10, Nov. 7, '25. P. 232.)

一九二五年上九箇月間の支那對米輸出貿易
China's Exports to U. S. for First Nine Months, 1925. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 10, Nov. 7, '25. P. 238.)

支那に於ける治外法權問題
Extraterritoriality in China. (S. F. P. Nov. 12, '25.)

支那に於ける排外運動
The Anti-Foreign Movement in China. (Conclusion of Kodama's Survey of Economic Conditions: the Australian Wool Trade.) (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17944, Nov. 14, '25. P. 2.)

支那は文字の國なり
China A Country of Letters. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17944, Nov. 14, '25. P. 3.)

督軍の惡戯
Tuchun's Playing With Fire. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17944, Nov. 14, '25. P. 6.)

吳佩孚·齊·孫の計畫
Plans of Wu Pei fu, Chi and Sun. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17944, Nov. 14, '25. P. 13.)

上海に於ける支那人と混合裁判所問題
A Shanghai Problem. Chinese and the Mixed Court. (S. F. P. Nov. 16, '25.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大連豆油製造業
The Dairen Bean Oil Industry. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 666.)

日本の棉絲及棉布產出高及貿易
Japan's Output and Trade in Cotton Yarn and Cloth. (Com. R. No. 42, Oct. 19, '25. P. 134.)

紙市場たる日本への競爭賣込
Competitive Market for Paper in Japan. (Com. R. No. 42, Oct. 19, '25. P. 154.)

日本は支那關稅會議列强を統御得るや
Shall Japan Lead the Powers in China ? (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 679.)

商工業の立場より見たる日本
The Commercial and Industrial Position in Japan. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 687.)

日本大規模水電の一たる宇治州電氣會社
The Ujikawa Electric Co. A Great Hydro Electric Enterprise in Japan. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 706.)

支那に於ける本日の經濟的地位
Japan's Economische Positie in China. (S. Hb. Nov. 16, '25.)

比島市場に於て好評なる日本品
Japanese Goods Here Are Popular. (P. H. Nov. 20. '25. P. 1.)

支　　那

支那交通經營の財政的獨立
Financial Independence of the Administration of Communication of the Republic of China. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 638.)

過激主義の蒙古侵入
The Red Invasion of Mongolia. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 631.)

經濟的立場より見たる滿洲鐵道敷設問題
Economic Aspects of Manchurian Railway Construction. (Com. R. No. 41, Oct. 12, '25. P. 76.)

鐵及鋼の有望市場たる支那
China a Growing Market for Iron and Steel. (Com. R. No. 41, Oct. 12, '25. P. 84.)

關稅會合の前夜に於ける牴觸せる諸意見
Conflicting Views on Eve of Tariff Meeting. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 7, Oct. 17, '25. P. 156.)

公債の軍事上沒收に關する二つの興味ある例
Two Interesting Examples of Military Confiscation of Public Funds ! (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 7, Oct. 17, '25. P. 157.)

馮玉祥と北京綏安鐵道借款
Feng Yu-hsiang and the Peking-Suiyuan Railway Debts. By Charles Dailey. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 7, Oct. 17, '25. P. 159.)

支那危機——敎育の衝突
The Chinese Crisis—A Conflict of Cultures. By Charles Hodges. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 7, Oct. 17, '25. P. 161.)

支那に於ける商標問題
Trade-Marks in China. (Com. R. No. 42, Oct. 19, '25. P. 131.)

滿洲に於ける脂油工業
Olie Industries in Mandsjoerije. (L. N. e. H. No. 43, Oct. 23, '25. P. 342.)

支那關稅會議(其一)
The Chinese Tariff Conference—I. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 651.)

支那內亂
Civil War in China. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 657.)

ジョルダン卿と支那經濟觀
Sir John Jordon and China. (S. F. P. Oct. 24.)

治外法權と支那人の心理
Extraterritoriality and Chinese Psychology. By Sucian Estabrook. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 8, Oct. 24, '25. P. 186.)

關稅會議の準備成る
Stage all Set for Tariff Conference. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 8, Oct. 24, '25. P. 188.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本年第二四半期の世界造船界
Great Britain Leads Ship Construction. (M. T. Oct. 6, '25. P. 2.)

護謨近情
The Popularity of Rubber. (E. No. 4285, Oct. 10, '25. P. 572.)

鐵・鋼及石炭の產量
Iron, Steel and Coal Production. (E. No. 4286, Oct. 17, '25. P. 615.)

護謨ブーム一過後
After the Rubber Boom. (E. No. 4286, Oct. 17, '25. P. 616.)

主要海運國の航海統計
Navigatin Statistics of Principal Maritine Countries. (Com. R. No. 41, Oct. 12, '25. P. 78.)

世界小麥市場
The Worlds' Wheat Position. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 654.)

世界護謨生產表
Rubber Output. (E. No. 4287, Oct. 24, '25. P. 683.)

麻醉劑の世界的密輸入其仕出地と仕向地
Story of World-Wide Smuggling. Origin and Destination of Drugs. (S. F. P. Oct. 24, '25.)

世界に於ける護謨の生產及消費（ステブン法の效果に就て）
Le Caoutchouc. (le Temps. Oct. 25, '25. P. 1.)

世界織物界概觀
World Textile News in Brief. (Com. R. No. 43, Oct. 26, '25. P. 201.)

殺人光線の秘密曝露
The Death Ray. It's Secrets Revealed. (S. F. P. Oct. 30, '25.)

護謨產額と將來の豫想
Rubber Production—An Estimate of It's Future. By Ch. Kitson. (A. Oct. 30, '25. P. 539.)

英國及世界石炭貿易
Great Britain and the World's Coal Trade. (E. No. 4288, Oct. 31, '25. P. 693.)

一哩二片での世界一周旅行
Round the World for Two-pence per Mile. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 713.)

植民地經濟政策—英國對諸外國間の比較
Colonial Economic Policy, Contrast Between British and Foreign Methods. (S. F. P. Nov. 5, '25.)

世界護謨生產と消費豫想
Rubber—An Estinate of Production an Shortage. By Ch. Kitsor. (A. Nov. 6, '25. P. 578.)

人種問題の危機と人種平等
Racial War Peril. Equality of Man. (S. F. P. Nov. 6, '25.)

護謨道路試驗の成績
Rubber Roadways. Progress of Experimental Work. (S. F. P. Nov. 9, '25.)

亞 細 亞

一　般

最近日本及支那の產業と米國對亞細亞貿易の發達
The New Asia. By F. R. Eldridge. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 683.)

極東に於ける建築用材料檢査の必要
The Need for Testing Materials of Construction Used in the Far East. By C. A. Middleton Smith. (F. E. R. No. 11, Nov. '25. P. 700.)

日　本

關稅會議に當面せる日本の立場
Japan's Stand at the Tariff Conference. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 636.)

日本の最高發電動力會社たる東邦電力株式會社
Japan's Super Power System Toho Electric Power Company, Ltd. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 642.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋其他
海外重要記事索引

臺灣總督官房調査課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. Annalist.
(Oct. 5—Nov. 6, '25.)

B. I. I. Bulletin of the Imperial Institute.
(Vol. XXIII, No. 3, '25.)

B. I. J. Board of Trade Journal.
(Sept. 17—Oct. 15, '25.)

C. R. Chinese Recorder.
(Vol. LVI, No. 11, Nov.' 25.)

C. W. R. China Weekly Review.
(Oct. 17—Nov. 7, '25.)

Com. R. Commerce Reports.
(Oct. 5—Nov. 9. '25.)

E. Economist.
(Oct. 3—31, '25.)

E. E. I. L Eveil Economique de l' Indochine.
(Oct. 4—Nov. 29, '25.)

F. E. R. Far Eastern Review.
(Oct.—Nov. '25.)

H. N. v. d. H. Het Nieuws van den Dag.
(Nov. 14—16, '25.)

K. S. Koloniale Studie.
(Oct. '25.)

L. C. H. Le Courrier d' Haiphong.
(Oct. 25—Nov. 29, '25.)

L. N. e. H. Landbouw Nijverheid en Handel.
(Oct. 23, '25.)

L. T. Le Temp.
(Oct. 10—30, '15.)

M. T. Manila Times, Daily with Sunday.
(Oct. 1—31, '25.)

N. C. D. N. North China Daily News.
(Nov. 14—20, '25.)

P. H. Philippines Herald, Daily with Sunday.
(Nov. 1—20, '25.)

R. G. Rangoon Gazette.
(Oct. 5—Nov. 9, '25.)

S. Statist.
(Oct. 3—31, '25.)

S. F. P. Singapore Free Press, Daily.
(Oct. 8—Nov. 20, '25.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad.
(Nov. 17—24, '25.)

S. i. N. I. Suikerindustrie in Ned.-Indie.
(Oct. '25.)

T. O. I. Times of India.
(Sept. 26—Nov. 7, '25.)

■ 世　界 ■

一　般

セメントの國際取引狀勢
International Trade in Cement. By R. M. Santmyers. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 647.)

動力ショベル及ドラグリンの設計と利用
Design and Applications of Power Shovels and Draglines. By W. Barnes. (F. E. R. No. 10, Oct. '25. P. 658.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN